資料６

【案】

姫路市こども計画「ひめじ　こども・若者みらいプラン（仮称）」
別冊５

姫路市
子どもの生活実態調査
報告書

この別冊は、姫路市こども計画「ひめじ　こども・若者みらいプラン」の策定に当たり、令和５年度（2023 年度）に実施した市民アンケート調査の結果報告書です。

令和７年（2025 年）〇月
姫路市

目次

Ⅰ　調査の概要・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1
　1　調査の目的・・・ 2
　2　調査内容・・ 2
　3　調査方法・・ 2
　4　回答状況・・ 3
　5　分析の視点・・・ 3
　6　調査結果の表示方法・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 5

Ⅱ　調査対象者の基本属性・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 6
【子ども対象調査】
　1　性別・・ 7
　2　学年・・ 7
【保護者対象調査】
　1　子どもとの関係（続柄）・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 8
　2　結婚の状況・・・ 8
　3　年齢・・ 9
　4　同世帯の人数・・ 9
　5　同世帯のうち別居している者の人数・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・10
　6　家族構成・・10

Ⅲ　調査の結果・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・11
【子ども対象調査】
　1　学校生活について・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・12
　2　学校外の勉強方法や習いごとなどについて・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・31
　3　ふだんの生活について・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・40
　4　あなたの健康や気持ちについて・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・53
　5　家族のお世話について・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・72
　6　自由意見・・84
【保護者向け調査】
　1　世帯の状況について・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・87
　2　お子さんの教育などについて・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 102
　3　生活状況・経済状況について・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 115
　4　あなたやご家族の健康、あなたの気持ちについて・・・・・・・・・・・・・・・・・ 142
　5　自由意見・・・ 188

Ⅳ　参考資料（調査票）・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 191
　1　子ども用調査票・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 192
　2　保護者用調査票・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 212

Ⅰ　調査の概要

1　調査の目的

本調査は、姫路市における子どもや家庭の生活実態や支援ニーズを把握するとともに、世帯の経済状況等との関連を調査・分析し、こども基本法第 10 条の規定に基づく市町村こども計画の策定に向けた基礎資料とすることを目的に実施したものです。

2　調査内容

本調査は、以下の事項に関する設問から構成されています。

⑴　子ども対象調査

- 基本属性
- 学校生活について
- 学校外の勉強方法や習いごとなどについて
- ふだんの生活について
- あなたの健康や気持ちについて
- 家族のお世話について
- 自由記述

⑵　保護者対象調査

- 基本属性
- 世帯の状況について
- お子さんの教育などについて
- 生活状況・経済状況について
- あなたやご家族の健康、あなたの気持ちについて
- 自由意見

3　調査方法

調査対象	市内小学校(13 校)の５年生と中学校(13 校)２年生の児童・生徒及びその保護者
標本数	3,660 人（保護者も同数）
抽出方法 (※1)	市内の小・中学校のうち、旧姫路市総合計画における 13 地域ブロックごとに児童・生徒数の最も多い学校を１校ずつ選定し、調査開始日時点において当該学校に在籍する小学５年生･中学２年生の児童･生徒とその保護者を対象としました。
調査方法	世帯の経済状況等と子どもの生活状況等との関連を調査するため、子ども用調査票と保護者用調査票をセットにして、学校経由で配付・回収しました。
調査期間	令和５年 12 月 20 日～令和６年１月 16 日

（※1）　調査対象の小学校・中学校は下表のとおりです。

調査対象	配付先学校名
小学校５年生の児童及びその保護者（13 校）	広峰、曽左、白鷺、荒川、糸引、高浜、広畑第二、勝原、別所、坊勢、菅生、香呂、安富南
中学校２年生の生徒及びその保護者（13 校）	広嶺、書写、琴陵、山陽、灘、飾磨西、大津、朝日、東、坊勢、菅野、香寺、安富

4　回答状況

標本数（配付数）	回答数	無効回答数	有効回答数	回答率
3,660	2,684	45	2,639	72.1%

※　以下の場合を無効回答としました。

・　子ども用調査票と保護者用調査票の片方又は両方の設問全部が不明又は無回答であるもの

・　子ども用調査票と保護者用調査票の片方のみ回答があったもの

5　分析の視点

(1)　収入の水準による分類

所得による影響を分析するため、『等価世帯収入』の「中央値以上」、「中央値の２分の１以上中央値未満」、「中央値の２分の１未満」に分類し、分析を行いました。『等価世帯収入』の算出は、内閣府の「令和３年子供の生活状況調査の分析報告書」にならい、以下の算出方法に沿って行いました。

①　保護者対象調査の問 24（世帯全体のおおよその年間収入）に関する回答の各選択肢の中間の値を、その世帯の収入の値とする。（例えば、「50 万円未満」であれば 25 万円、「50～100 万円未満」であれば 75 万円とする。なお、「1000 万円以上」は 1050 万円とする。）

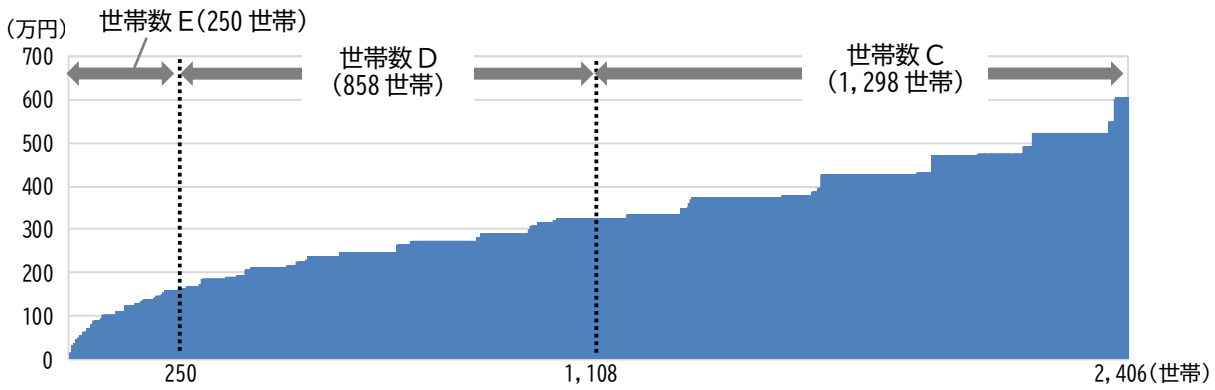
②　①の値を、保護者対象調査の問４で把握される同居家族の人数の平方根をとったもので除す。

③　②の方法で算出した値（等価世帯収入）の中央値を求め、さらに、その２分の１未満であるか否かで分類する。

＜収入の水準による分類に関する算出結果＞

等価世帯収入の中央値	325 万円
等価世帯収入の中央値の２分の１	162.5 万円

総世帯数(A)	2,639 世帯
等価世帯収入の算出が可能な世帯数(B)	2,406 世帯
等価世帯収入の中央値以上の世帯数(C)	1,298 世帯
等価世帯収入の中央値の２分の１以上中央値未満の世帯数(D)	858 世帯
等価世帯収入の中央値の２分の１以上中央値未満の世帯の割合(D/B)	35.7%
等価世帯収入の中央値の２分の１未満の世帯数(E)	250 世帯
等価世帯収入の中央値の２分の１未満の世帯の割合(E/B)	10.4%



⑵　世帯の状況による分類

①　ふたり親

保護者対象調査の問１（回答者の続柄）で「父（継父を含む）」又は「母（継母を含む）」と回答した世帯のうち、問２（婚姻関係）で「結婚している（再婚や事実婚を含む）」又は「結婚していないが、同居しているパートナーがいる」と回答した世帯を、「ふたり親」としました。

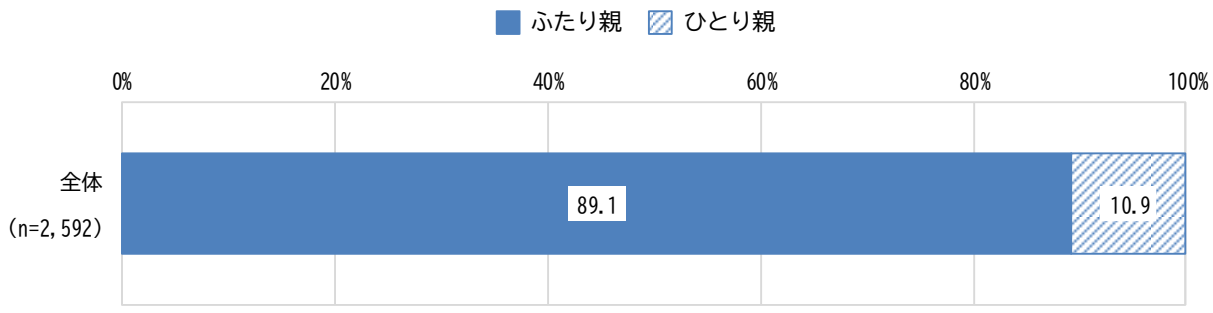
②　ひとり親

保護者対象調査の問１（回答者の続柄）で「父（継父を含む）」又は「母（継母を含む）」と回答した世帯のうち、問２（婚姻関係）で「結婚していない（離婚、または離婚に近い状態の別居）」、「結婚していない（死別）」又は「結婚していない（結婚したことがない）」と回答した世帯を、「ひとり親」としました。

③　その他

①及び②を除く世帯を「その他」としました。（サンプル数が少ないため、本文中では省略）

問１（回答者の続柄）	問２（婚姻関係）	世帯分類
1.父 2.母	1.結婚している（再婚や事実婚を含む）	ふたり親 (2,310 世帯)
	2.結婚していないが、同居しているパートナーがいる	
	3.結婚していない（離婚、または離婚に近い状態の別居）	ひとり親 (282 世帯)
	4.結婚していない（死別）	
	5.結婚していない（結婚したことがない）	
3.祖父母 4.親戚（おじ、おば、いとこ） 5.施設職員・里親 6.その他 不明・無回答		その他 (47 世帯)



6　調査結果の表示方法

○　本文や図表で調査票の質問文や選択肢を引用する場合、表現を一部変更している場合があります。

○　回答は、各設問ごとの有効回答数（ｎ）を基数とした百分率（%）で示しています。この百分率は、小数点以下第２位を四捨五入しているため、回答率の合計が 100.0%にならないことがあります。

○　本調査のサンプルは無作為抽出によるものではありませんが、母集団を市内 11 歳人口と 14 歳人口の合計（4,917 人＋5,066 人＝9,983 人）とし、単純任意抽出法（無作為抽出）を仮定した場合の標本誤差を計算すると、下表のとおりとなります。

＜測定値（%）における標本誤差表＞

			総数	収入の水準による分類	世帯の状況による分類
母集団(N)			9,983	9,983	9,983
サンプル数(n)			2,639	2,406	2,592
回答者の比率	50%		1.6	1.7	1.7
	55%	45%	1.6	1.7	1.6
	60%	40%	1.6	1.7	1.6
	65%	35%	1.6	1.7	1.6
	70%	30%	1.5	1.6	1.5
	75%	25%	1.4	1.5	1.4
	80%	20%	1.3	1.4	1.3
	85%	15%	1.2	1.2	1.2
	90%	10%	1.0	1.0	1.0
	95%	5%	0.7	0.8	0.7

※　たとえば、子ども対象調査の問１で「男」と回答したのは、総数の 48.8%です。上の表で 48.8%に最も近いのは「50%」の欄で、「総数」における標本誤差は 1.6 となっています。

本調査の信頼度を 95%とした場合（同じ調査を 100 回行った場合、95 回まで同じ結果になるという精度）、母集団の値（市内の 11 歳及び 14 歳全員に聞いた場合の回答値）は、48.8%±1.6%であると推定することができます。

Ⅱ　調査対象者の基本属性

子ども対象調査

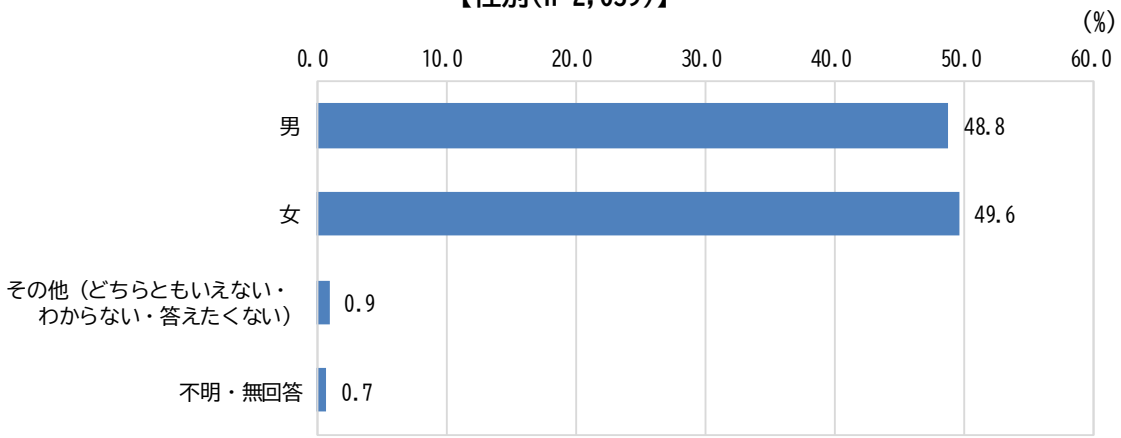
1　性別

問１　あなたの性別を教えてください。（１つに○）

男女がほぼ同数となっています。

また、「その他（どちらともいえない・わからない・答えたくない）」と回答した人が、0.9％となっています。

【性別(n=2,639)】

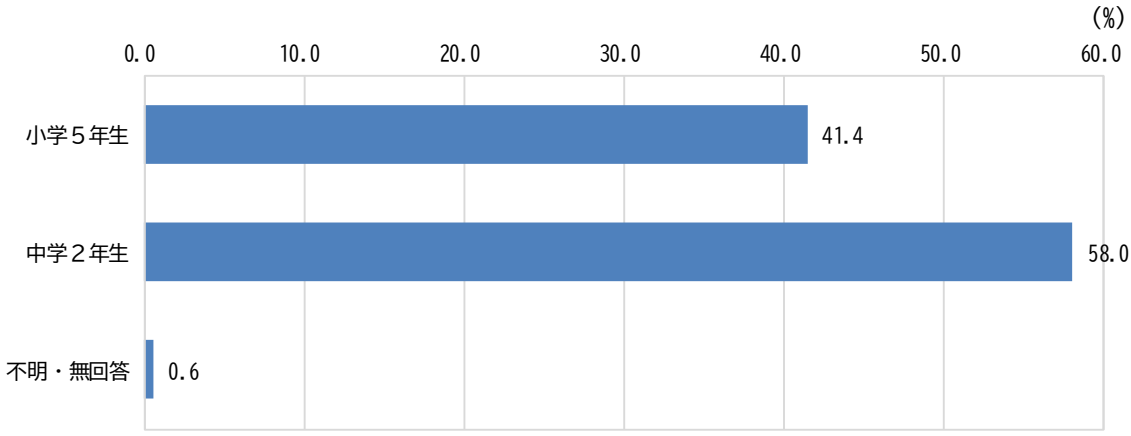


2　学年

問２　あなたの学年を教えてください。（１つに○）

回答者の学年については、下図のとおりとなっています。

【学年(n=2,639)】

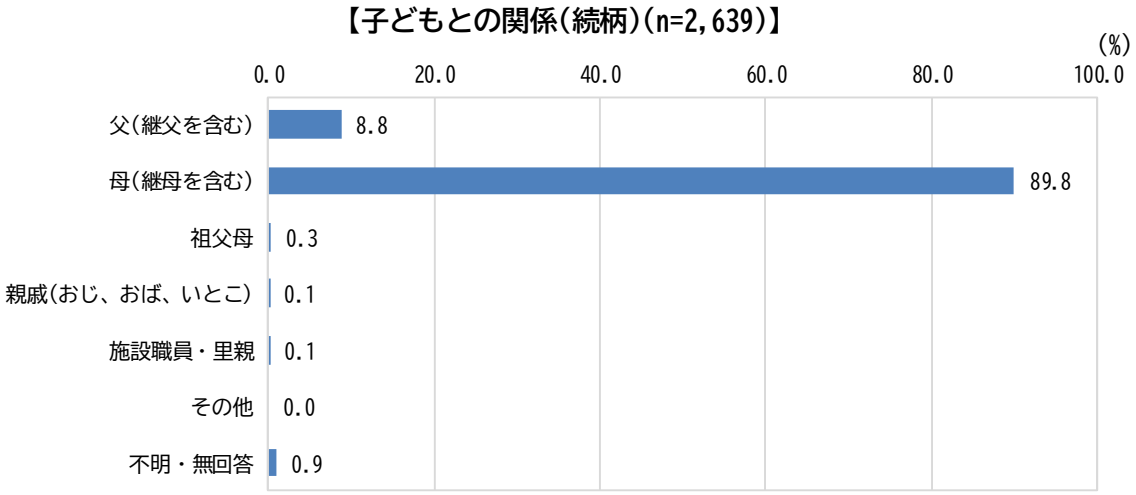


保護者対象調査

1　子どもとの関係（続柄）

問１　あなたは、お子さんに対してどのような立場（続柄）ですか。（１つに○）

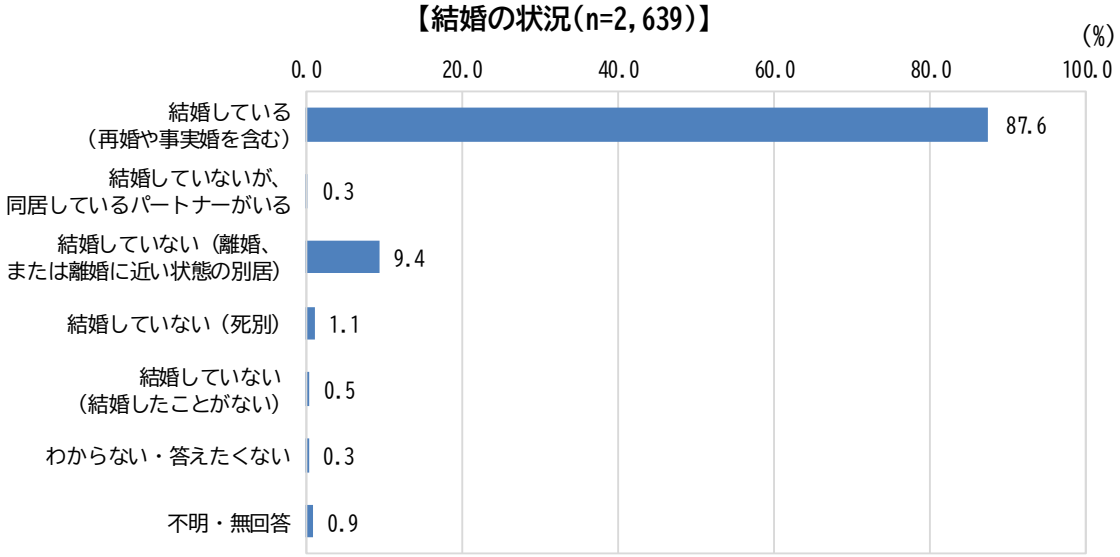
「母（継母を含む）」が最も高く、次いで「父（継父を含む）」となっています。



2　結婚の状況

問２　あなたは現在、結婚していますか。（１つに○）

「結婚している(再婚や事実婚を含む)」が最も高く、次いで「結婚していない（離婚、または離婚に近い状態の別居)」となっています。

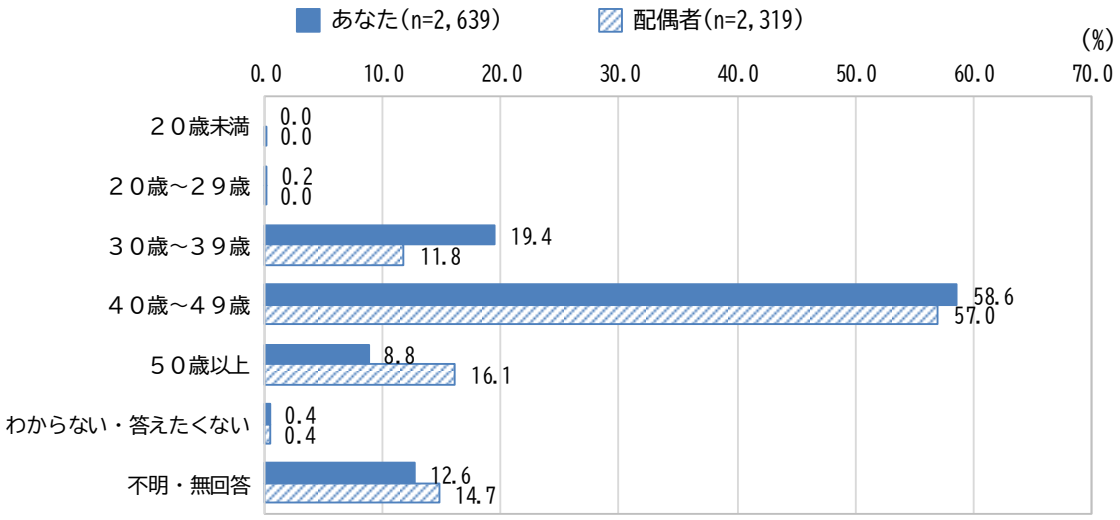


3　年齢

問３　あなたの現在の年齢（令和５年 11 月１日現在）をお答えください。
あなたに配偶者や同居しているパートナーがいる場合は、その方の年齢（令和５年 11 月１日現在）もお答えください。（１つに○）

回答者、配偶者とも「40 歳～49 歳」が５割以上を占めています。

【年　齢】

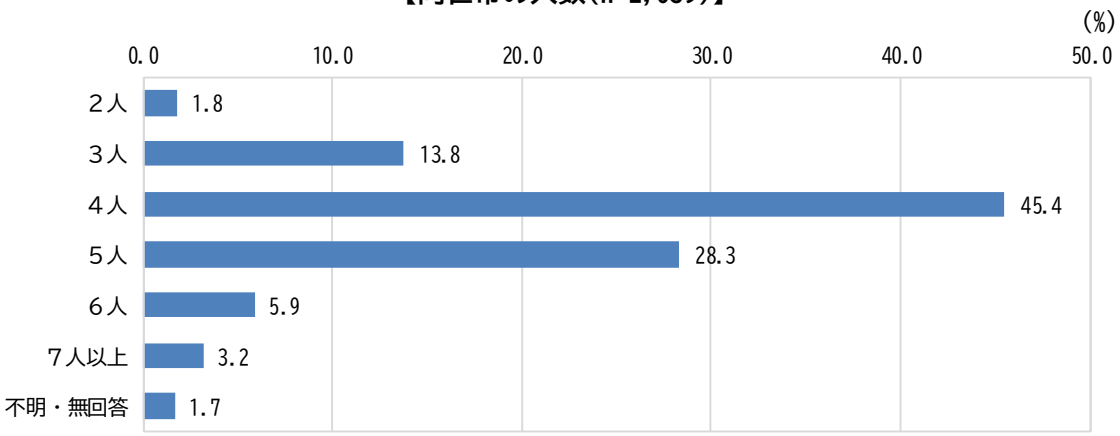


4　同世帯の人数

問４　お子さんと同居し、生計を同じくしているご家族は（あなたとお子さんを含めて）何人ですか。※ 単身赴任中の方や、学業のために世帯を離れている方も含めてお答えください。（数字を記入）

「４人」が最も高く、次いで「５人」、「３人」となっています。

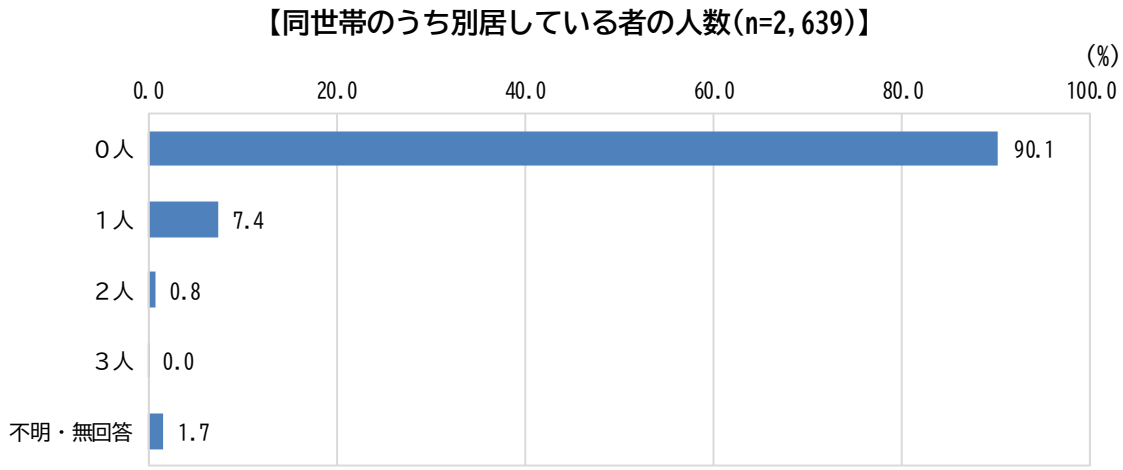
【同世帯の人数(n=2,639)】



5　同世帯のうち別居している者の人数

問５　同世帯のご家族のうち、単身赴任中の方や、学業のために世帯を離れているお子さんなど、同居していないけれども生計が同一の方がいる場合は、その人数をお答えください。（数字を記入）

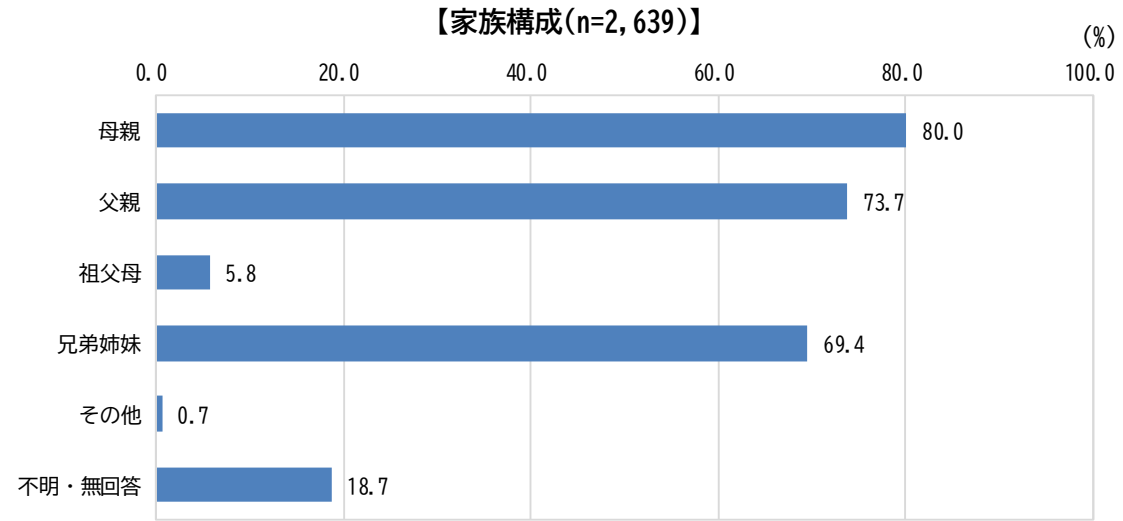
「０人」が最も多く、次いで「１人」となっています。



6　家族構成

問６　同世帯のご家族には、お子さんから見てどの関係の方が含まれますか。（すべてに○）

「母親」が最も高く、次いで「父親」、「兄弟姉妹」となっています。



Ⅲ　調査の結果

子ども対象調査

1　学校生活について

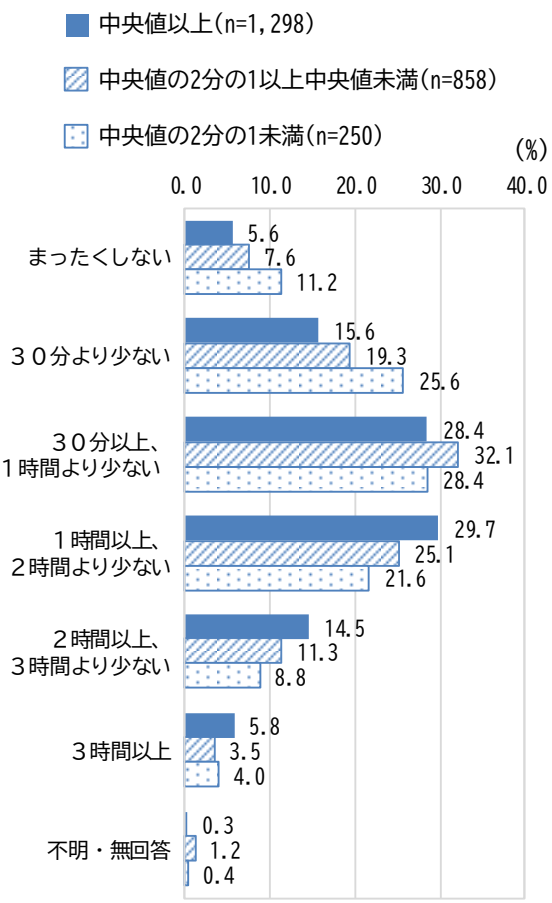
⑴　一日あたりの勉強時間

問３　あなたは、学校の授業以外に、ふだん一日あたり大体どのくらいの時間、勉強しますか。
（学校の宿題をする時間や、 塾などでの勉強時間も含みます。）（１つに○）

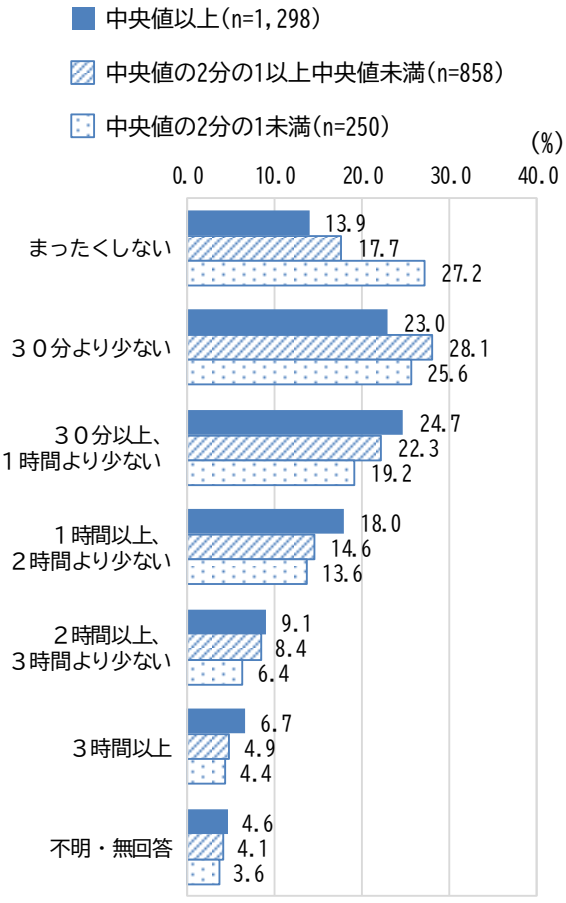
収入の水準別にみると、「学校がある日（月～金曜日）」については、「中央値以上」の世帯では「１時間以上、２時間より少ない」、「中央値の２分の１以上中央値未満」の世帯及び「中央値の２分の１未満」の世帯では「30 分以上、１時間より少ない」が最も高くなっています。

「学校がない日（土・日・祝日）」については、「中央値以上」の世帯では「30 分以上、１時間より少ない」、「中央値の２分の１以上中央値未満」の世帯では「30 分より少ない」、「中央値の２分の１未満」の世帯では「まったくしない」が最も高くなっています。

【学校がある日（月～金曜日）：収入の水準別】



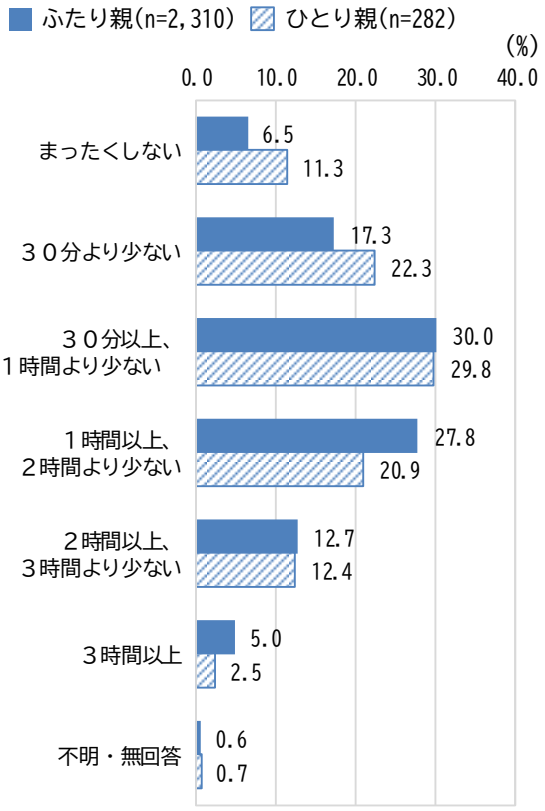
【学校がない日（土・日・祝日）：収入の水準別】



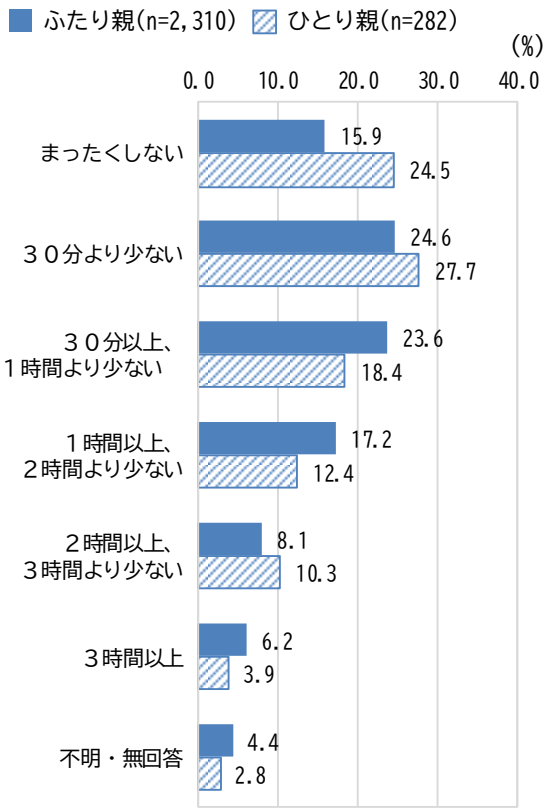
世帯の状況別にみると、「学校がある日（月～金曜日）」については、いずれの世帯でも「30 分以上、１時間より少ない」が最も高くなっています。次いで高くなっているのは、「ふたり親」の世帯では「１時間以上、２時間より少ない」、「ひとり親」の世帯では「３０分より少ない」となっています。

「学校がない日（土・日・祝日）」については、いずれの世帯でも「30 分より少ない」が最も高くなっています。次いで高くなっているのは、「ふたり親」の世帯では「30 分以上、１時間より少ない」、「ひとり親」の世帯では「まったくしない」となっています。

【学校がある日（月～金曜日）：世帯の状況別】



【学校がない日（土・日・祝日）：世帯の状況別】



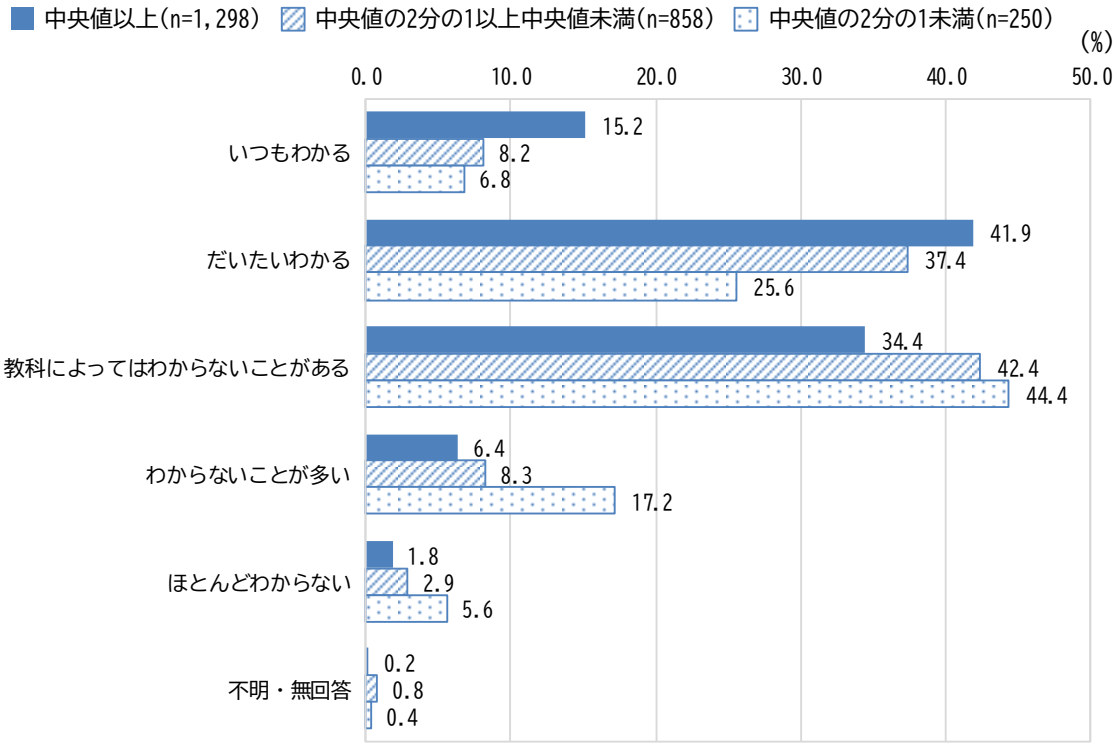
⑵　学校の勉強の理解度

問４　あなたは、学校の勉強がわからないことがありますか。（１つに○）

収入の水準別にみると、「中央値以上」の世帯では「だいたいわかる」、「中央値の２分の１以上中央値未満」の世帯及び「中央値の２分の１未満」の世帯では「教科によってはわからないことがある」が最も高くなっています。

「教科によってはわからないことがある」、「わからないことが多い」及び「ほとんどわからない」を合わせた割合は、「中央値以上」の世帯では 42.6%、「中央値の２分の１以上中央値未満」の世帯では 53.6%、「中央値の２分の１未満」の世帯では 67.2%と、収入の水神が低い層ほど高くなる傾向がみられます。

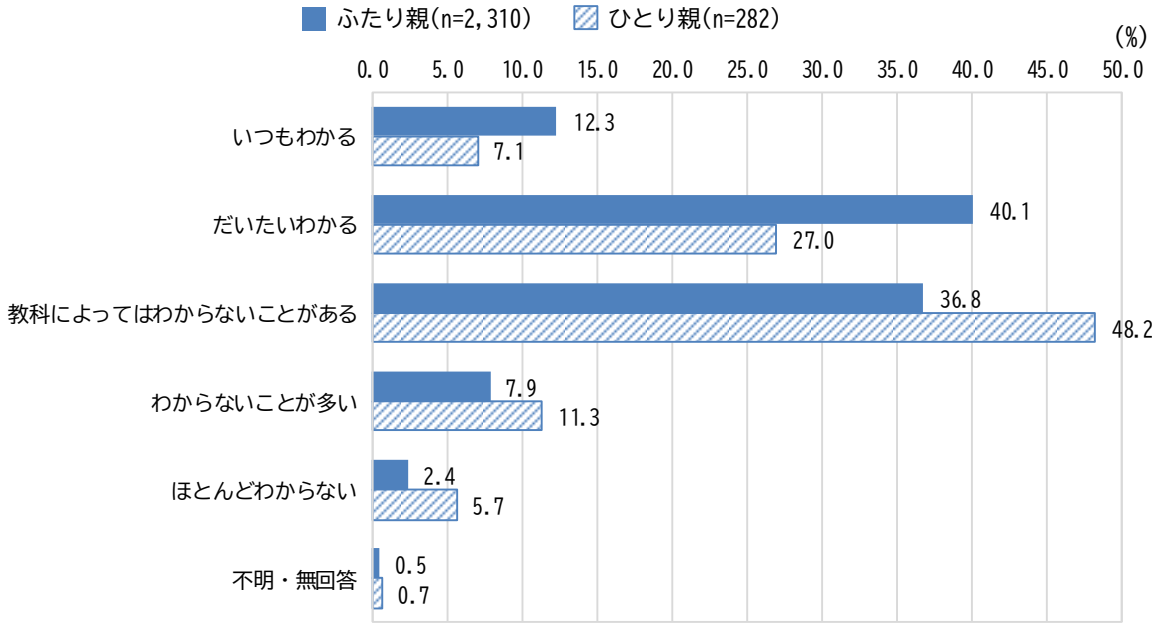
【学校の勉強の理解度：収入の水準別】



世帯の状況別にみると、「ふたり親」の世帯では「だいたいわかる」、「ひとり親」の世帯では「教科によってはわからないことがある」が最も高くなっています。

「教科によってはわからないことがある」、「わからないことが多い」及び「ほとんどわからない」を合わせた割合は、「ひとり親」の世帯では 65.2%と、「ふたり親」の世帯（47.1%）に比べて高くなっています。

【学校の勉強の理解度：世帯の状況別】



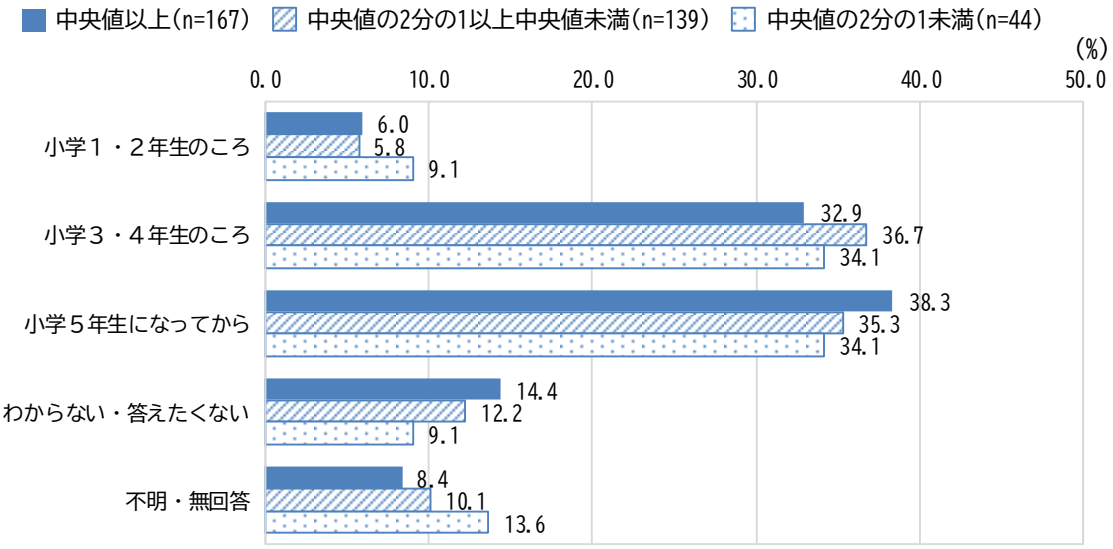
⑶　勉強がわからなくなった時期

問５　あなたは、いつごろから、学校の勉強がわからないようになりましたか。（１つに○）
【問４で「教科によってはわからないことがある」、「わからないことが多い」、「ほとんどわからない」と回答した方への設問】

①　　小学５年生

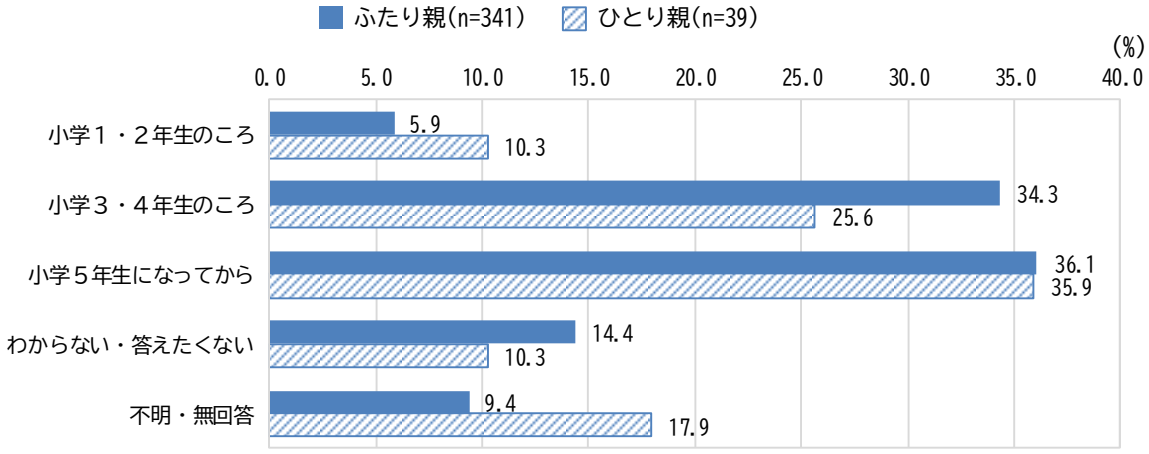
収入の水準別にみると、いずれの世帯でも「小学３・４年生のころ」、「小学５年生のころ」が高くなっています。また、「小学１・２年生のころ」については、「中央値の２分の１未満」の世帯では 9.1％と、他の世帯に比べてやや高くなっています。

【学校の勉強がわからなくなった時期（小学５年生）：収入の水準別】



世帯の状況別にみると、いずれの世帯でも「小学５年生になってから」が最も高く、次いで「小学３・４年生のころ」となっています。また、「小学１・２年生のころ」については、「ひとり親」の世帯では 10.3％と、「ふたり親」の世帯に比べてやや高くなっています。

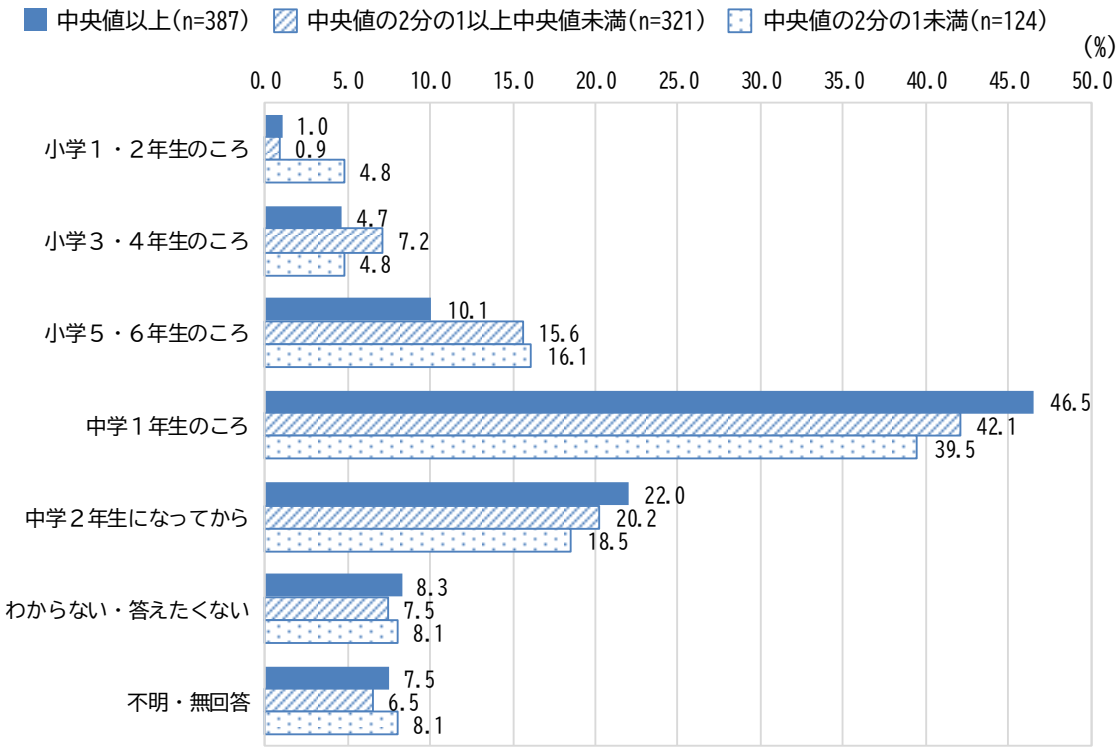
【学校の勉強がわからなくなった時期（小学５年生）：世帯の状況別】



② 中学２年生

収入の水準別にみると、いずれの世帯でも「中学１年生のころ」が最も高く、次いで「中学２年生になってから」となっています。

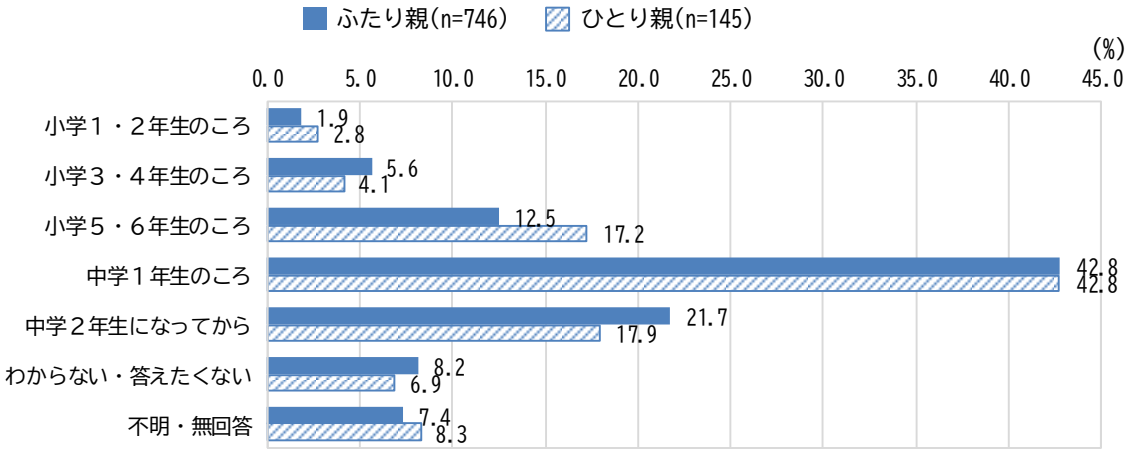
【学校の勉強がわからなくなった時期（中学２年生）：収入の水準別】



世帯の状況別にみると、いずれの世帯でも「中学１年生のころ」が最も高くなっています。

「ひとり親」の世帯では、「小学５・６年生のころ」が「ふたり親」の世帯に比べてやや高くなっている一方で、「中学２年生になってから」が「ふたり親」の世帯に比べてやや低くなっています。

【学校の勉強がわからなくなった時期（中学２年生）：世帯の状況別】



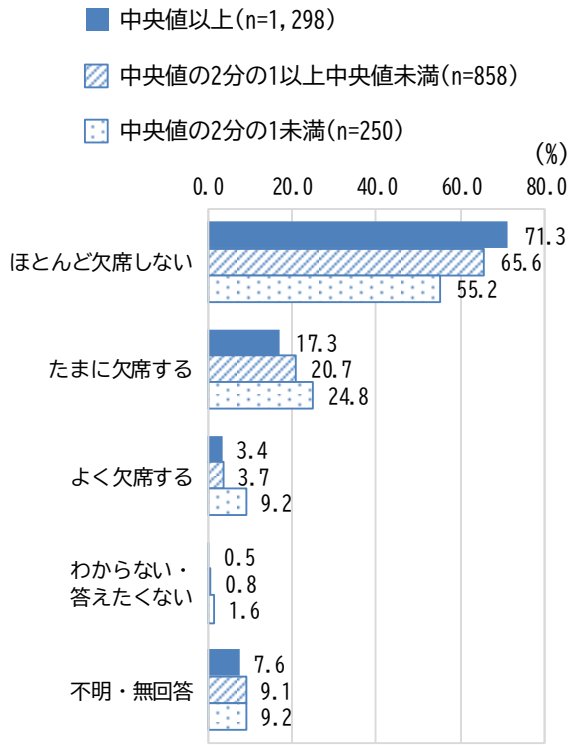
⑷　欠席、遅刻・早退

問６　あなたは、学校を欠席したり、遅刻や早退をすることがありますか。（１つに○）

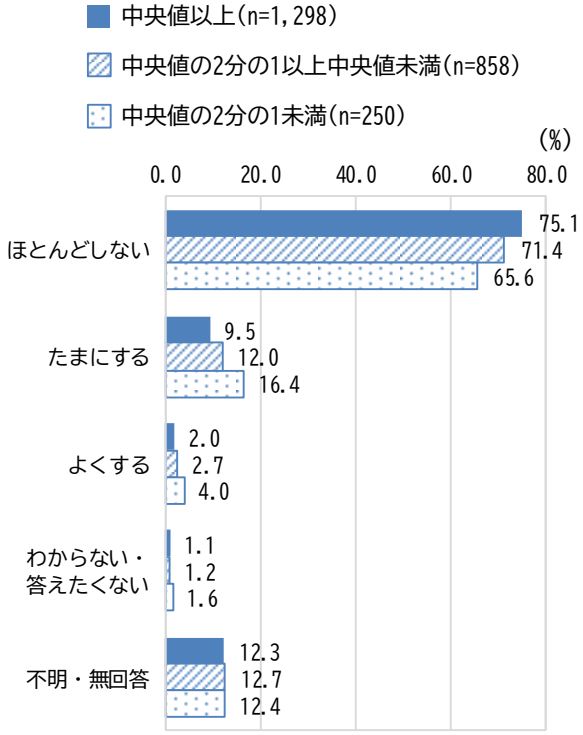
収入の水準別にみると、欠席については「ほとんど欠席しない」、遅刻・早退については「ほとんどしない」が、いずれの世帯でも最も高くなっています。

「中央値の２分の１未満」の世帯では、欠席については「たまに欠席する」、「よく欠席する」が、遅刻・早退については「たまにする」が、他の世帯に比べてやや高くなっています。

【欠席：収入の水準別】



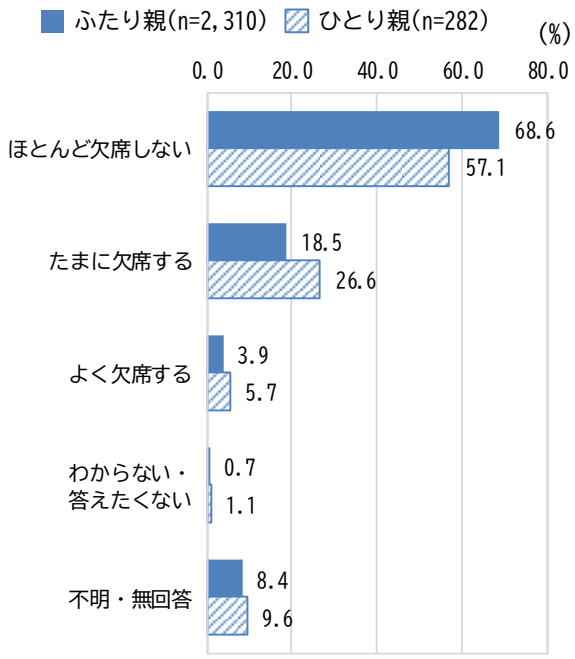
【遅刻・早退：収入の水準別】



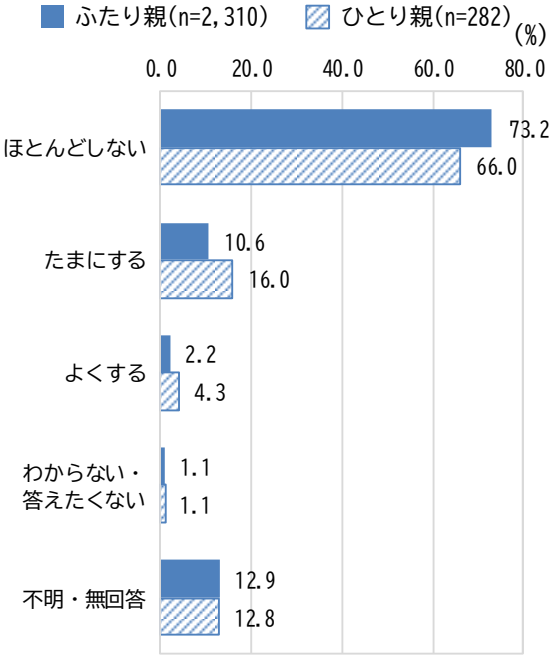
世帯の状況別にみると、「欠席」については「ほとんど欠席しない」、「遅刻・早退」については「ほとんどしない」が、いずれの世帯でも最も高くなっています。

また、「ひとり親」の世帯では、「欠席」については「たまに欠席する」が、「遅刻・早退」については「たまにする」が、「ふたり親」の世帯に比べてやや高くなっています。

【欠席：世帯の状況別】



【遅刻・早退：世帯の状況別】



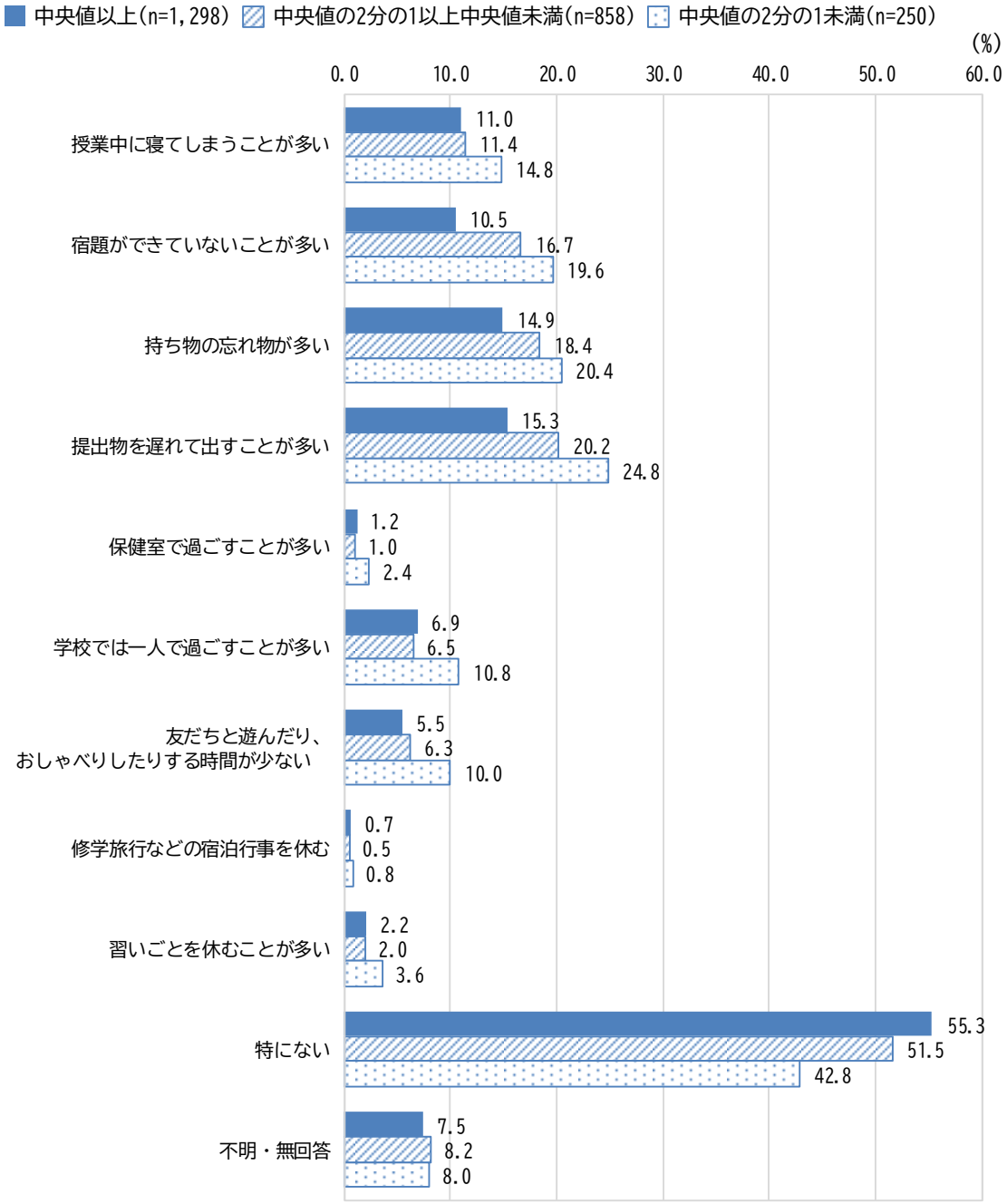
⑸　学校生活の状況

問７　あなたの学校生活などにおいて、以下の中であてはまるものはありますか。（すべてに○）

収入の水準別にみると、いずれの世帯でも「特にない」が最も高くなっています。

また、「中央値の２分の１未満」の世帯では、「特にない」を除く全ての項目について、他の世帯よりやや高くなっています。

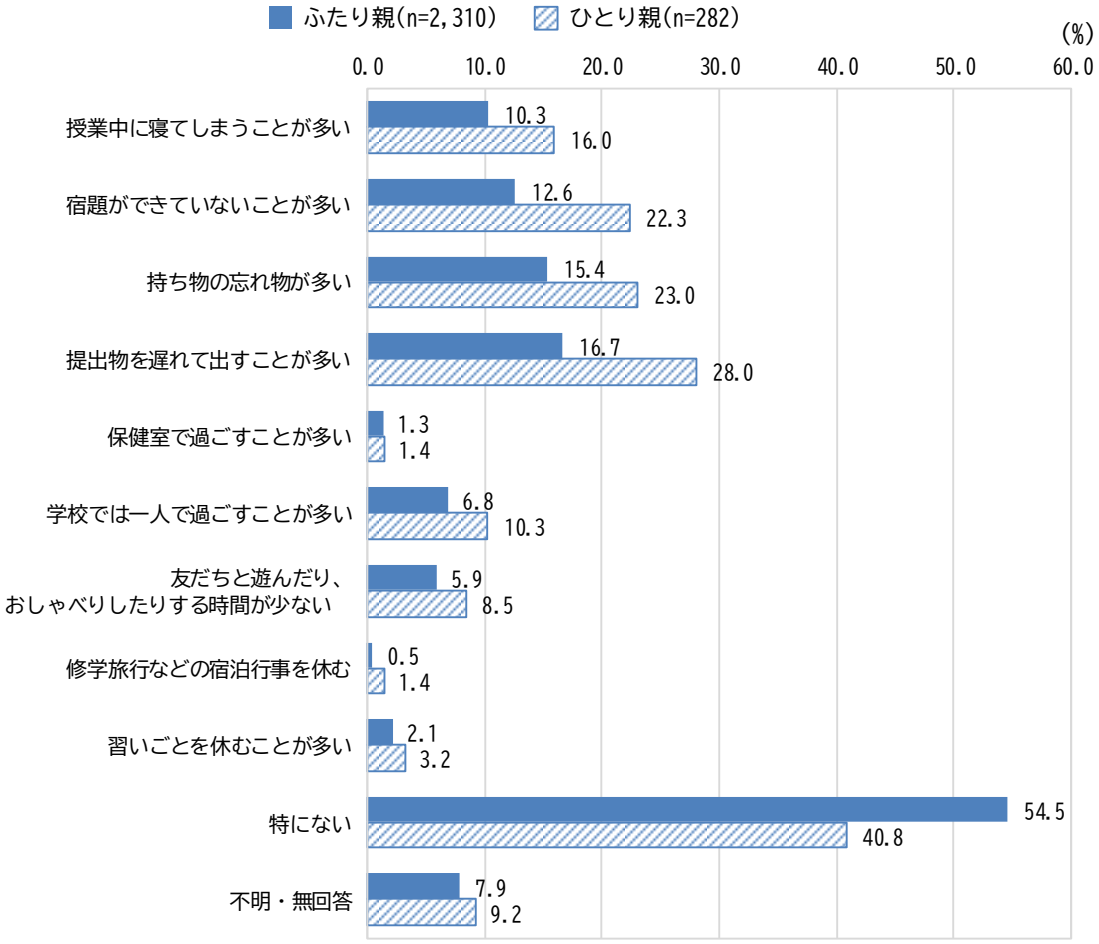
【学校生活の状況：収入の水準別】



世帯の状況別にみると、いずれの世帯でも「特にない」が最も高くなっています。

また、「ひとり親」の世帯では、「特にない」を除く全ての項目について、「ふたり親」の世帯に比べてやや高くなっています。

【学校生活の状況：世帯の状況別】

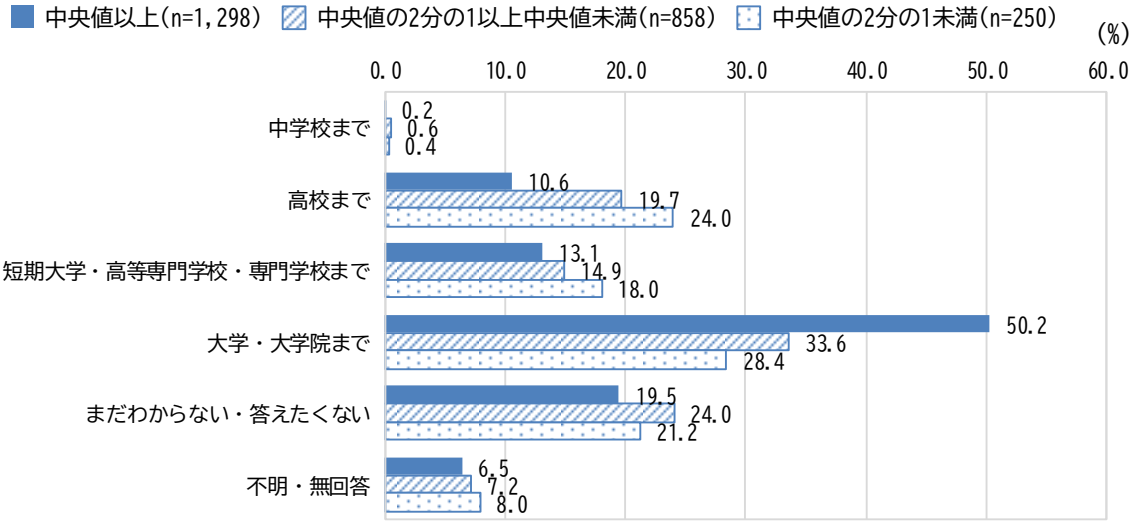


⑹　進学を希望する教育段階

問８　あなたは、将来、どの段階まで進学したいですか。（１つに○）

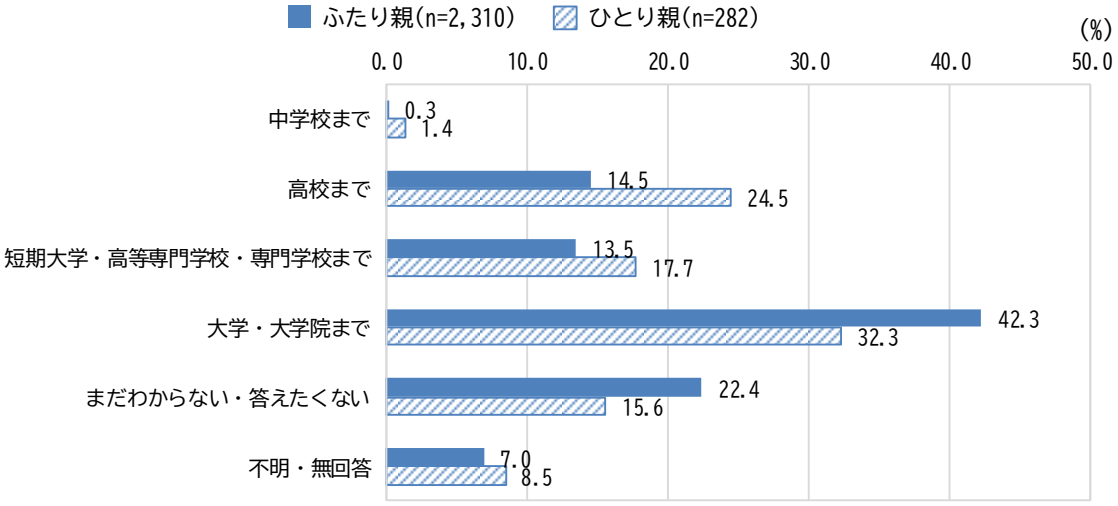
収入の水準別にみると、「中央値以上」の世帯では「大学・大学院まで」が最も高く５割以上となっています。「中央値の２分の１以上中央値未満」の世帯及び「中央値の２分の１未満」の世帯でも「大学・大学院まで」が最も高くなっていますが、「中央値以上」の世帯に比べて低くなっており、その一方で、「高校まで」の割合が「中央値以上」の世帯に比べて高くなっています。

【進学を希望する教育段階：収入の水準別】



世帯の状況別にみると、「ふたり親」の世帯では「大学・大学院まで」が最も高くなっています。「ひとり親」の世帯でも「大学・大学院」が最も高くなっていますが、「ふたり親」の世帯に比べて低くなっており、その一方で、「高校まで」の割合が「ふたり親」の世帯に比べて高くなっています。

【進学を希望する教育段階：世帯の状況別】



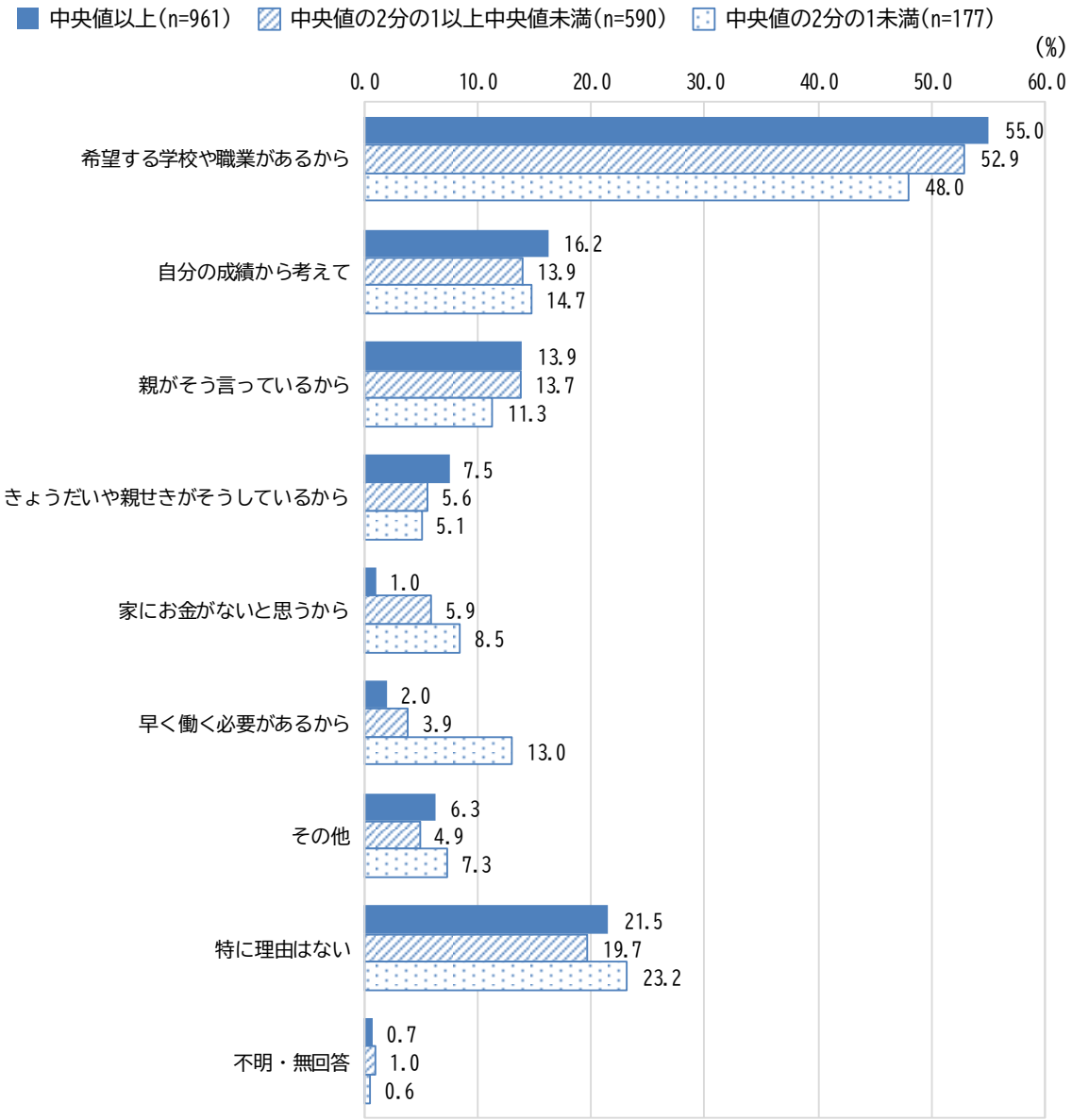
⑺　進学段階に関する希望の理由

問９　進学段階に関する希望について、あなたがそう思う理由を教えてください。（すべてに○）
【問８で「中学校まで」「高校まで」「短期大学・高等専門学校・専門学校まで」「大学・大学院まで」と回答した方への設問】

収入の水準別にみると、いずれの世帯でも「希望する学校や職業があるから」が最も高く、次いで「特に理由はない」となっています。

また、「中央値の２分の１未満」の世帯では、「家にお金がないと思うから」、「早く働く必要があるから」が、他の世帯に比べてやや高くなっています。

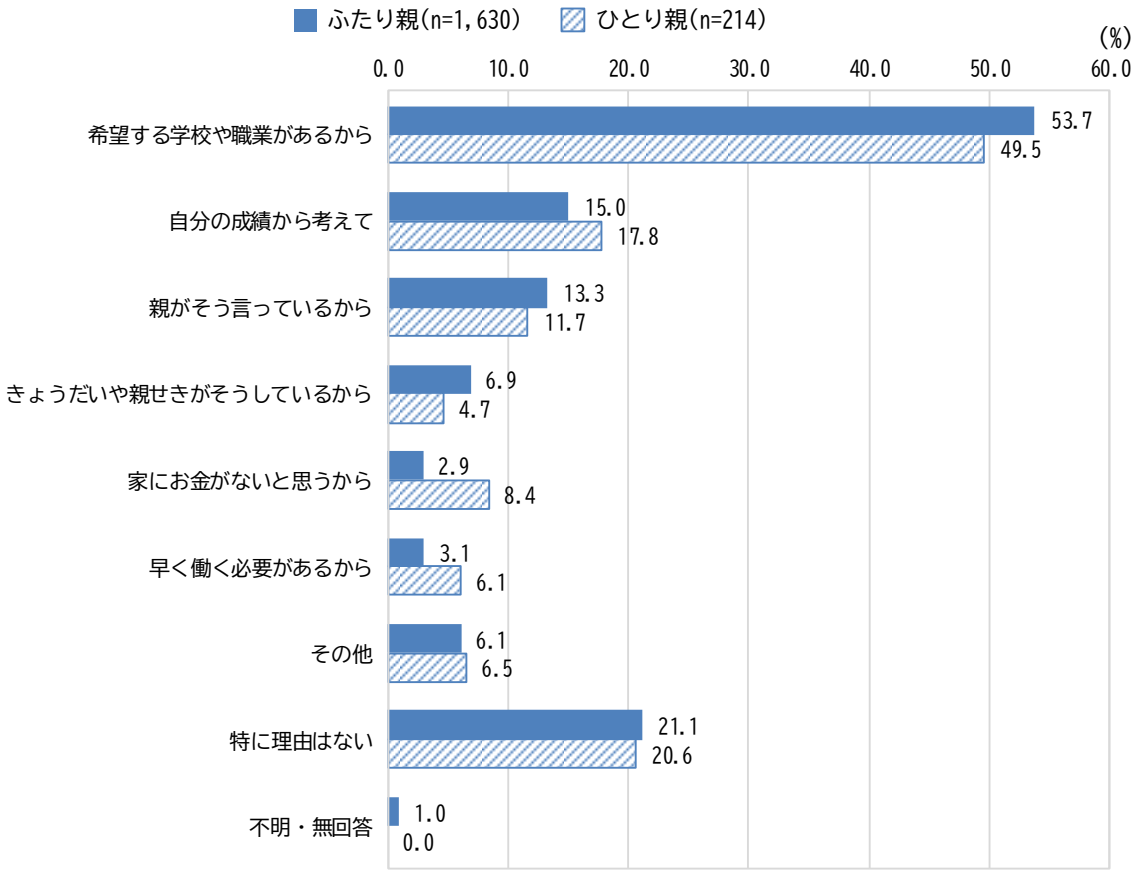
【進学段階に関する希望の理由：収入の水準別】



世帯の状況別にみると、いずれの世帯でも「希望する学校や職業があるから」が最も高く、次いで「特に理由はない」となっています。

また、「ひとり親」の世帯では、「家にお金がないと思うから」、「早く働く必要があるから」が、「ふたり親」の世帯に比べてやや高くなっています。

【進学段階に関する希望の理由：世帯の状況別】



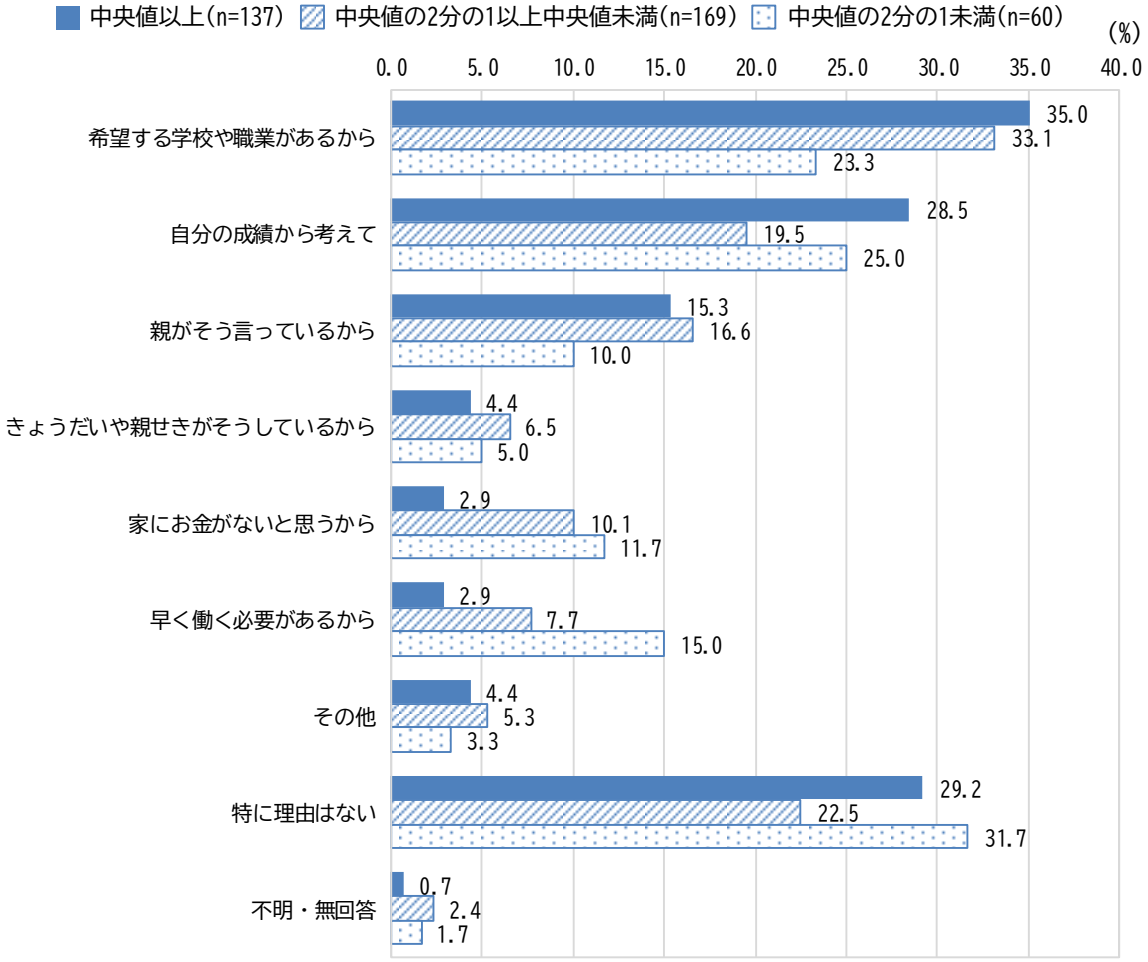
進学段階に関する希望の理由について、進学段階（「高校（高等学校）まで」、「短期大学・高等専門学校・専門学校まで」又は「大学・大学院まで」）ごとに集計を行いました。

なお、「中学校まで」については、回答数が少ないため掲載を省略しています。

「高校（高等学校）まで」と回答した人の理由を収入の水準別にみると、「中央値以上」の世帯及び「中央値の２分の１以上中央値未満」の世帯では「希望する学校や職業があるから」が最も高く、「中央値の２分の１未満」の世帯では「特に理由はない」が最も高くなっています。

また、「中央値の２分の１未満」の世帯では「早く働く必要があるから」が、他の世帯に比べてやや高くなっています。

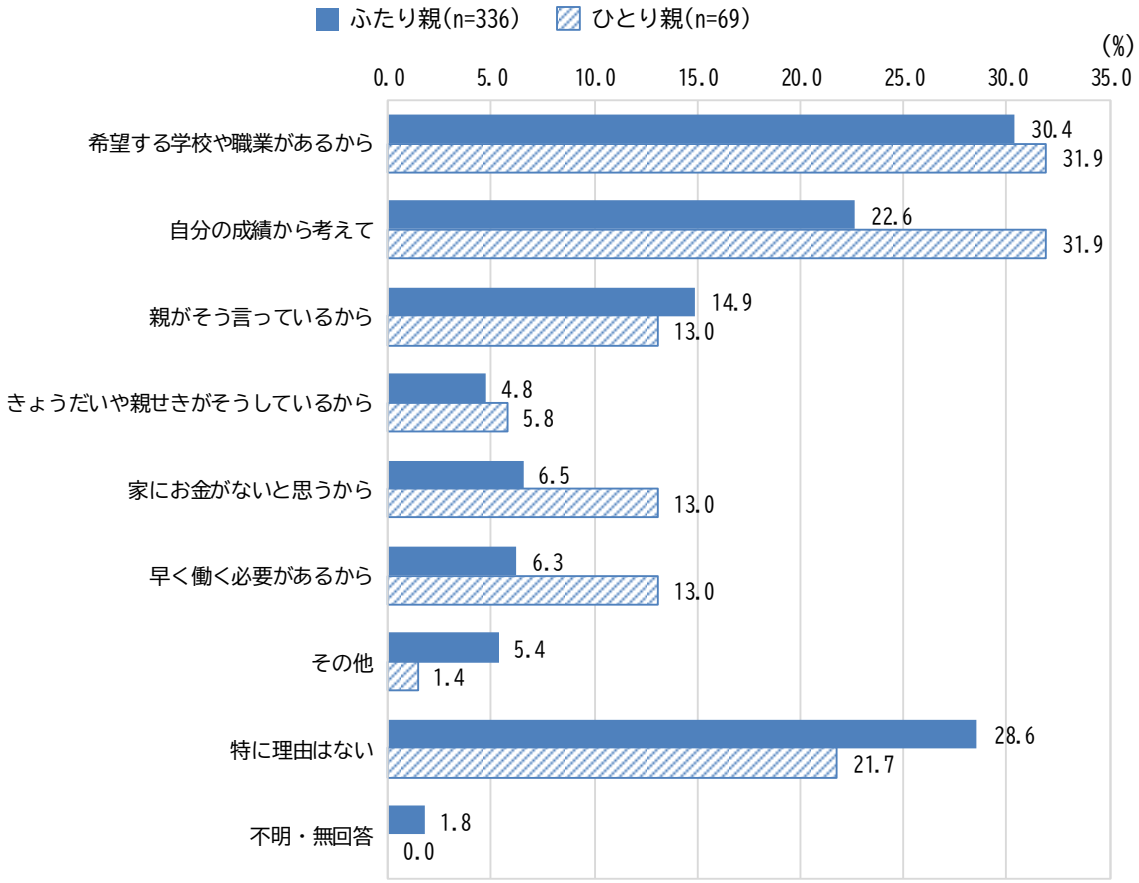
【進学段階に関する希望の理由（高校（高等学校）まで）：収入の水準別】



「高校（高等学校）まで」と回答した人の理由を世帯の状況別にみると、「ふたり親」の世帯では「希望する学校や職業があるから」、「自分の成績から考えて」が最も高く、次いで「特に理由はない」となっており、「ひとり親」の世帯では「希望する学校や職業があるから」が最も高く、次いで「特に理由はない」、「自分の成績から考えて」となっています。

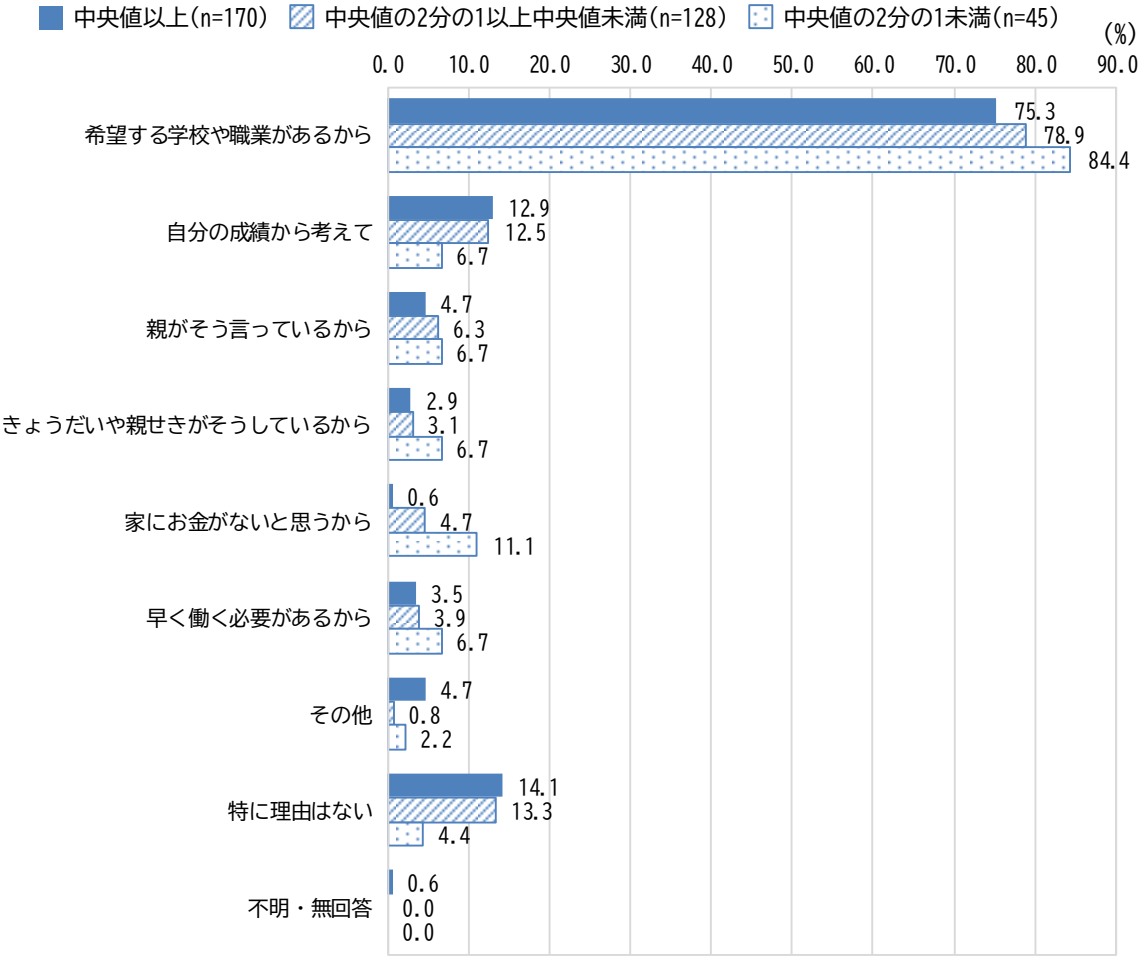
また、「ひとり親」の世帯では、「自分の成績から考えて」、「家にお金がないと思うから」、「早く働く必要があるから」が、「ふたり親」の世帯に比べてやや高くなっています。

【進学段階に関する希望の理由（高校（高等学校）まで）：世帯の状況別】



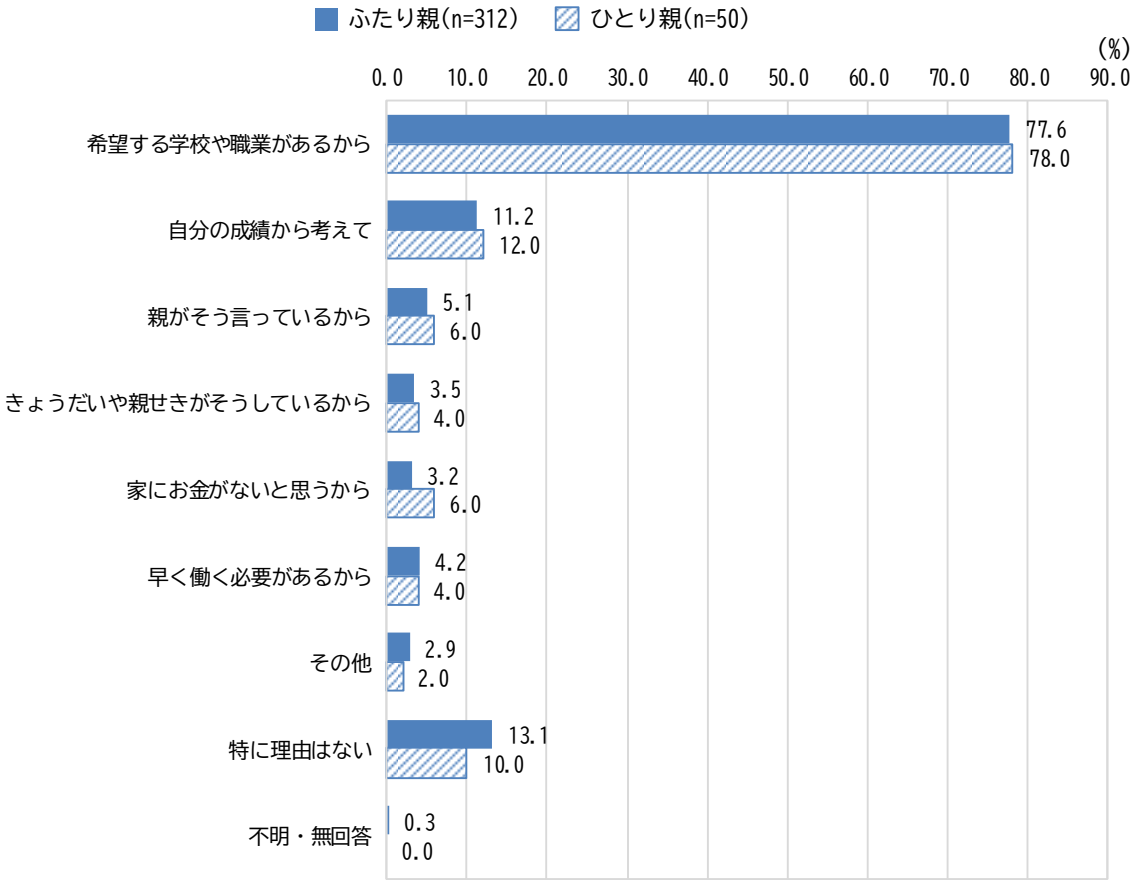
「短期大学・高等専門学校・専門学校まで」と回答した人の理由を収入の水準別にみると、いずれの世帯でも「希望する学校や職業があるから」が最も高くなっています。

【進学段階に関する希望の理由（短期大学・高等専門学校・専門学校まで）：収入の水準別】



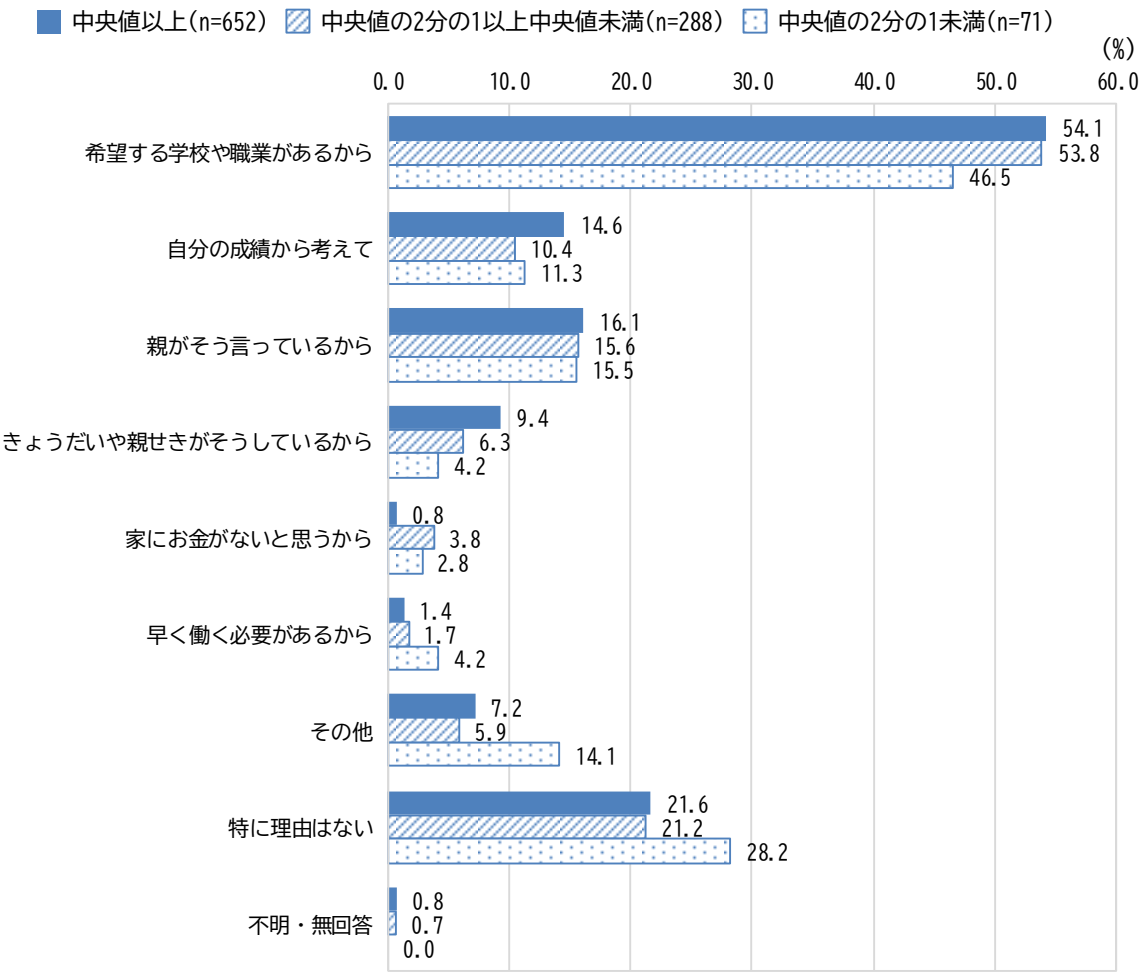
「短期大学・高等専門学校・専門学校まで」と回答した人の理由を世帯の状況別にみると、いずれの世帯でも「希望する学校や職業があるから」が最も高くなっています。

【進学段階に関する希望の理由（短期大学・高等専門学校・専門学校まで）：世帯の状況別】



「大学・大学院まで」と回答した人の理由を収入の水準別にみると、いずれの世帯でも「希望する学校や職業があるから」が最も高く、次いで「特に理由はない」となっています。

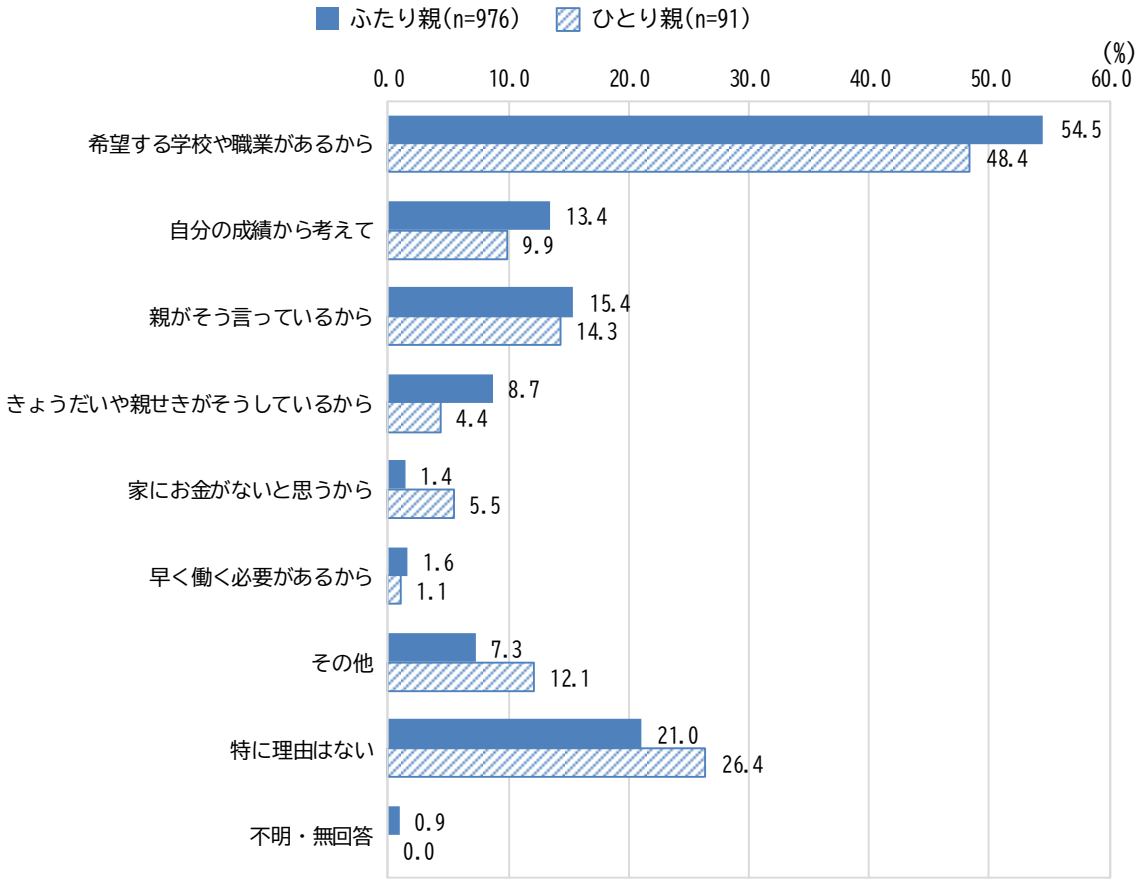
【進学段階に関する希望の理由（大学・大学院まで）：収入の水準別】



「大学・大学院まで」と回答した人の理由を世帯の状況別にみると、いずれの世帯でも「希望する学校や職業があるから」が最も高く、次いで「特に理由はない」となっています。

また、「ひとり親」の世帯では、「きょうだいや親せきがそうしているから」が「ふたり親」の世帯に比べてやや低くなっている一方で、「家にお金がないと思うから」が「ふたり親」の世帯に比べてやや高くなっています。

【進学段階に関する希望の理由（大学・大学院まで）：世帯の状況別】



2　学校外の勉強方法や習いごとなどについて

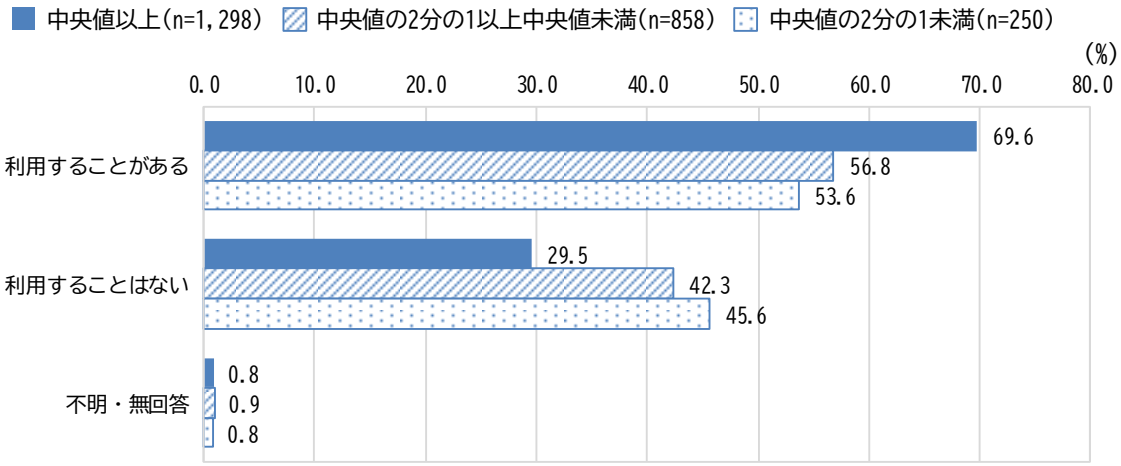
⑴　塾などの利用状況

問 10　あなたは、勉強をするにあたり、学校の授業や宿題以外に、塾や家庭教師、通信教材を利用することがありますか。（習字やそろばんなどの習いごとは含みません。）（１つに○）

収入の水準別にみると、いずれの世帯でも「利用することがある」が最も高くなっています。

「中央値以上」の世帯では「利用することがある」が他の世帯に比べて高くなっている一方で、「中央値の２分の１以上中央値未満」の世帯及び「中央値の２分の１未満」の世帯では「利用することはない」が「中央値以上」の世帯に比べて高くなっています。

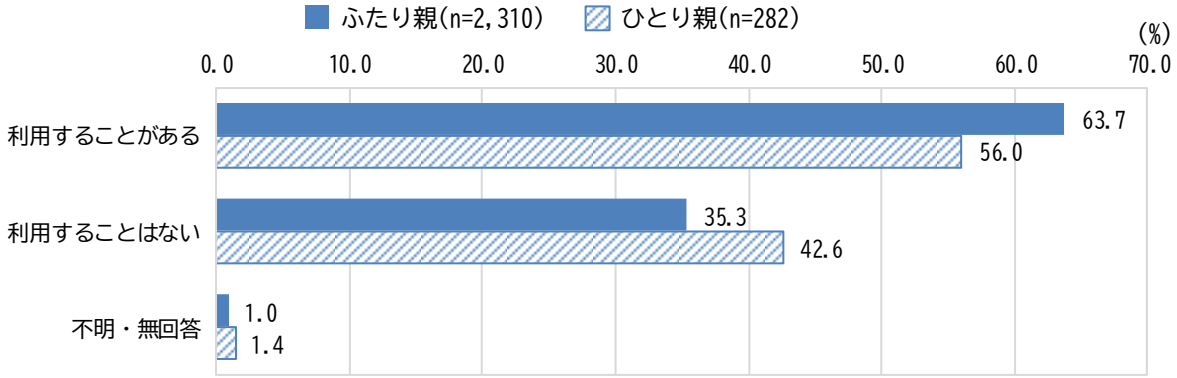
【塾などの利用状況：収入の水準別】



世帯の状況別にみると、いずれの世帯でも「利用することがある」が最も高くなっています。

「ひとり親」の世帯では「利用することがある」が「ふたり親」の世帯に比べてやや低くなっている一方で、「利用することはない」が「ふたり親」の世帯に比べてやや高くなっています。

【塾などの利用状況：世帯の状況別】



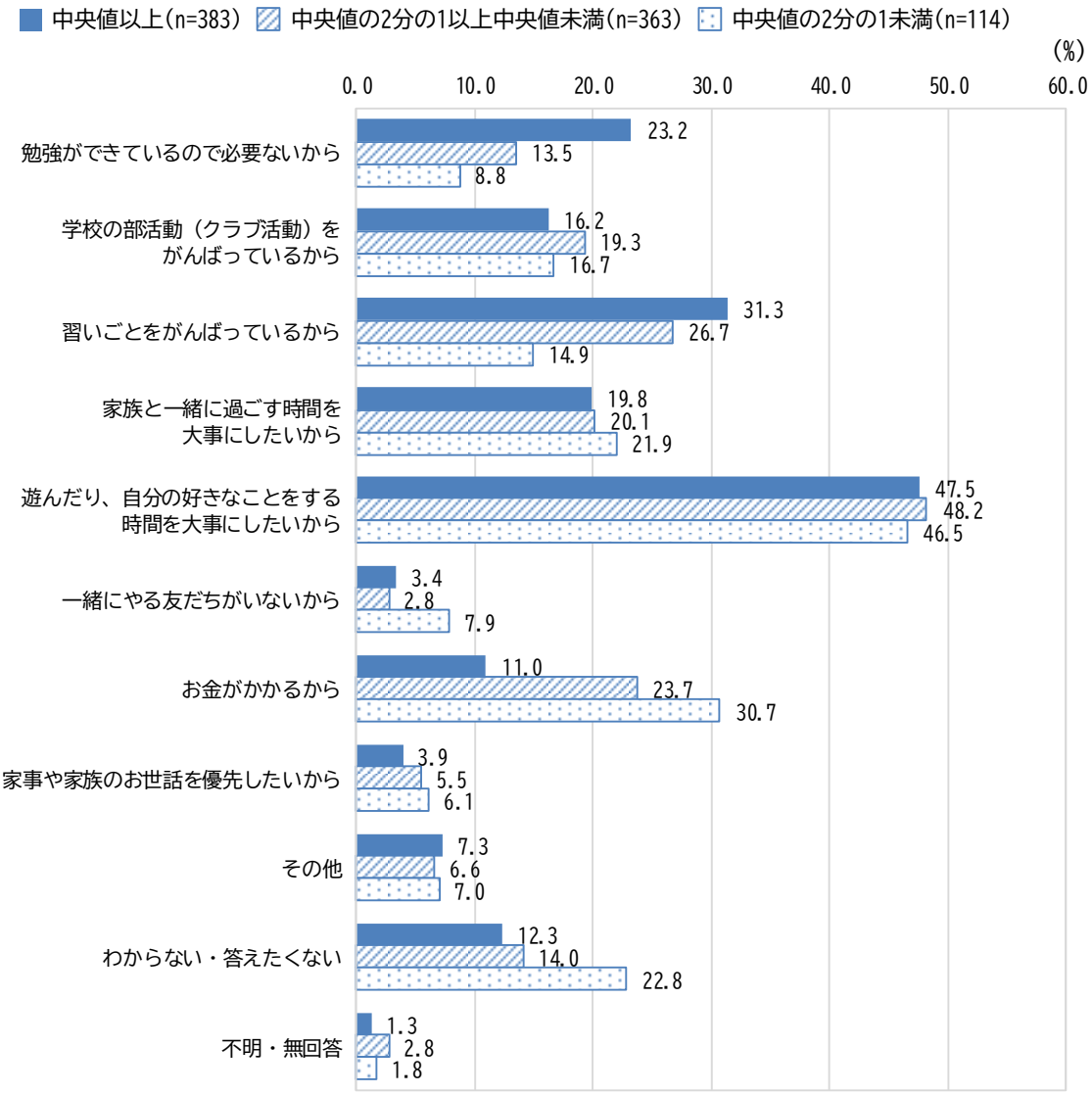
⑵　塾などを利用しない理由

問 11　あなたが塾や家庭教師、通信教材を利用しない理由を教えてください。（すべてに○）
【問 10 で「利用することはない」と回答した方への設問】

収入の水準別にみると、いずれの世帯でも「遊んだり、自分の好きなことをする時間を大事にしたいから」が最も高くなっています。

次いで高くなっているのは、「中央値以上の世帯」及び「中央値の２分の１以上中央値未満」の世帯では「習いごとをがんばっているから」、「中央値の２分の１未満」の世帯では「お金がかかるから」となっています。

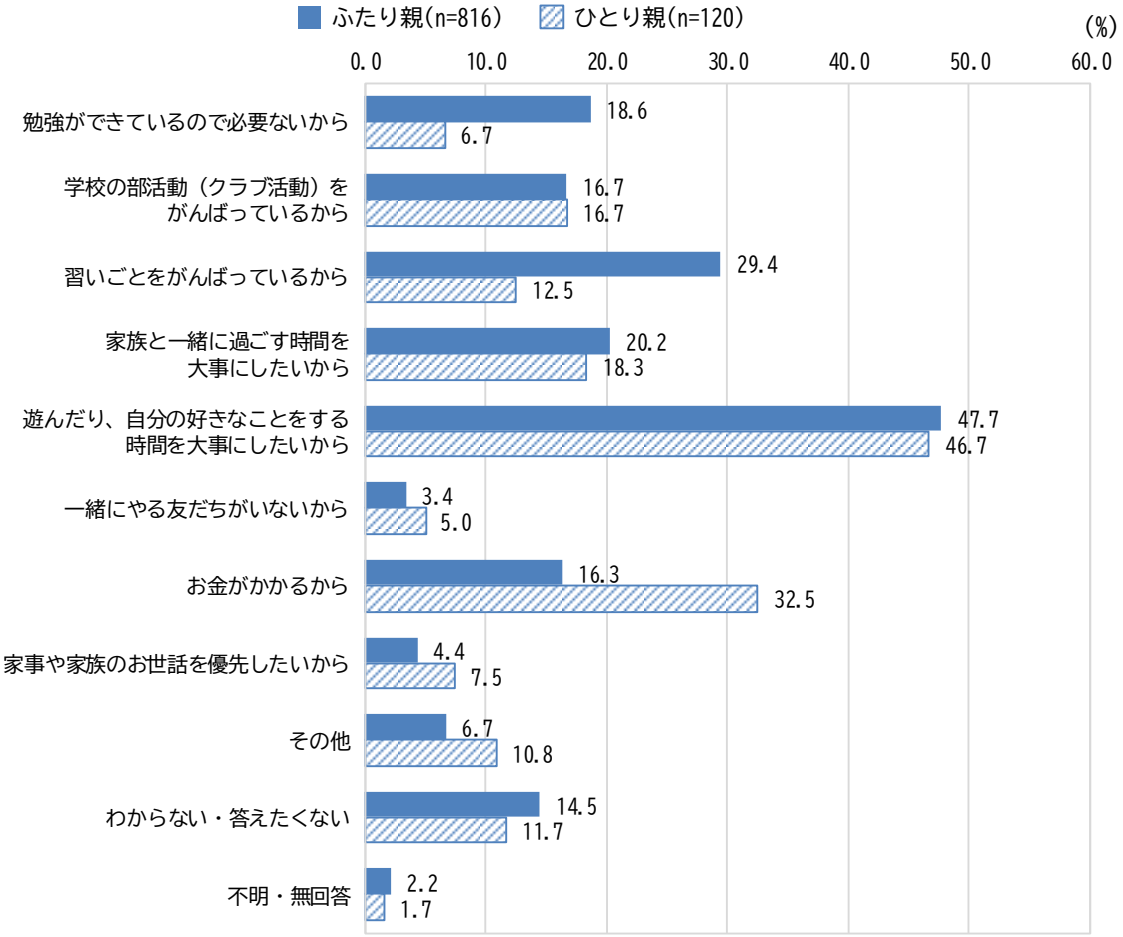
【塾などを利用しない理由：収入の水準別】



世帯の状況別にみると、いずれの世帯でも「遊んだり、自分の好きなことをする時間を大事にしたいから」が最も高くなっています。

次いで高くなっているのは、「ふたり親」の世帯では「習いごとをがんばっているから」、「ひとり親」の世帯では「お金がかかるから」となっています。

【塾などを利用しない理由：世帯の状況別】

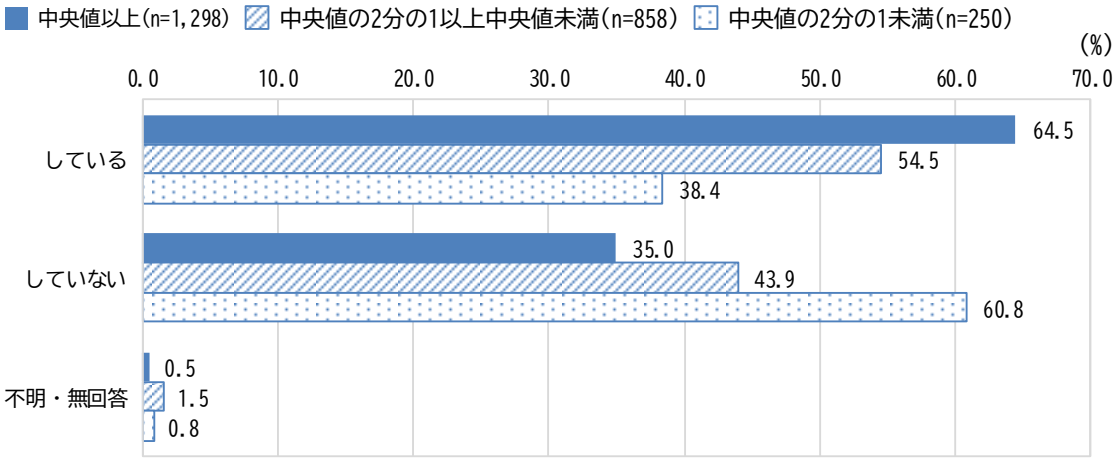


⑶　習いごとの状況

問 12　あなたは、習字やそろばん、ピアノ、スポーツなどの習いごとをしていますか。
（１つに○）

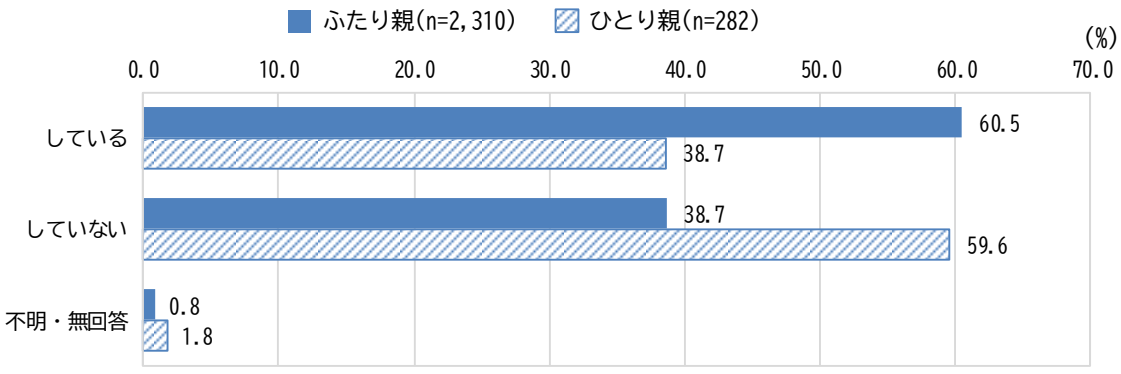
収入の水準別にみると、「中央値以上」の世帯及び「中央値の２分の１以上中央値未満」の世帯では「している」が最も高くなっているのに対して、「中央値の２分の１未満」の世帯では「していない」が最も高くなっています。

【習いごとの状況：収入の水準別】



世帯の状況別にみると、「ふたり親」の世帯では「している」が最も高くなっているのに対して、「ひとり親」の世帯では「していない」が最も高くなっています。

【習いごとの状況：世帯の状況別】



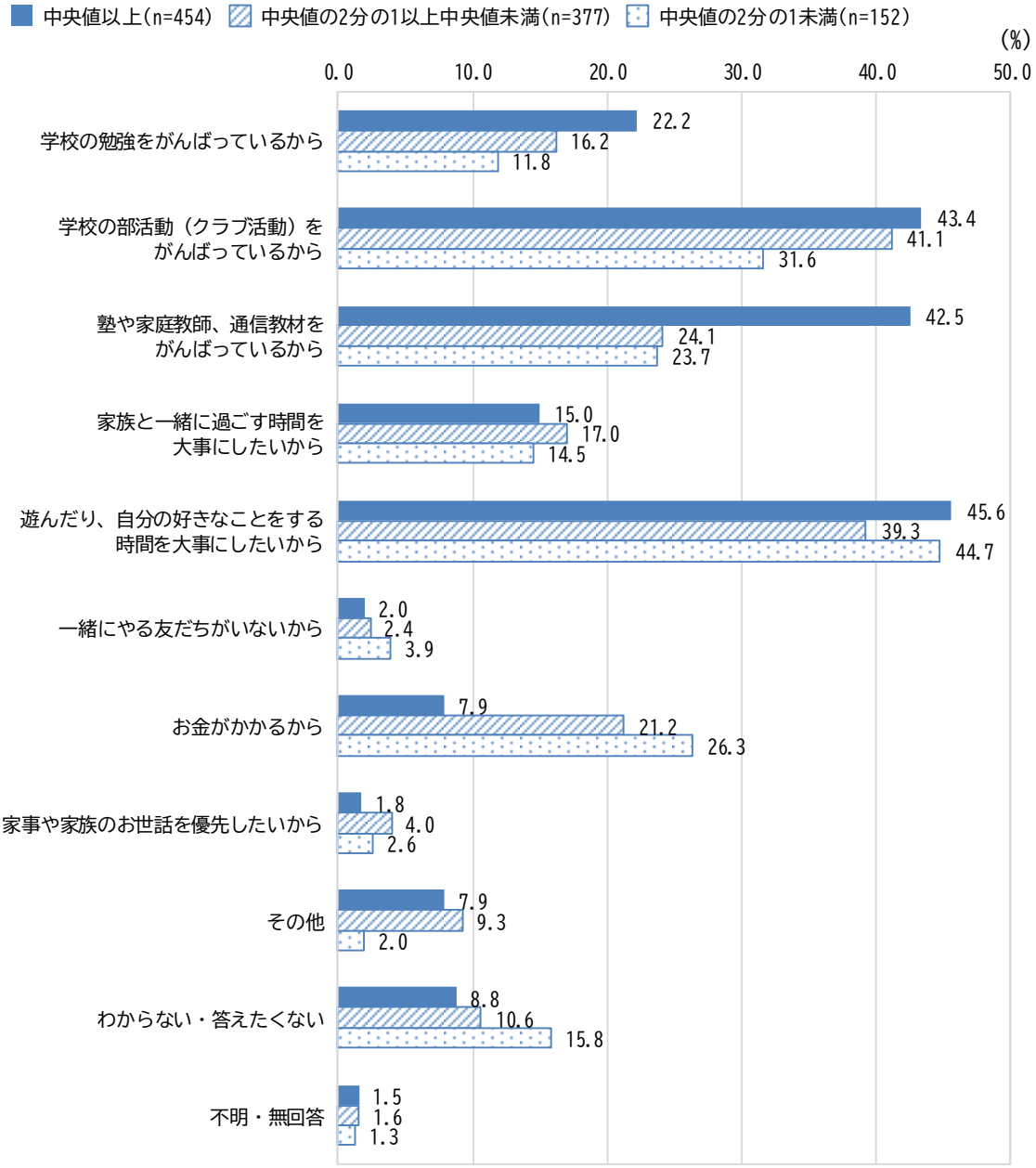
⑷　習いごとをしていない理由

問 13　あなたが習いごとをしていない理由を教えてください。（すべてに○）
【問 12 で「していない」と回答した方への設問】

収入の水準別にみると、いずれの世帯でも「学校の部活動（クラブ活動）をがんばっているから」、「遊んだり、自分の好きなことをする時間を大事にしたいから」が高くなっています。

また、「中央値以上」の世帯では、「塾や家庭教師、通信教材をがんばっているから」が他の世帯に比べて高くなっており、「中央値の２分の１以上中央値未満」の世帯及び「中央値の２分の１未満」の世帯では、「お金がかかるから」が「中央値以上」の世帯に比べて高くなっています。

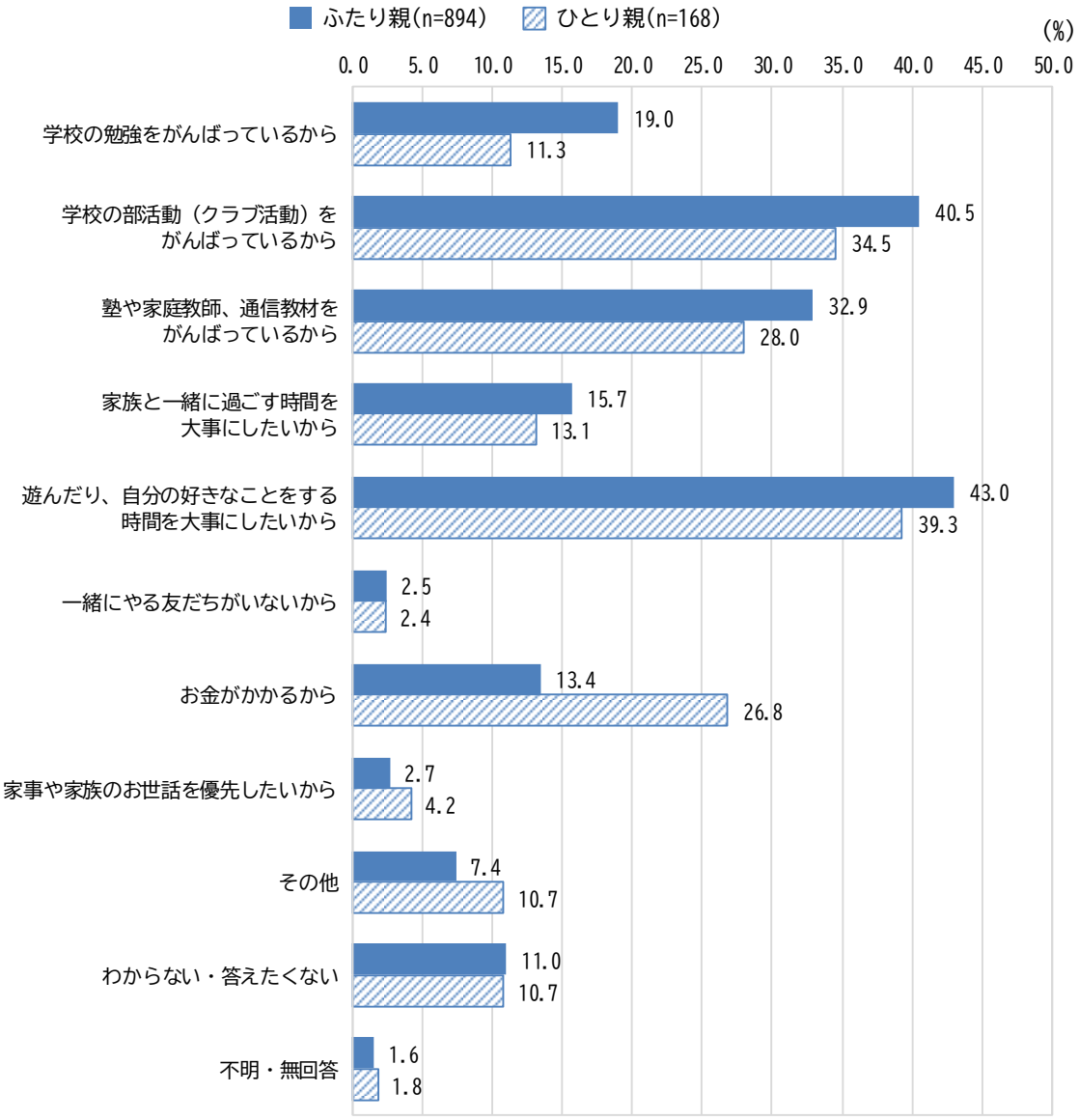
【習いごとをしていない理由：収入の水準別】



世帯の状況別にみると、いずれの世帯でも「遊んだり、自分の好きなことをする時間を大事にしたいから」が最も高く、次いで「学校の部活動（クラブ活動）を頑張っているから」、「塾や家庭教師、通信教材をがんばっているから」となっています。

また、「ひとり親」の世帯では、「お金がかかるから」が「ふたり親」の世帯に比べて高くなっています。

【習いごとをしていない理由：世帯の状況別】

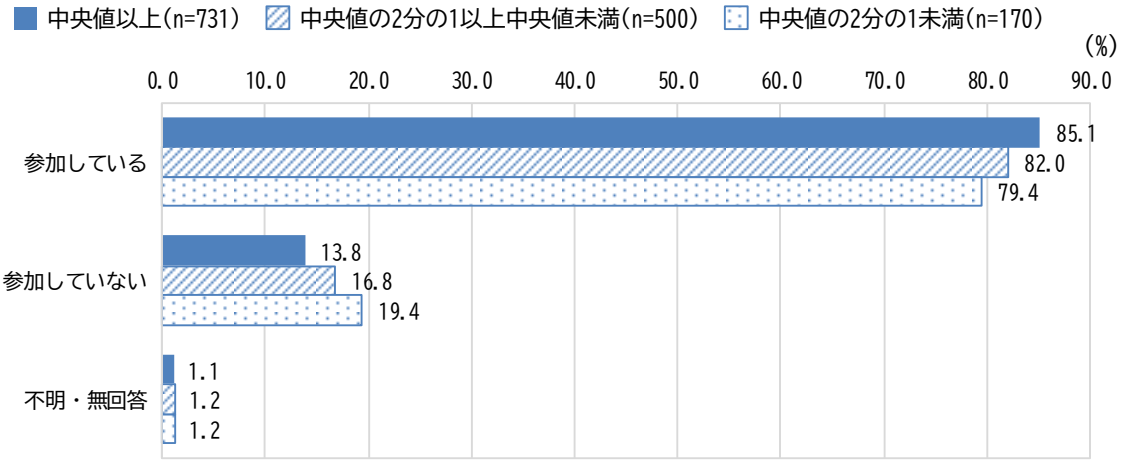


⑸　部活動への参加状況

問 14　あなたは、学校の部活動に参加していますか。（１つに○）
【中学２年生の方への設問】

収入の水準別にみると、いずれの世帯でも「参加している」が最も高くなっています。

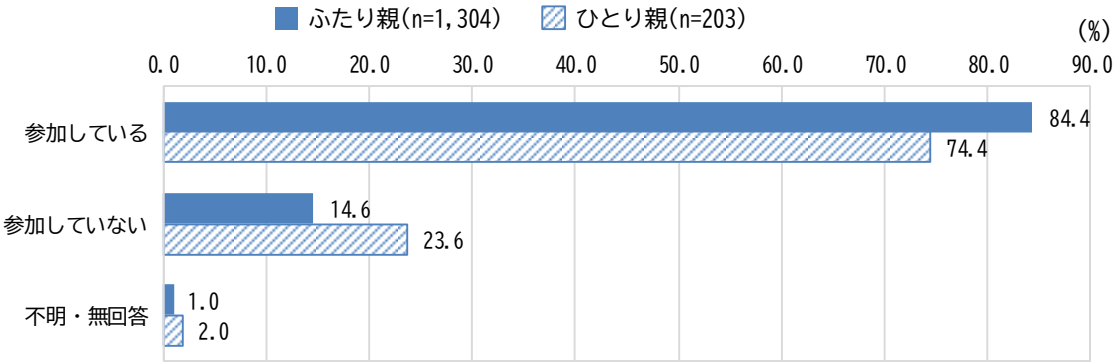
【部活動への参加状況：収入の水準別】



世帯の状況別にみると、いずれの世帯でも「参加している」が最も高くなっています。

また、「ひとり親」の世帯では「ふたり親」の世帯に比べて、「参加している」が低く、「参加していない」が高くなっています。

【部活動への参加状況：世帯の状況別】



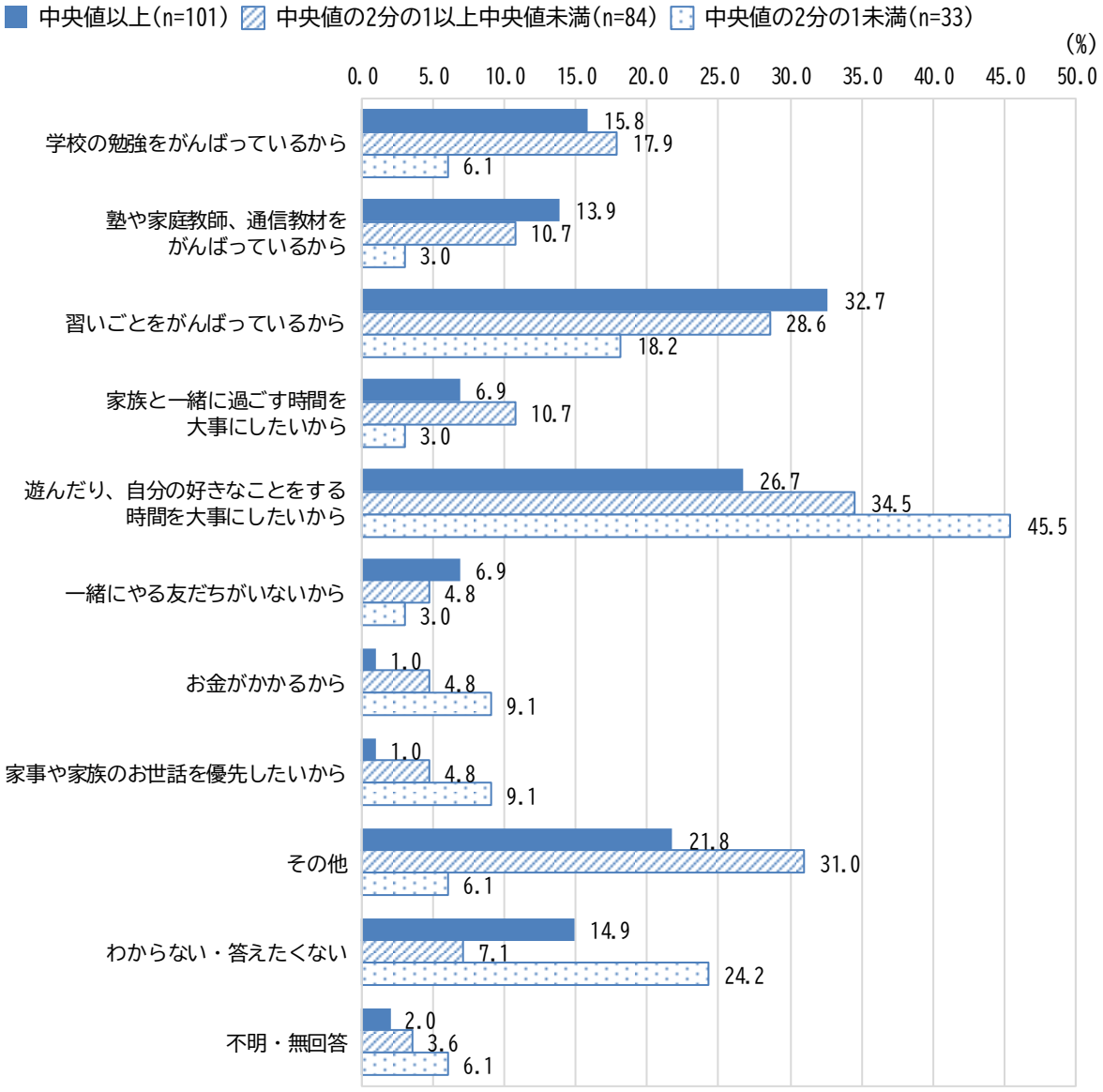
⑹　部活動に参加していない理由

問 15　あなたが部活動に参加していない理由を教えてください。（すべてに○）
【問 14 で「参加していない」と回答した方への設問】

収入の水準別にみると、「中央値以上」の世帯では「習いごとをがんばっているから」、「中央値の２分の１以上中央値未満」の世帯及び「中央値の２分の１未満」の世帯では「遊んだり、自分の好きなことをする時間を大事にしたいから」が、最も高くなっています。

また、「中央値の２分の１未満」の世帯では、「遊んだり、自分の好きなことをする時間を大事にしたいから」、「お金がかかるから」、「家事や家族のお世話を優先したいから」が、他の世帯に比べてやや高くなっています。

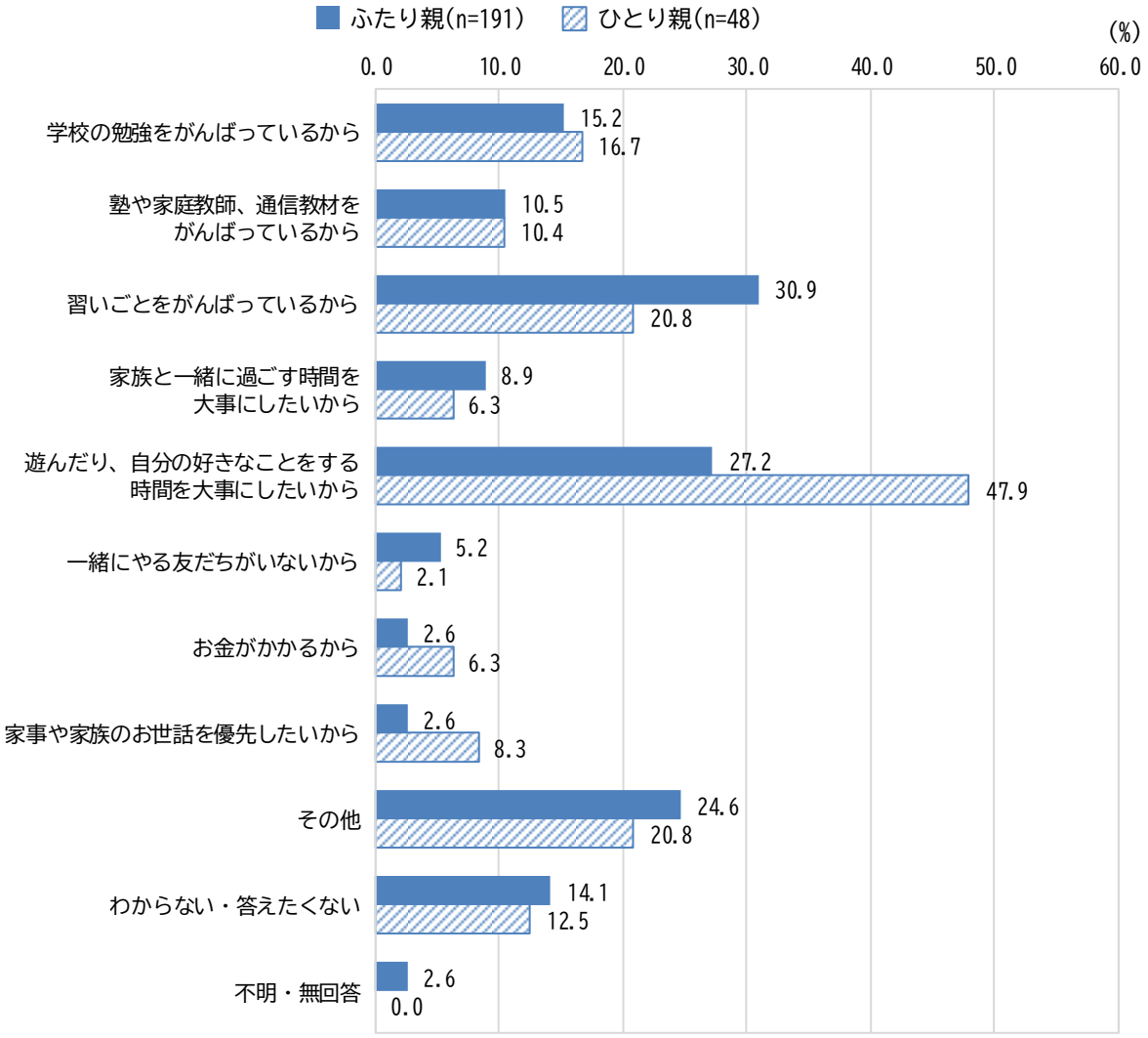
【部活動に参加していない理由：収入の水準別】



世帯の状況別にみると、「ふたり親」の世帯では「習いごとをがんばっているから」、「ひとり親」の世帯では「遊んだり、自分の好きなことをする時間を大事にしたいから」が、最も高くなっています。

また、「ひとり親」の世帯では、「遊んだり、自分の好きなことをする時間を大事にしたいから」、「お金がかかるから」、「家事や家族のお世話を優先したいから」が、「ふたり親」の世帯に比べてやや高くなっています。

【部活動に参加していない理由：世帯の状況別】



3　ふだんの生活について

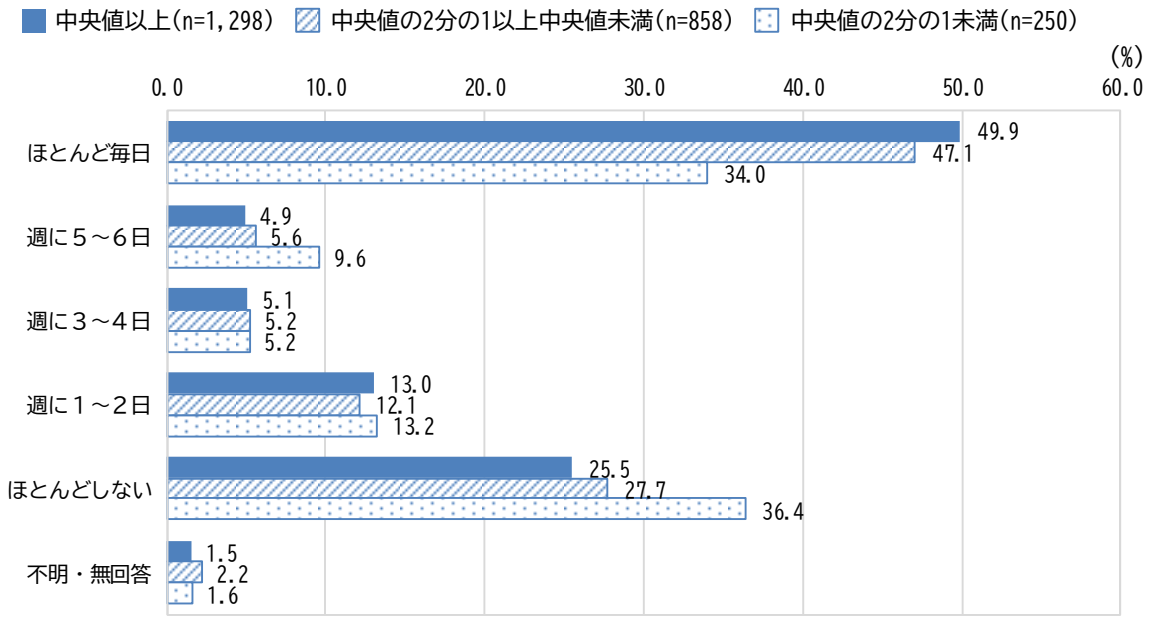
⑴　家族とのかかわり

問 16　あなたは、家族（おとなの人）と一緒に、次のことをどのくらいしますか。（１つに○）

①　一緒に朝食を食べる

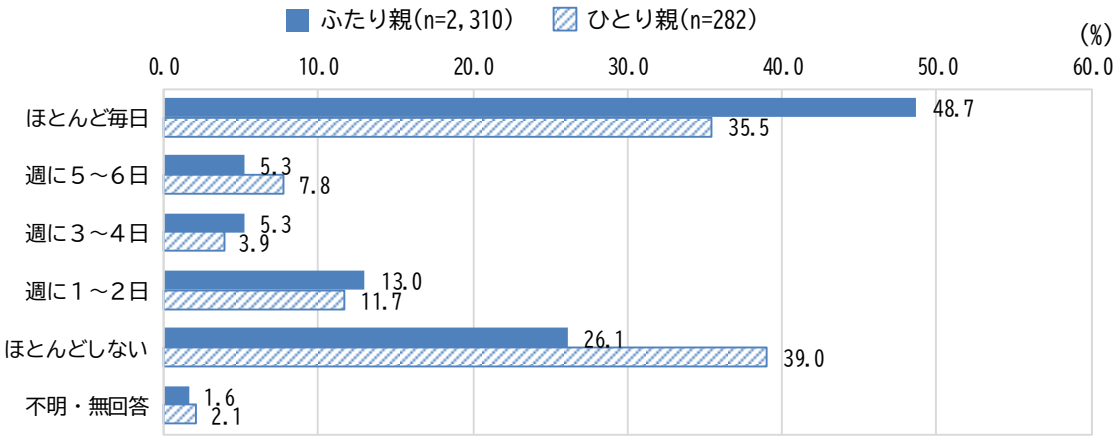
収入の水準別にみると、「中央値以上」の世帯及び「中央値の２分の１以上中央値未満」の世帯では「ほとんど毎日」が最も高く、「中央値の２分の１未満」の世帯では「ほとんどしない」が最も高くなっています。

【家族とのかかわり（一緒に朝食を食べる）：収入の水準別】



世帯の状況別にみると、「ふたり親」の世帯では「ほとんど毎日」が最も高く、「ひとり親」の世帯では「ほとんどしない」が最も高くなっています。

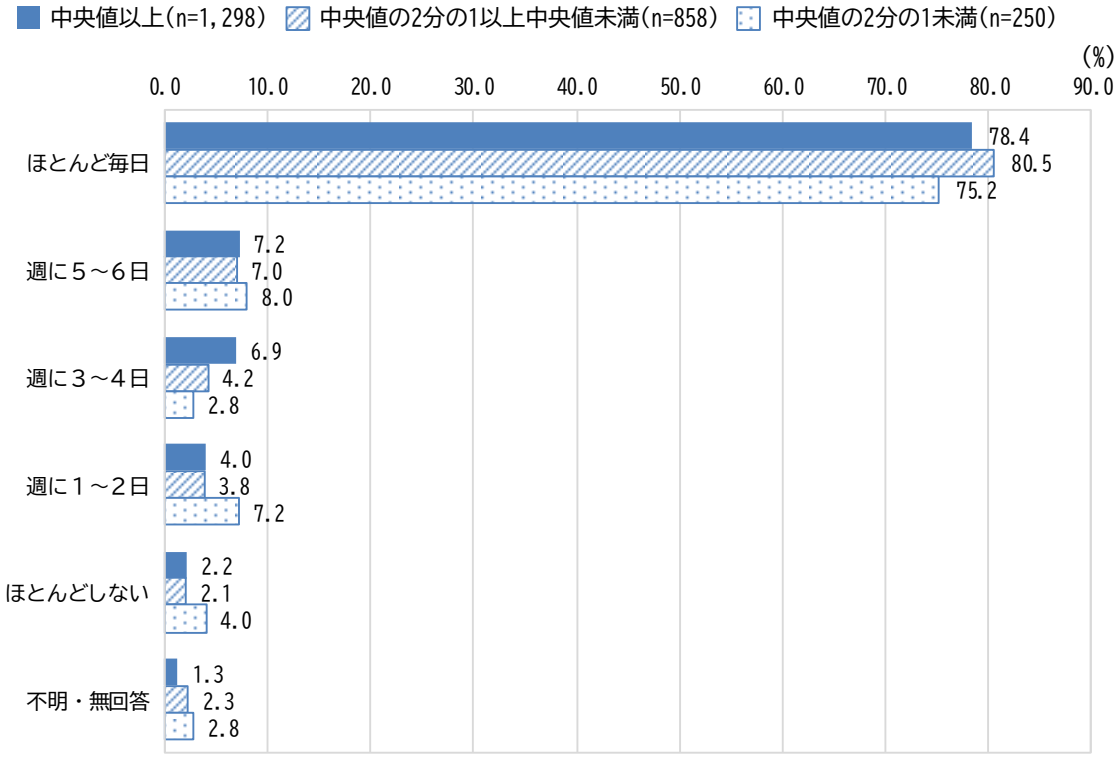
【家族とのかかわり（一緒に朝食を食べる）：世帯の状況別】



② 一緒に夕食を食べる

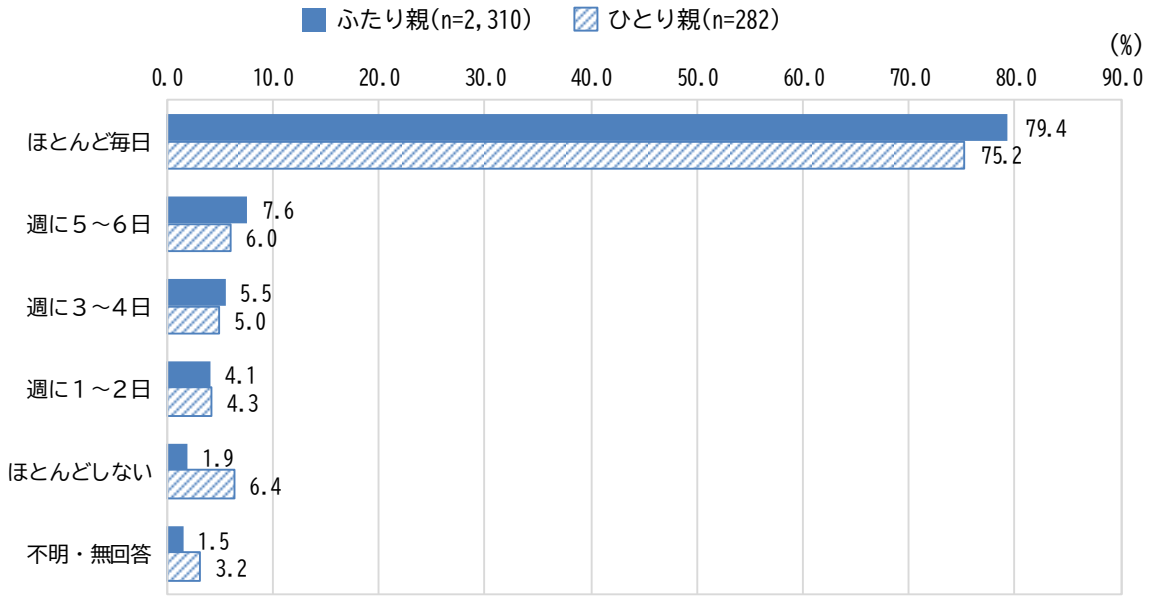
収入の水準別にみると、いずれの世帯でも「ほとんど毎日」が最も高くなっています。

【家族とのかかわり（一緒に夕食を食べる）：収入の水準別】



世帯の状況別にみると、いずれの世帯でも「ほとんど毎日」が最も高くなっています。

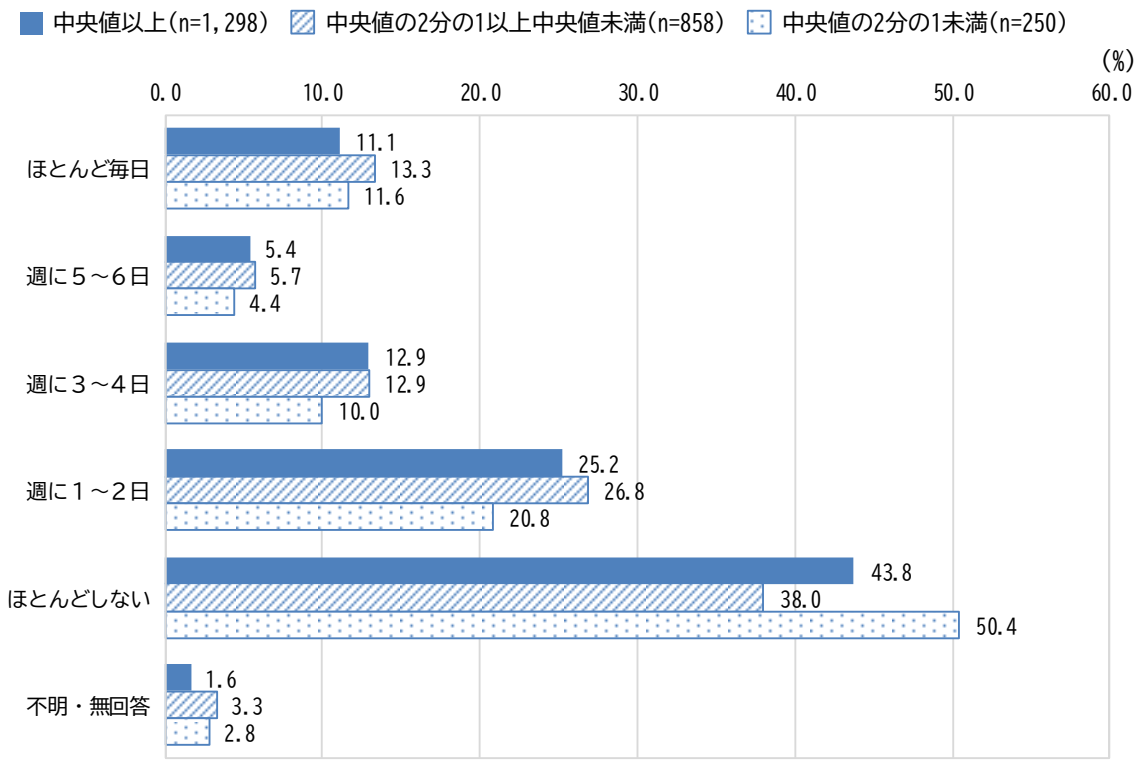
【家族とのかかわり（一緒に夕食を食べる）：世帯の状況別】



③　一緒に遊ぶ

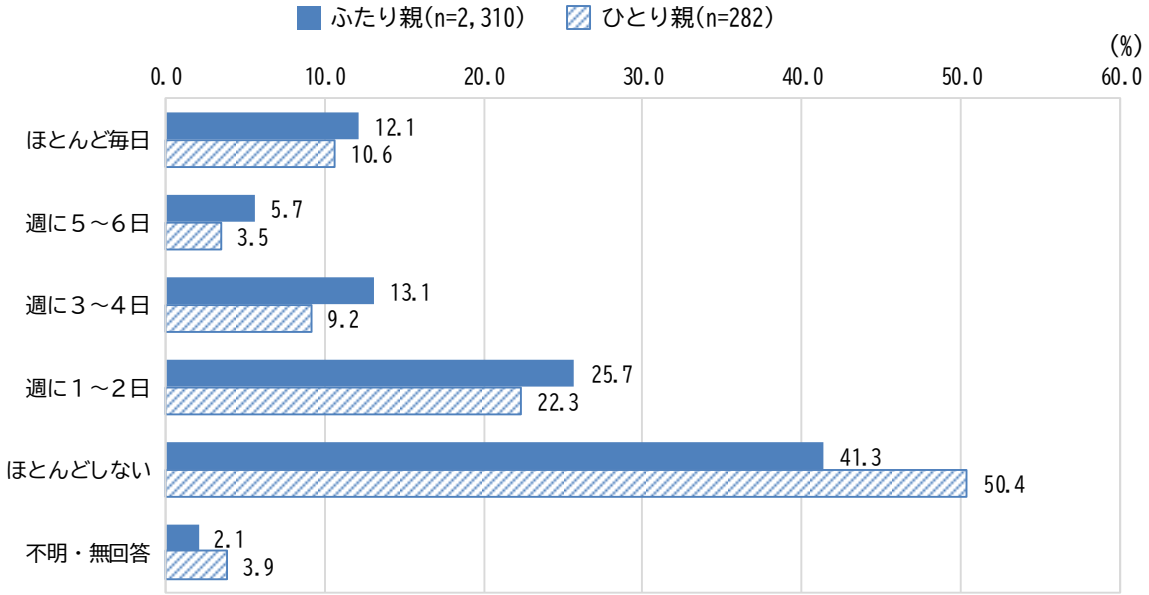
収入の水準別にみると、いずれの世帯でも「ほとんどしない」が最も高く、次いで「週に１～２日」となっています。

【家族とのかかわり（一緒に遊ぶ）：収入の水準別】



世帯の状況別にみると、いずれの世帯でも「ほとんどしない」が最も高く、次いで「週に１～２日」となっています。

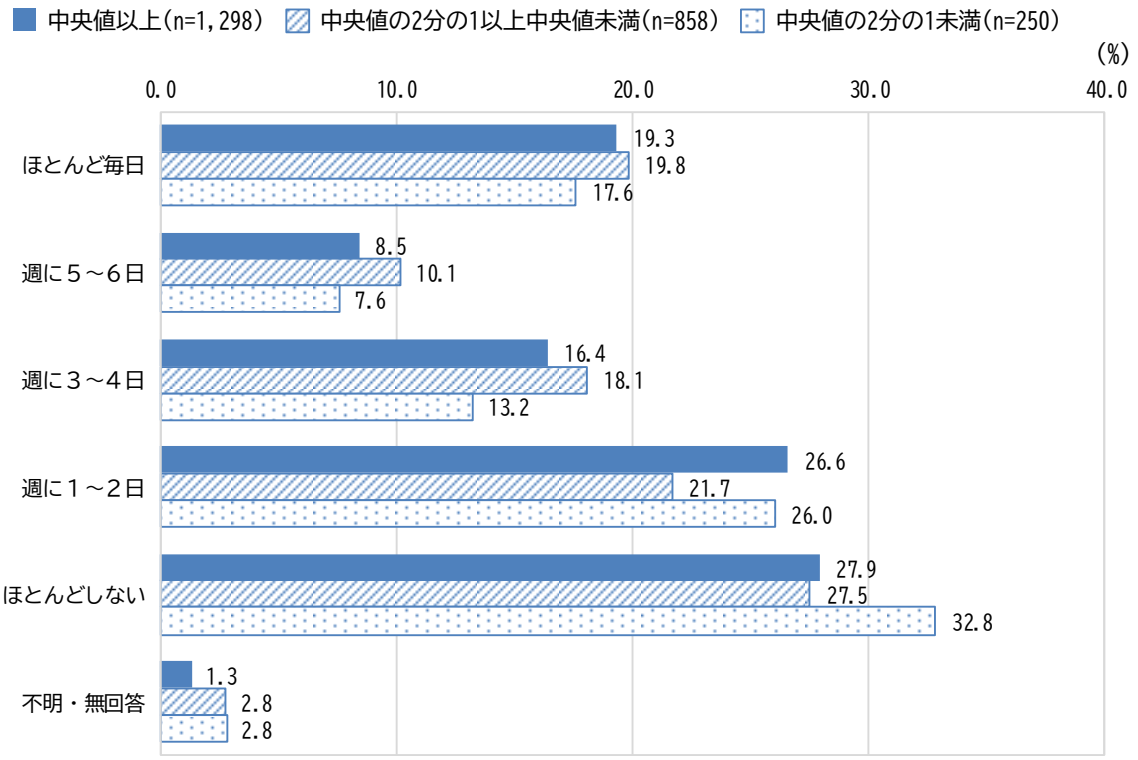
【家族とのかかわり（一緒に遊ぶ）：世帯の状況別】



④　一緒に家事（食事の準備、そうじ、洗たくなど）をする

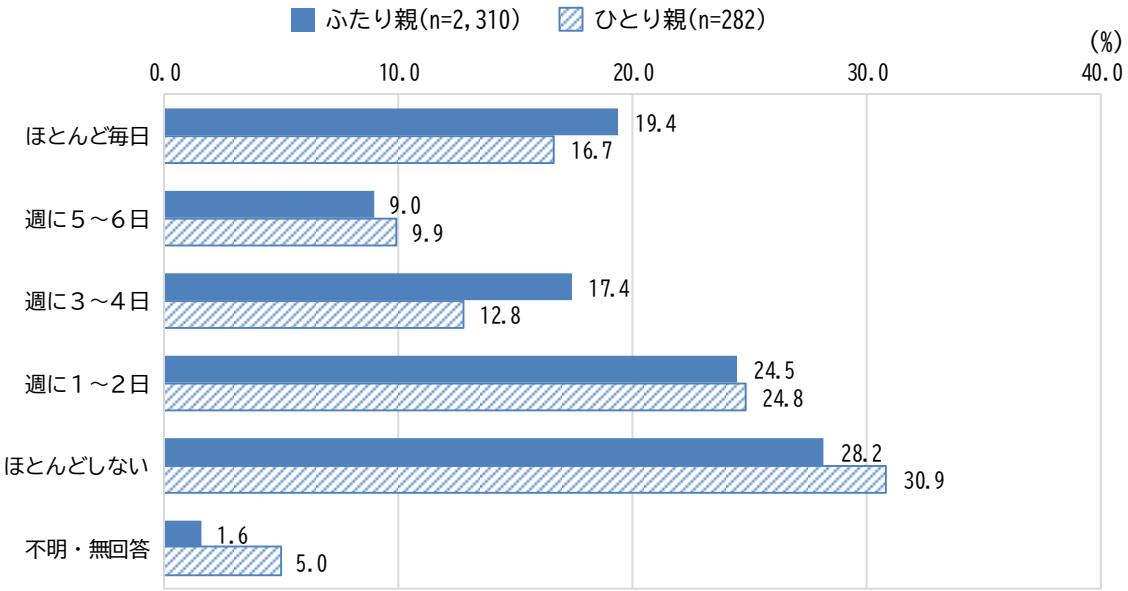
収入の水準別にみると、いずれの世帯でも「ほとんどしない」が最も高く、次いで「週に１～２日」、「ほとんど毎日」となっています。

【家族とのかかわり（一緒に家事をする）：収入の水準別】



世帯の状況別にみると、いずれの世帯でも「ほとんどしない」が最も高く、次いで「週に１～２日」、「ほとんど毎日」となっています。

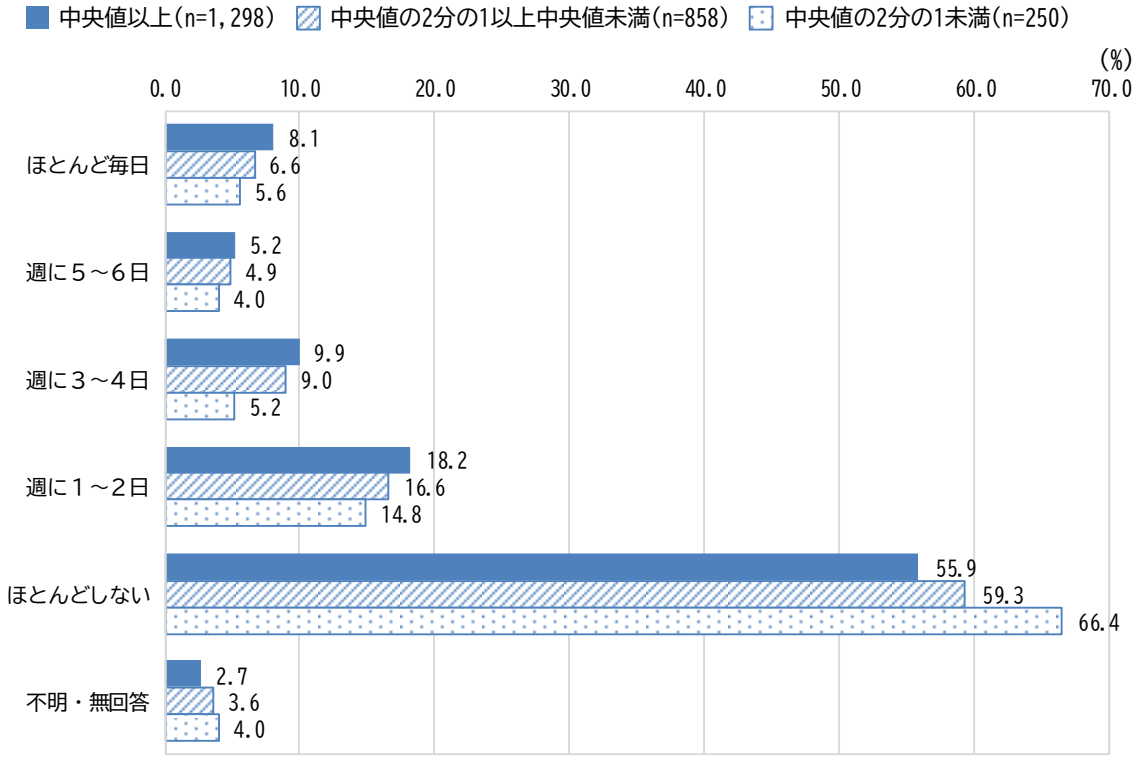
【家族とのかかわり（一緒に家事をする）：世帯の状況別】



⑤　一緒に勉強や宿題をする

収入の水準別にみると、いずれの世帯でも「ほとんどしない」が最も高く、次いで「週に１～２日」となっています。

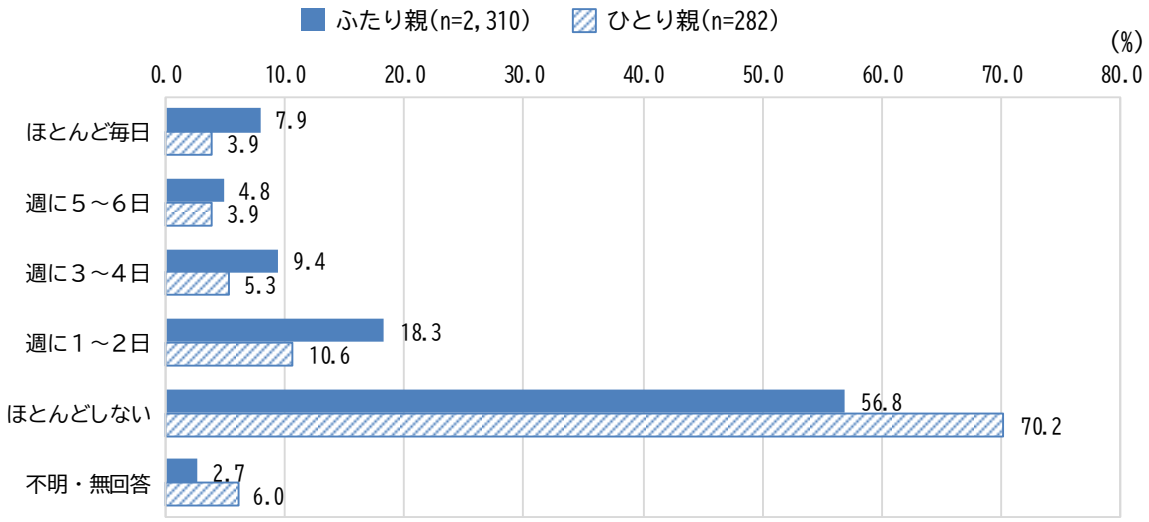
【家族とのかかわり（一緒に勉強や宿題をする）：収入の水準別】



世帯の状況別にみると、いずれの世帯でも「ほとんどしない」が最も高く、次いで「週に１～２日」となっています。

「ひとり親」の世帯では、「ほとんどしない」が「ふたり親」の世帯に比べて高くなっています。

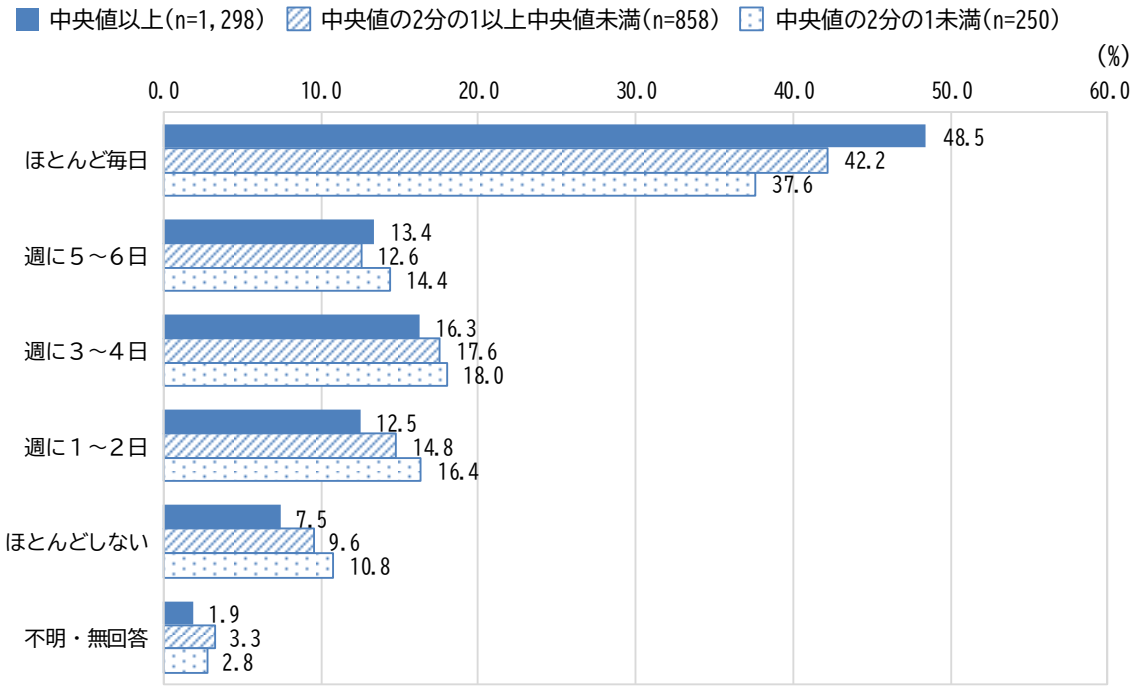
【家族とのかかわり（一緒に勉強や宿題をする）：世帯の状況別】



⑥　学校や友だちの話をする

収入の水準別にみると、いずれの世帯でも「ほとんど毎日」が最も高く、次いで「週に３～４日」となっています。

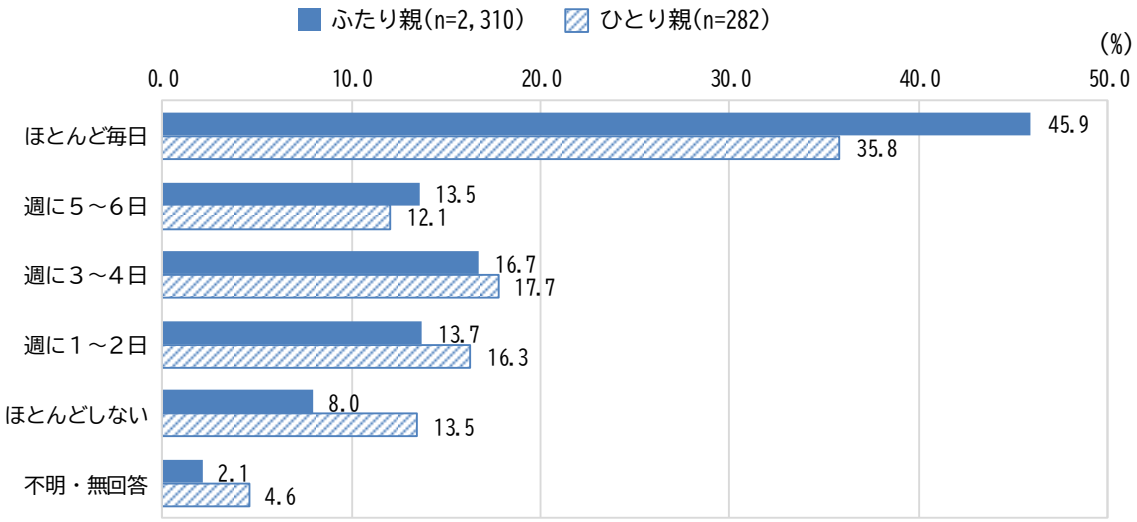
【家族とのかかわり（学校や友だちの話をする）：収入の水準別】



世帯の状況別にみると、いずれの世帯でも「ほとんど毎日」が最も高く、次いで「週に３～４日」となっています。

「ひとり親」の世帯では、「ほとんど毎日」が「ふたり親」の世帯に比べて低くなっています。

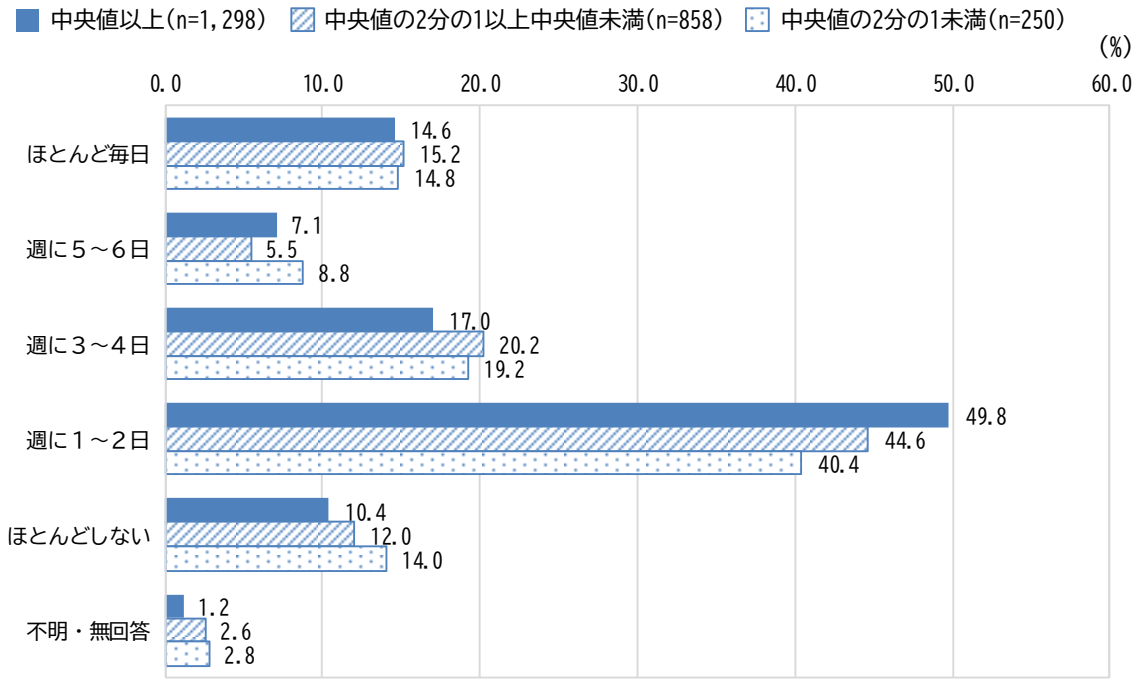
【家族とのかかわり（学校や友だちの話をする）：世帯の状況別】



⑦　一緒に出かける

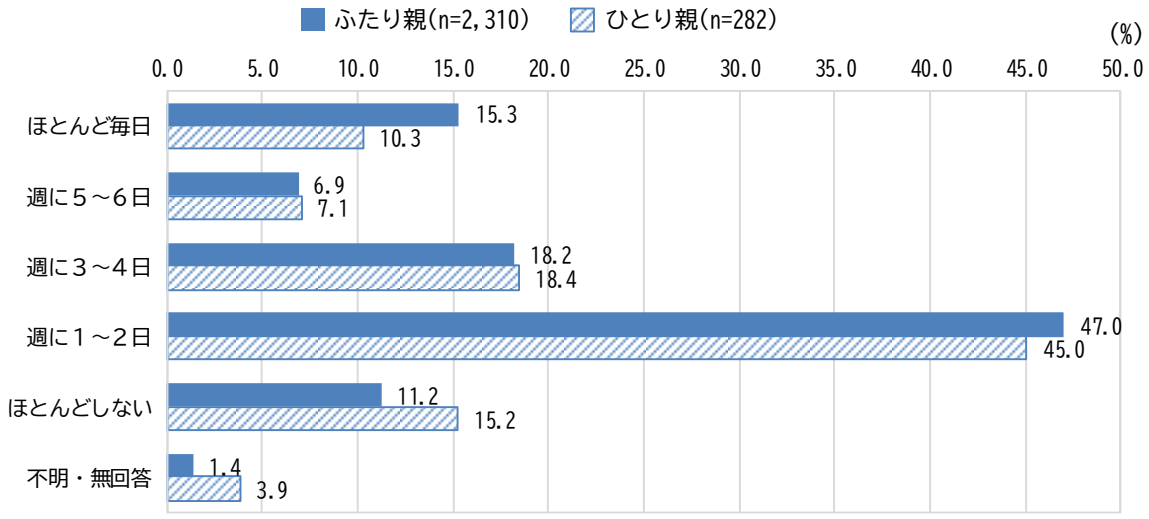
収入の水準別にみると、いずれの世帯でも「週に１～２日」が最も高く、次いで「週に３～４日」となっています。

【家族とのかかわり（一緒に出かける）：収入の水準別】



世帯の状況別にみると、いずれの世帯でも「週に１～２日」が最も高く、次いで「週に３～４日」となっています。

【家族とのかかわり（一緒に出かける）：世帯の状況別】



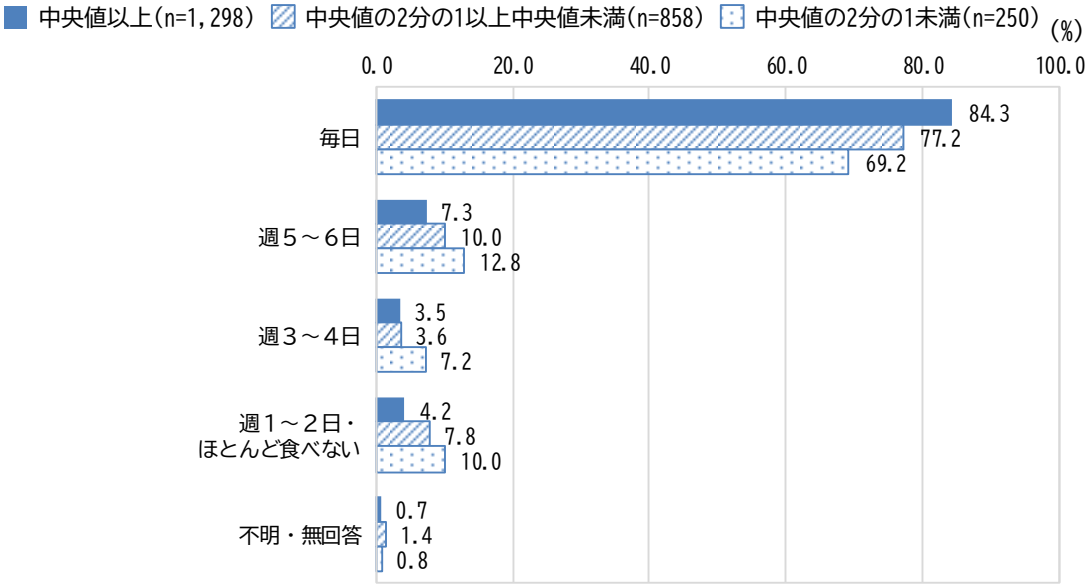
⑵　食事の頻度

問 17　あなたは、週にどのくらい、食事をしていますか。（１つに○）

①　朝食

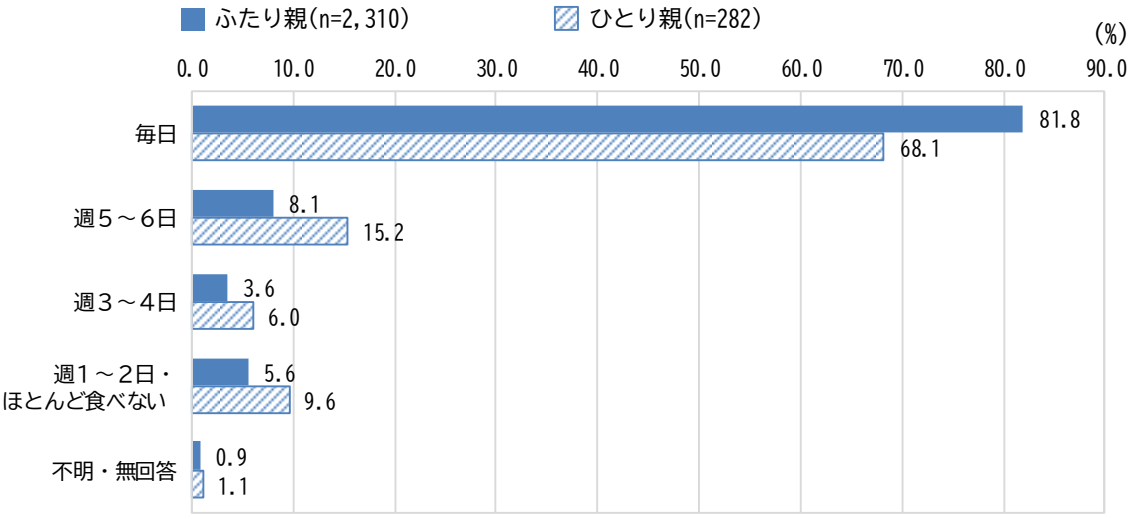
収入の水準別にみると、いずれの世帯でも「毎日」が最も高くなっています。

【食事の頻度（朝食）：収入の水準別】



世帯の状況別にみると、いずれの世帯でも「毎日」が最も高くなっています。

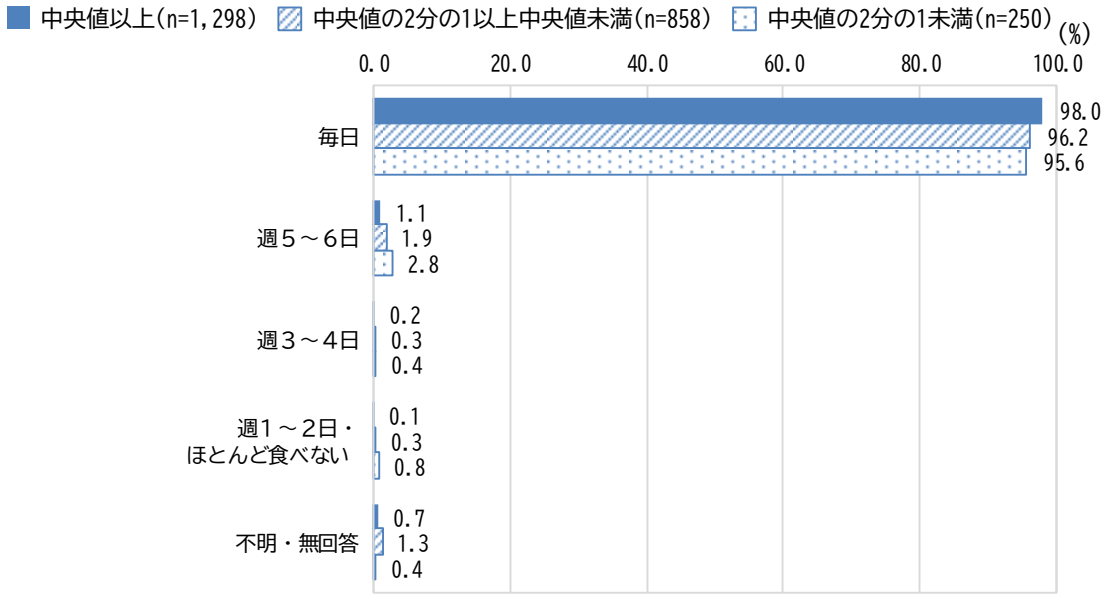
【食事の頻度（朝食）：世帯の状況別】



② 夕食

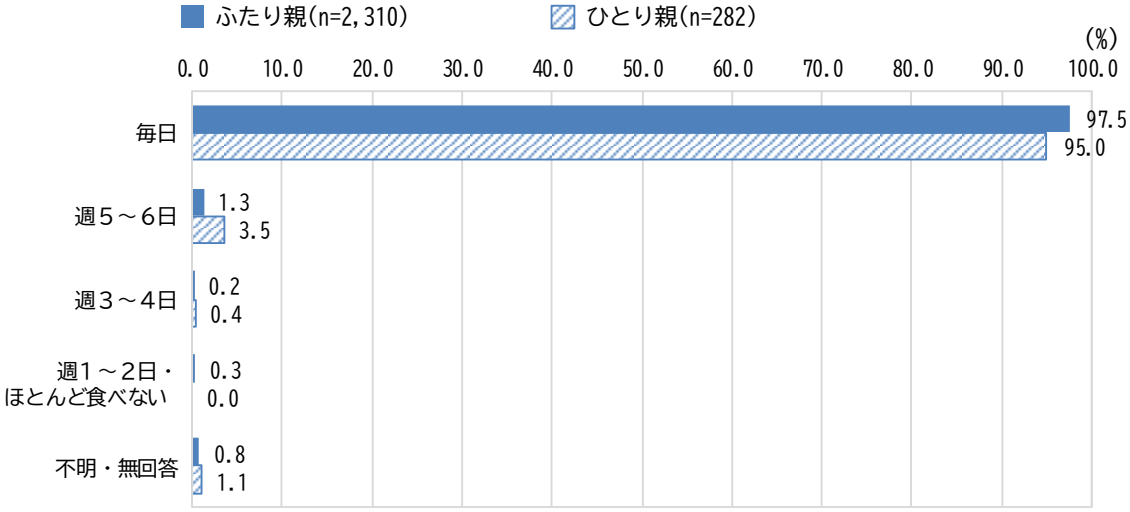
収入の水準別にみると、いずれの世帯でも「毎日」が最も高く、ほぼ全数となっています。

【食事の頻度（夕食）：収入の水準別】



世帯の状況別にみると、いずれの世帯でも「毎日」が最も高く、ほぼ全数となっています。

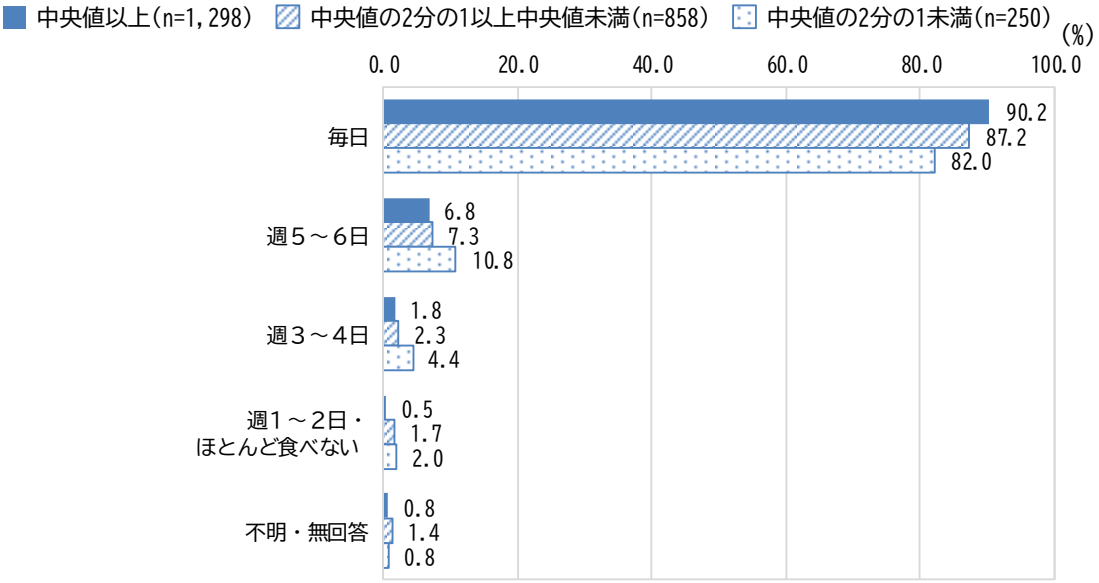
【食事の頻度（夕食）：世帯の状況別】



③　夏休みや冬休みなど、学校が休みの時の昼食

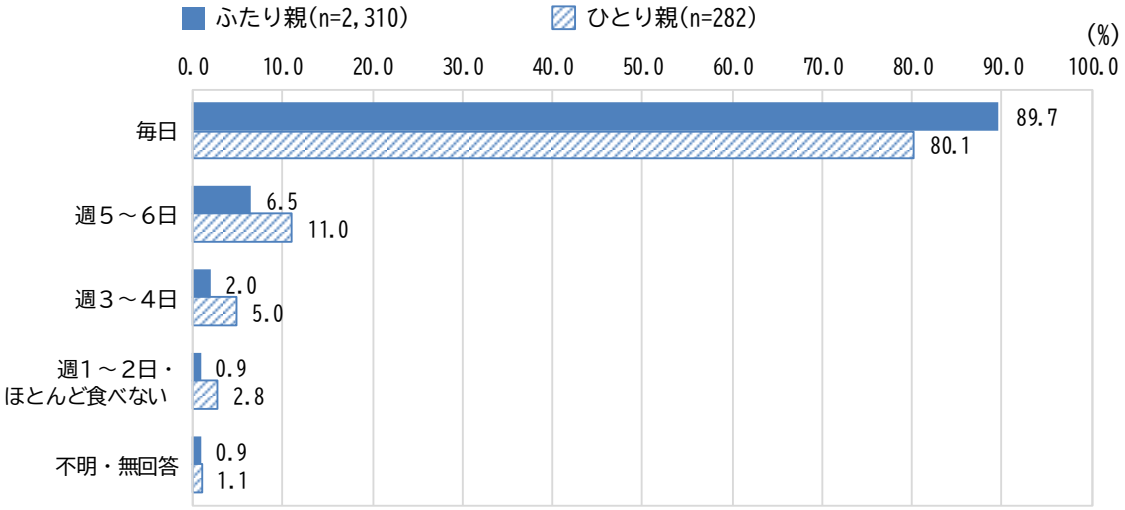
収入の水準別にみると、いずれの世帯でも「毎日」が最も高くなっています。

【食事の頻度（夏休みや冬休みなど、学校が休みの時の昼食）：収入の水準別】



世帯の状況別にみると、いずれの世帯でも「毎日」が最も高くなっています。

【食事の頻度（夏休みや冬休みなど、学校が休みの時の昼食）：世帯の状況別】



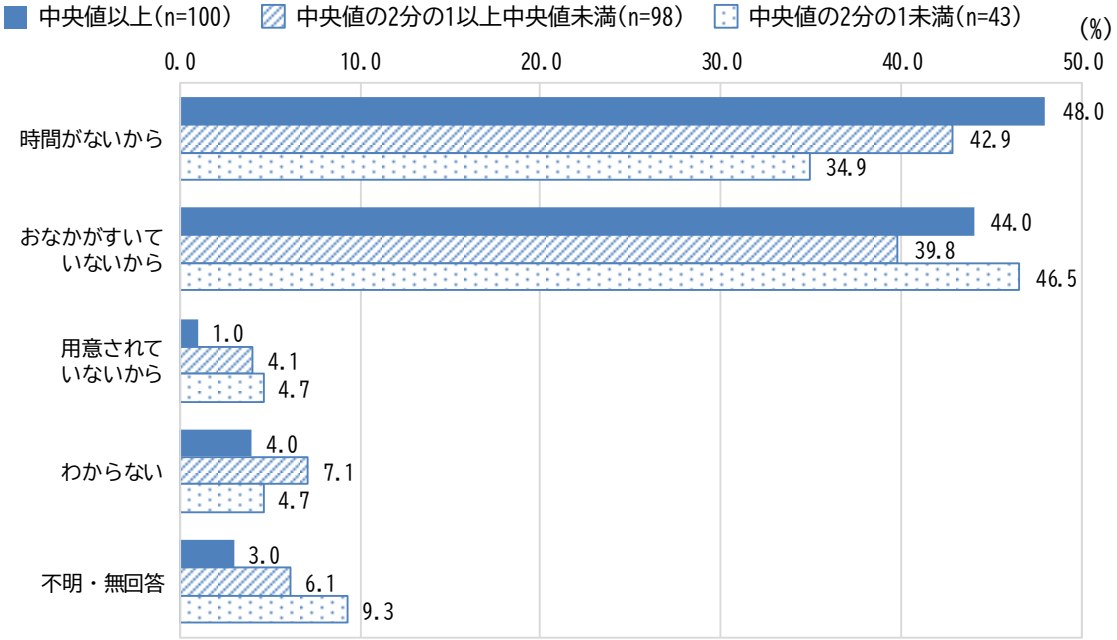
⑶　食事をしない理由

問 18　あなたが食事をあまり食べない、ほとんど食べない理由を教えてください。（１つに○）
【問 17 で「週３～４日」、「週１～２日・ほとんど食べない」と回答した方への設問】

①　朝食

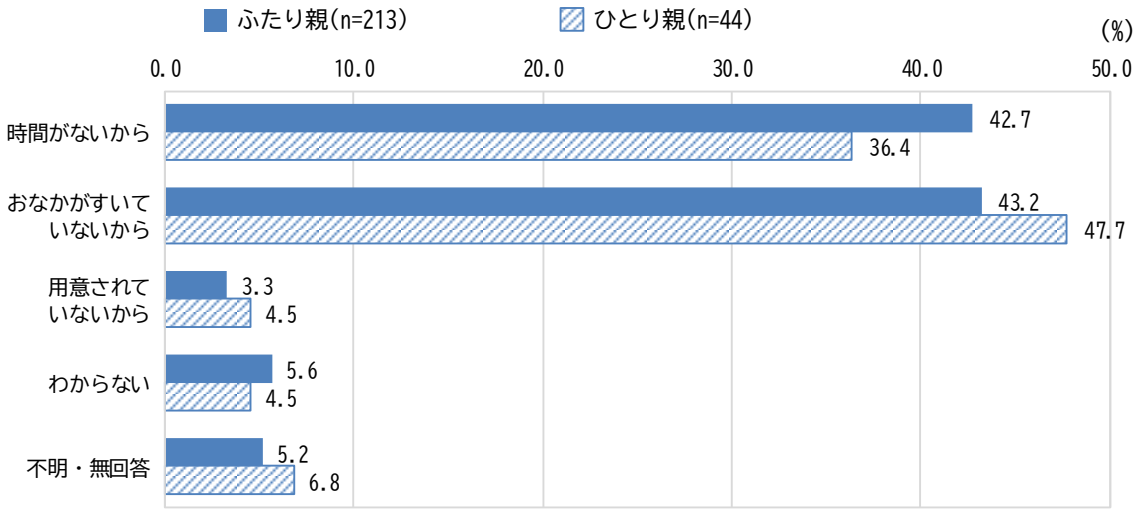
収入の水準別にみると、「中央値以上」及び「中央値の２分の１以上中央値未満」の世帯では「時間がないから」、「中央値の２分の１未満」の世帯では「おなかがすいていないから」が最も高くなっています。

【食事をしない理由（朝食）：収入の水準別】



世帯の状況別にみると、いずれの世帯でも「おなかがすいていないから」が最も高く、次いで「時間がないから」となっています。

【食事をしない理由（朝食）：世帯の状況別】



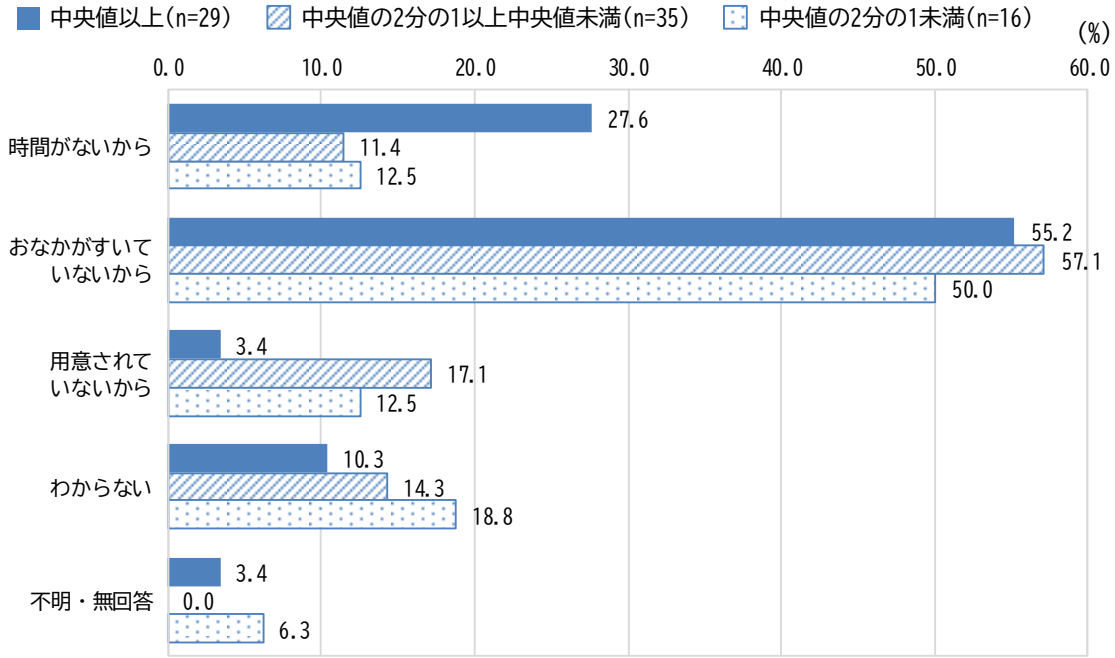
② 夕食

回答者数が少数（収入の状況別：n=12、世帯の状況別：n=11）のため、掲載を省略します。

③ 夏休みや冬休みなど、学校が休みの時の昼食

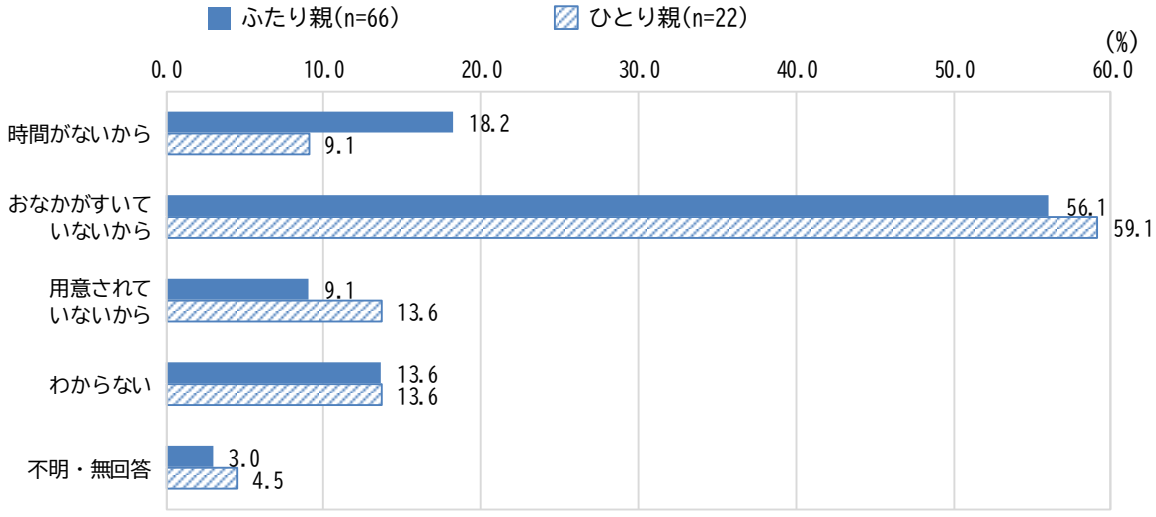
収入の水準別にみると、いずれの世帯でも「おなかがすいていないから」が最も高くなっています。また、「中央値以上」の世帯では「時間がないから」が他の世帯に比べて高く、「中央値の２分の１以上中央値未満」の世帯及び「中央値の２分の１未満」の世帯では「用意されていないから」が、「中央値以上」の世帯に比べて高くなっています。

【食事をしない理由（夏休みや冬休みなど、学校が休みの時の昼食）：収入の水準別】



世帯の状況別にみると、いずれの世帯でも「おなかがすいていないから」が最も高くなっています。また、「ひとり親」の世帯では「用意されていないから」が、「ふたり親」の世帯に比べてやや高くなっています。

【食事をしない理由（夏休みや冬休みなど、学校が休みの時の昼食）：世帯の状況別】

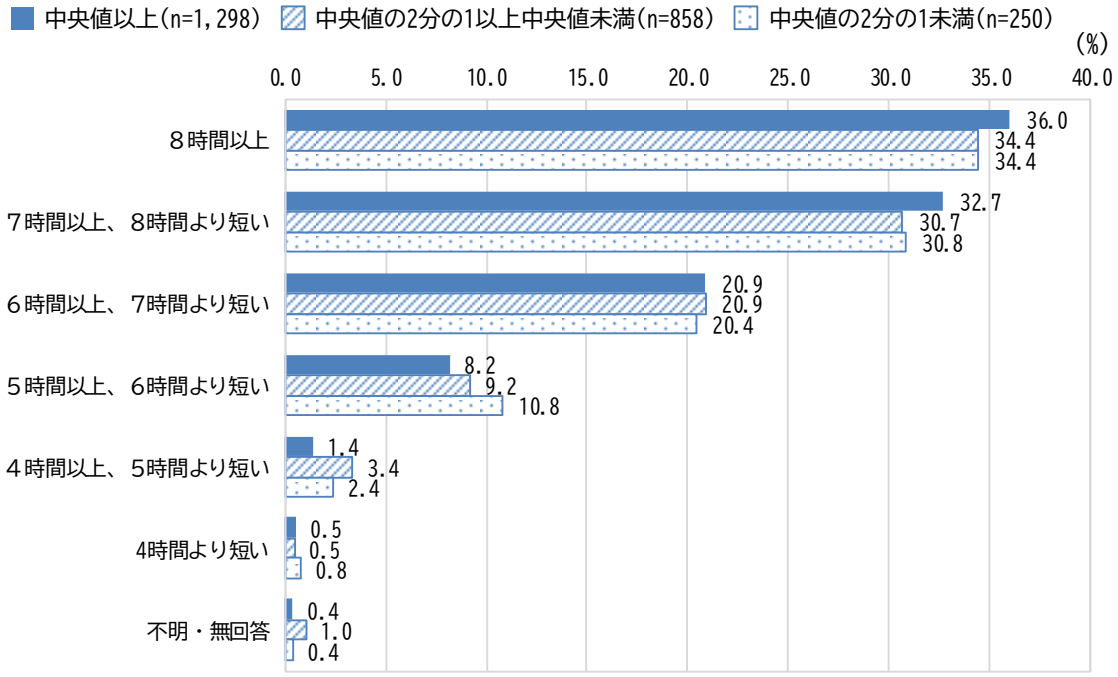


⑷　学校がある日の夜の睡眠時間

問 19　あなたは、学校がある日の夜は、だいたい何時間くらいねむっていますか。（１つに○）

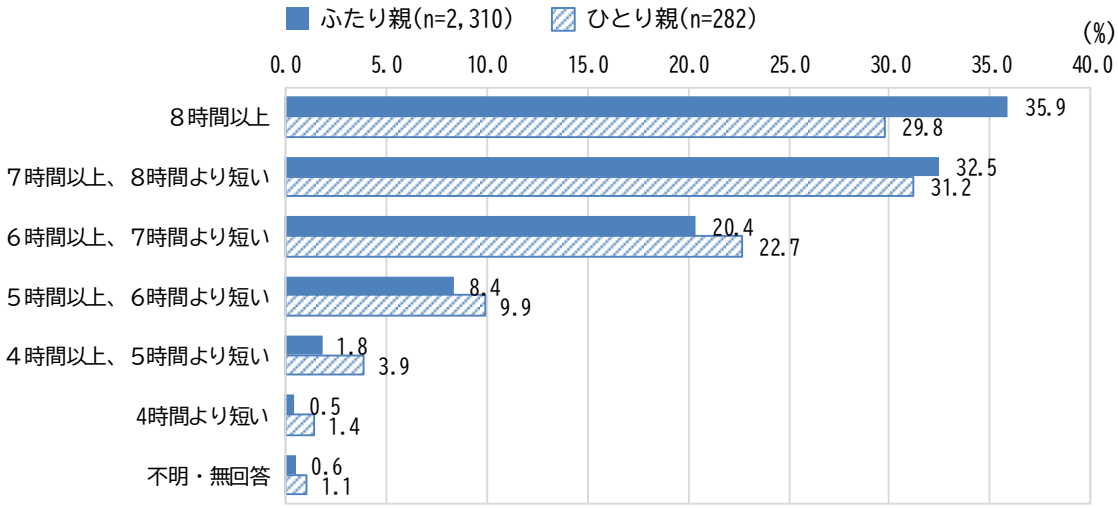
収入の水準別にみると、いずれの世帯でも「８時間以上」が最も高く、次いで「７時間以上、８時間より短い」となっています。

【学校がある日の睡眠時間：収入の水準別】



世帯の状況別にみると、「ふたり親」の世帯では「８時間以上」が最も高く、次いで「７時間以上、８時間より短い」となっており、「ひとり親」の世帯では「７時間以上、８時間より短い」が最も高く、次いで「８時間以上」となっています。

【学校がある日の睡眠時間：世帯の状況別】



4　あなたの健康や気持ちについて

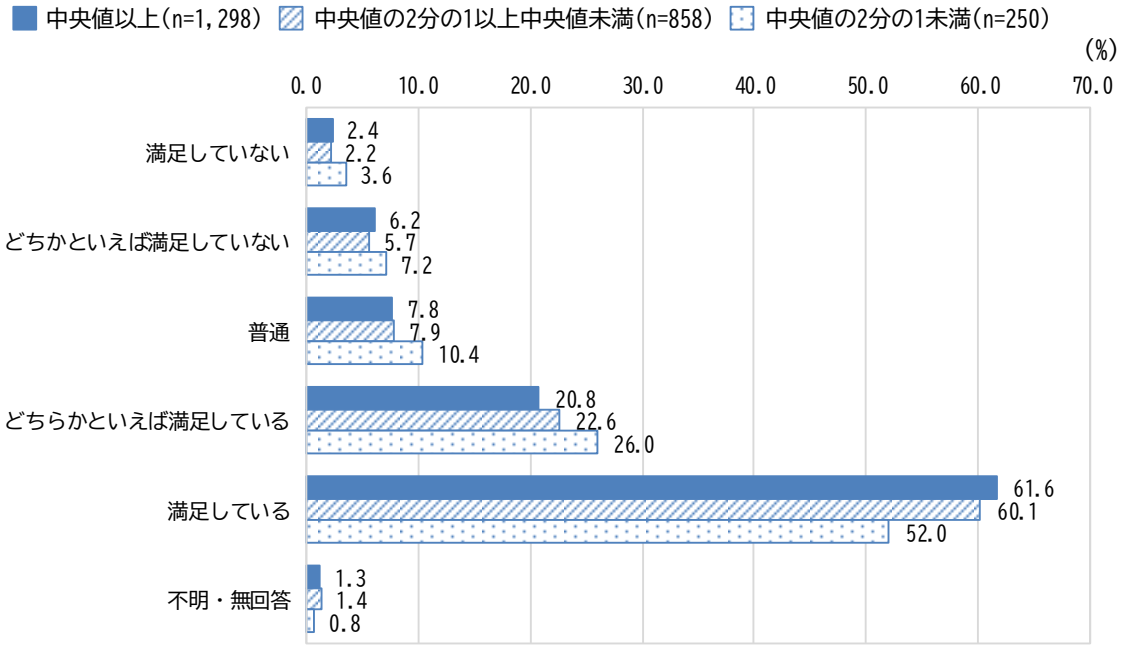
⑴　生活満足度

問 30　あなたは、全体として、最近の生活にどのくらい満足していますか。（１つに○）

生活満足度について、「０」（まったく満足していない）から「10」（十分に満足している）の数字のうち１つを選択する方法で聞いた結果を、０～２：「満足していない」、３～４：「どちらかといえば満足していない」、５：「普通」、６～７：「どちらかといえば満足している」、８～10：「満足している」として集計しました。

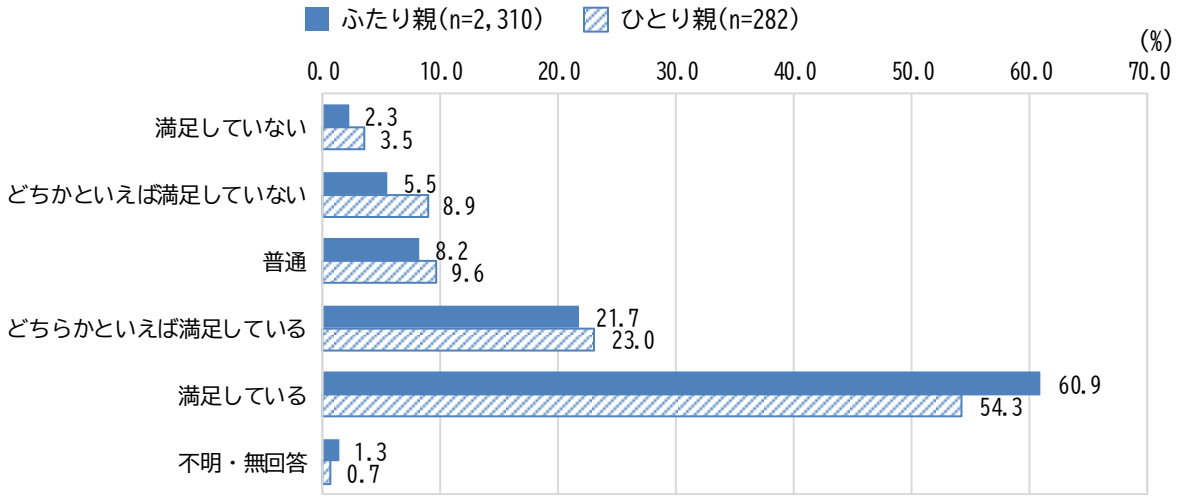
結果について収入の水準別にみると、いずれの世帯でも「満足している」が最も高く、次いで「どちらかといえば満足している」となっています。

【生活満足度：収入の水準別】



世帯の状況別にみると、いずれの世帯でも「満足している」が最も高く、次いで「どちらかといえば満足している」となっています。

【生活満足度：世帯の状況別】

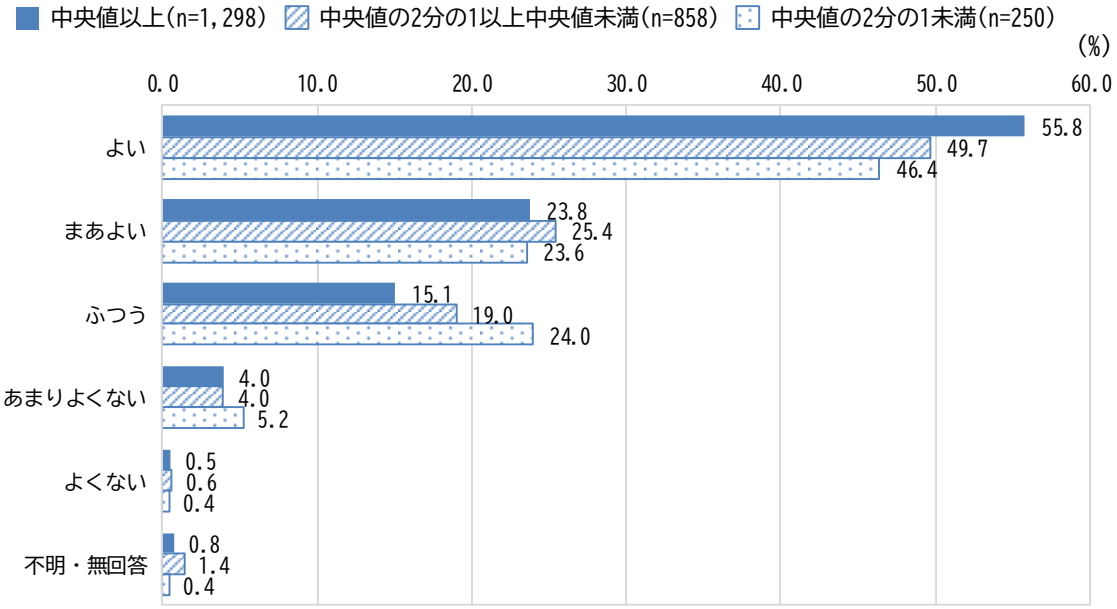


⑵　健康状態

問３１　あなたの健康状態を教えてください。（１つに○）

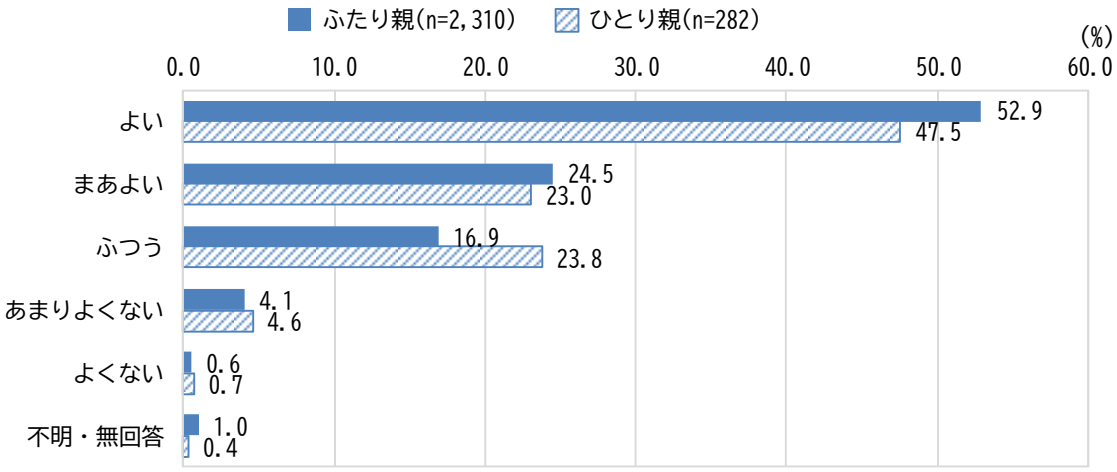
収入の水準別にみると、いずれの世帯でも「よい」が最も高くなっています。
「中央値の２分の１未満」の世帯では、「ふつう」が他の世帯に比べてやや高くなっています。

【健康状態：収入の水準別】



世帯の状況別にみると、いずれの世帯でも「よい」が最も高くなっています。
「ひとり親」の世帯では、「ふつう」が「ふたり親」の世帯に比べてやや高くなっています。

【健康状態：世帯の状況別】



⑶　心理的な状態

問 32　あなたは、以下のことについて、自分にあてはまると思いますか。（１つに○）

子どもの心理的な状態に関して、内閣府の「令和３年子供の生活状況調査の分析報告書」にならい、「情緒の問題」、「仲間関係の問題」、「向社会性」を把握するための項目を設定し、各項目の回答結果について「あてはまる」：３点、「どちらかといえばあてはまる」：２点、「どちらかといえばあてはまらない」：１点、「あてはまらない」：０点とし、スコアの算出を行いました。

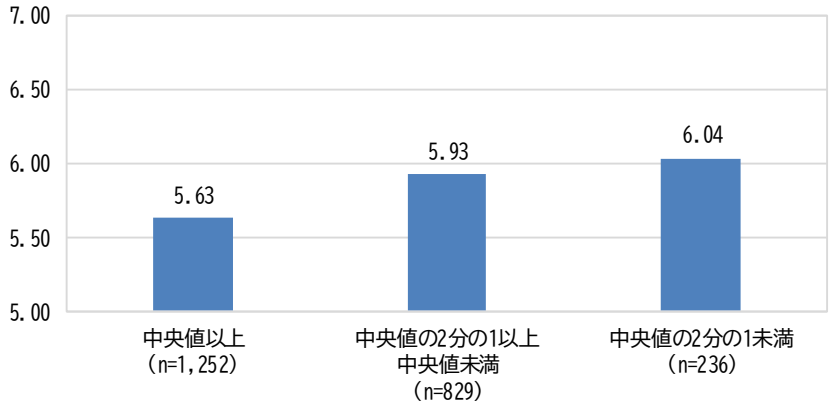
①　情緒の問題

・私は、よく頭やお腹がいたくなったり、気持ちが悪くなったりする。
・私は、心配ごとが多く、いつも不安だ。
・私は、落ち込んでしずんでいたり、涙ぐんだりすることがよくある。
・私は、新しい場面に直面すると不安になり、自信をなくしやすい。
・私は、こわがりで、すぐにおびえたりする。

「情緒（不安や抑うつ）の問題」に関して、上記５つの項目の回答結果を足し合わせてスコアを算出しました。（０～15 点。得点が高いほど問題性が高いと考えられます。）

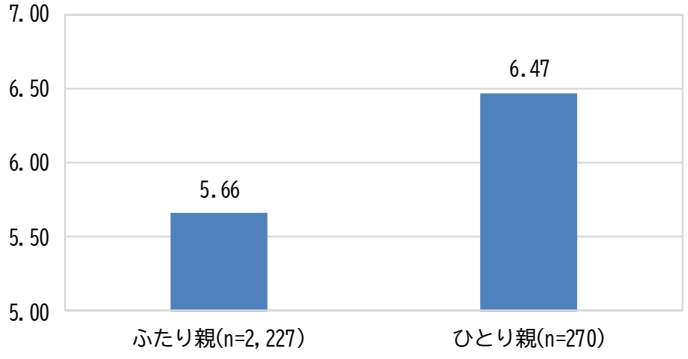
収入の水準別にみると、平均値は、「中央値以上」の世帯では 5.63、「中央値の２分の１以上中央値未満」の世帯では 5.93、「中央値の２分の１未満」の世帯では 6.04 となっています。

【情緒の問題：収入の水準別】



世帯の状況別にみると、平均値は、「ふたり親」の世帯では 5.66、「ひとり親」の世帯では 6.47 となっています。

【情緒の問題：世帯の状況別】



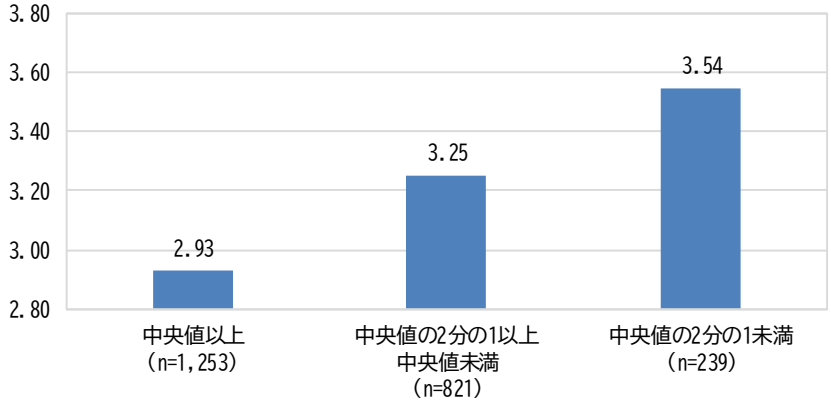
② 仲間関係の問題

・私は、たいてい一人でいる。だいたいいつも一人で遊ぶか、人とつき合うことをさける。
・私は、仲のよい友だちが一人以上いる。
・私は、同じくらいの年れいの子どもからは、だいたい好かれている。
・私は、他の子どもから、いじめられたり、からかわれたりする。
・私は、他の子どもたちより、おとなの人といる方がうまくいく。

「仲間関係の問題」に関して、上記５つの項目の回答結果を足し合わせてスコアを算出しました。（０～15 点。得点が高いほど問題性が高いと考えられます。）

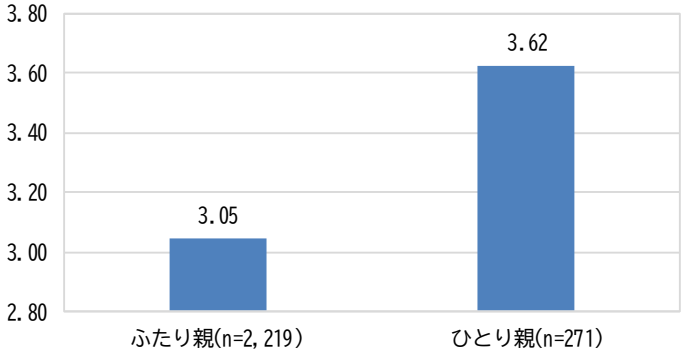
収入の水準別にみると、平均値は、「中央値以上」の世帯では 2.93、「中央値の２分の１以上中央値未満」の世帯では 3.25、「中央値の２分の１未満」の世帯では 3.54 となっています。

【仲間関係の問題：収入の水準別】



世帯の状況別にみると、平均値は、「ふたり親」の世帯では 3.05、「ひとり親」の世帯では 3.62 となっています。

【仲間関係の問題：世帯の状況別】



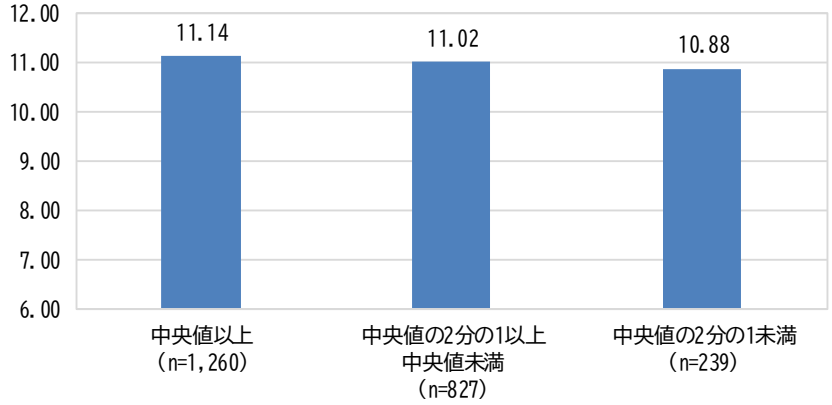
③　向社会性

・私は、他人に対して親切にするようにしている。私は、他人の気持ちをよく考える。
・私は、例えば鉛筆や消しゴムがなくて困っている子がいたら、自分のものを貸してあげる。
・私は、だれかが心を痛めていたり、落ち込んでいたり、いやな思いをしている時、すすんで助ける。
・私は、年下の子どもたちに対してやさしくしている。
・私は、自分からすすんで、親・先生・他の子どもたちなどのお手伝いをよくする。

「向社会性」に関して、上記５つの項目の回答結果を足し合わせてスコアを算出しました。（０～15 点。得点が高いほど社会性が高いと考えられます。）

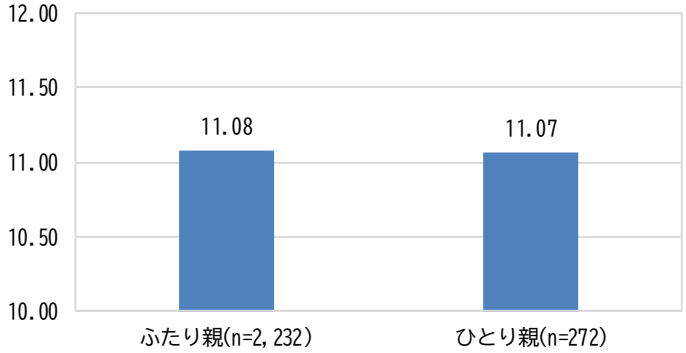
収入の水準別にみると、平均値は、「中央値以上」の世帯では 11.14、「中央値の２分の１以上中央値未満」の世帯では 11.02、「中央値の２分の１未満」の世帯では 10.88 となっています。

【向社会性の問題：収入の水準別】



世帯の状況別にみると、平均値は、「ふたり親」の世帯では 11.08、「ひとり親」の世帯では 11.07 となっています。

【向社会性の問題：世帯の状況別】



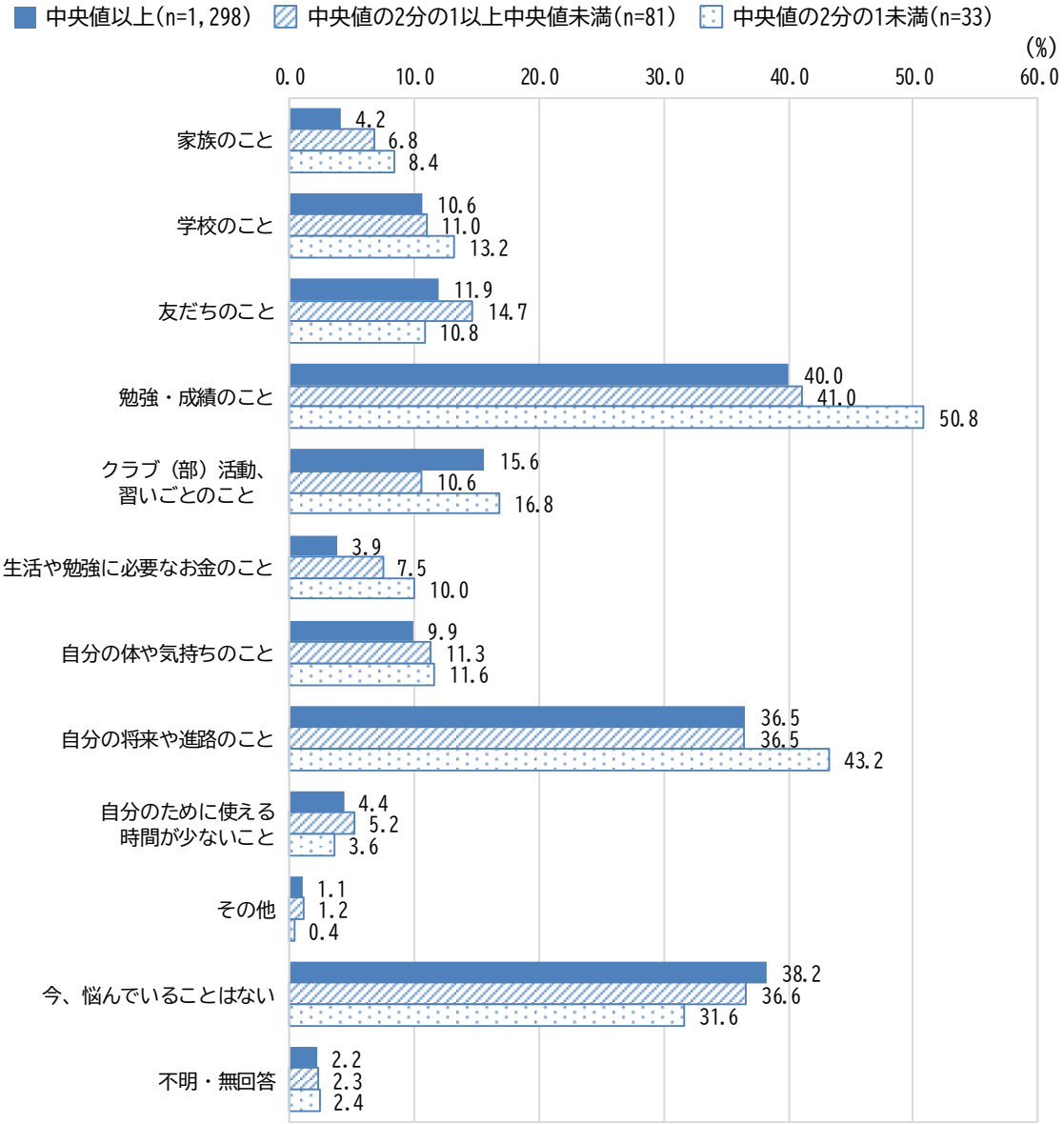
⑷　悩みごと、困りごと

問 33　あなたは今、悩んだり、困ったりしていることがありますか。（すべてに○）

収入の水準別にみると、いずれの世帯でも「勉強・成績のこと」が最も高くなっています。

「中央値の２分の１未満」の世帯では、他の世帯に比べて、「勉強・成績のこと」、「生活や勉強に必要なお金のこと」、「自分の将来や進路のこと」がやや高くなっている一方で、「今、悩んでいることはない」がやや低くなっています。

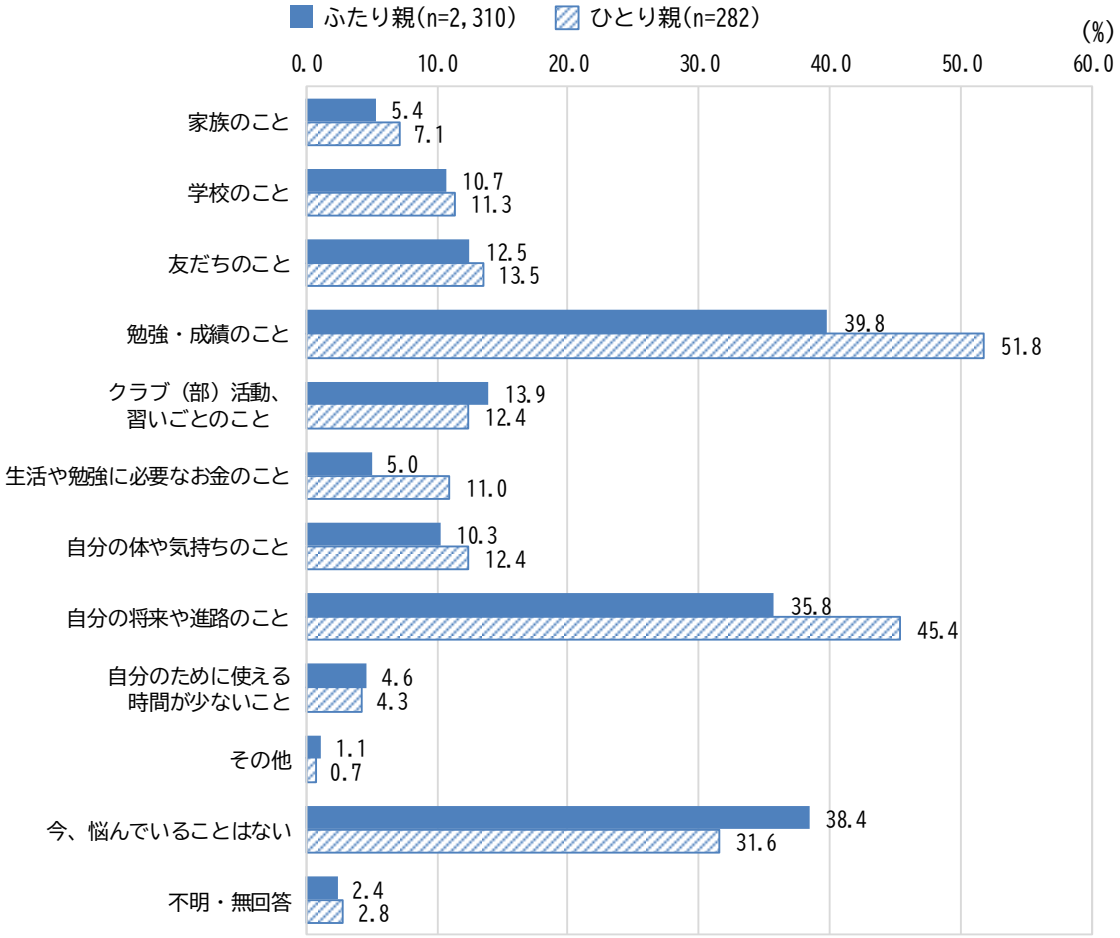
【悩みごと、困りごと：収入の水準別】



世帯の状況別にみると、いずれの世帯でも「勉強・成績のこと」が最も高くなっています。

「ひとり親」の世帯では、「ふたり親」の世帯に比べて、「勉強・成績のこと」、「生活や勉強に必要なお金のこと」、「自分の将来や進路のこと」が高くなっている一方で、「今、悩んでいることはない」がやや低くなっています。

【悩みごと、困りごと：世帯の状況別】

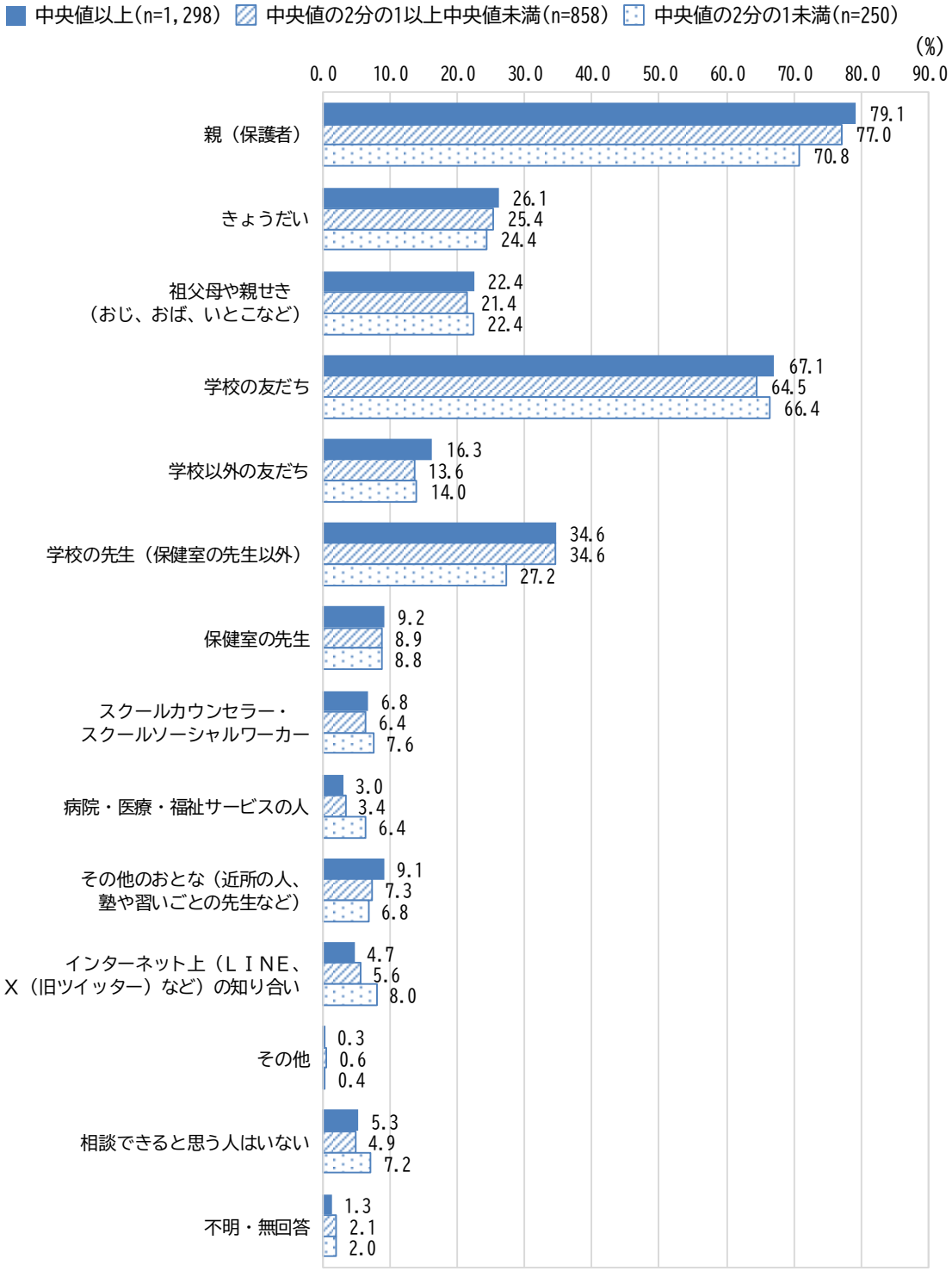


⑸　相談できると思う人

問 34　あなたが悩んだり困ったりしたときに相談できると思う人はだれですか。（すべてに○）

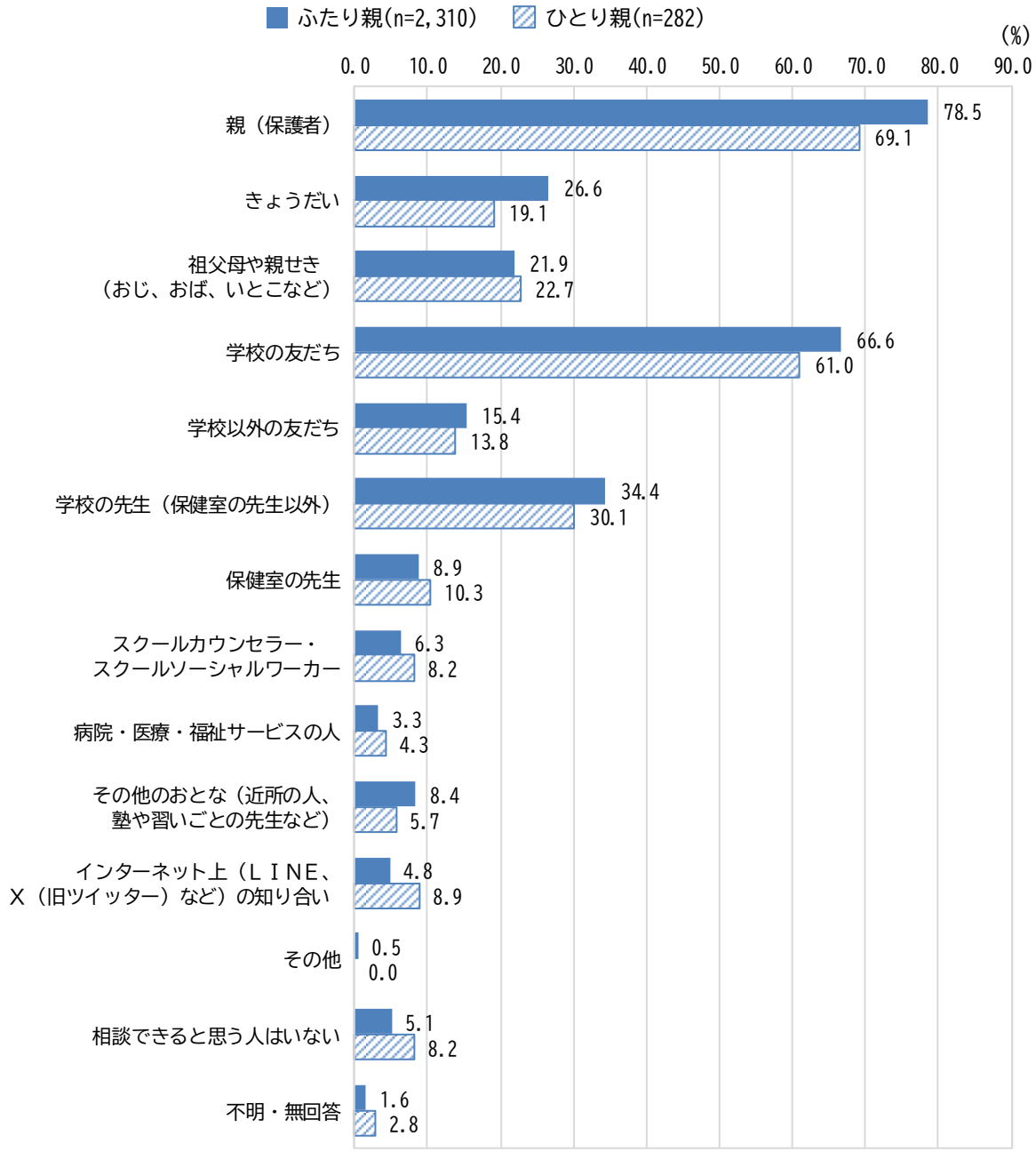
収入の水準別にみると、いずれの世帯でも「親（保護者）」が最も高く、次いで「学校の友だち」、「学校の先生（保健室の先生以外）」となっています。

【相談できると思う人：収入の水準別】



世帯の状況別にみると、いずれの世帯でも「親（保護者）」が最も高く、次いで「学校の友だち」、「学校の先生（保健室の先生以外）」となっています。

【相談できると思う人：世帯の状況別】



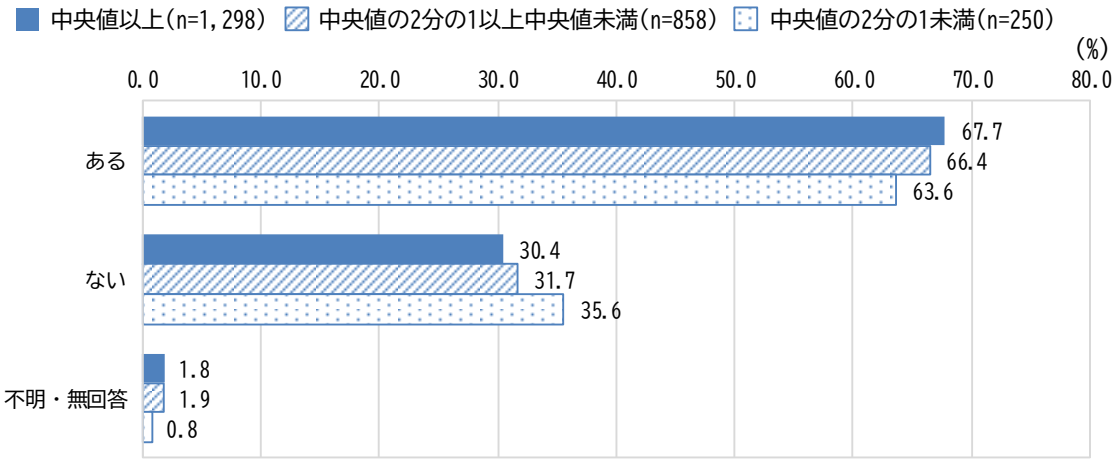
⑹　相談経験の有無

問 35　あなたが悩んだり、困ったりしていることについて、問 34 で回答した人などに相談したことはありますか。（１つに○）

収入の水準別にみると、いずれの世帯でも「ある」が最も高くなっています。

「ない」は、「中央値以上」の世帯では 30.4%、「中央値の２分の１以上中央値未満」の世帯では 31.7%、「中央値の２分の１未満」の世帯では 35.6%となっています。

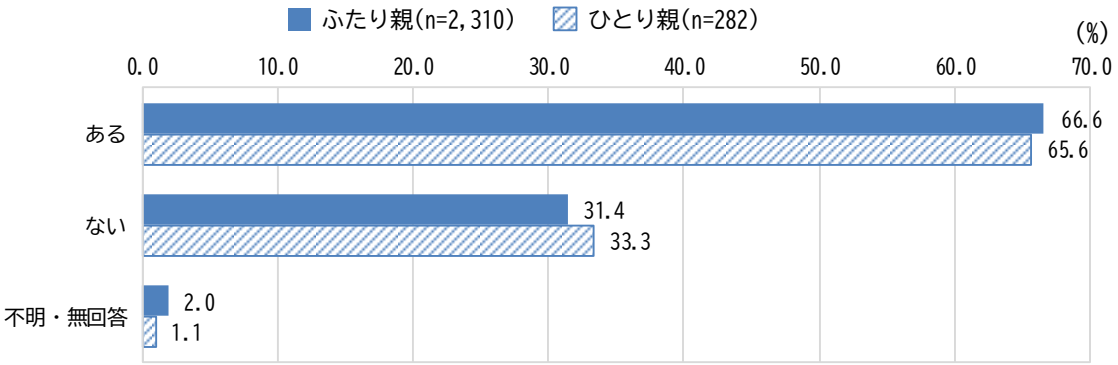
【相談経験の有無：収入の水準別】



世帯の状況別にみると、いずれの世帯でも「ある」が最も高くなっています。

「ない」は、「ふたり親」の世帯では 31.4%、「ひとり親」の世帯では 33.3%となっています。

【相談経験の有無：世帯の状況別】

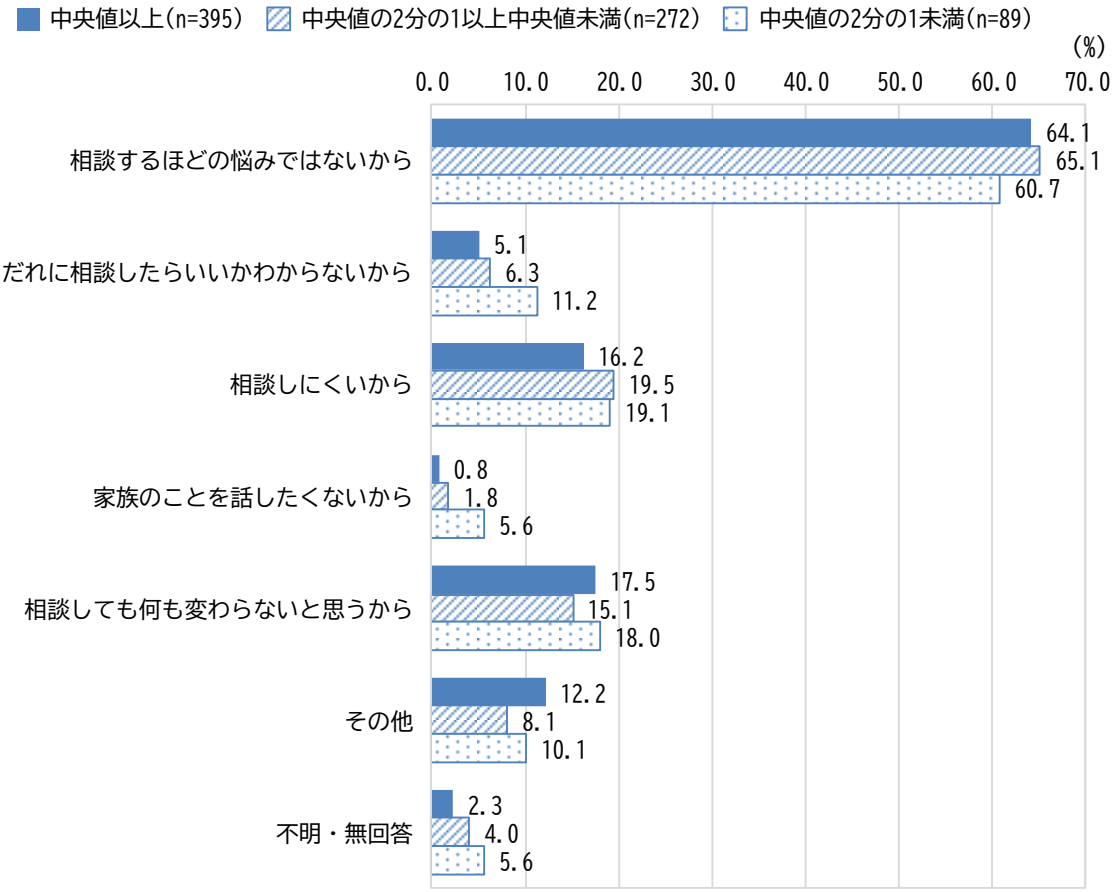


⑺　相談していない理由

問 36　あなたが相談していない理由を教えてください。（すべてに○）
　【問 35 で「ない」と回答した方への設問】

収入の水準別にみると、いずれの世帯でも「相談するほどの悩みではないから」が最も高くなっています。次いで、「中央値以上」の世帯では「相談しても何も変わらないと思うから」が高くなっており、「中央値の２分の１以上中央値未満」の世帯及び「中央値の２分の１未満」の世帯では「相談しにくいから」が高くなっています。

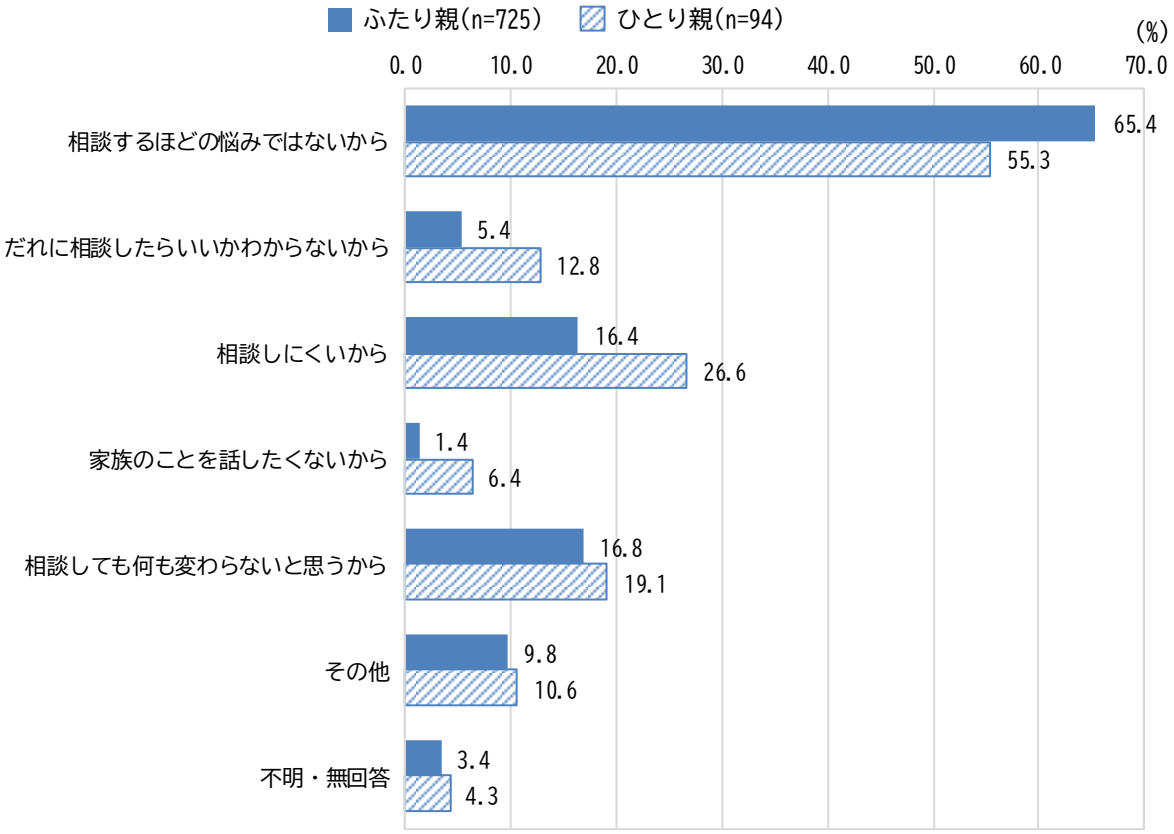
【相談していない理由：収入の水準別】



世帯の状況別にみると、いずれの世帯でも「相談するほどの悩みではないから」が最も高くなっています。次いで、「ふたり親」の世帯では「相談しても何も変わらないと思うから」が高くなっており、「ひとり親」の世帯では「相談しにくいから」が高くなっています。

また、「ひとり親」の世帯では、「だれに相談したらいいか分からないから」、「相談しにくいから」、「家族のことを話したくないから」が、「ふたり親」の世帯に比べてやや高くなっています。

【相談していない理由：世帯の状況別】

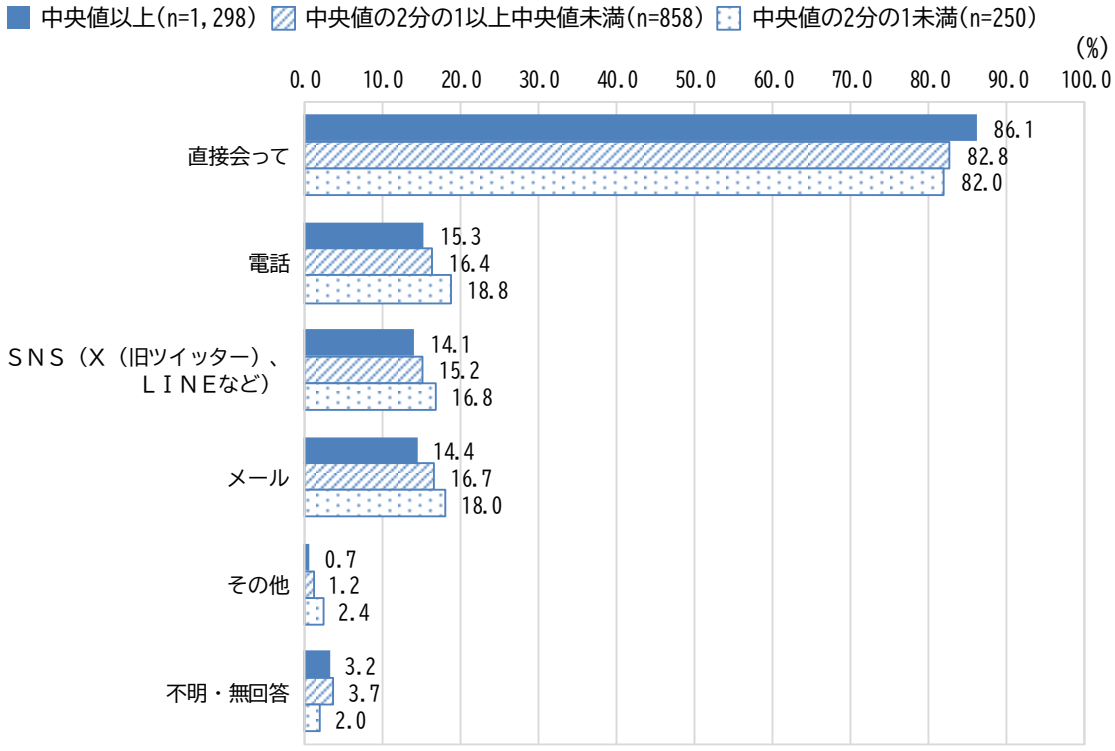


⑻　相談の方法

問 37　あなたが悩んだり困っていることを周りのおとなに相談するとしたら、あなたは、どんな方法で話を聞いたり相談にのったりしてほしいですか。（すべてに○）

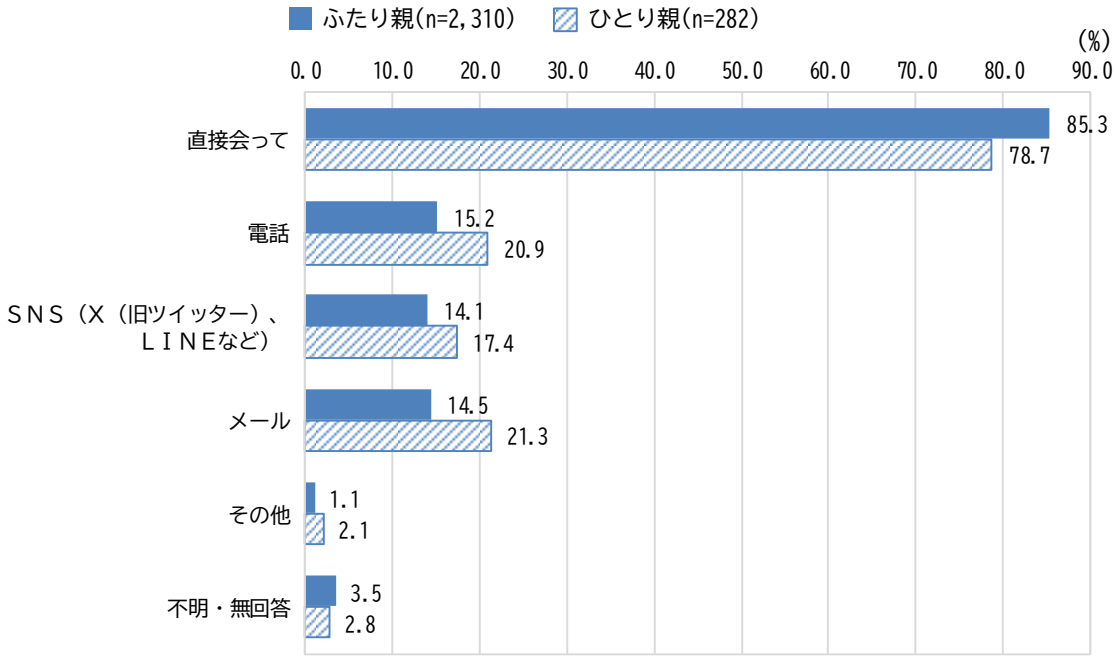
収入の水準別にみると、いずれの世帯でも「直接会って」が最も高くなっています。

【相談の方法：収入の水準別】



世帯の状況別にみると、いずれの世帯でも「直接会って」が最も高くなっています。

【相談の方法：世帯の状況別】



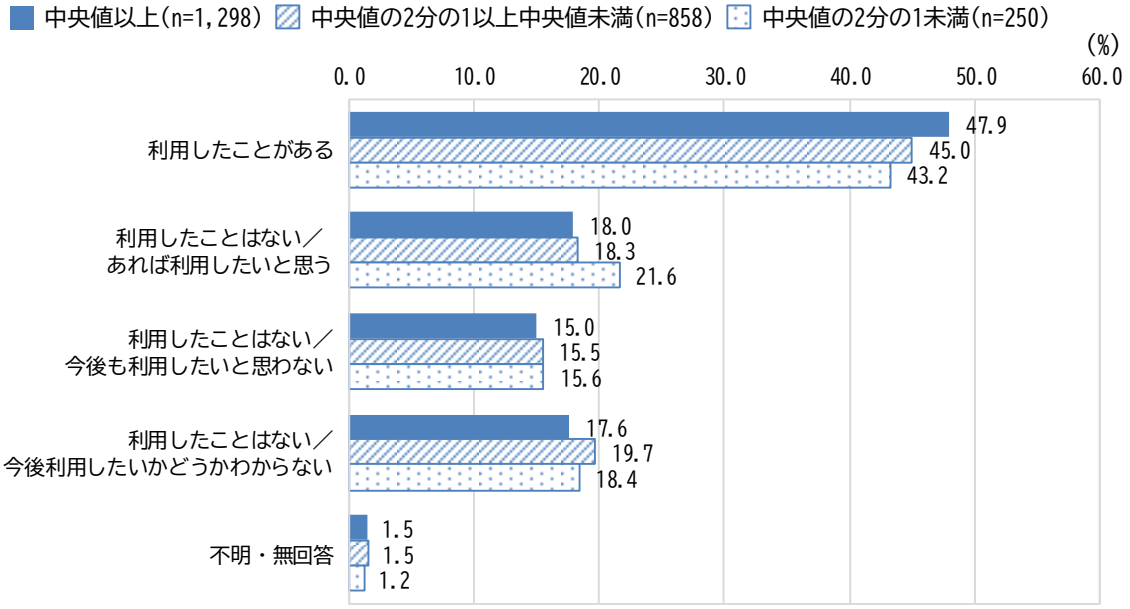
⑼　支援制度・居場所の利用状況

問 38　あなたは、次の場所を利用したことがありますか。また、利用したことがない場合、今後利用したいと思いますか。（１つに○）

①　（自分や友だちの家、お店以外で）放課後や休日を無料で過ごすことができる場所（児童センター、図書館、公民館など）

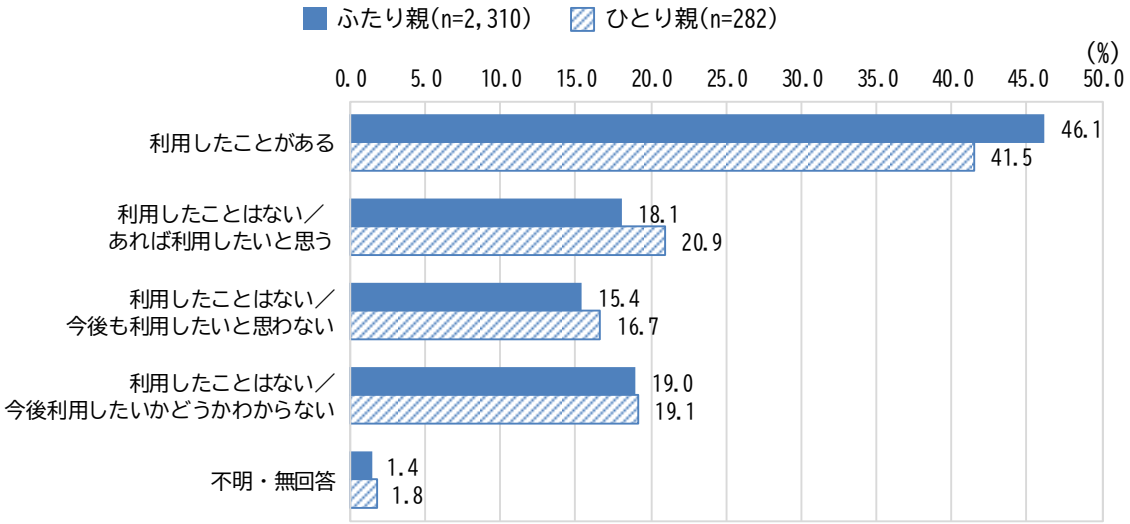
収入の水準別にみると、いずれの世帯でも「利用したことがある」が最も高くなっています。

【支援制度・居場所の利用状況（放課後や休日を無料で過ごすことができる場所）：収入の水準別】



世帯の状況別にみると、いずれの世帯でも「利用したことがある」が最も高くなっています。

【支援制度・居場所の利用状況（放課後や休日を無料で過ごすことができる場所）：世帯の状況別】

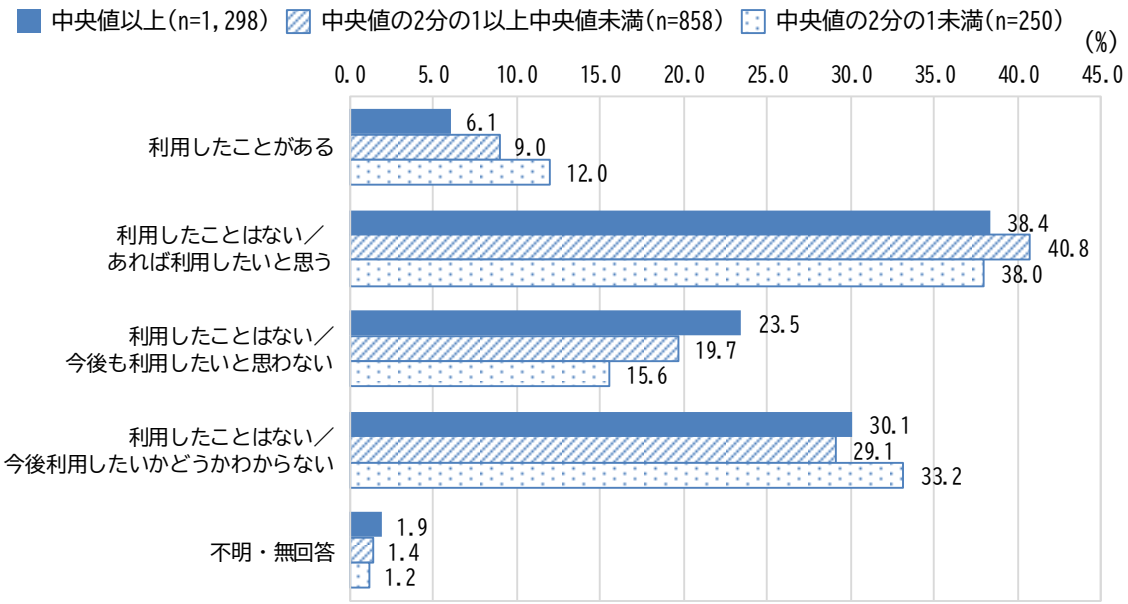


② （自分や友だちの家以外で）ご飯を無料で、または安く食べることができる場所（こども食堂など）

収入の水準別にみると、いずれの世帯でも「利用したことはない／あれば利用したいと思う」が最も高く、次いで「利用したことはない／今後利用したいかどうかわからない」となっています。

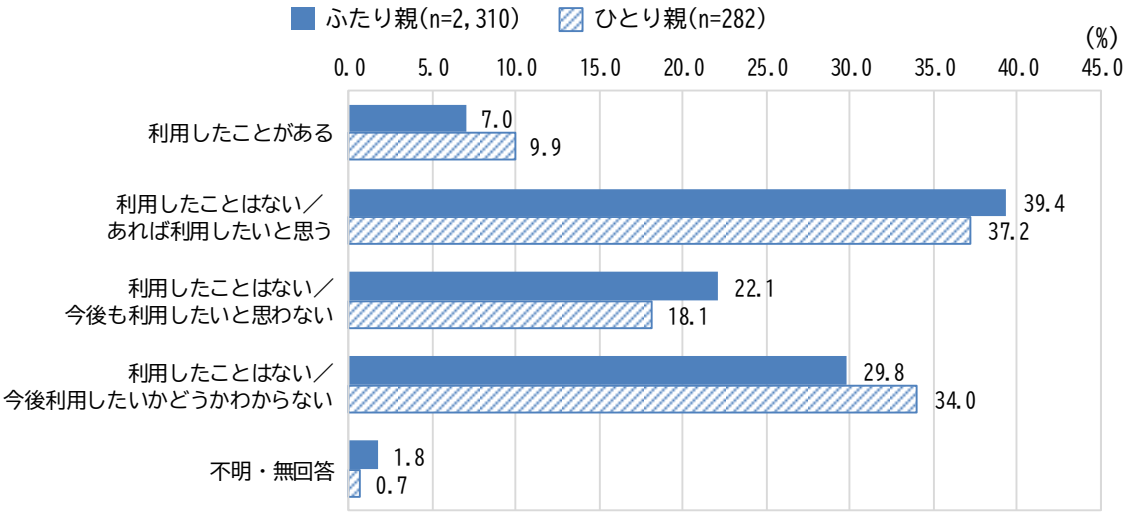
また、「中央値の２分の１未満」の世帯では、他の世帯に比べて「利用したことがある」の割合がやや高くなっています。

【支援制度・居場所の利用状況（ご飯を無料で、または安く食べることができる場所）：収入の水準別】



世帯の状況別にみると、いずれの世帯でも「利用したことはない／あれば利用したいと思う」が最も高く、次いで「利用したことはない／今後利用したいかどうかわからない」となっています。

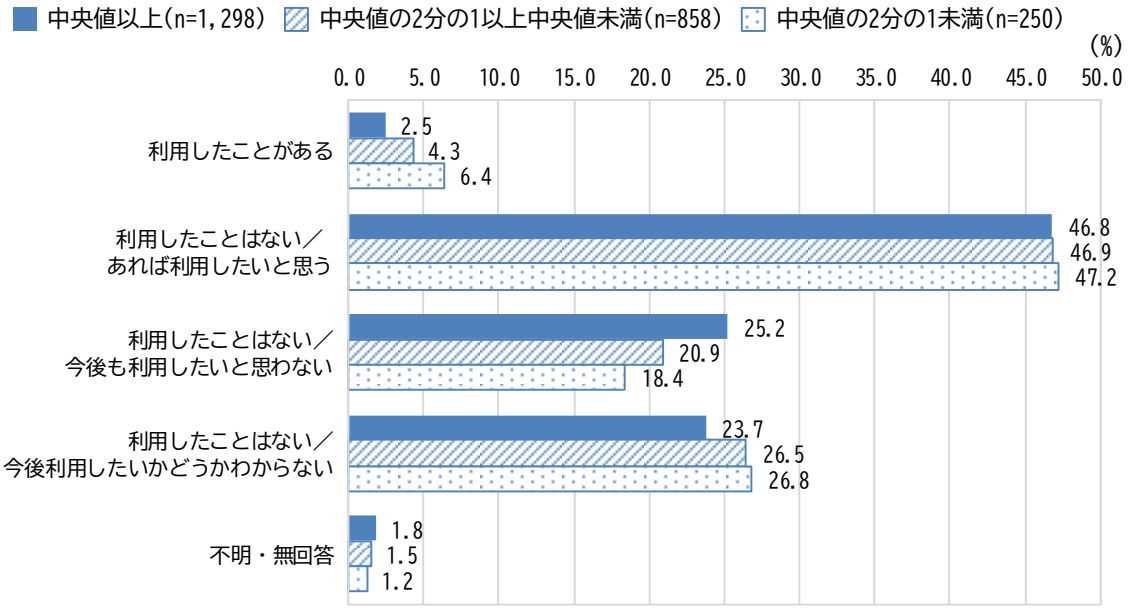
【支援制度・居場所の利用状況（ご飯を無料で、または安く食べることができる場所）：世帯の状況別】



③　勉強を無料で見てくれる場所

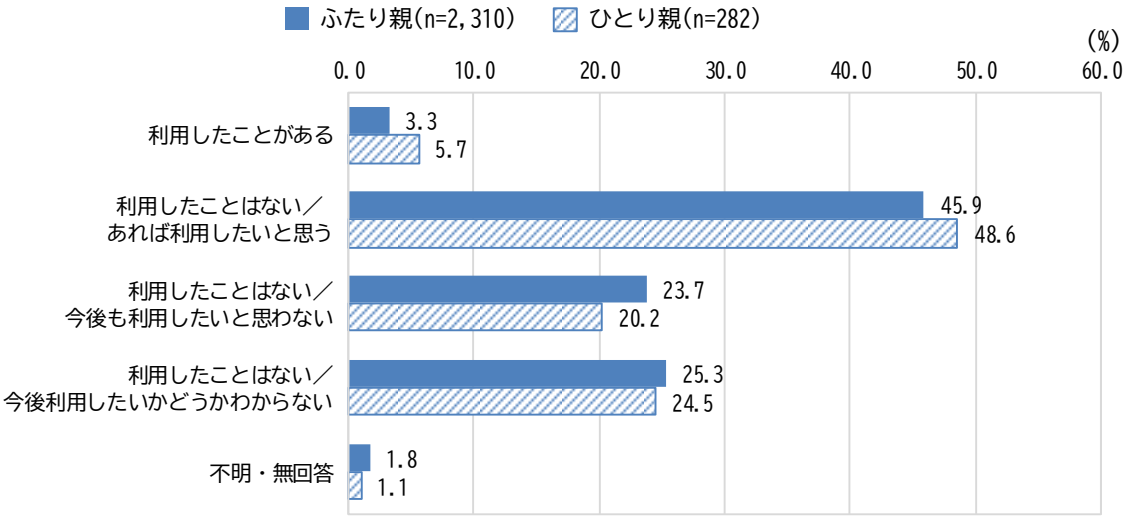
収入の水準別にみると、いずれの世帯でも「利用したことはない／あれば利用したいと思う」が最も高く、次いで「中央値以上」の世帯では「利用したことはない／今後も利用したいと思わない」、「中央値の２分の１以上中央値未満」の世帯及び「中央値の２分の１未満」の世帯では「利用したことはない／今後利用したいかどうかわからない」となっています。

【支援制度・居場所の利用状況（勉強を無料で見てくれる場所）：収入の水準別】



世帯の状況別にみると、いずれの世帯でも「利用したことはない／あれば利用したいと思う」が最も高く、次いで「利用したことはない／今後利用したいかどうかわからない」となっています。

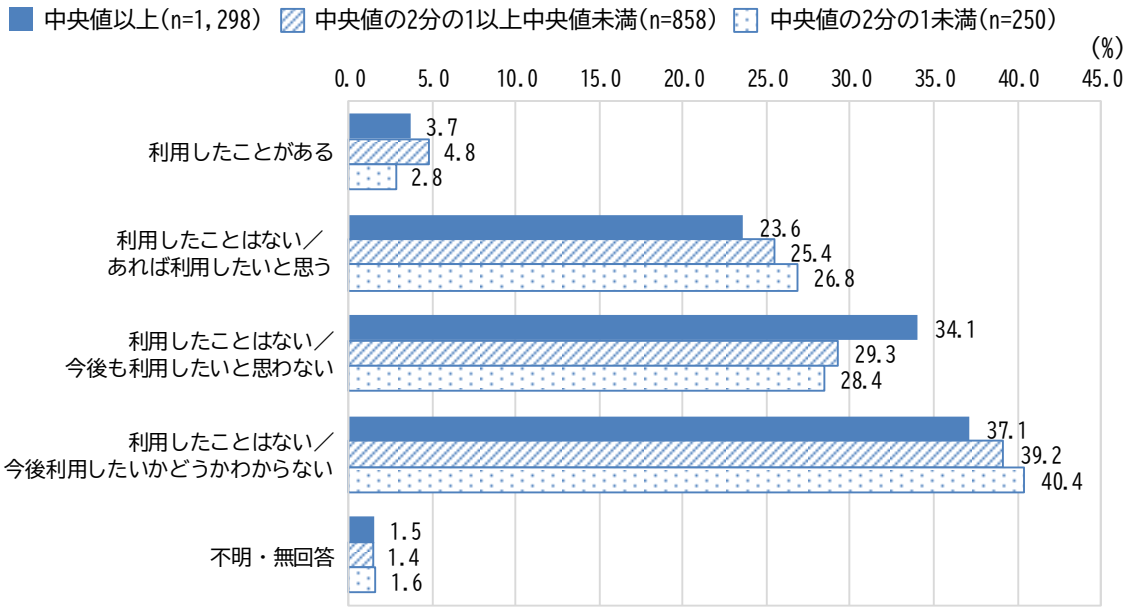
【支援制度・居場所の利用状況（勉強を無料で見てくれる場所）：世帯の状況別】



④　（家や学校以外で）悩みや困ったことを相談できる場所（電話やネットの相談も含む）

収入の水準別にみると、いずれの世帯でも「利用したことはない／今後も利用したいかどうかわからない」が最も高く、次いで「利用したことはない／今後も利用したいと思わない」となっています。

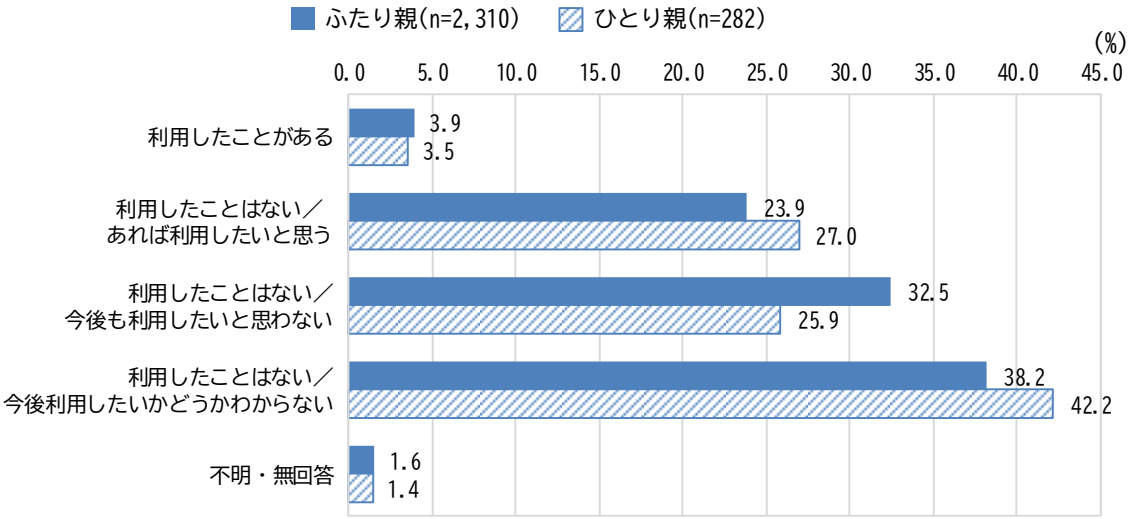
【支援制度・居場所の利用状況（悩みや困ったことを相談できる場所）：収入の水準別】



世帯の状況別にみると、いずれの世帯でも「利用したことはない／今後も利用したいかどうかわからない」が最も高くなっています。

「ひとり親」の世帯では「ふたり親」の世帯に比べて、「利用したことはない／あれば利用したいと思う」がやや高く、「利用したことはない／今後も利用したいと思わない」がやや低くなっています。

【支援制度・居場所の利用状況（悩みや困ったことを相談できる場所）：世帯の状況別】

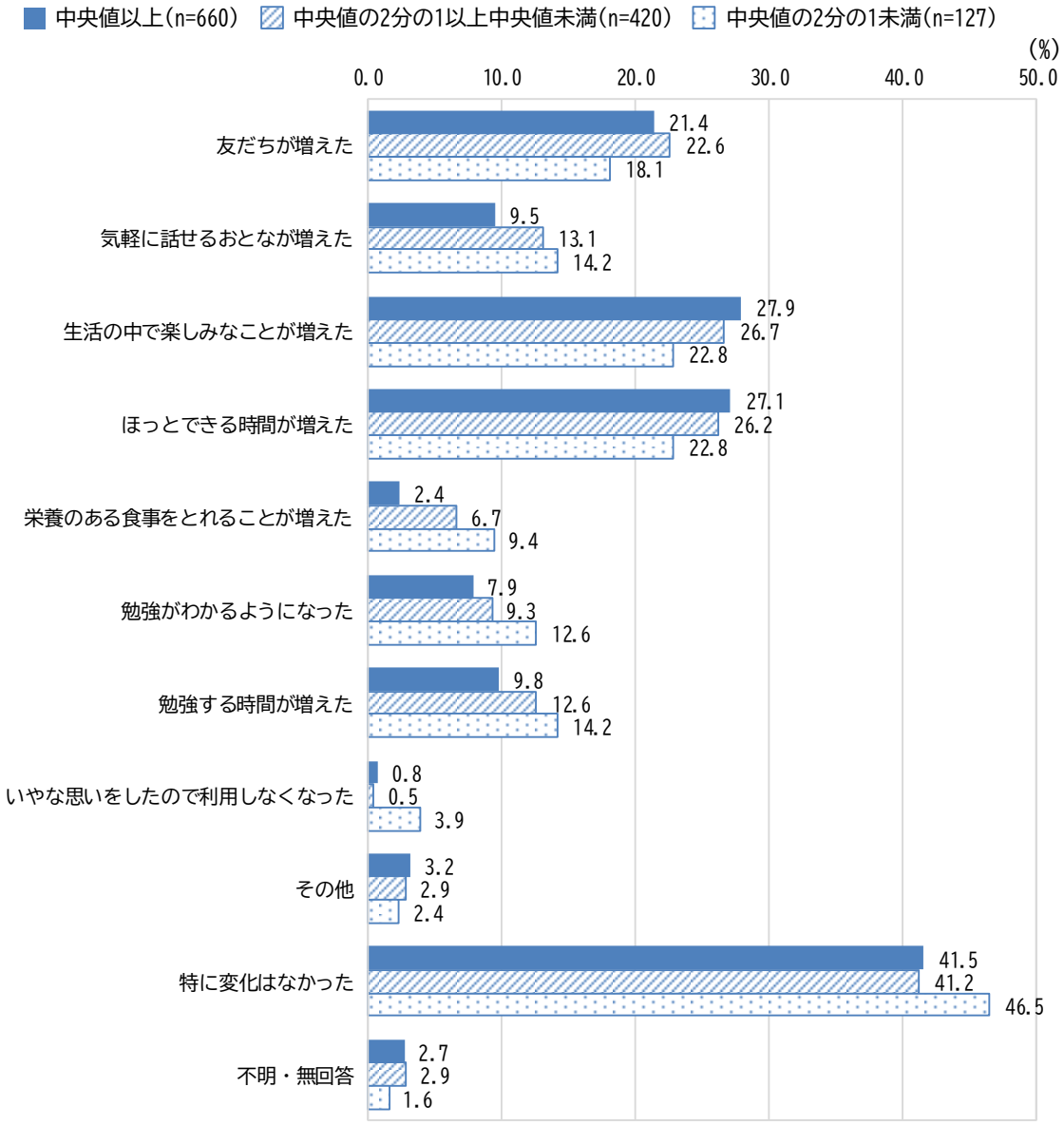


⑽　支援制度・居場所の利用による変化

問 39　その場所を利用したことで、あなたにどのような変化がありましたか。（すべてに○）
【問 38 で「利用したことがある」と回答した方への設問】

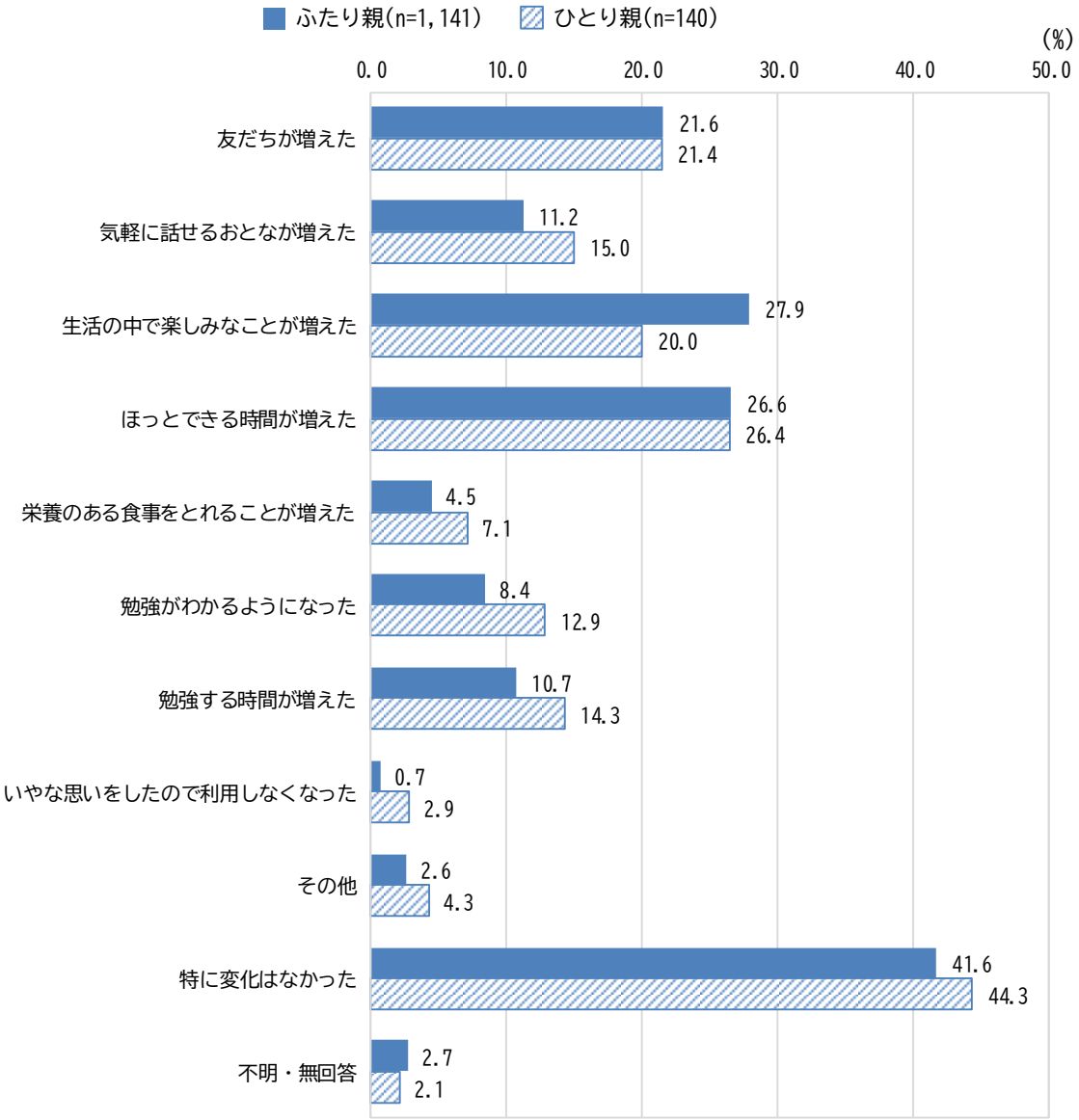
収入の水準別にみると、いずれの世帯でも「特に変化はなかった」が最も高く、次いで「生活の中で楽しみなことが増えた」、「ほっとできる時間が増えた」、「友だちが増えた」となっています。

【支援制度・居場所の利用による変化：収入の水準別】



世帯の状況別にみると、いずれの世帯でも「特に変化はなかった」が最も高くなっています。次いで、「ふたり親」の世帯では「生活の中で楽しみなことが増えた」が高くなっており、「ひとり親」の世帯では「ほっとできる時間が増えた」が高くなっています。

【支援制度・居場所の利用による変化：世帯の状況別】

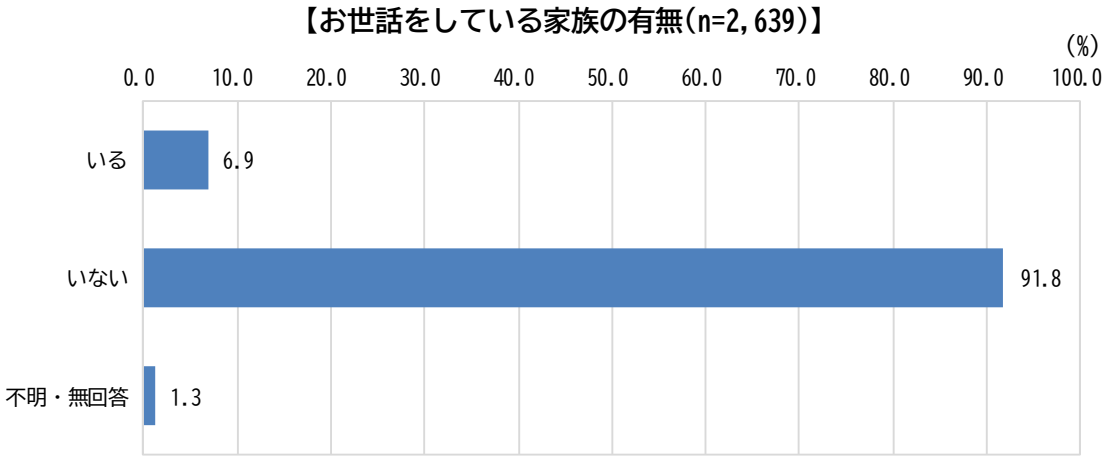


5　家族のお世話について

⑴　お世話をしている家族の有無

問 20　あなたが中心となって、お世話をしている家族の人はいますか。（１つに○）
※「お世話」とは、本来おとながするような家事や家族のお世話のことです。

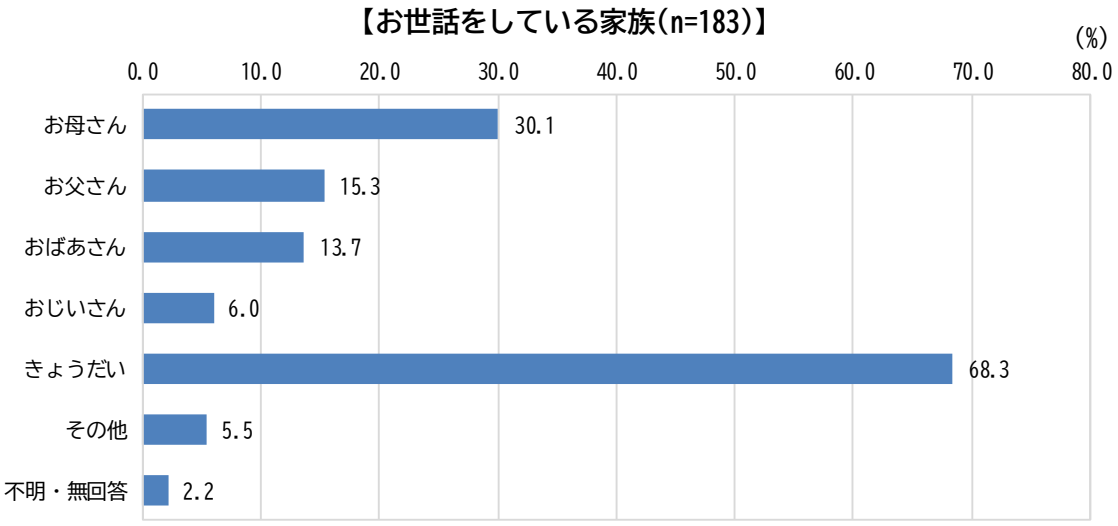
「いる」が 6.9%、「いない」が 91.8%となっています。



⑵　お世話をしている家族

問 21　あなたがお世話をしている人は、だれですか。（すべてに○）
【問 20 で「いる」と回答した方への設問】

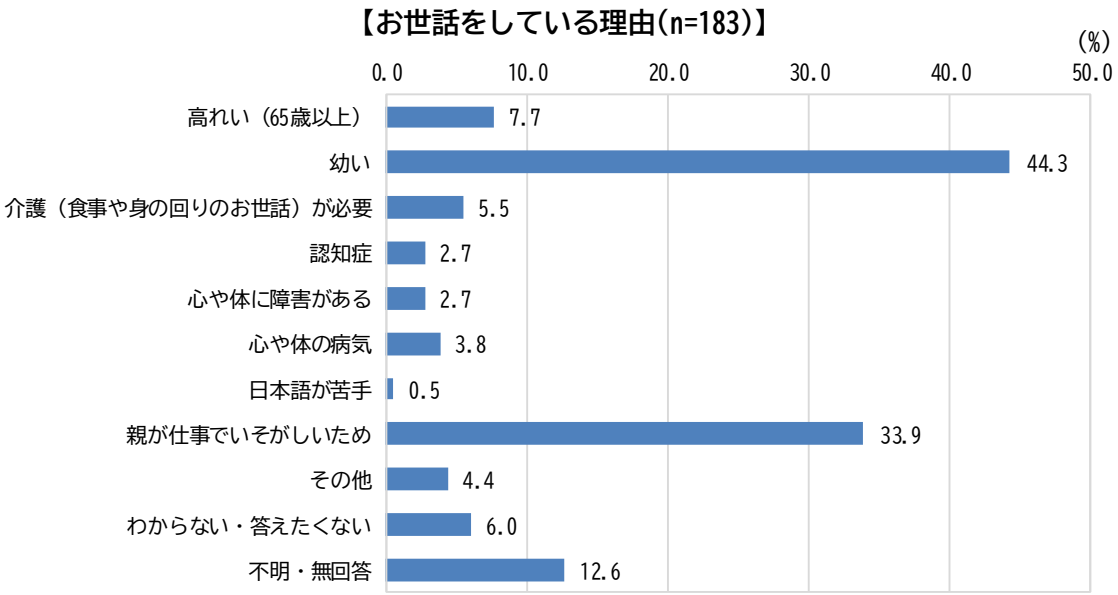
「きょうだい」が最も高く、次いで「お母さん」、「お父さん」、「おばあさん」となっています。



⑶　お世話をしている理由

問 22　あなたがお世話をしている理由を教えてください。（すべてに○）
【問 20 で「いる」と回答した方への設問】

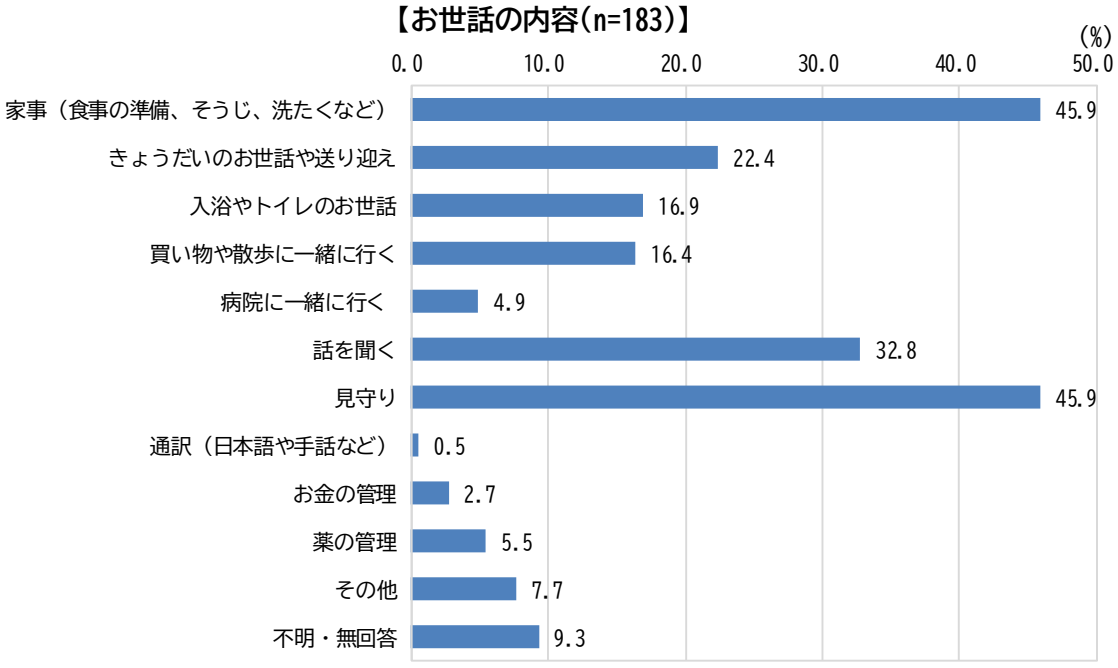
「幼い」が最も高く、次いで「親が仕事でいそがしいため」となっています。



⑷　お世話の内容

問 23　あなたはどのようなお世話をしていますか。（すべてに○）
【問 20 で「いる」と回答した方への設問】

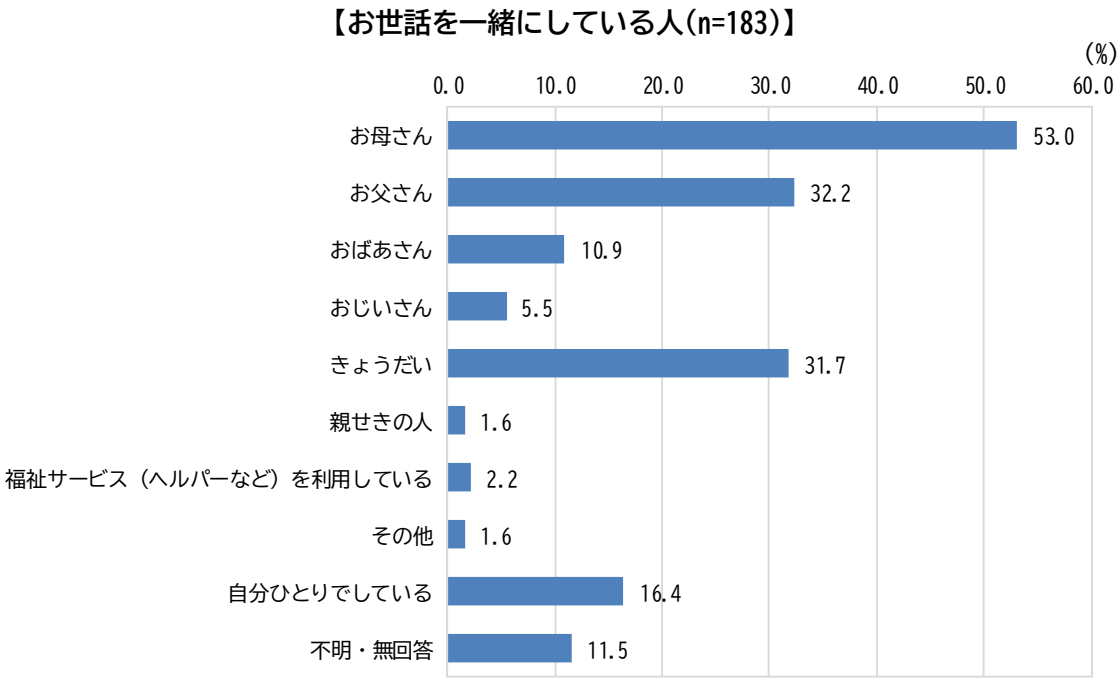
「家事（食事の準備、そうじ、洗たくなど)」、「見守り」が最も高く、次いで「話を聞く」、「きょうだいのお世話や送り迎え」となっています。



⑸　お世話を一緒にしている人

問 24　あなたは、お世話をだれと一緒にしていますか。（すべてに○）
　【問 20 で「いる」と回答した方への設問】

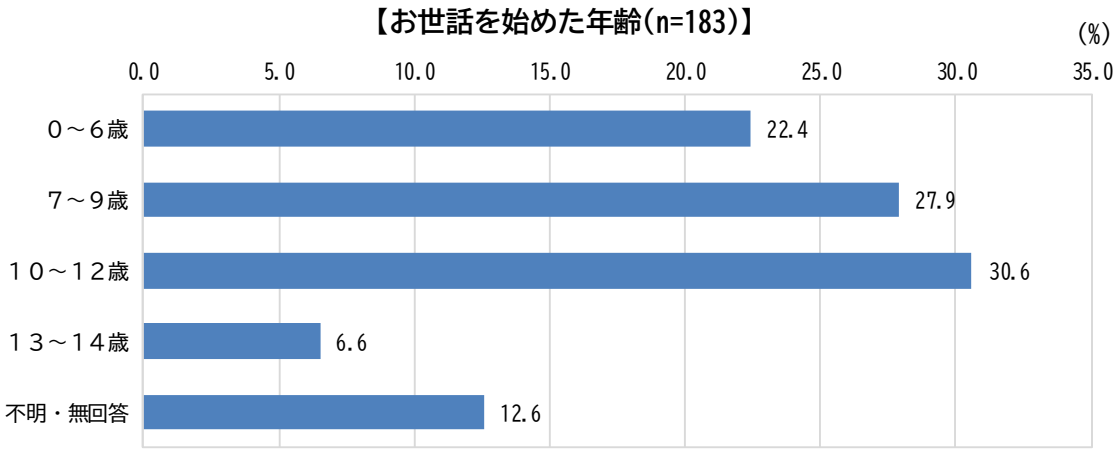
「お母さん」が最も高く、次いで「お父さん」、「きょうだい」となっています。また、「自分ひとりでしている」は 16.4%となっています。



⑹　お世話を始めた年齢

問 25　あなたは何歳からお世話をしていますか。（数字を記入）
　【問 20 で「いる」と回答した方への設問】

「10～12 歳」が最も高く、次いで「7～9 歳」、「0～6 歳」となっています。

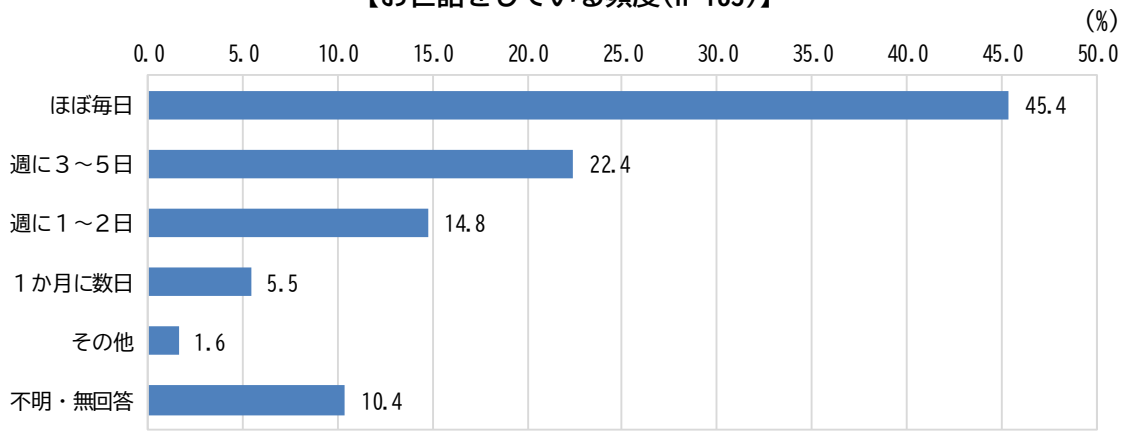


⑺　お世話をしている頻度

問 26　あなたは、どのくらいお世話をしていますか。（１つに○）
　【問 20 で「いる」と回答した方への設問】

「ほぼ毎日」が最も高く、次いで「週に３～５日」、「週に１～２日」となっています。

【お世話をしている頻度(n=183)】

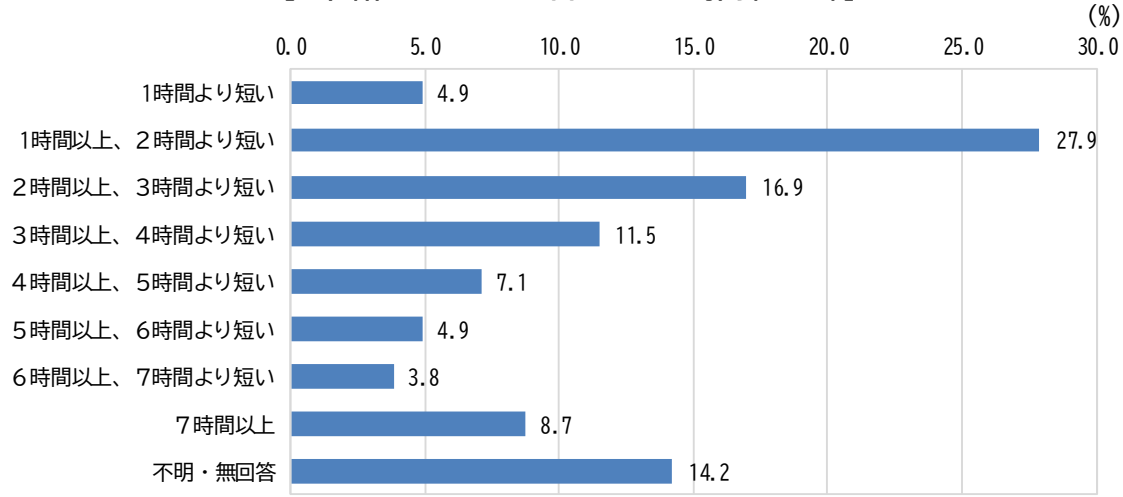


⑻　お世話をしている一日あたりの時間

問 27　あなたは平日、だいたい何時間くらいお世話をしていますか。（数字を記入）
　【問 20 で「いる」と回答した方への設問】

「１時間以上、２時間より短い」が最も高く、次いで「２時間以上、３時間より短い」、「３時間以上、４時間より短い」となっています。

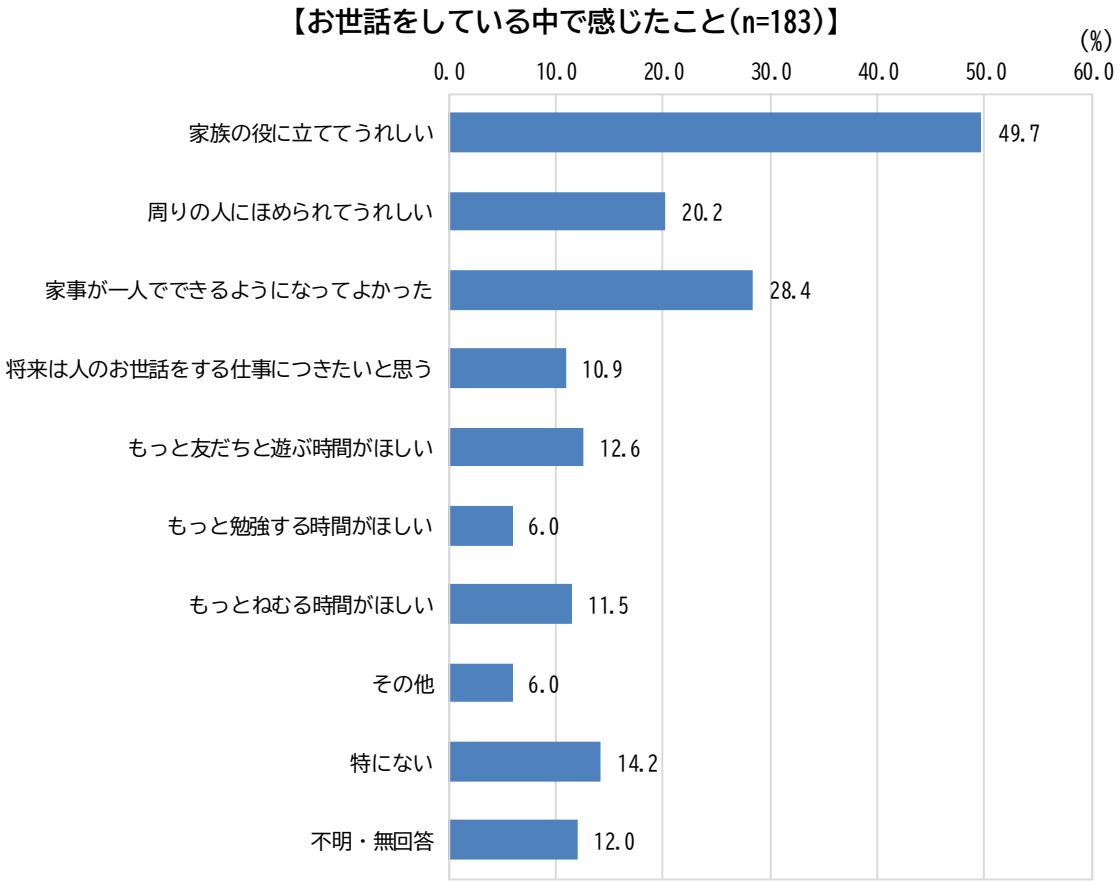
【お世話をしている一日あたりの時間(n=183)】



⑼　お世話をしている中で感じたこと

問 28　あなたがお世話をしている中で感じたことについて、あてはまる番号を選んでください。
（すべてに○）
【問 20 で「いる」と回答した方への設問】

「家族の役に立ててうれしい」が最も高く、次いで「家事が一人でできるようになってよかった」、「周りの人にほめられてうれしい」となっています。

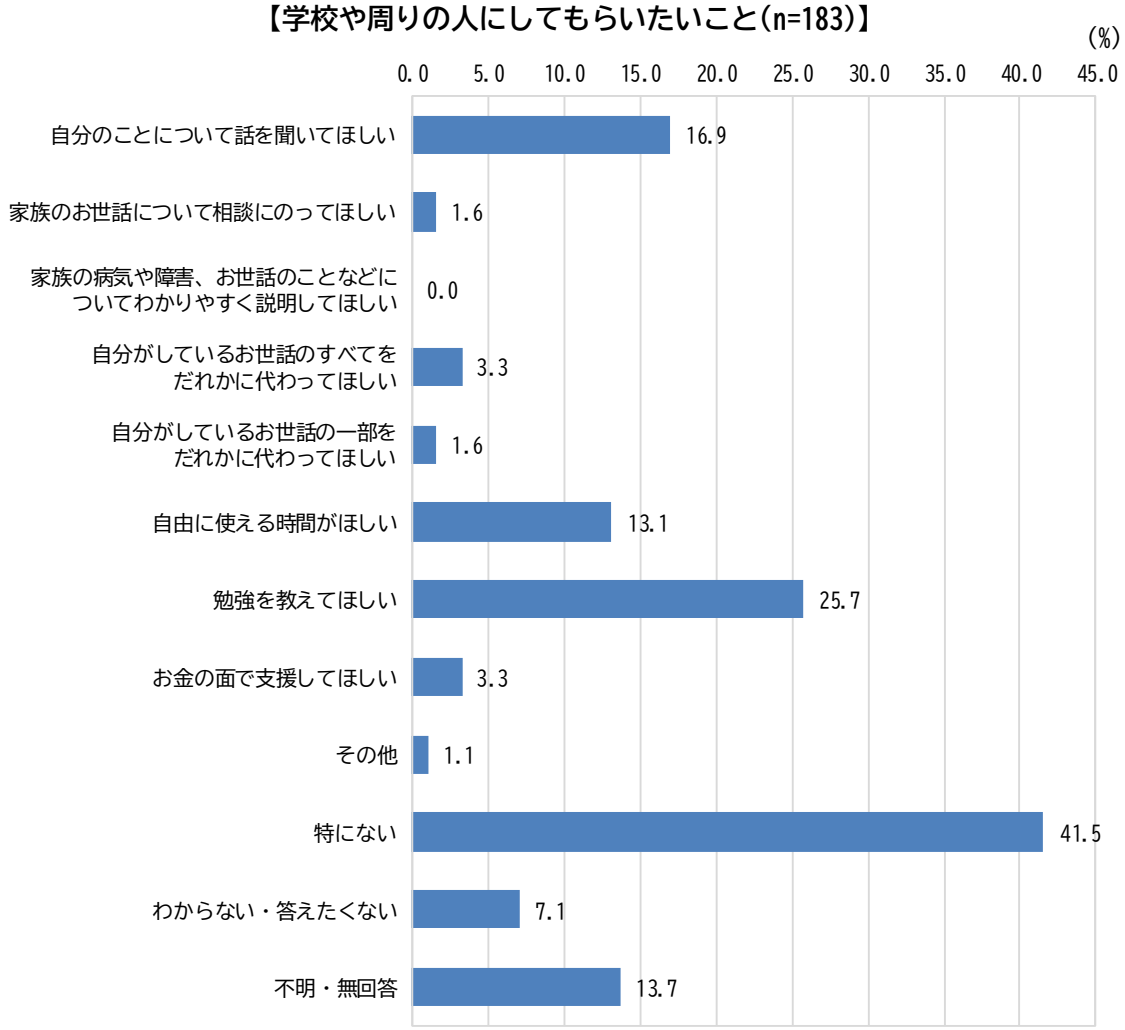


⑽　学校や周りの人にしてもらいたいこと

問 29　あなたが学校や周りの人にしてもらいたいことはありますか。（すべてに○）
【問 20 で「いる」と回答した方への設問】

「特にない」が最も高くなっており、次いで「勉強を教えてほしい」、「自分のことについて話を聞いてほしい」、「自由に使える時間がほしい」となっています。

【学校や周りの人にしてもらいたいこと(n=183)】



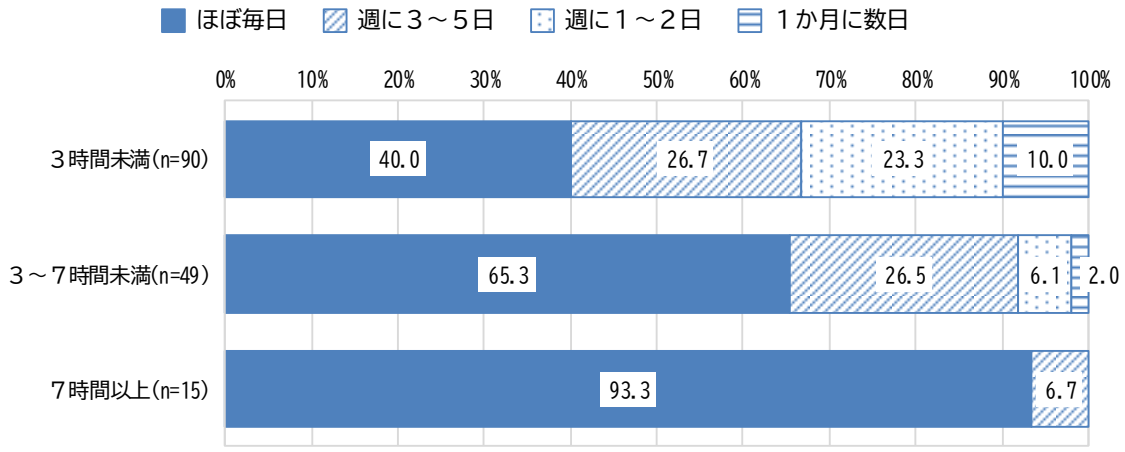
⑾　「お世話をしている一日あたりの時間」によるクロス集計

お世話をしている一日あたりの時間（問 27）の回答結果を「３時間未満」、「３～７時間未満」、「７時間以上」の３項目に整理した上で、他設問の回答結果とのクロス集計を行い、全体の回答結果も合わせて分析を行いました。

①　お世話をしている一日あたりの時間×お世話をしている頻度（問 26）

お世話に費やす時間が長くなるほど、お世話をしている頻度が高くなる傾向がみられます。

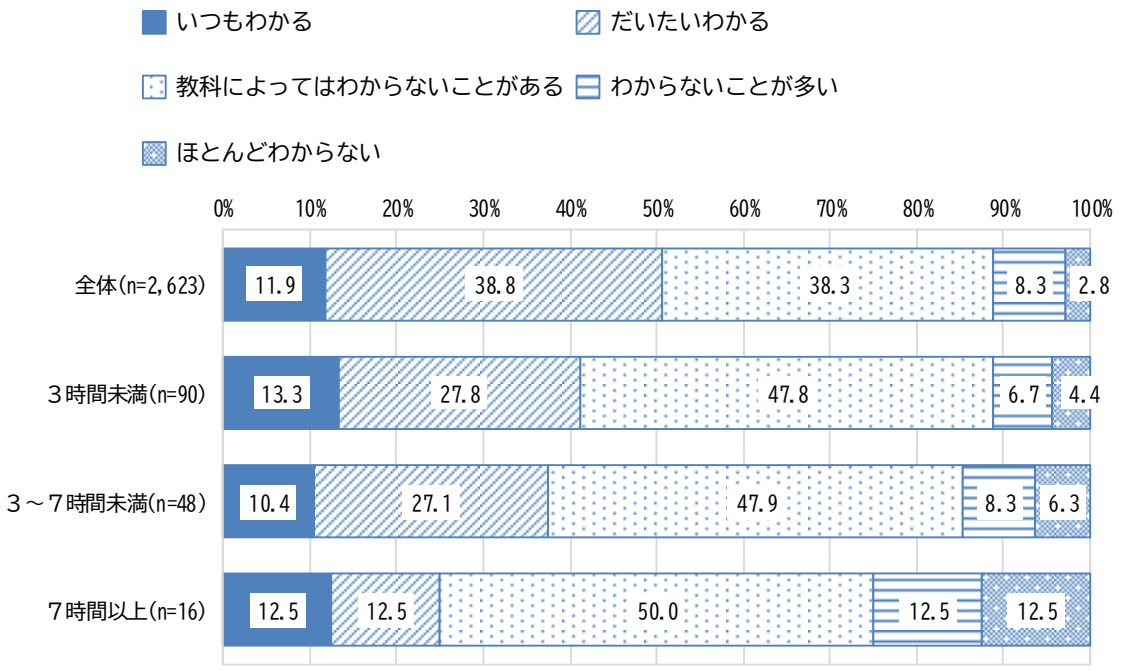
【お世話をしている一日あたりの時間×お世話をしている頻度】



②　お世話をしている一日あたりの時間×学校の勉強の理解度（問４）

お世話に費やす時間が長くなるほど、「教科によってはわからないことがある」、「わからないことが多い」、「ほとんどわからない」が高くなる傾向がみられます。

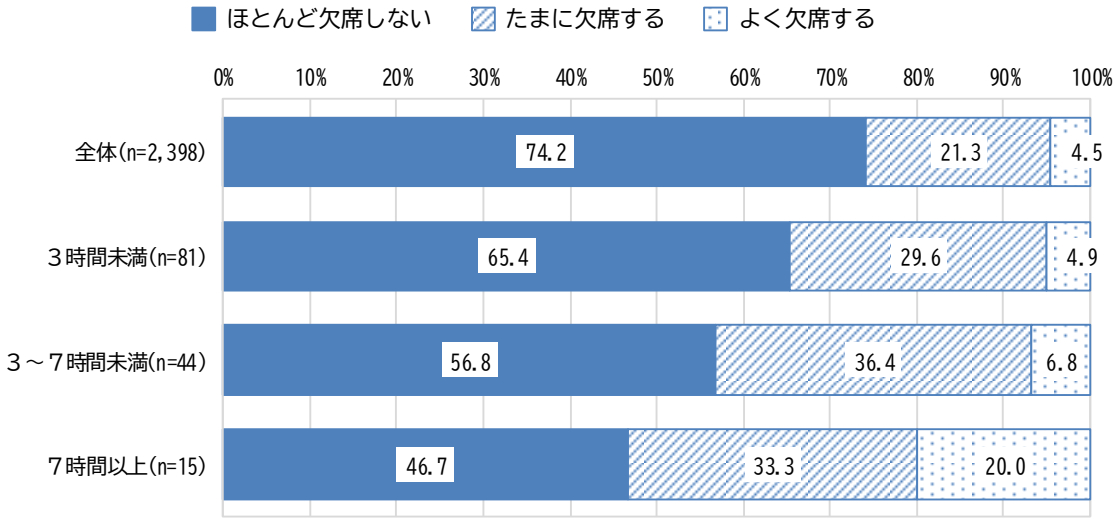
【お世話をしている一日あたりの時間×学校の勉強の理解度】



③　お世話をしている一日あたりの時間×欠席（問６）

お世話に費やす時間が長くなるほど、「たまに欠席する」、「よく欠席する」が高くなる傾向がみられます。

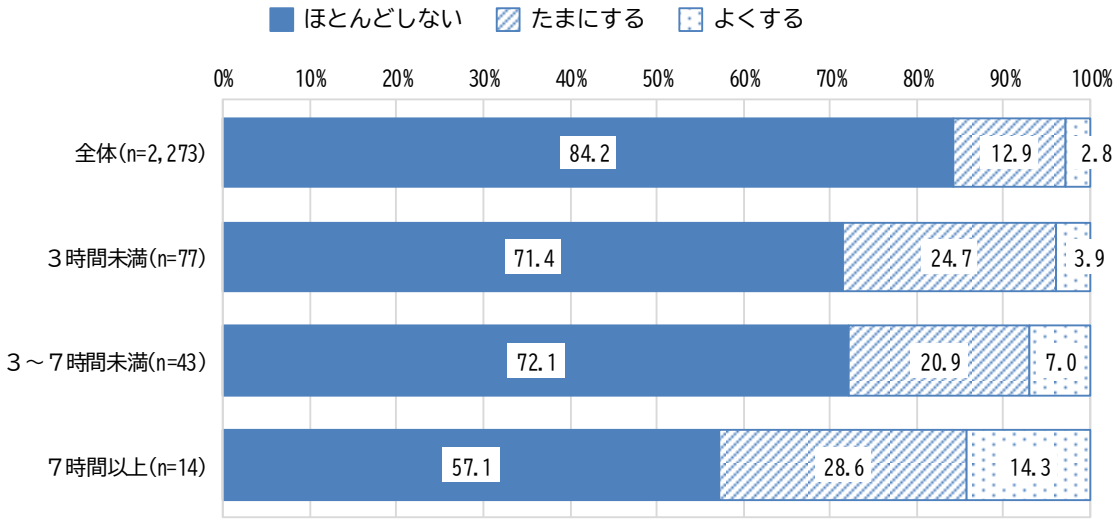
【お世話をしている一日あたりの時間×欠席】



④　お世話をしている一日あたりの時間×遅刻・早退（問６）

お世話に費やす時間が長くなるほど、「たまにする」、「よくする」が高くなる傾向がみられます。

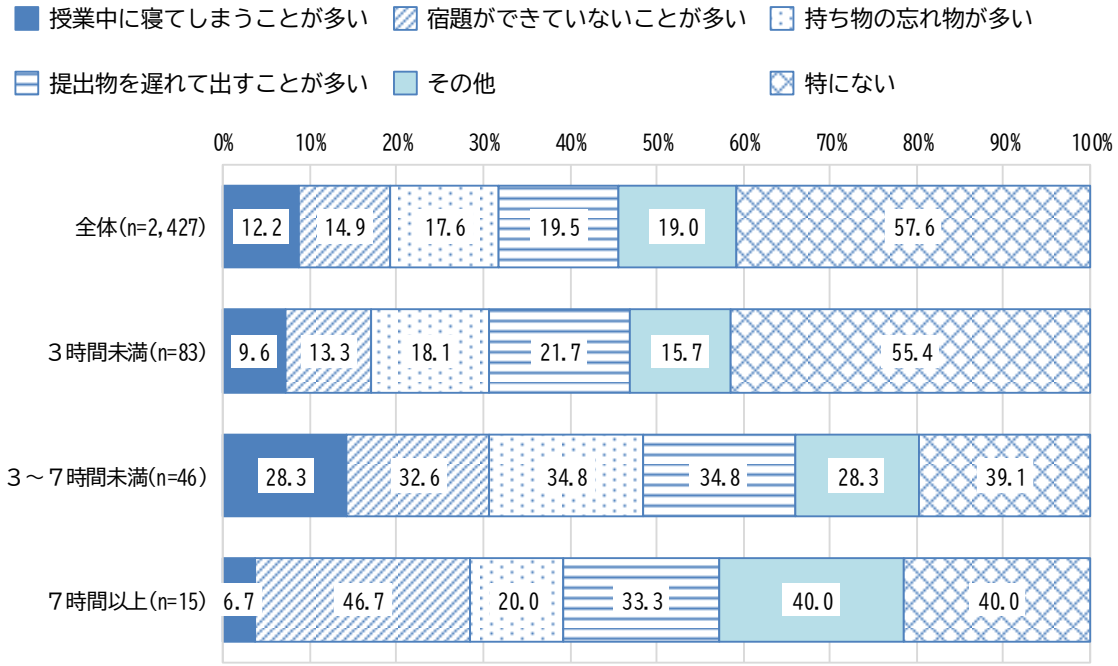
【お世話をしている一日あたりの時間×遅刻・早退】



⑤　お世話をしている一日あたりの時間×学校生活の状況（問７）

お世話に費やす時間が「３～７時間未満」及び「７時間以上」の場合、全体の結果に比べて「宿題ができていないことが多い」、「持ち物の忘れ物が多い」、「提出物を忘れて出すことが多い」、「その他」が高くなっている一方で、「特にない」が低くなっています。

【お世話をしている一日あたりの時間×学校生活の状況】

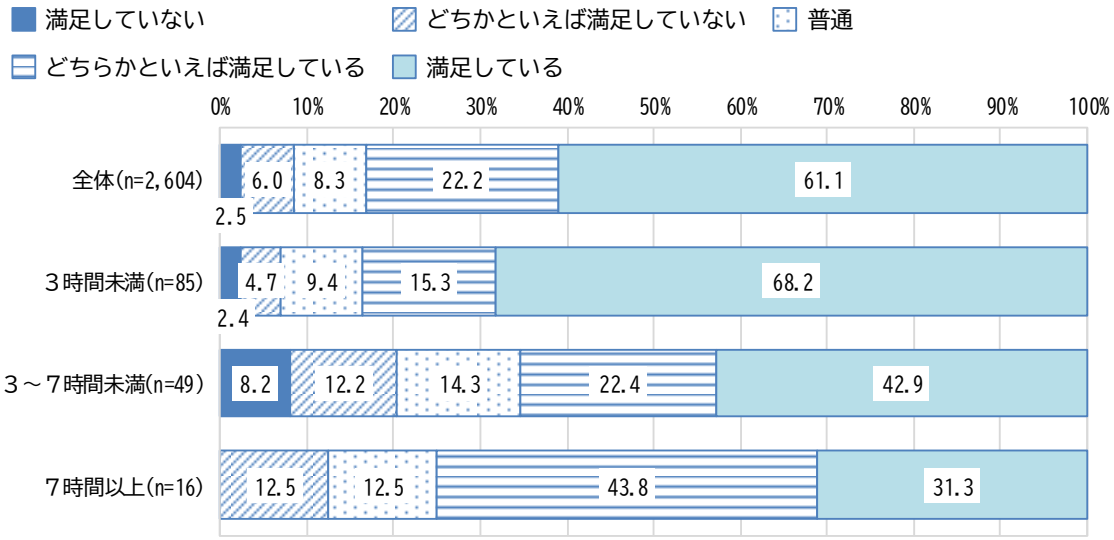


※　上記の「その他」は、問７回答における「保健室で過ごすことが多い」、「学校では一人で過ごすことが多い」、「友だちと遊んだり、おしゃべりしたりする時間が少ない」、「修学旅行などの宿泊行事を休む」、「習いごとを休むことが多い」の割合を合計したもの

⑥　お世話をしている一日あたりの時間×生活満足度（問 30）

お世話に費やす時間が長くなるほど、「満足している」が低くなる傾向がみられます。その一方で、お世話に費やす時間が「３時間未満」の場合、全体の結果に比べて「満足している」が高くなっています。

【お世話をしている一日あたりの時間×生活満足度】

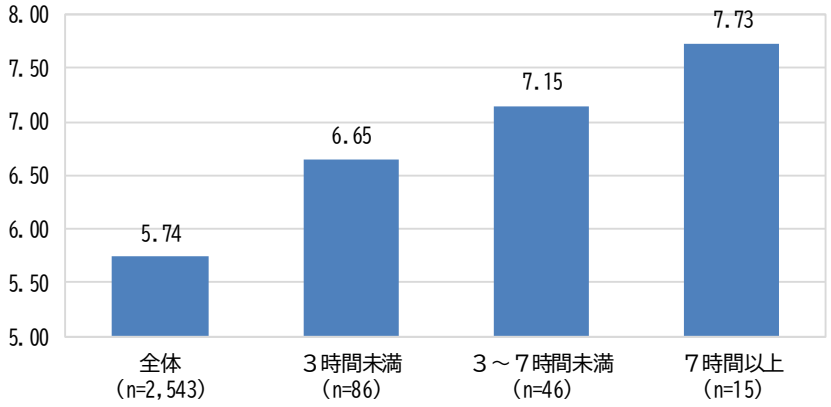


⑦　お世話をしている一日あたりの時間×心理的な状態（情緒の問題）（問 32）

「情緒（不安や抑うつ）の問題」に関するスコアを算出し、各分類ごとに平均値を算出しました。（０～15 点。得点が高いほど問題性が高いと考えられます。）

結果をみると、お世話に費やす時間が長くなるほど、スコアが高くなる傾向がみられます。

【お世話をしている一日あたりの時間×心理的な状態（情緒の問題）】

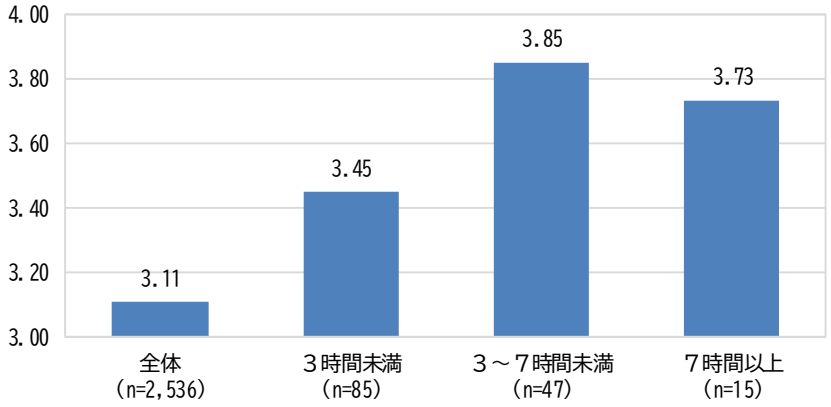


⑧　お世話をしている一日あたりの時間×心理的な状態（仲間関係の問題）（問 32）

「仲間関係の問題」に関するスコアを算出し、各分類ごとに平均値を算出しました。（０～15点。得点が高いほど問題性が高いと考えられます。）

結果をみると、お世話に費やす時間が長くなるほど、スコアが高くなる傾向がみられます。

【お世話をしている一日あたりの時間×心理的な状態（仲間関係の問題）】

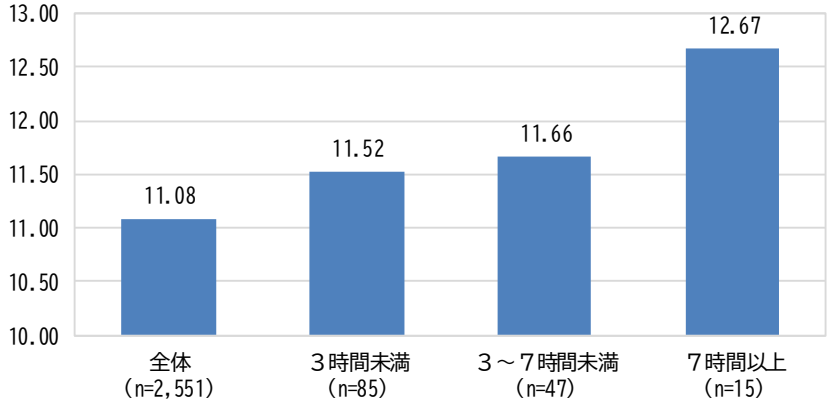


⑨　お世話をしている一日あたりの時間×心理的な状態（向社会性）（問 32）

「向社会性」に関するスコアを算出し、各分類ごとに平均値を算出しました。（０～15点。得点が高いほど社会性が高いと考えられます。）

結果をみると、お世話に費やす時間が長くなるほど、スコアが高くなる傾向がみられます。

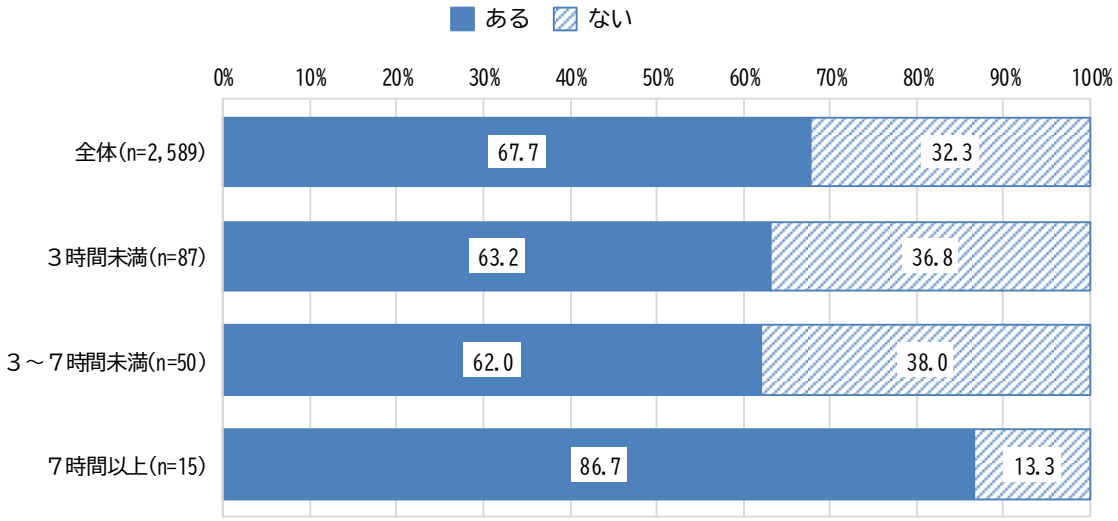
【お世話をしている一日あたりの時間×心理的な状態（向社会性）】



⑩　お世話をしている一日あたりの時間×相談経験の有無（問 35）

「ない」は、お世話に費やす時間が「３時間未満」の場合は 36.8%、「３～７時間未満」の場合は 38.0%、「７時間以上」の場合は 13.3%となっています。

【お世話をしている一日あたりの時間×相談経験の有無】



6　自由意見

問 40　最後に、あなたがまわりのおとなの人に対して言いたいことがあれば、自由に書いてください。（困っていること、家族にしてほしいこと、学校の先生に言いたいこと、姫路市（市役所）にしてほしいことなど）

調査票に自由意見欄を設けたところ、527 人（全体の 20.0%）から意見が寄せられました。
主な意見は、以下のとおりです（表現は一部変更している場合があります）。

＜学校生活について言いたいこと＞

・　友達関係がむずかしく、自分以外でけんかしている時、どちらにつけばいいか、どうしたらいいか分からない。なので、何かアドバイスがほしい。
・　通学用カバン・補助バッグでは入らない物があるので、リュックでもよくしてほしい。
・　教科書や資料集がとても重いのでタブレットに全部入れてほしいです。
・　学校の図書室で英語の本を置いてほしいです（外国人なので）。
・　部活動は楽しいが、テスト期間中もあり（短時間ではあるが）なかなか時間を作るのが大変です。学校の課題・塾の課題もあり毎日が忙しいです。
・　部活動の時間を短くしてほしい。私の入ってる部活動は、ときどきノー部活デーの日も、練習をしているから、もっと厳しくルールを決めてほしい。部活の時間を短くしてほしい理由は、家族との時間も減り、会話を少なくなったから。
・　学校で授業中にクラスに勝手に入ってくる人や、学校のドアを蹴って外したりして、いろいろ壊している人は、学校に来てほしくない。真面目に頑張っている人が我慢して苦しまないといけないなんておかしいと思う。
・　教室に入りたくない、怖い。けど、受験があるから授業に出て勉強しないといけない、分かってるんです。少しだけ教室にいても泣いてしまいそうになる、病院も行ってみたいけど親が許してくれない、もうぜんぶやめたいです。

＜学校に先生に言いたいこと＞

・　先生がご飯とパンを食べないのに生徒には「食べなさい」と言ってくるのでおかしいと思います。
・　生徒の意見をしっかりと聞いてほしい。
・　もう少し生徒の思いを察してほしい。
・　学校の先生に、もう少し児童（私たち）の事情を理解して行動に移してほしい。
・　勉強について先生に聞ける時間を増やしてほしいです。
・　宿題のワークが多くて、やりきれないことがある。自分に合った勉強方法がわからない。
・　いじめなどに、もっと寄り添ってあげてほしいです。
・　学校の先生には、もっと気軽に相談出来るようにしてほしい。
・　好き嫌いがある先生をよく見る気がします。やんちゃな子には優しくして普通にしている子達には厳しく言うなど、あまりにも分かりやすすぎて、りふじんだと思います。
・　他の人に嫌なことをしてるやつをもっと注意してほしい。嫌なことをしているから避けられているのに、避けている人を怒るのではなく、その人を怒ってほしい。

・　いい加減な生徒を叱らないといけないのはわかりますが、あまり怒鳴り声を上げないでほしいです。私自身は大人の怒鳴り声がものすごく怖く感じてしまいます。私みたいな子も何人かいます。
・　自分が、グループで参加できていなくても、そっとしといてほしい、そのうち自分から、話すから。たまにお世辞を言われるけど、お世辞はいらない。自分でわかっているから。同情もいらない。
・　学校の先生はとても親切で、一番、相談しやすいです。

＜家族に言いたいこと＞
・　何も知らないくせに決めつけないでほしい。子どもでも悩みやストレスがあって、家族にあたってしまう時があるけど少しは許してほしい。
・　すぐ怒ったりするので、静めてほしい。
・　もうちょっと家族の人は自分が困っていることに気付いてほしいです。
・　習い事をしたいから、サポートしてほしい。
・　姉と自分を比べないでほしい。
・　自分でもう色々なことが出来るから、色々まかしてほしい。
・　もうちょっと勉強を教えてほしい。一緒にもっと遊びたい。
・　学校の事をもっと話したい。相談したい。
・　もっと話をきちんと聞いてほしい。
・　いつも大変でしんどそうだから無理してほしくない。家族みんなで息抜きとして遊びたい。
・　もっと家族全員が仲良く暮らしたいこと。父と母がもっと仲良くなって欲しい。
・　子どもの目の前で親が喧嘩するのはやめてほしい。仕事でのストレスなどでする時が多い。聞いてるこっちもストレスがたまる。私が大人になったらこんな親にはなりたくないと思う。離婚だけは絶対してほしくないから、これからも仲良くなってほしい。せめて怒鳴り声を出すのはやめてほしい。このような相談をするのははじめてです。またこんな誰にも見られないアンケートをしてほしいです。そこにいろんな悩みが書きやすくなります。

＜姫路市に言いたいこと＞
・　ボール遊びができる広い公園を作ってほしい。
・　市に落ちてるゴミを処理するための取り組みをして欲しい。
・　道をもう少し広げたり、整理していただけたら嬉しいです。登校している時や下校時の死角からの車がとても怖いです。
・　車いす移動時に困るから、すべての道の整備をしっかりしてほしい。
・　私立の学校を受験したいですけど、お金がたくさんかかるので、多分うちは無理です。姫路市が私立の中学校の授業料を出してくれたらすごくうれしいです。
・　受験生で塾に行っていない人や、家で勉強ができる環境でない人のために、誰もが安心して通えるような良い雰囲気の図書館を増やして欲しいです。
・　あまりお金をかけずにみんなが手軽に利用できるような公共の場所を増やして欲しい。
・　辛い子がいつでも逃げこめる所をもっと作ってほしい。
・　腹が立った時に行ける場所が欲しい。

＜家族のお世話について＞

・　お母さん、何もかも押し付けないでください。少しでいいから、私の気持ち考えてください。
・　子どもに赤ちゃんのめんどうをみさせないでほしい。みなかったらおこってめんどうみることがあたりまえだと思わないでほしい。何でも自分が正しいと思わないでほしい。少し、失敗しただけなのにガチギレしないでほしい。
・　いつも家事をしたり、弟の世話をしたり、勉強をしたりして、ゆっくりできる時がありません。また休日なども世話や家事で終わってしまったりします。今、一番困っていることは家できつく怒られたり、たたかれたりすることです。
・　私は、父の世話をしながらこの質問に答えています。こんな状況はおかしいと思いませんか？誰にも邪魔されずに答えていくのがいいはずなのに、子どもの私がなぜこんなに苦しまなきゃいけないんですか？ 前までは、とても綺麗だった母も、朝から夜まで働いたせいか、今は老いたような顔になってしまって、私は父のことが最低だと思ってしまいます。どうにかしてください。

＜その他、まわりのおとなに言いたいこと＞

・　大人の人たちが捨てるゴミ（アルミカン、たばこ）などのポイ捨てをやめてほしい。理由は、子供たちもまねして、ゴミを公園に捨てているから。
・　勉強に対しての圧をかけないでほしい。期待しすぎないでほしい。
・　意見を聞いてほしい。一人になれる時間・場所がほしい。
・　もっと私たちをよく見てほしい。
・　もう少し信用してほしい。そんなに疑わないでほしい。
・　自分の価値観を押しつけないでほしい。
・　怒られた時、こっちにだって言い分や本音があったり、そっちが知らない事情があるのに、「こうなんだ。」って勝手に想像して決めつけて怒るのをやめてほしい。
・　一人称で性別を決めつけられる事が困ります。（僕っ子女子です。）
・　強いて言うなら、もっと子供を自由にしてほしい。制限を減らしてほしい。子供って意外とできますよ！

保護者対象調査

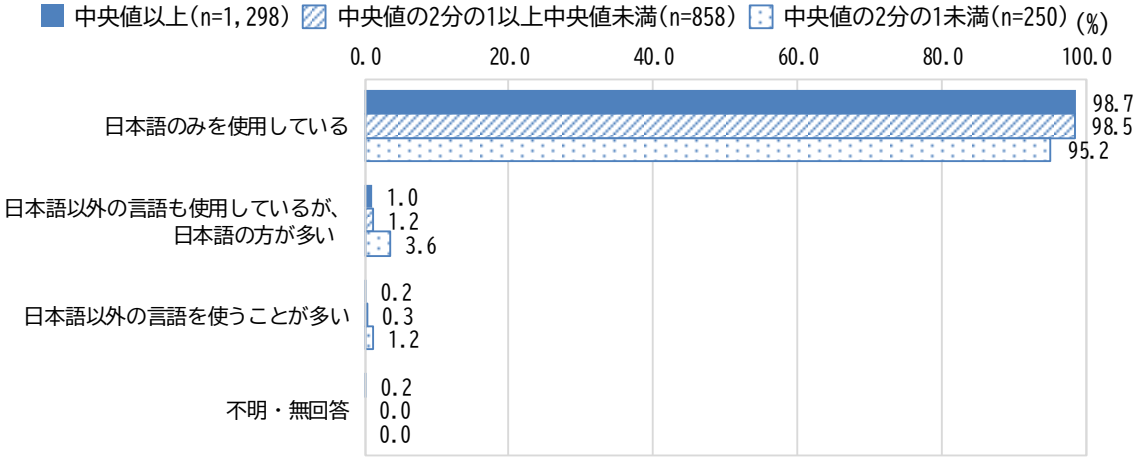
1　世帯の状況について

⑴　家庭における使用言語

問７　あなたのご家庭では、日本語以外の言語を使用していますか。（１つに○）

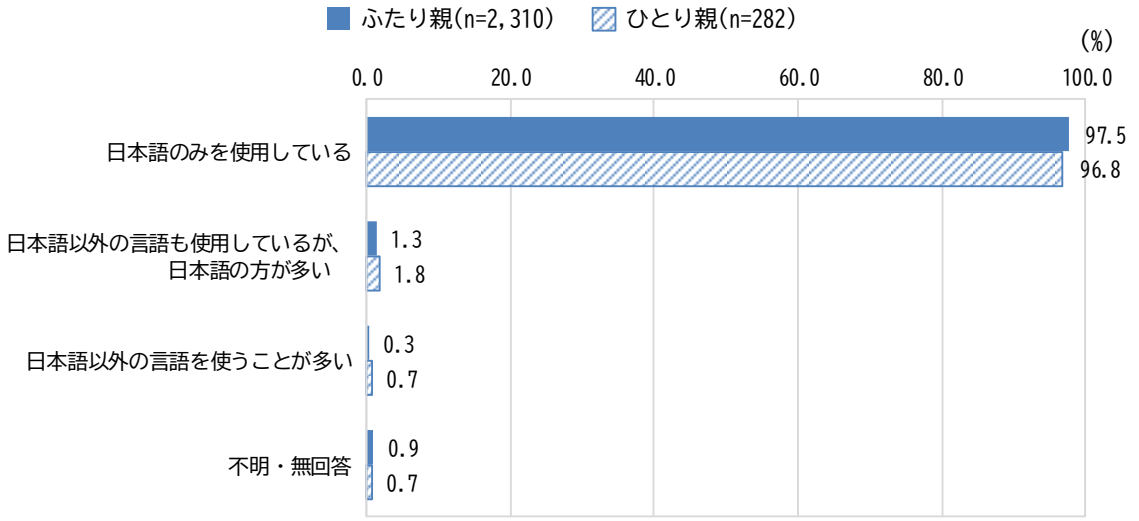
収入の水準別にみると、いずれの世帯でも「日本語のみを使用している」が最も高く、９割以上となっています。

【家庭における使用言語：収入の水準別】



世帯の状況別にみると、いずれの世帯でも「日本語のみを使用している」が最も高く、９割以上となっています。

【家庭における使用言語：世帯の状況別】



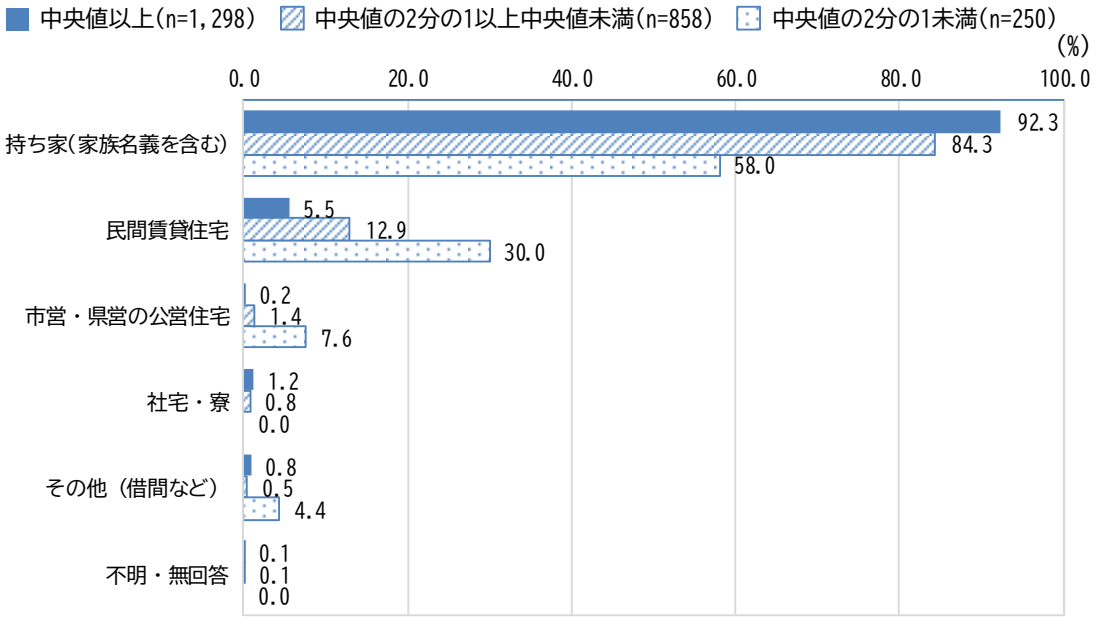
⑵　住居の種類

問８　あなたの住んでいる住居の種類をお答えください。（１つに○）

収入の水準別にみると、いずれの世帯でも「持ち家（家族名義を含む）」が最も高くなっています。

「中央値の２分の１未満」の世帯では、他の世帯に比べて「持ち家（家族名義を含む）」が低く、「民間賃貸住宅」、「市営・県営の公営住宅」が高くなっています。

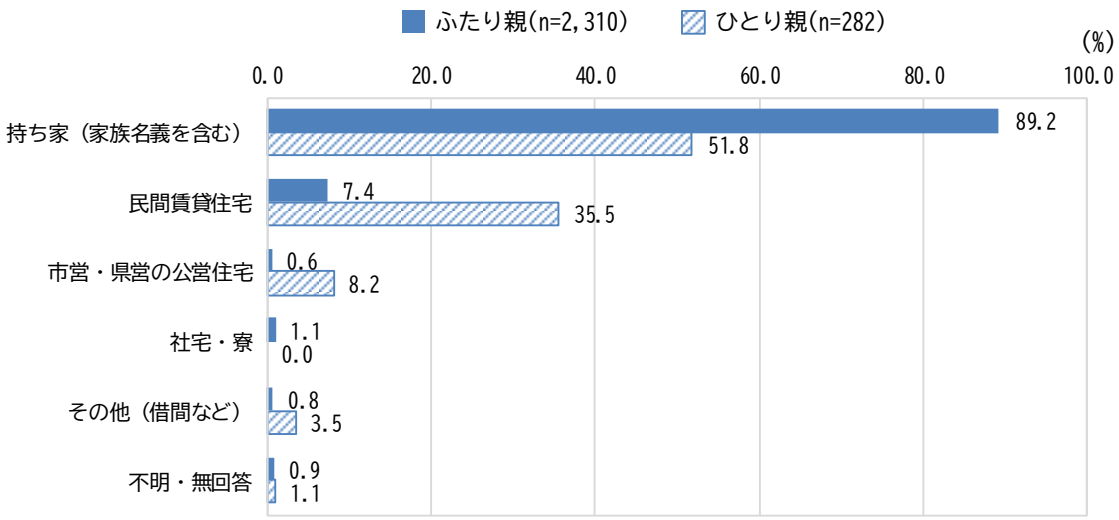
【住居の種類：収入の水準別】



世帯の状況別にみると、いずれの世帯でも「持ち家（家族名義を含む）」が最も高くなっています。

「ひとり親」の世帯では、「ふたり親」の世帯に比べて「持ち家（家族名義を含む）」が低く、「民間賃貸住宅」、「市営・県営の公営住宅」が高くなっています。

【住居の種類：世帯の状況別】



⑶　最終学歴

問９　あなたとあなたの配偶者（パートナー）の最終学歴（最後に卒業した学校）をお答えください。（１つに○）

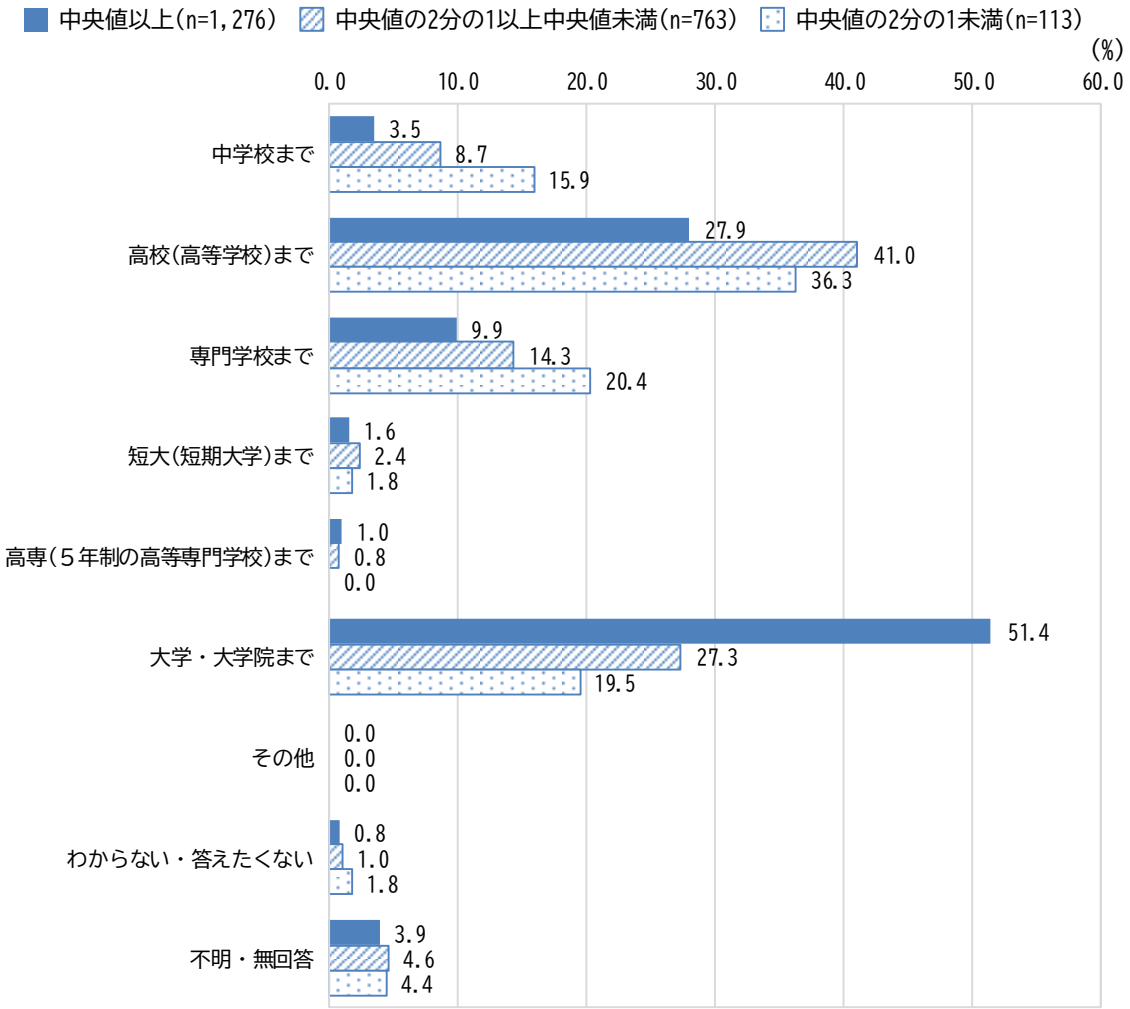
回答者と配偶者（パートナー）の最終学歴を聞いた結果について、回答者の続柄により「父」と「母」の状況に整理し、集計しました。

①　父

収入の水準別にみると、「中央値以上」の世帯では「大学・大学院まで」、「中央値の２分の１以上中央値未満」の世帯及び「中央値の２分の１未満」の世帯では「高校（高等学校）まで」が、最も高くなっています。

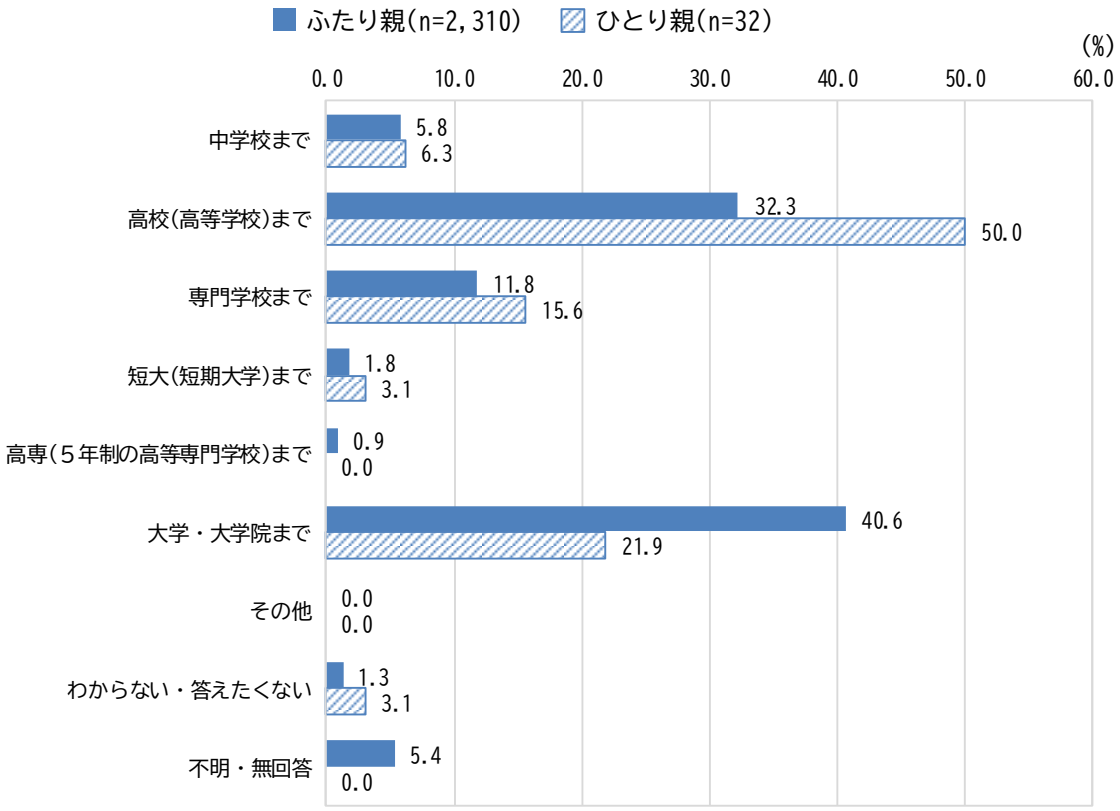
また、「中央値の２分の１未満」の世帯では、「中学校まで」が他の世帯に比べて高くなっています。

【最終学歴（父）：収入の水準別】



世帯の状況別にみると、「ふたり親」の世帯では「大学・大学院まで」、「ひとり親」の世帯では「高校（高等学校）まで」が最も高くなっています。

【最終学歴（父）：世帯の状況別】

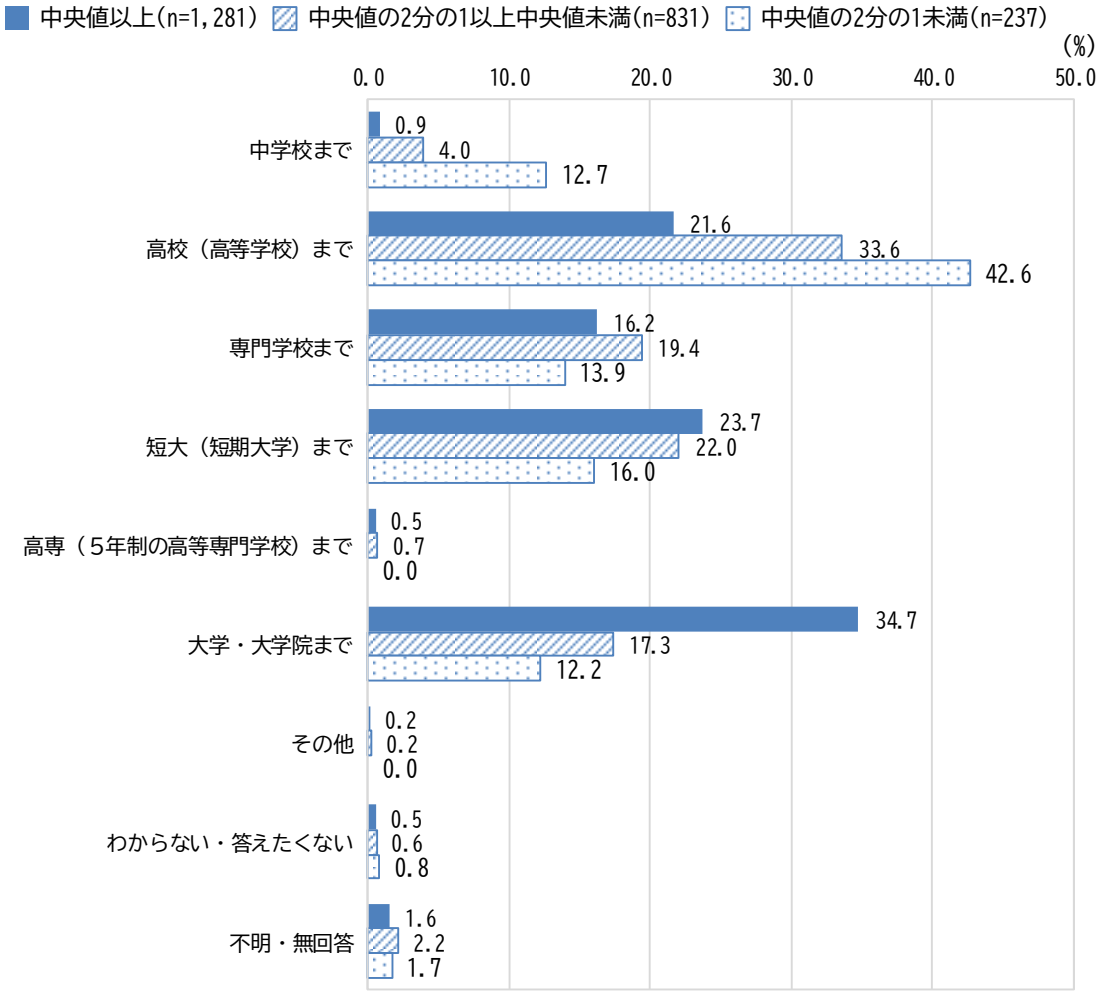


② 母

収入の水準別にみると、「中央値以上」の世帯では「大学・大学院まで」、「中央値の２分の１以上中央値未満」の世帯及び「中央値の２分の１未満」の世帯では「高校（高等学校）まで」が、最も高くなっています。

また、「中央値の２分の１未満」の世帯では「中学校まで」が他の世帯に比べて高くなっています。

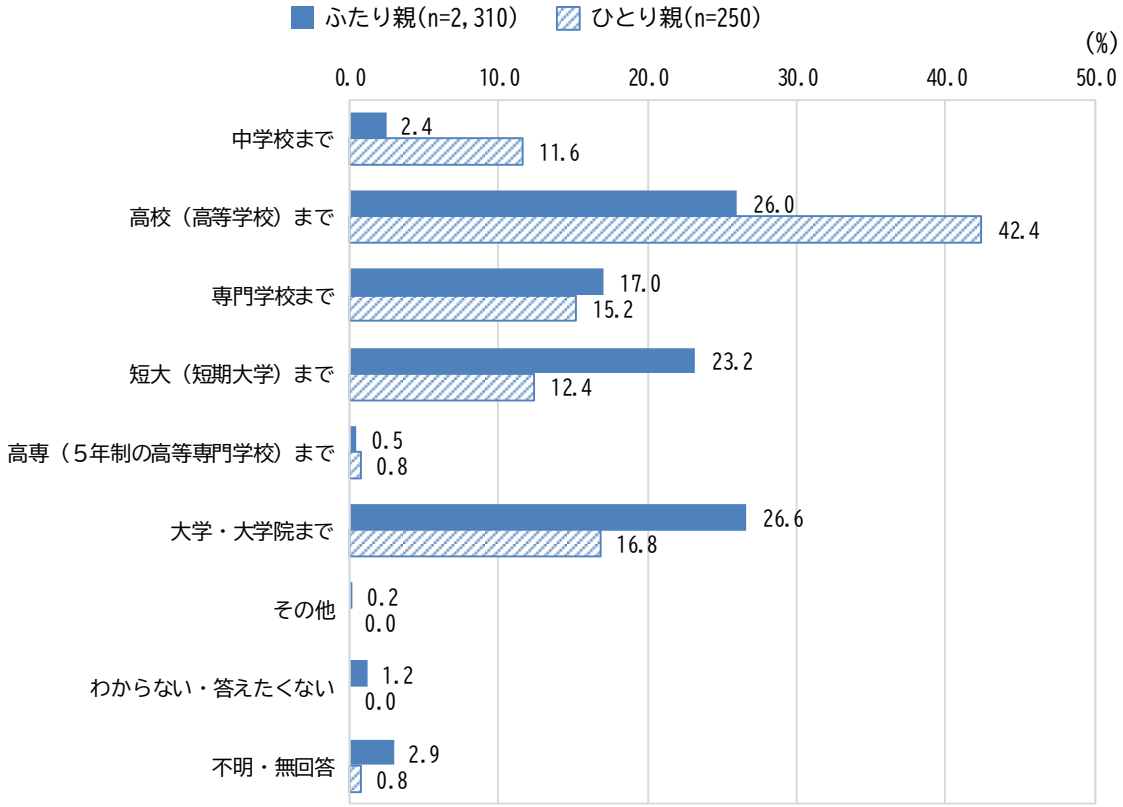
【最終学歴（母）：収入の水準別】



世帯の状況別にみると、「ふたり親」の世帯では「大学・大学院まで」、「ひとり親」の世帯では「高校（高等学校）まで」が、最も高くなっています。

また、「ひとり親」の世帯では、「ふたり親」の世帯に比べて「中学校まで」が高くなっており、「短大（短期大学）まで」が低くなっています。

【最終学歴（母）：世帯の状況別】



⑷　就労状況

問 10　あなたとあなたの配偶者（パートナー）の就労状況をお答えください。（１つに○）

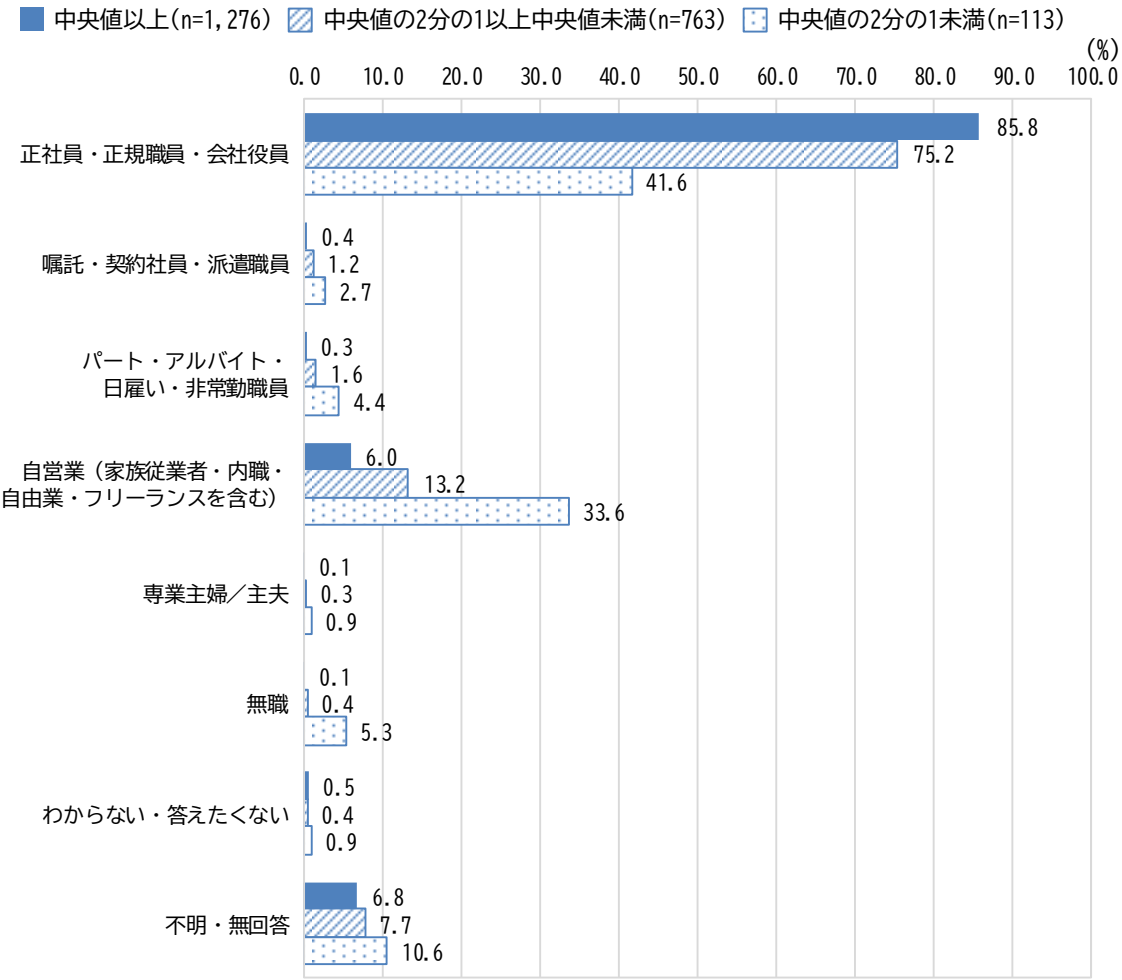
回答者と配偶者（パートナー）の就労状況を聞いた結果について、回答者の続柄により「父」と「母」の状況に整理し、集計しました。

①　父

収入の水準別にみると、いずれの世帯でも「正社員・正規職員・会社役員」が最も高くなっています。

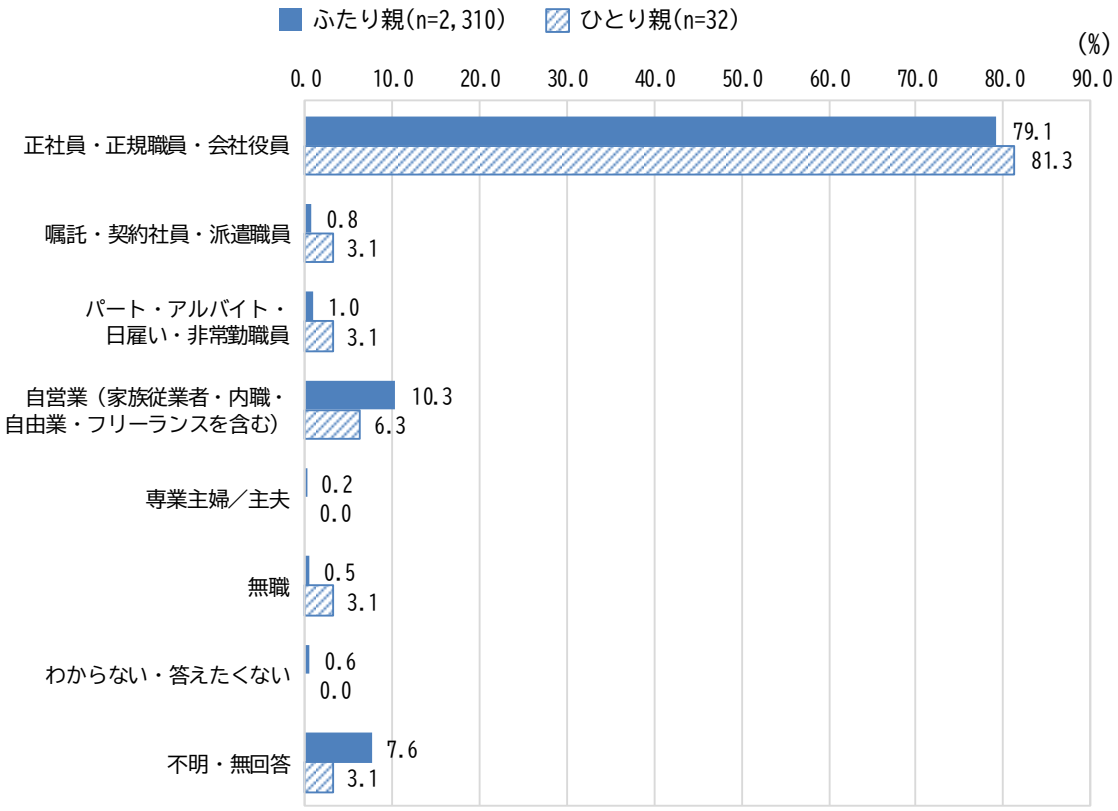
「中央値の２分の１未満」の世帯では、他の世帯に比べて、「正社員・正規職員・会社役員」が低く、「自営業（家族従業者・内職・自由業・フリーランスを含む）」が高くなっています。

【就労状況（父）：収入の水準別】



世帯の状況別にみると、いずれの世帯でも「正社員・正規職員・会社役員」が最も高くなっており、その他に大きな違いはみられませんでした。

【就労状況（父）：世帯の状況別】

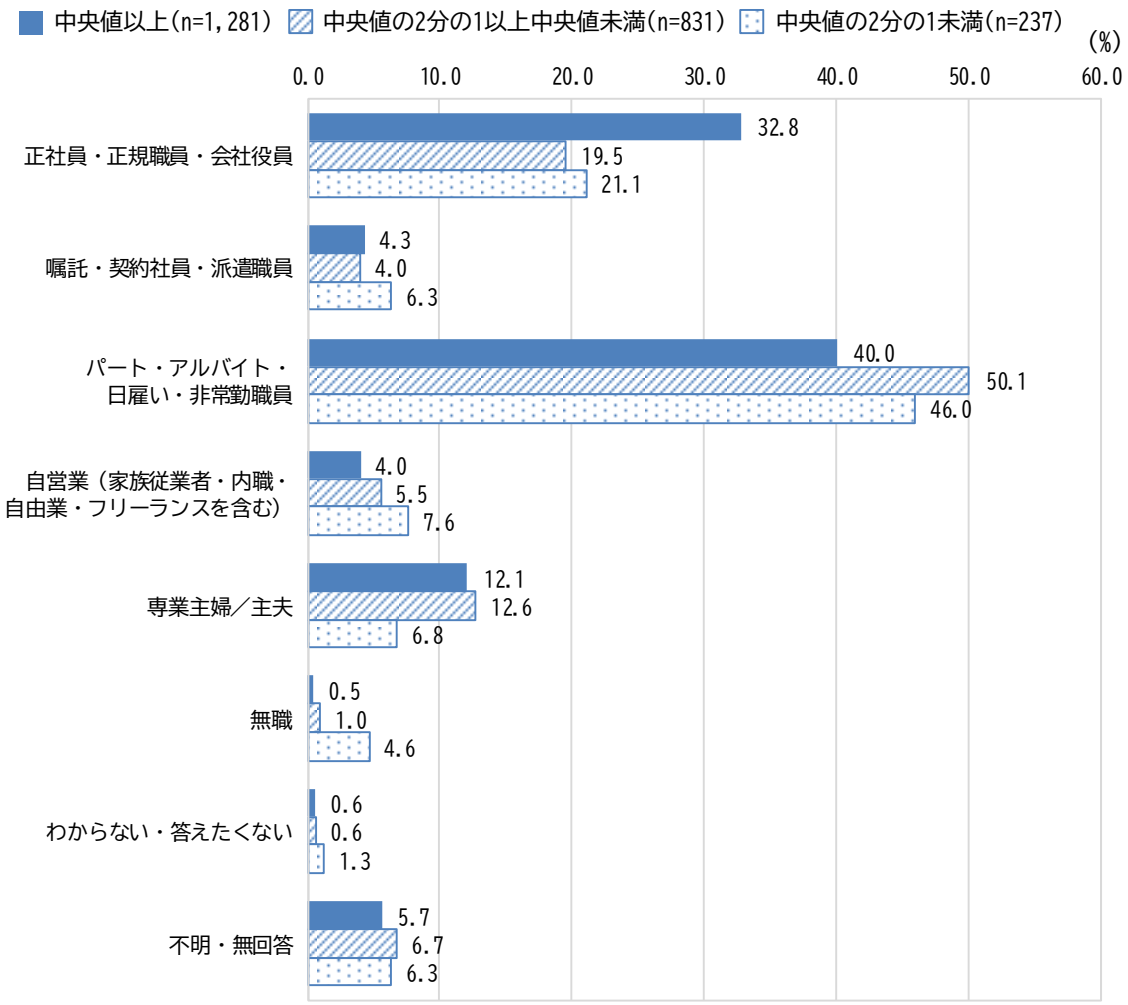


② 母

収入の水準別にみると、いずれの世帯でも「パート・アルバイト・日雇い・非常勤職員」が最も高くなっています。

「中央値以上」の世帯では、他の世帯に比べて「正社員・正規職員・会社役員」が高くなっています。また、「中央値の２分の１未満」の世帯では他の世帯に比べて、「専業主婦／主夫」がやや低くなっています。

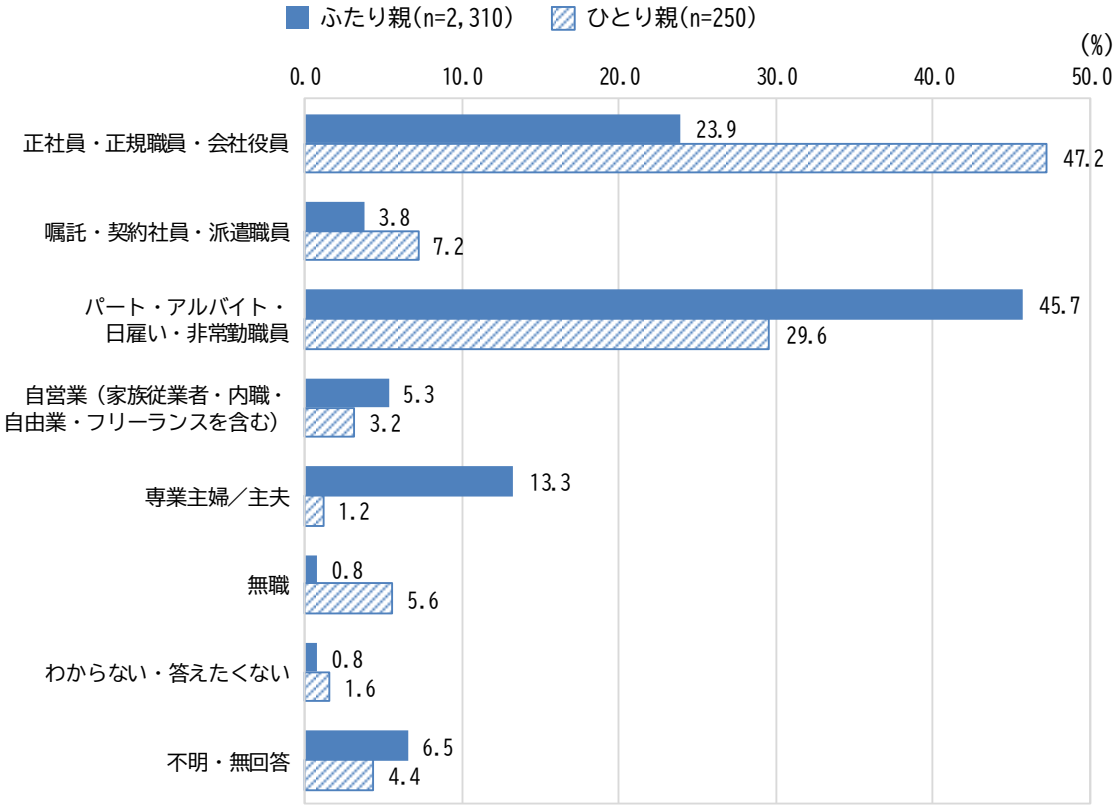
【就労状況（母）：収入の水準別】



世帯の状況別にみると、「ふたり親」の世帯では「パート・アルバイト・日雇い・非常勤職員」、「ひとり親」の世帯では「正社員・正規職員・会社役員」が、最も高くなっています。

また、「ひとり親」の世帯では、「専業主婦／主夫」が「ふたり親」の世帯に比べて低くなっています。

【就労状況（母）：世帯の状況別】



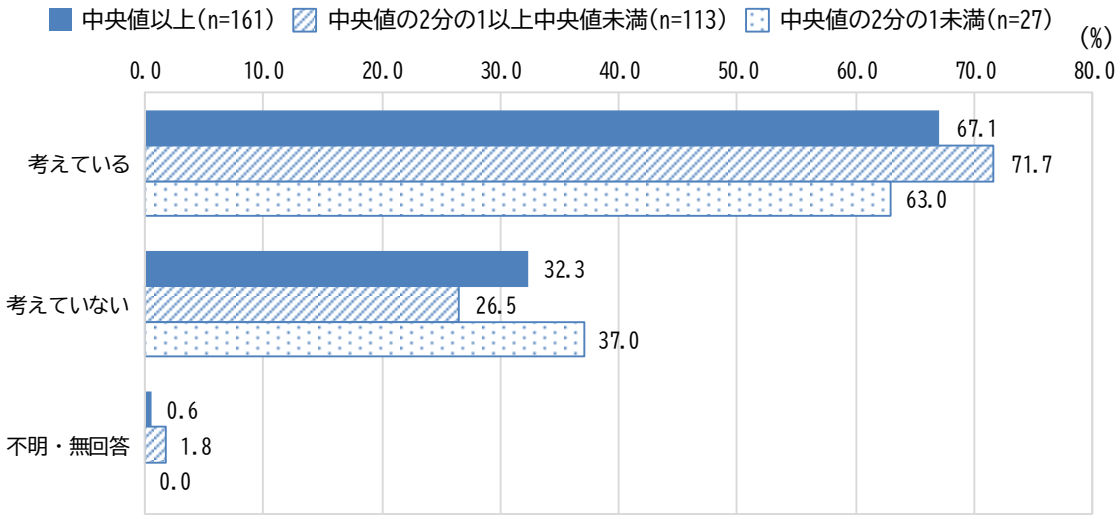
⑸　就労の希望

問 11　あなたとあなたの配偶者（パートナー）は、今後、外で就労したいと考えていますか。
（1つに○）　　【問 10 で「専業主婦/主夫」、「無職」と回答した方に対する設問】

回答者と配偶者（パートナー）の就労の希望を聞いた結果について、回答者の続柄により「母」の状況に整理し、集計しました（「父」については回答者数が少数（収入の状況別：n=14、世帯の状況別：n=16）のため、掲載を省略しました）。

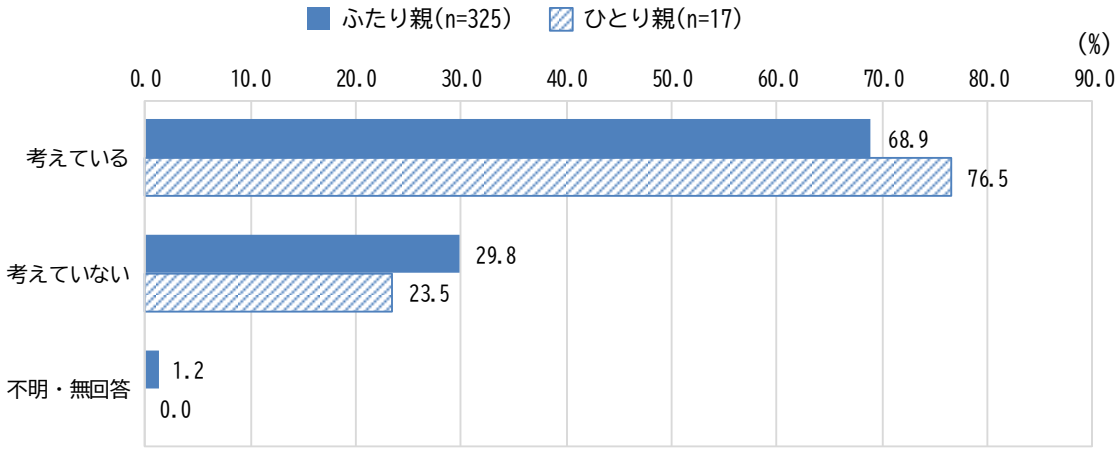
結果について収入の水準別にみると、いずれの世帯でも「考えている」が最も高くなっています。

【就労の希望（母）：収入の水準別】



世帯の状況別にみると、いずれの世帯でも「考えている」が最も高くなっています。

【就労の希望（母）：世帯の状況別】



⑹　外で就労していない理由

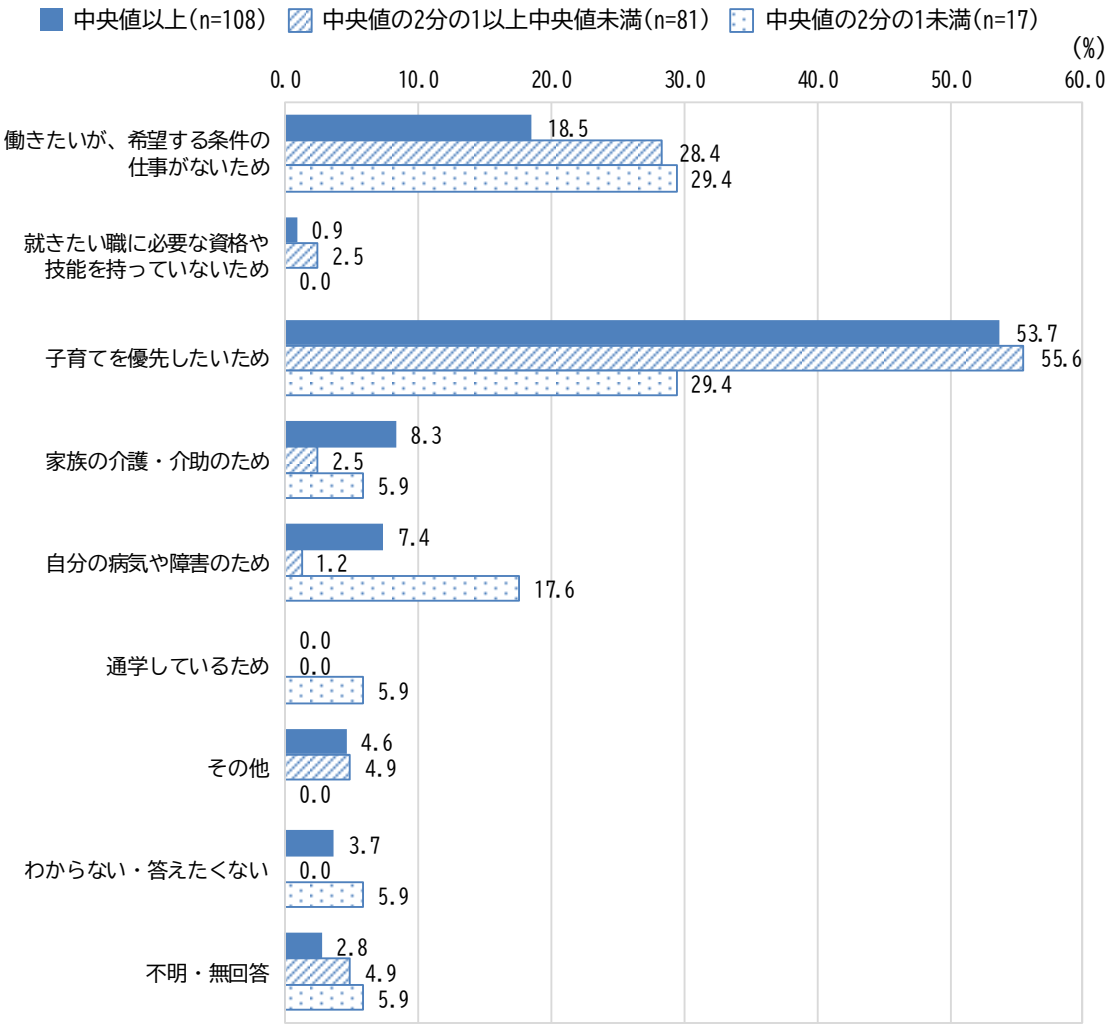
問 12　あなたとあなたの配偶者（パートナー）が、現在、外で就労していない最も主な理由をお答えください。（1つに○）　【問 11 で「就労を考えている」と回答した方への設問】

回答者と配偶者（パートナー）が外で就労していない最も主な理由を聞いた結果について、回答者の続柄により「母」の状況に整理し、集計しました（「父」については回答者数が少数（収入の状況別：n=10、世帯の状況別：n=11）のため、掲載を省略しました）。

結果について収入の水準別にみると、いずれの世帯でも「子育てを優先したいため」が最も高くなっています（「中央値の２分の１未満」の世帯では「働きたいが、希望する条件の仕事がないため」と同数）。

また、「中央値の２分の１以上中央値未満」の世帯及び「中央値の２分の１未満」の世帯では、「働きたいが、希望する条件の仕事がないため」が、「中央値以上」の世帯に比べて高くなっています。

【外で就労していない理由（母）：収入の水準別】

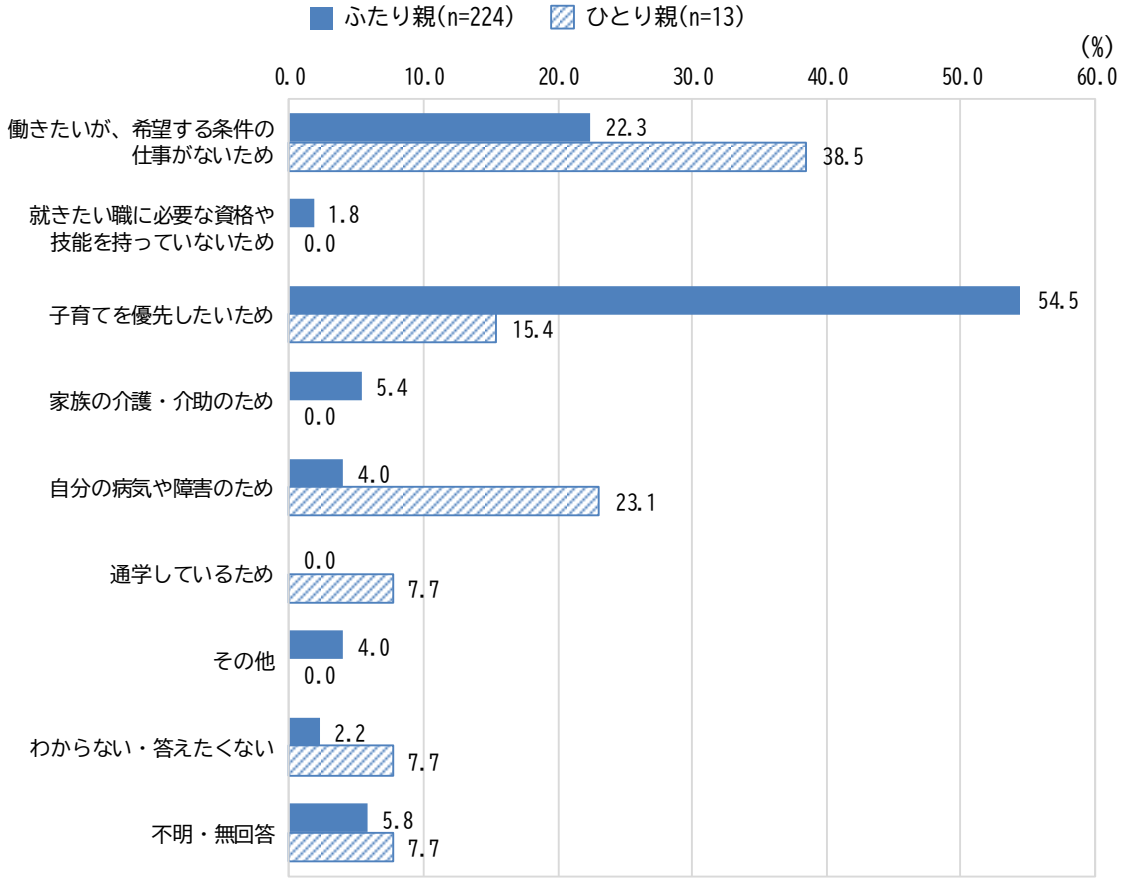


世帯の状況別にみると、「ふたり親」の世帯では「子育てを優先したいため」が最も高く、次いで「働きたいが、希望する条件の仕事がないため」となっています。

「ひとり親」の世帯では「働きたいが、希望する条件の仕事がないため」が最も高く、次いで「自分の病気や障害のため」となっています。

なお、「その他」には、「出産のため」、「子どもに障害があるため」、「保育所の入所を申請中（待機児童になっている）」等がありました。

【外で就労していない理由（母）：世帯の状況別】

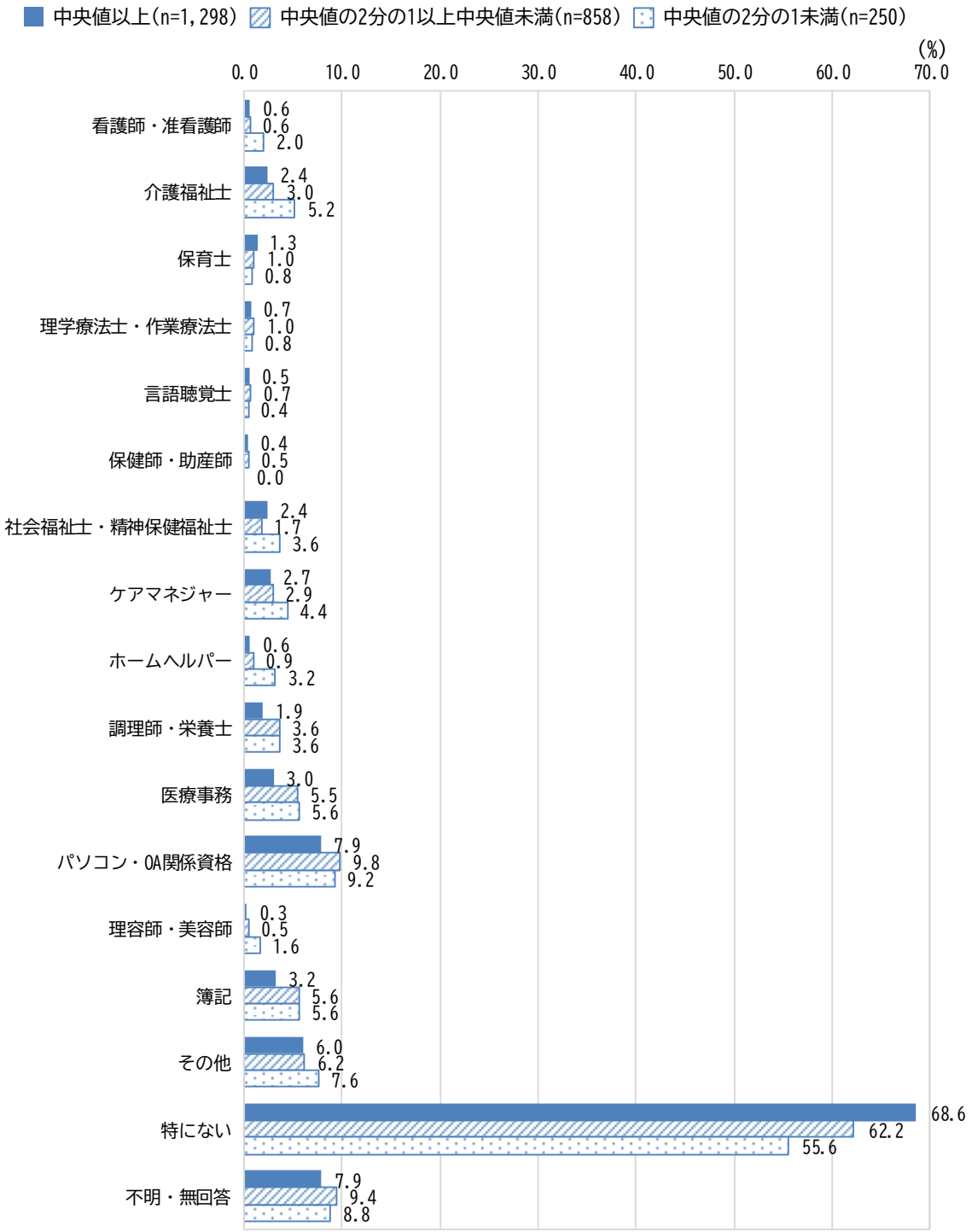


⑺ 就業のために取得したい資格・技術

問 13　あなたやあなたの配偶者（パートナー）が、就業に活かすために今後取得したいと思っている資格や技術はありますか。（すべてに○）

収入の水準別にみると、いずれの世帯でも「特にない」が最も多く、次いで「パソコン・OA 関係資格」となっています。

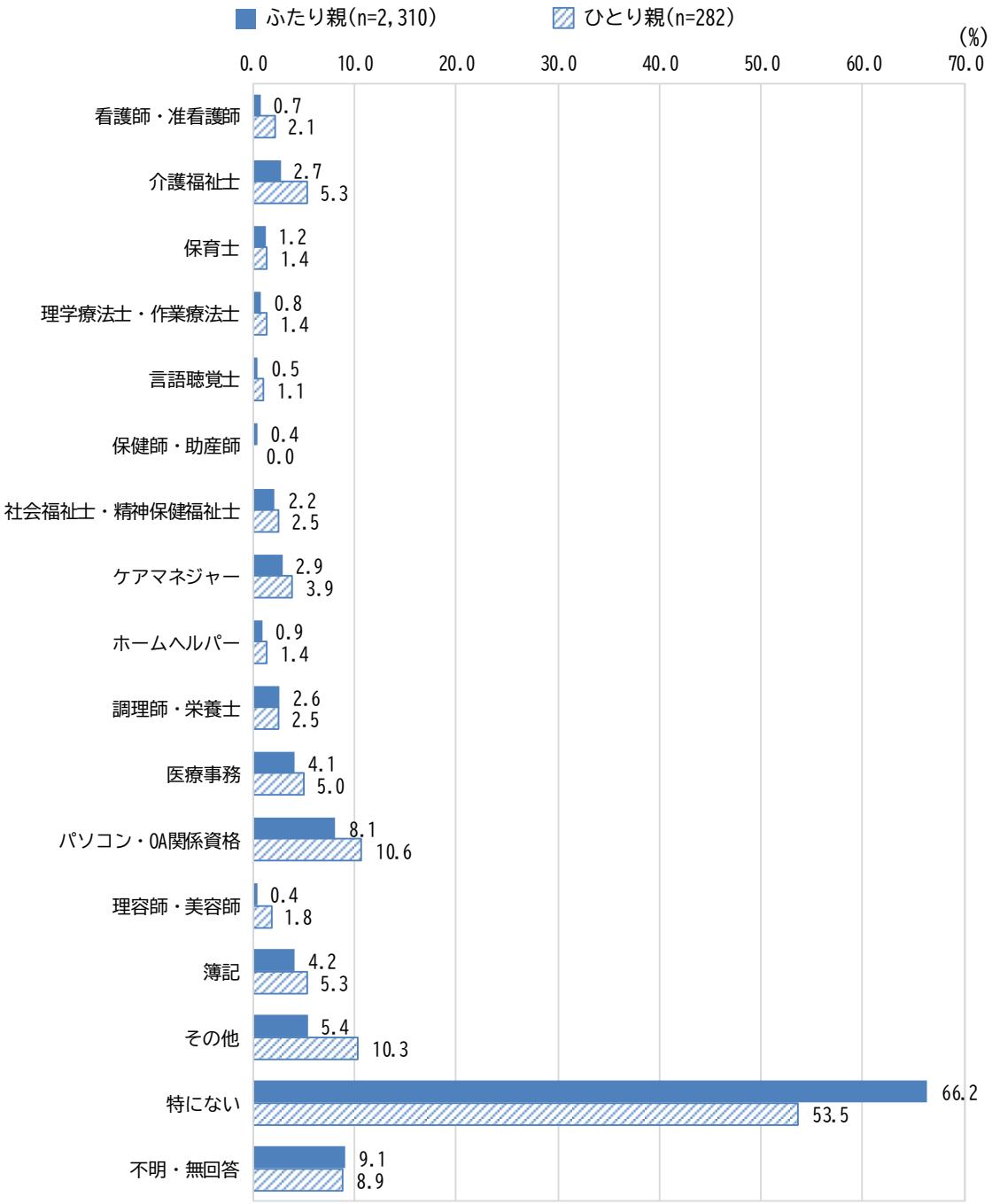
【就業のために取得したい資格・技術：収入の水準別】



世帯の状況別にみると、いずれの世帯でも「特にない」が最も多く、次いで「パソコン・OA 関係資格」となっています。

なお、「その他」には「大型免許」、「一級建築士」、「危険物取扱者」、「司法書士」、「宅地建物取引士」、「社会保険労務士」、「ベビーシッター」、「ファイナンシャルプランナー」等がありました。

【就業のために取得したい資格・技術：世帯の状況別】



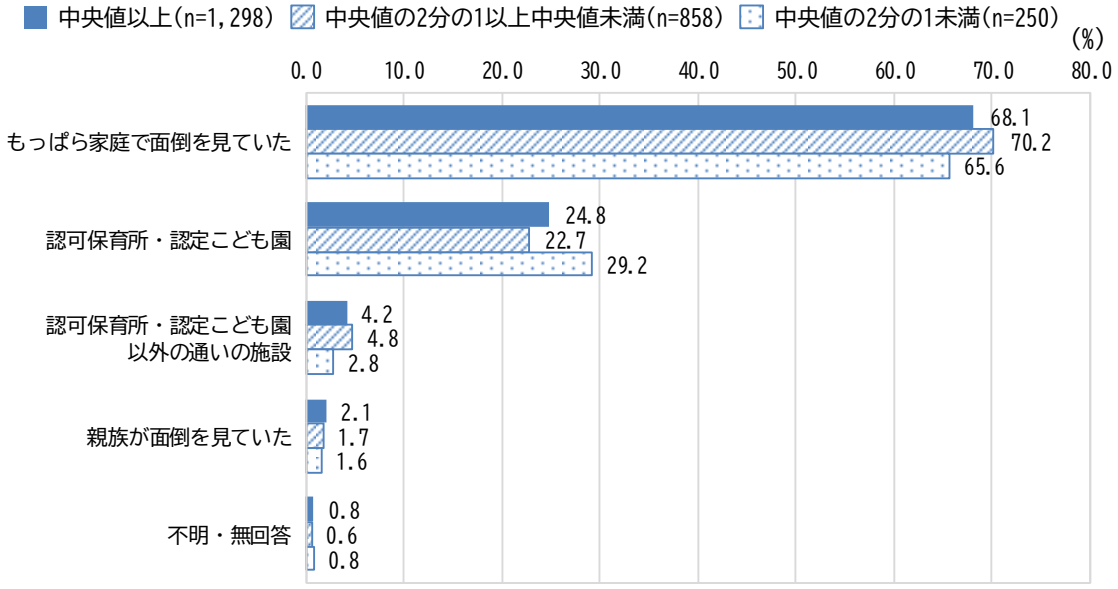
2　お子さんの教育などについて

⑴　子どもが０～２歳の時の育児の状況

問 14　お子さんが０～２歳のときの育児は、どのようにされていましたか。あてはまる番号が複数ある場合は、０～２歳の間で最も期間が長かったものをお答えください。（１つに○）

収入の水準別にみると、いずれの世帯でも「もっぱら家庭で面倒を見ていた」が最も高く、次いで「認可保育所・認定こども園」となっています。

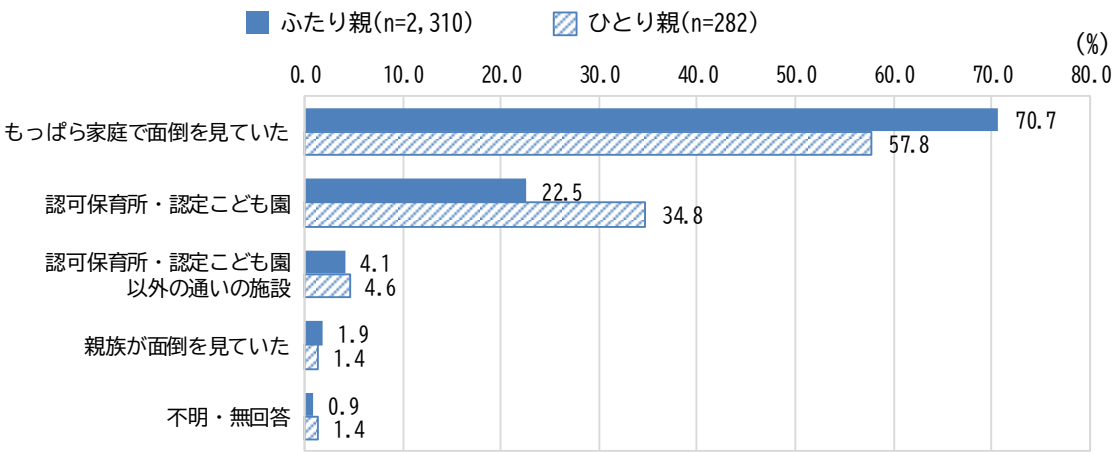
【子どもが０～２歳の時の育児の状況：収入の水準別】



世帯の状況別にみると、いずれの世帯でも「もっぱら家庭で面倒を見ていた」が最も高く、次いで「認可保育所・認定こども園」となっています。

また、「ひとり親」の世帯では「ふたり親」の世帯に比べ、「もっぱら家庭で面倒をみていた」が低く、「認可保育所・認定こども園」が高くなっています。

【子どもが０～２歳の時の育児の状況：世帯の状況別】

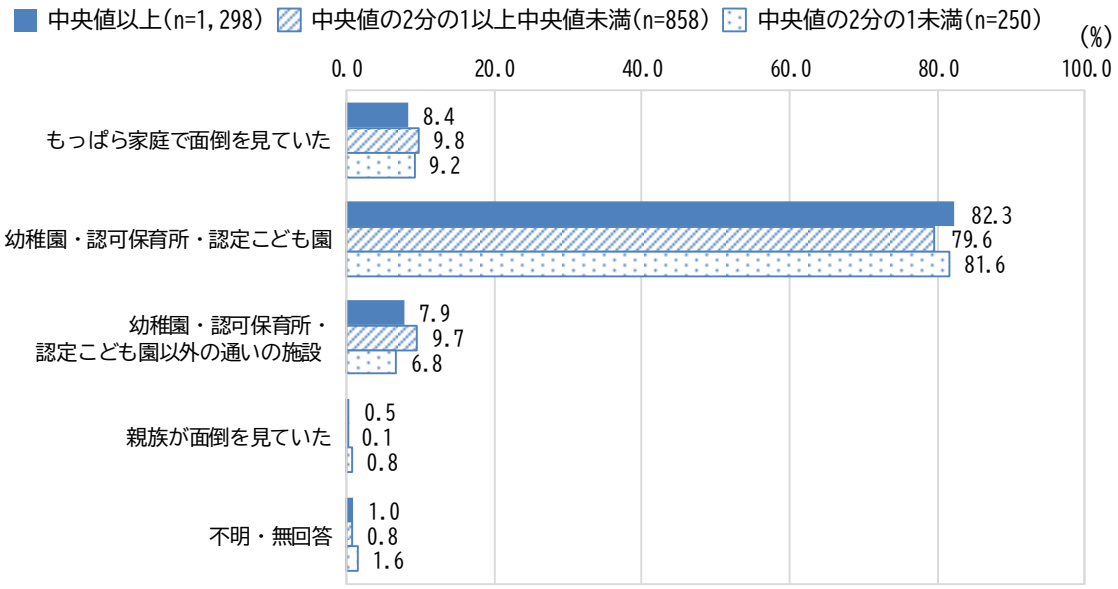


⑵　子どもが３～５歳の時の育児の状況

問 15　お子さんが３～５歳のときの育児は、どのようにされていましたか。あてはまる番号が複数ある場合は、３～５歳の間で最も期間が長かったものをお答えください。（１つに○）

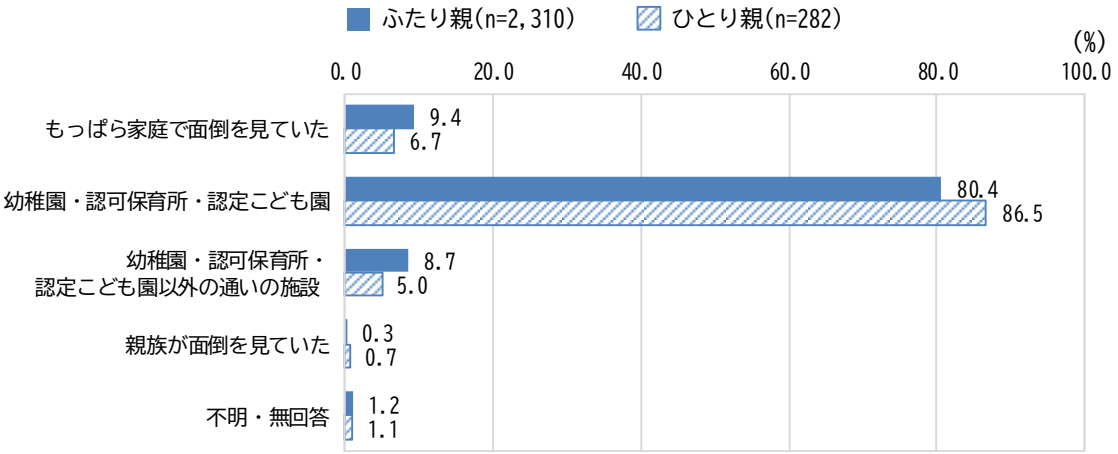
収入の水準別にみると、いずれの世帯でも「幼稚園・認可保育所・認定こども園」が最も高くなっています。

【子どもが３～５歳の時の育児の状況：収入の水準別】



世帯の状況別にみると、いずれの世帯でも「幼稚園・認可保育所・認定こども園」が最も高くなっています。

【子どもが３～５歳の時の育児の状況：世帯の状況別】

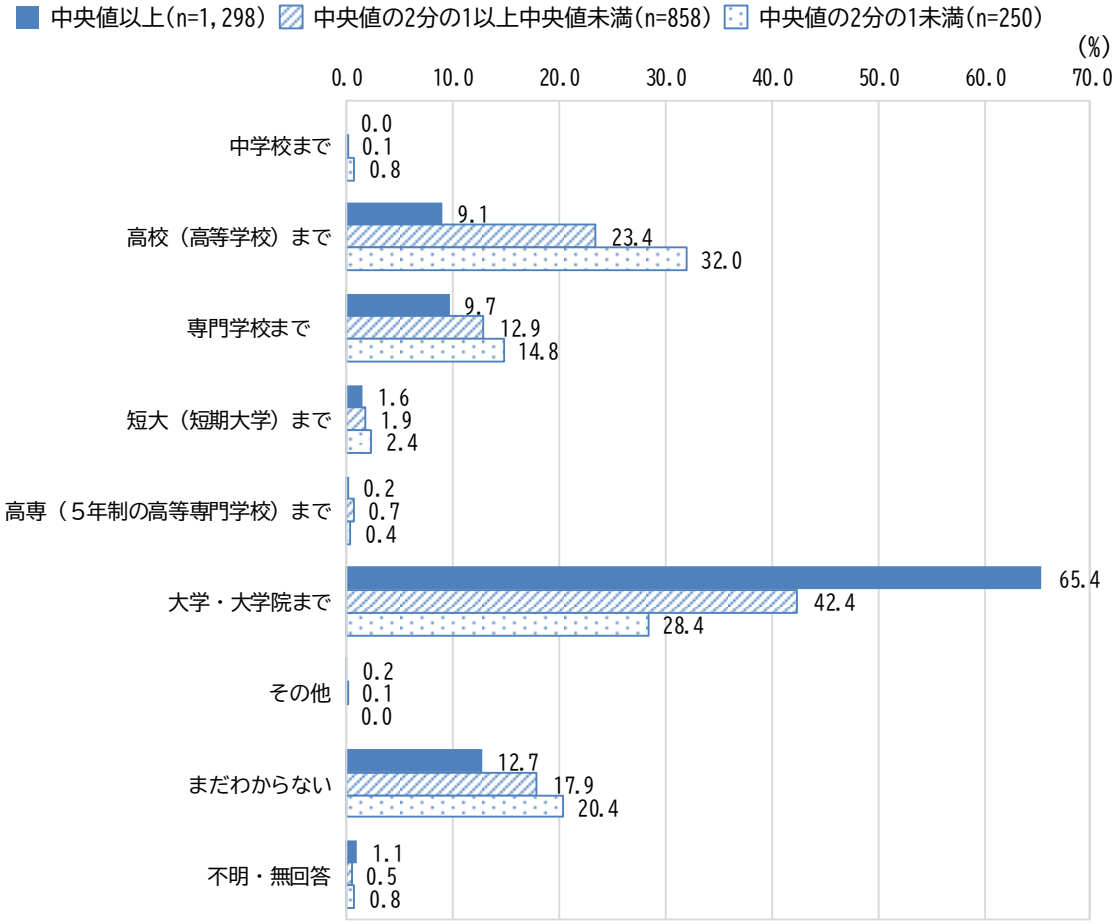


⑶　子どもの進学段階に関する希望

問 16　お子さんは将来、現実的に見て、どの段階まで進学すると思いますか。（１つに○）

収入の水準別にみると、「中央値以上」の世帯及び「中央値の２分の１以上中央値未満」の世帯では「大学・大学院まで」、「中央値の２分の１未満」の世帯では「高校（高等学校）まで」が最も高くなっています。

【子どもの進学段階に関する希望：収入の水準別】

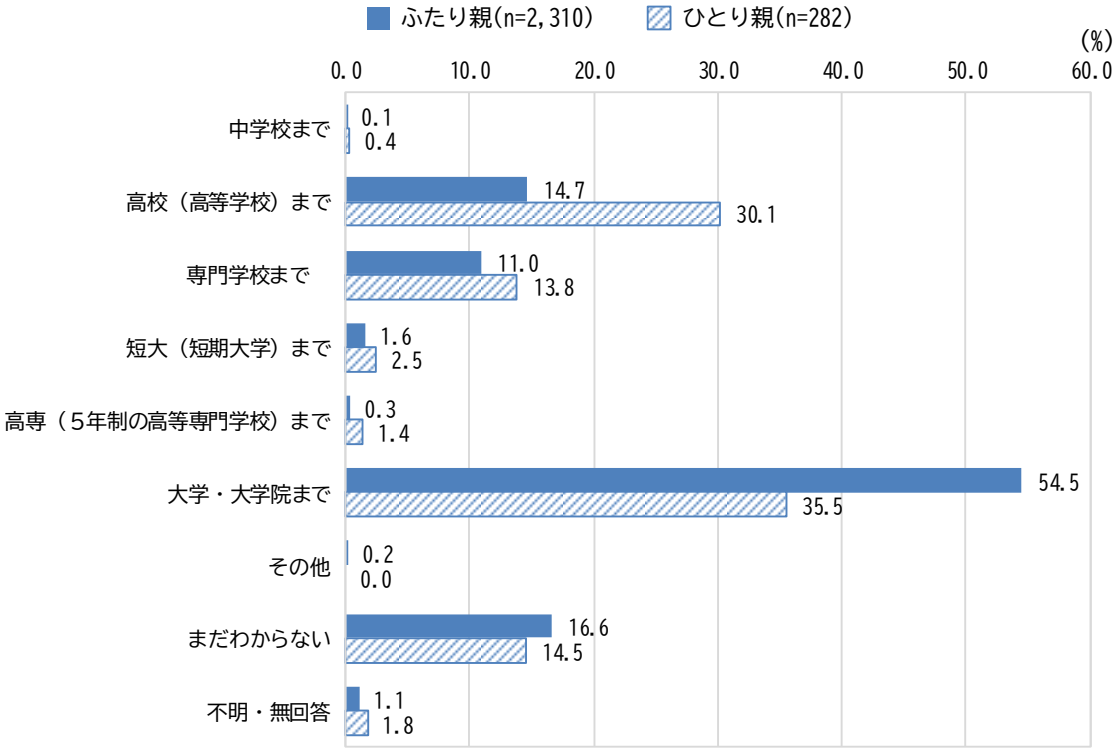


世帯の状況別にみると、いずれの世帯でも「大学・大学院まで」が最も高くなっています。

「ひとり親」の世帯では「ふたり親」の世帯に比べて、「大学・大学院まで」が低く、「高校（高等学校）まで」が高くなっています。

なお、「その他」には「特別支援学校」等がありました。

【子どもの進学段階に関する希望：世帯の状況別】



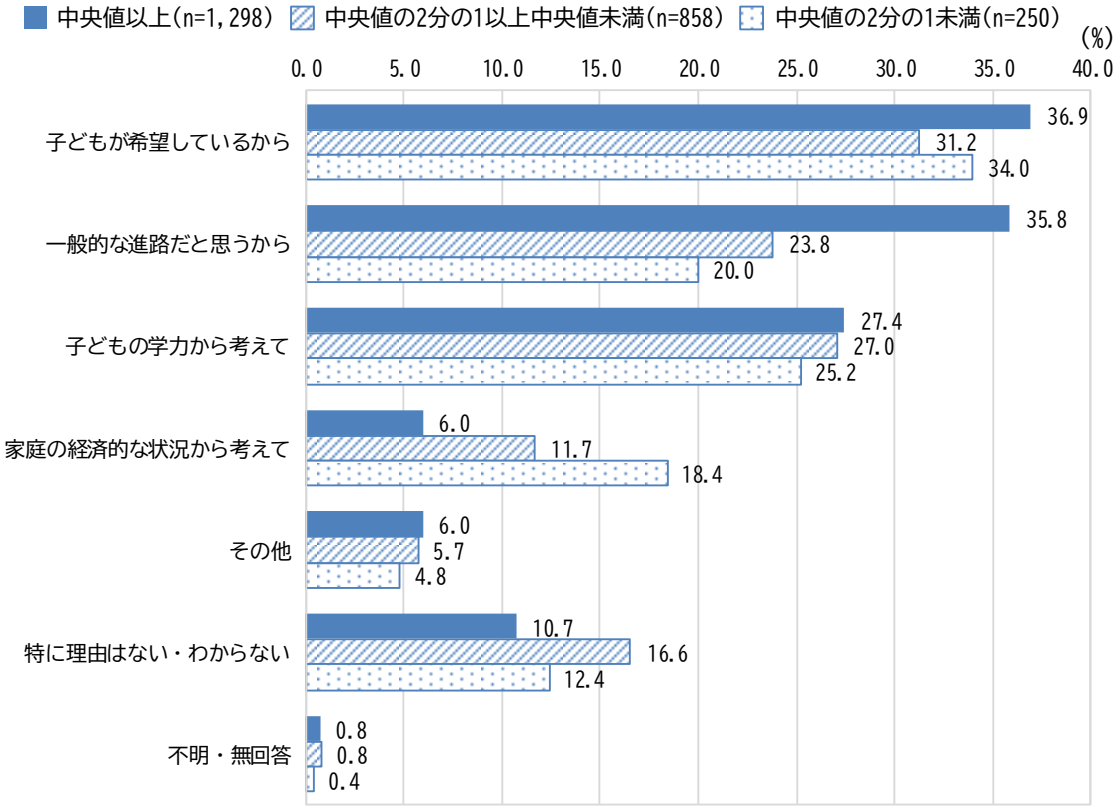
⑷　子どもの進学段階に関する希望の理由

問 17　問 16 の回答（子どもの進学段階に関する希望）について、その理由をお答えください。（すべてに○）

収入の水準別にみると、いずれの世帯でも「子どもが希望しているから」が最も高くなっています。

「中央値以上」の世帯では「一般的な進路だと思うから」が他の世帯に比べて高くなっています。また、「中央値の２分の１未満」の世帯では「家庭の経済的な状況から考えて」が他の世帯に比べて高くなっています。

【子どもの進学段階に関する希望の理由：収入の水準別】

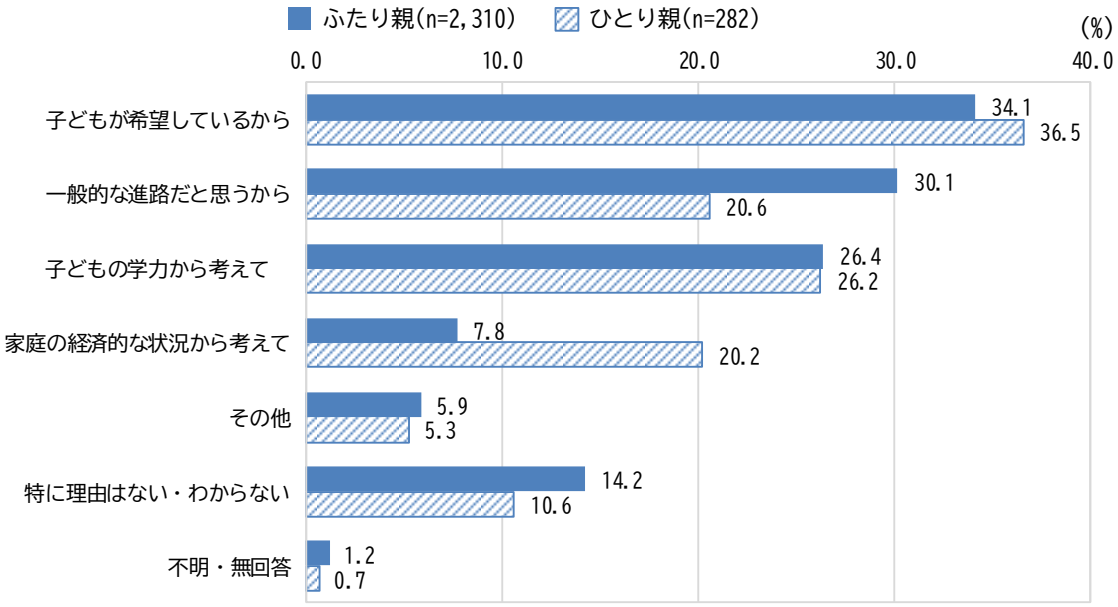


世帯の状況別にみると、いずれの世帯でも「子どもが希望しているから」が最も高くなっています。

「ひとり親」の世帯では「ふたり親」の世帯に比べて、「一般的な進路だと思うから」が低く、「家庭の経済的な状況から考えて」が高くなっています。

なお、「その他」には、「子どもの将来を考えて」、「子どもが将来なりたい職業に就くため」、「子どもの選択肢を広げたい」等がありました。

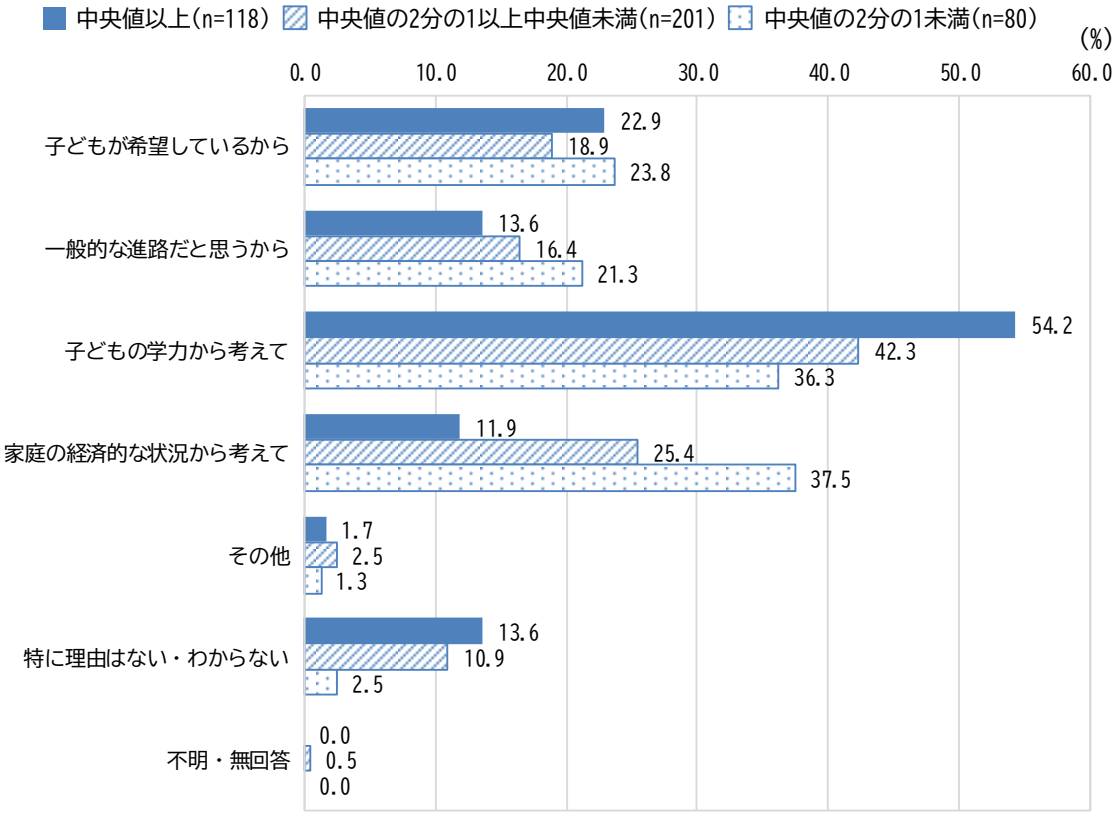
【子どもの進学段階に関する希望の理由：世帯の状況別】



子どもの進学段階に関する希望の理由について、進学段階に関する希望（「高校（高等学校）まで」又は「大学・大学院まで」）ごとに整理しました（その他の区分については、回答数が少ないため掲載を省略しています）。

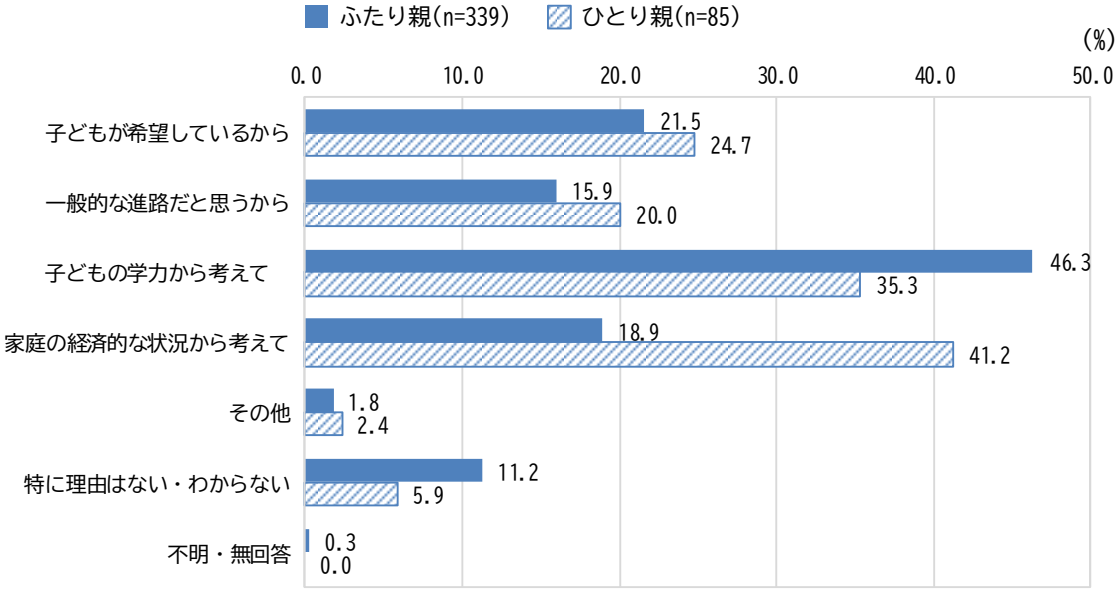
「高校（高等学校）まで」と回答した人の理由を収入の水準別にみると、「中央値以上」の世帯及び「中央値の２分の１以上中央値未満」の世帯では「子どもの学力から考えて」、「中央値の２分の１未満」の世帯では「家庭の経済的な状況から考えて」が、最も高くなっています。

【子どもの進学段階に関する希望の理由（高校（高等学校）まで）：収入の水準別】



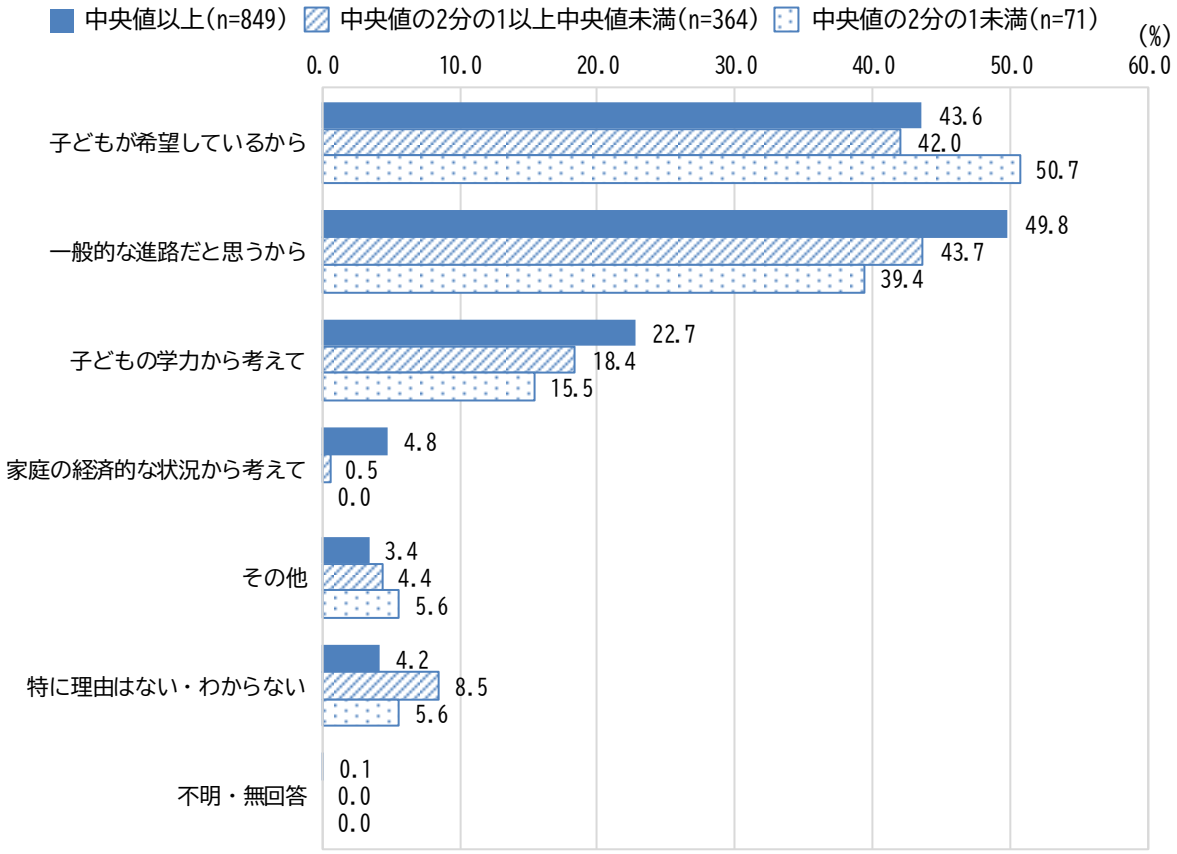
「高校（高等学校）まで」と回答した人の理由を世帯の状況別にみると、「ふたり親」の世帯では「子どもの学力から考えて」、「ひとり親」の世帯では「家庭の経済的な状況から考えて」が、最も高くなっています。

【子どもの進学段階に関する希望の理由（高校（高等学校）まで）：世帯の状況別】



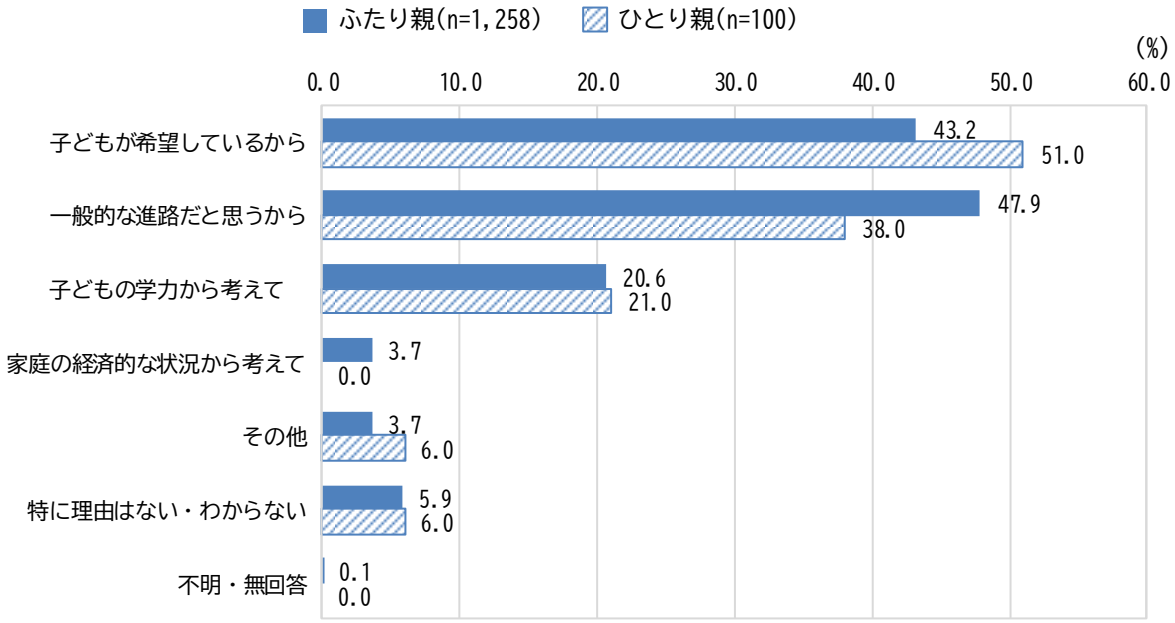
「大学・大学院まで」と回答した人の理由を収入の水準別にみると、「中央値以上」の世帯及び「中央値の２分の１以上中央値未満」の世帯では「一般的な進路だと思うから」が最も高く、「中央値の２分の１未満」の世帯では「子どもが希望しているから」が最も高くなっています。

【子どもの進学段階に関する希望の理由（大学・大学院まで）：収入の水準別】



「大学・大学院まで」と回答した人の理由を世帯の状況別にみると、「ふたり親」の世帯では「一般的な進路だと思うから」が最も高く、「ひとり親」の世帯では「子どもが希望しているから」が最も高くなっています。

【子どもの進学段階に関する希望の理由（大学・大学院まで）：世帯の状況別】



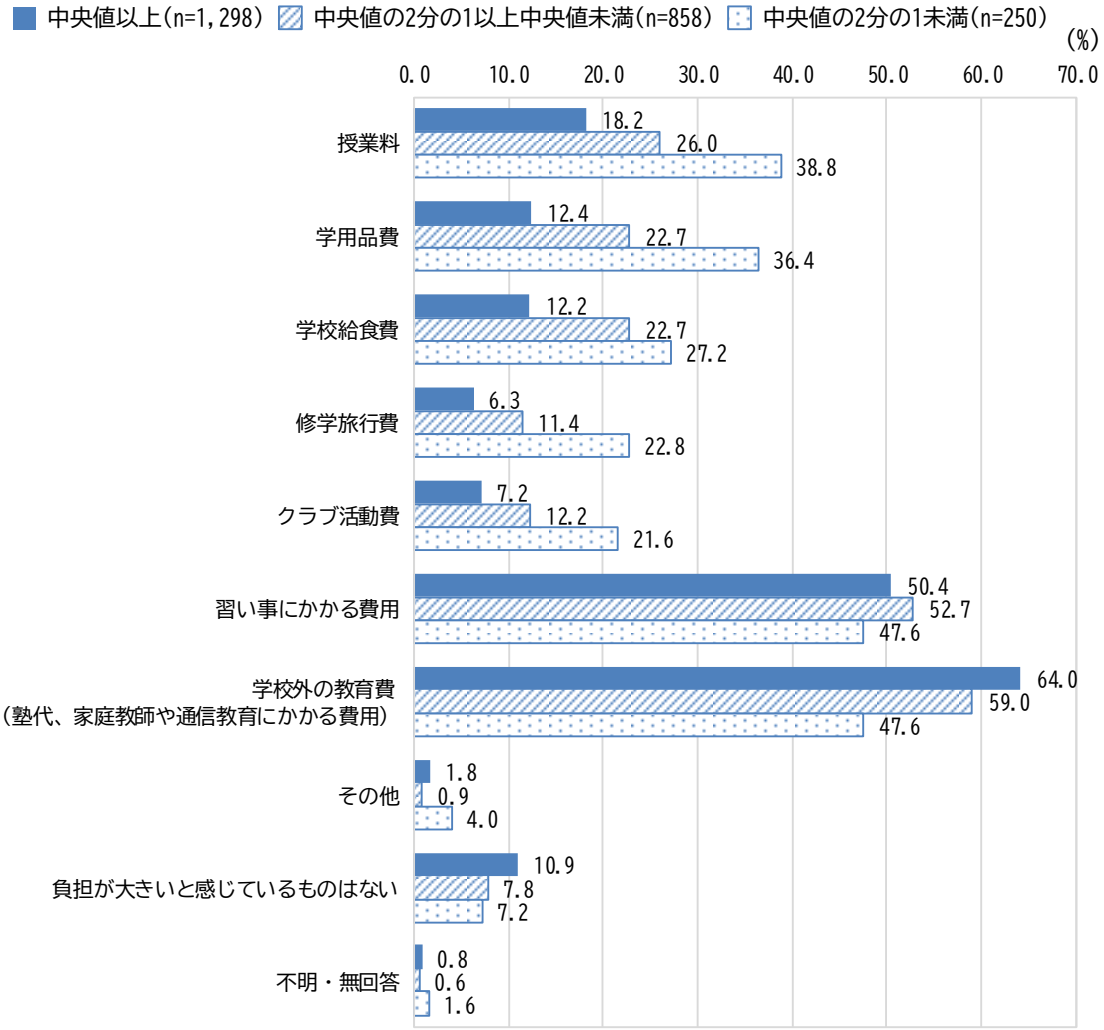
⑸　教育関連の支出で負担に感じるもの

問 18　お子さんの教育にかかる費用で、負担が大きいと感じているものはありますか。
（すべてに○）

収入の水準別にみると、いずれの世帯でも「学校外の教育費（塾代、家庭教師や通信教育にかかる費用）」が最も高く、次いで「習い事にかかる費用」となっています（「中央値の２分の１未満」の世帯では、両者は同数）。

「中央値の２分の１未満」の世帯では、他の世帯に比べて「学校外の教育費（塾代、家庭教師や通信教育にかかる費用）」が低く、「授業料」、「学用品費」、「学校給食費」、「修学旅行費」、「クラブ活動費」が高くなっています。

【教育関連の支出で負担に感じるもの：収入の水準別】

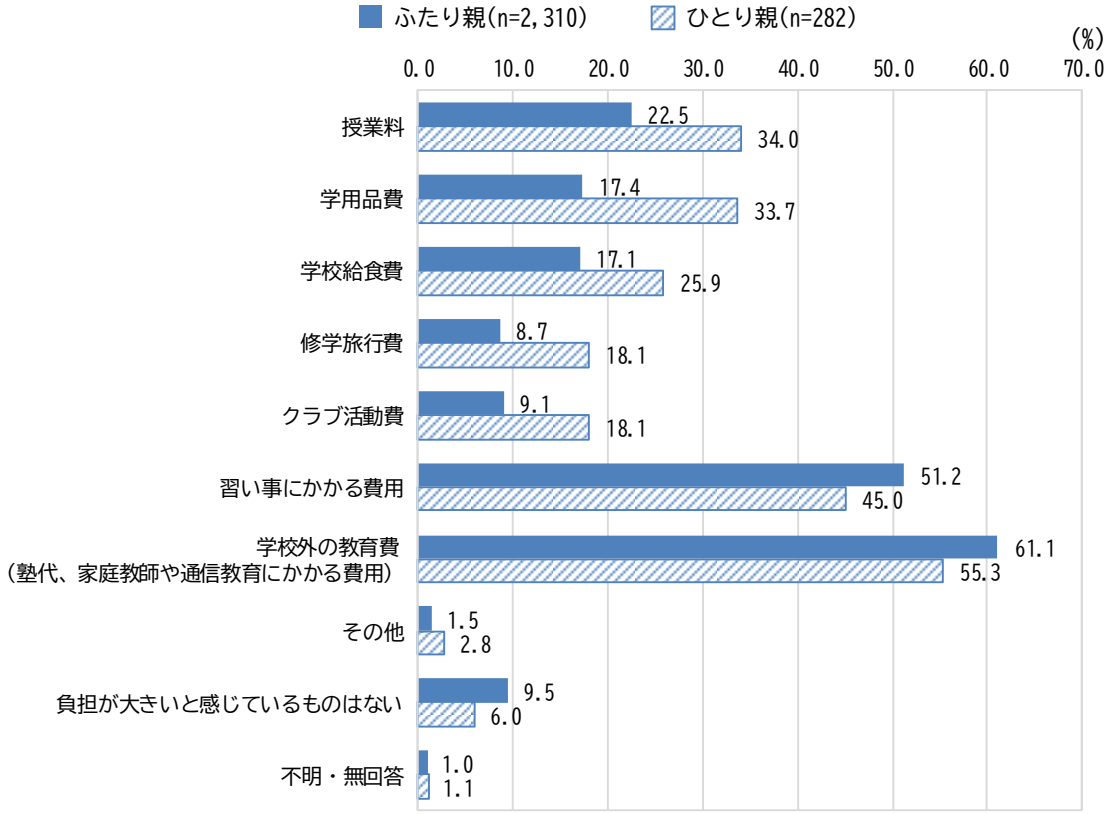


世帯の状況別にみると、いずれの世帯でも「学校外の教育費（塾代、家庭教師や通信教育にかかる費用）」が最も高く、次いで「習い事にかかる費用」となっています。

「ひとり親」の世帯では、「ふたり親」の世帯に比べて「学校外の教育費（塾代、家庭教師や通信教育にかかる費用）」、「習い事にかかる費用」がやや低く、「授業料」、「学用品費」、「学校給食費」、「修学旅行費」、「クラブ活動費」が高くなっています。

なお、「その他」には「医療費」、「食費」、「大学進学準備のための貯金」等がありました。

【教育関連の支出で負担に感じるもの：世帯の状況別】

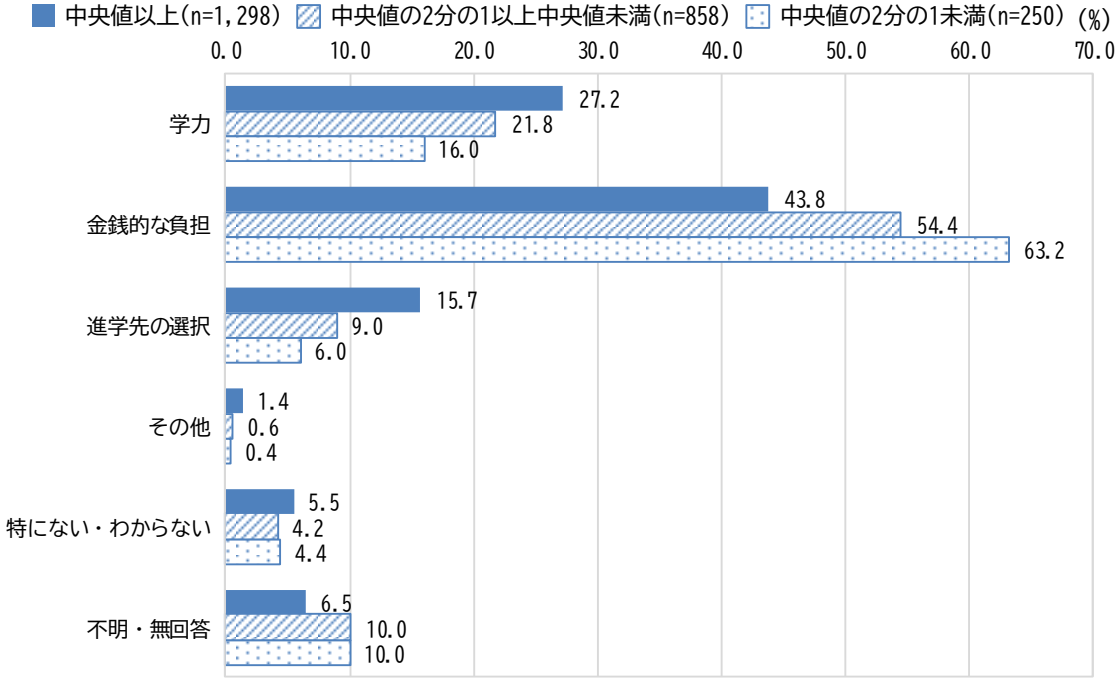


⑹　子どもの進学に関する不安

問 19　お子さんを将来希望する学校まで進学させるにあたって、最も心配なことをお答えください。（1つに○）

収入の水準別にみると、いずれの世帯でも「金銭的な負担」が最も高くなっており、「中央値の２分の１未満」の世帯では他の世帯に比べて高くなっています。

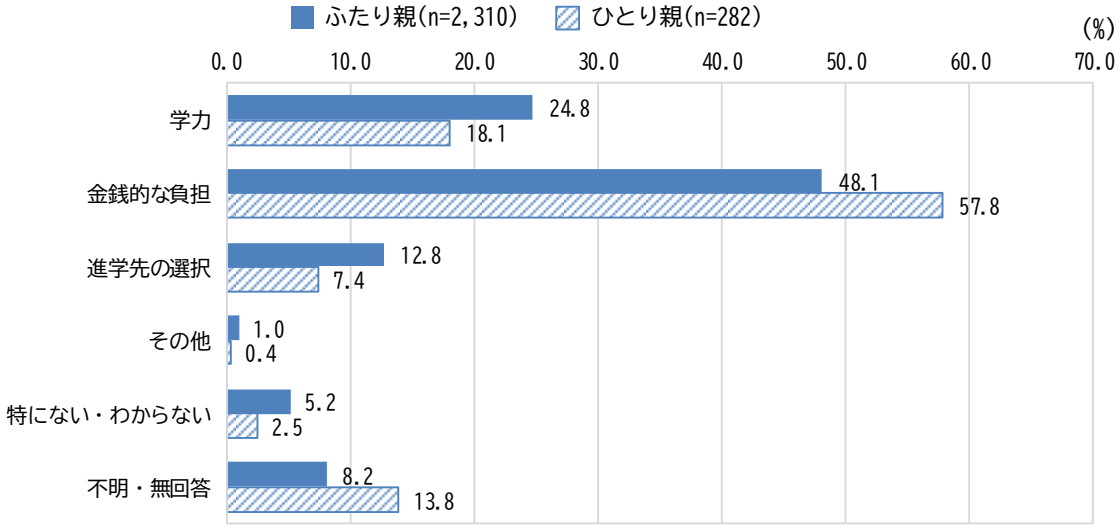
【子どもの進学に関する不安：収入の水準別】



世帯の状況別にみると、いずれの世帯でも「金銭的な負担」が最も高くなっており、「ひとり親」の世帯では「ふたり親」の世帯に比べて高くなっています。

なお、「その他」には、「人間関係」、「体調」、「子どもの障害、特性」等がありました。

【子どもの進学に関する不安：世帯の状況別】



3　生活状況・経済状況について

⑴　子どもとの関わり方

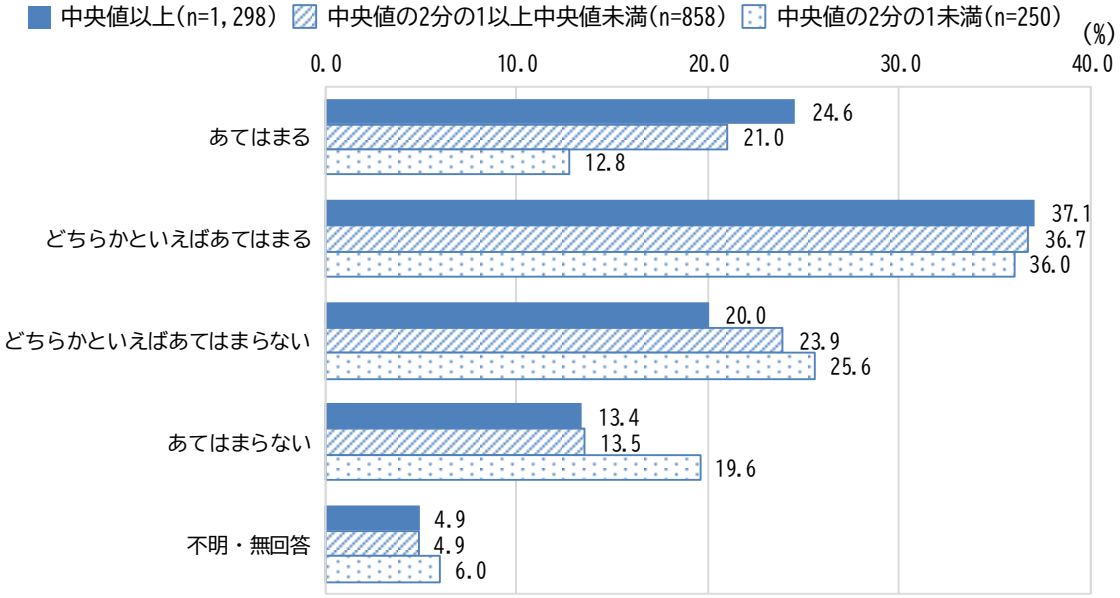
問 20　以下の①～⑧のそれぞれについて、あてはまる番号１つに○をつけてください。

①　子どものテレビ・ゲーム・インターネットの利用について、利用時間などのルールを決めている

収入の水準別にみると、「あてはまる」と「どちらかといえばあてはまる」を合わせた割合は、「中央値以上」の世帯では 61.7%、「中央値の２分の１以上中央値未満」の世帯では 57.7%、「中央値の２分の１未満」の世帯では 48.8%となっています。

「あてはまらない」と「どちらかといえばあてはまらない」を合わせた割合は、「中央値以上」の世帯では 33.4%、「中央値の２分の１以上中央値未満」の世帯では 37.4%、「中央値の２分の１未満」の世帯では 45.2%となっています。

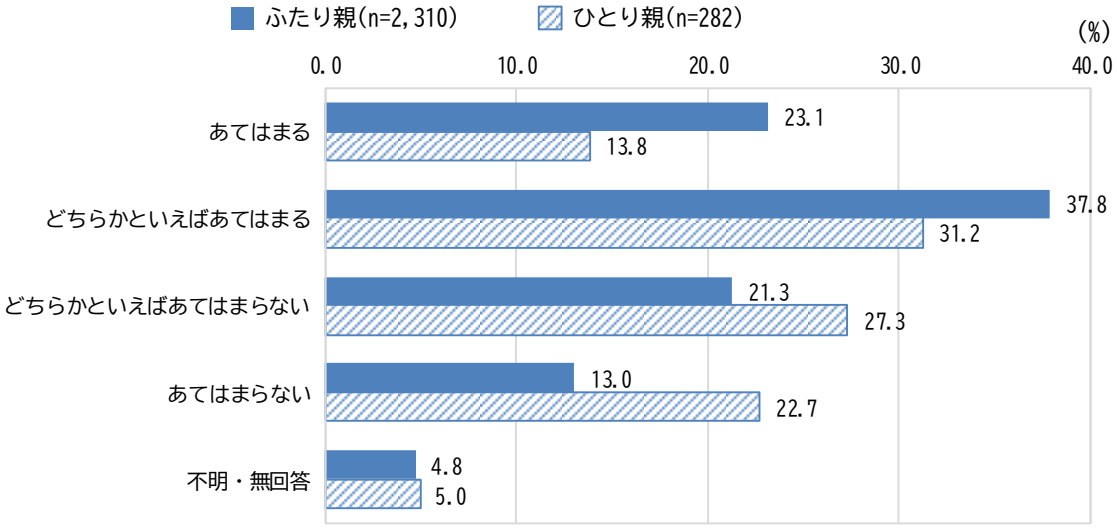
【子どもとの関わり方（テレビ・ゲーム・インターネットの利用ルール）：収入の水準別】



世帯の状況別にみると、「あてはまる」と「どちらかといえばあてはまる」を合わせた割合は、「ふたり親」の世帯では 60.9%、「ひとり親」の世帯では 45.0%となっています。

「あてはまらない」と「どちらかといえばあてはまらない」を合わせた割合は、「ふたり親」の世帯では 34.3%、「ひとり親」の世帯では 50.0%となっています。

【子どもとの関わり方（テレビ・ゲーム・インターネットの利用ルール）：世帯の状況別】

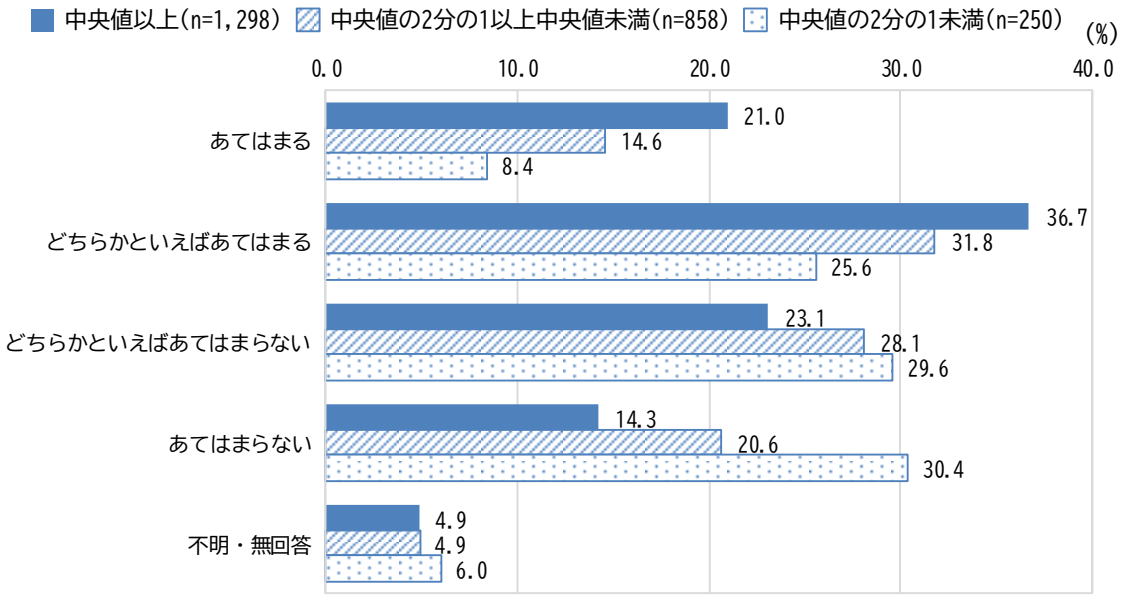


② 子どもに本や新聞を読むようにすすめている

収入の水準別にみると、「あてはまる」と「どちらかといえばあてはまる」を合わせた割合は、「中央値以上」の世帯では 57.7%、「中央値の２分の１以上中央値未満」の世帯では 46.4%、「中央値の２分の１未満」の世帯では 34.0%となっています。

「あてはまらない」と「どちらかといえばあてはまらない」を合わせた割合は、「中央値以上」の世帯では 37.4%、「中央値の２分の１以上中央値未満」の世帯では 48.7%、「中央値の２分の１未満」の世帯では 60.0%となっています。

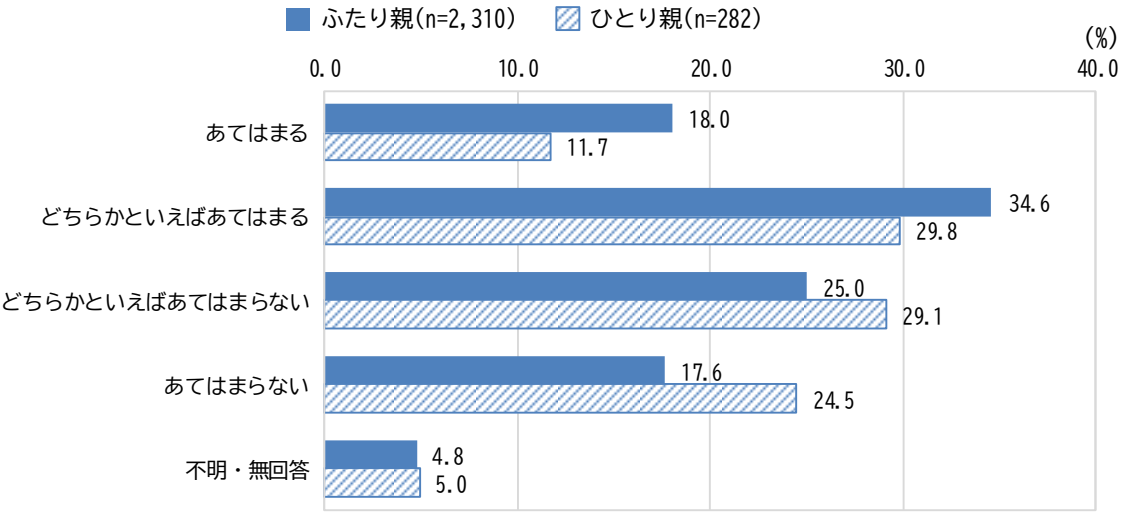
【子どもとの関わり方（本や新聞を読むようにすすめている）：収入の水準別】



世帯の状況別にみると、「あてはまる」と「どちらかといえばあてはまる」を合わせた割合は、「ふたり親」の世帯では 52.6%、「ひとり親」の世帯では 41.5%となっています。

「あてはまらない」と「どちらかといえばあてはまらない」を合わせた割合は、「ふたり親」の世帯では 42.6%、「ひとり親」の世帯では 53.6%となっています。

【子どもとの関わり方（本や新聞を読むようにすすめている）：世帯の状況別】

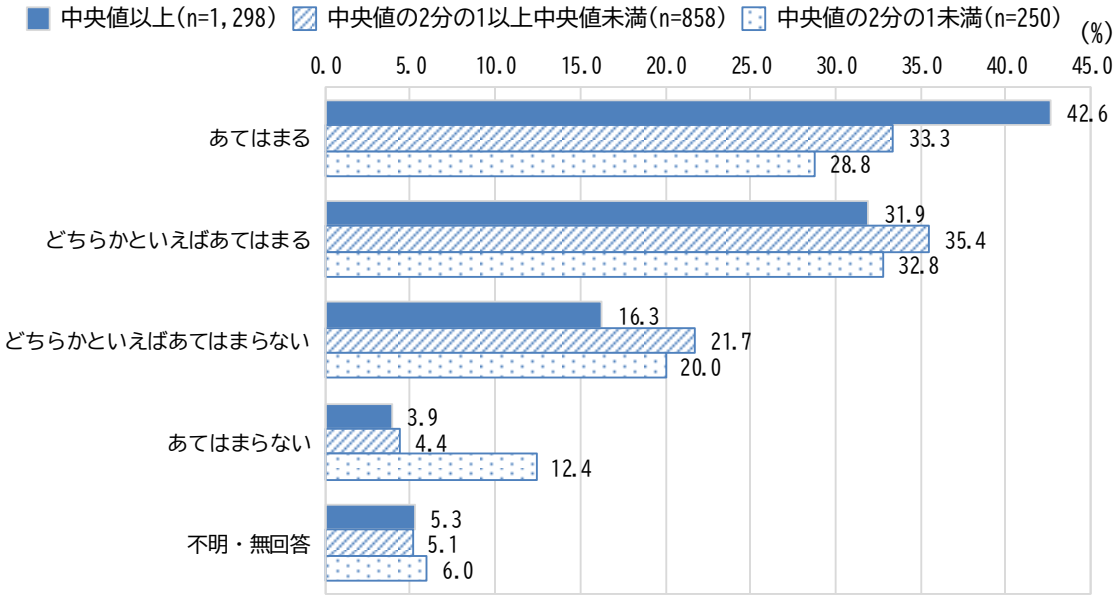


③　子どもが小さい頃、絵本の読み聞かせをしていた

収入の水準別にみると、「あてはまる」と「どちらかといえばあてはまる」を合わせた割合は、「中央値以上」の世帯では 74.5%、「中央値の２分の１以上中央値未満」の世帯では 68.7%、「中央値の２分の１未満」の世帯では 61.6%となっています。

「あてはまらない」と「どちらかといえばあてはまらない」を合わせた割合は、「中央値以上」の世帯では 20.2%、「中央値の２分の１以上中央値未満」の世帯では 26.1%、「中央値の２分の１未満」の世帯では 32.4%となっています。

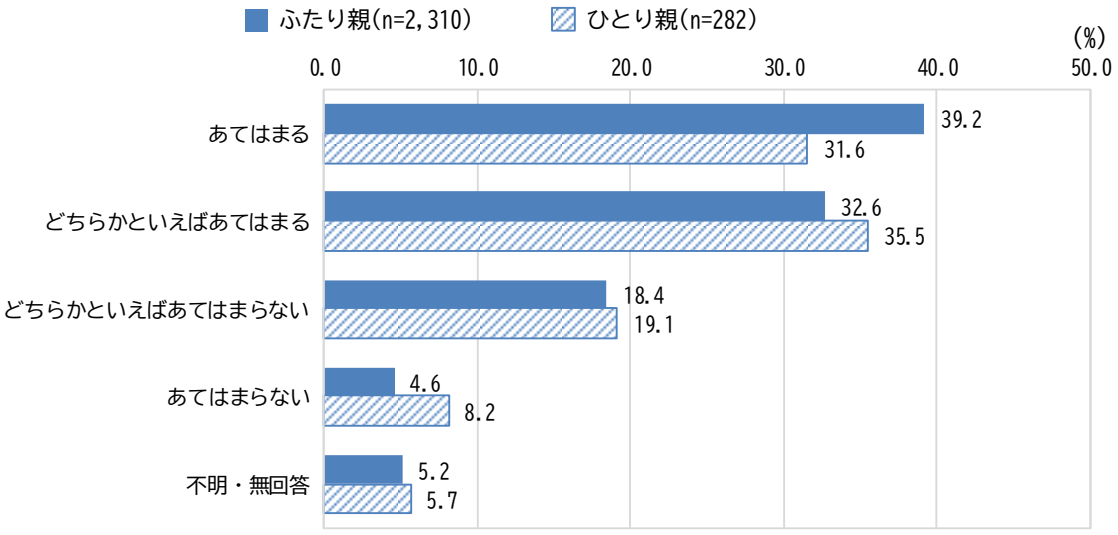
【子どもとの関わり方（小さい頃、絵本の読み聞かせをしていた）：収入の水準別】



世帯の状況別にみると、「あてはまる」と「どちらかといえばあてはまる」を合わせた割合は、「ふたり親」の世帯では 71.8%、「ひとり親」の世帯では 67.1%となっています。

「あてはまらない」と「どちらかといえばあてはまらない」を合わせた割合は、「ふたり親」の世帯では 23.0%、「ひとり親」の世帯では 27.3%となっています。

【子どもとの関わり方（小さい頃、絵本の読み聞かせをしていた）：世帯の状況別】

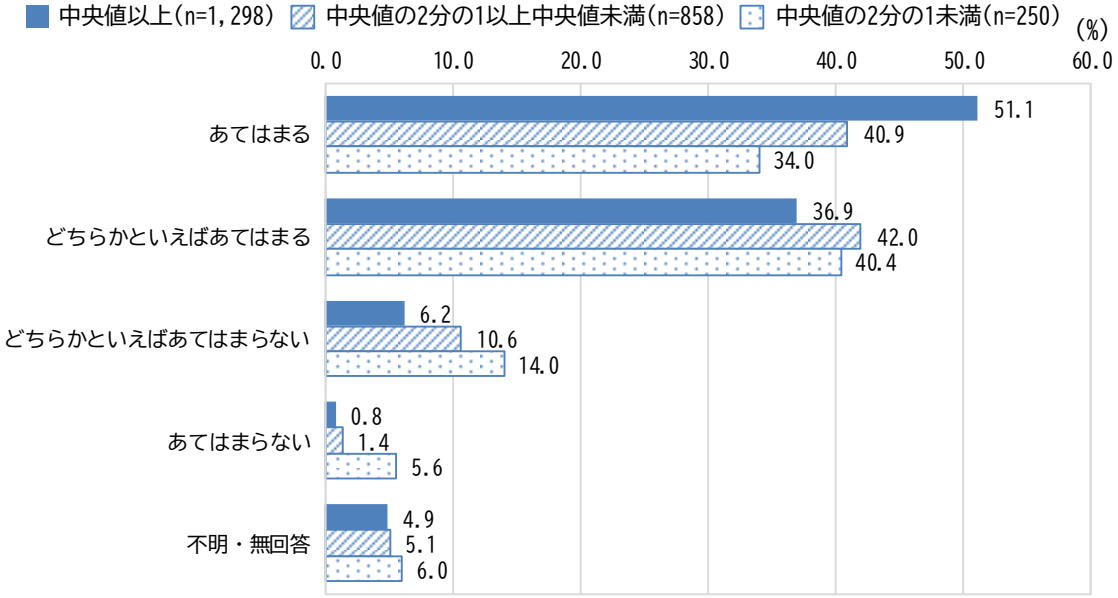


④　子どもと勉強や成績のことについて話をする

収入の水準別にみると、「あてはまる」と「どちらかといえばあてはまる」を合わせた割合は、「中央値以上」の世帯では 88.0%、「中央値の２分の１以上中央値未満」の世帯では 82.9%、「中央値の２分の１未満」の世帯では 74.4%となっています。

「あてはまらない」と「どちらかといえばあてはまらない」を合わせた割合は、「中央値以上」の世帯では 7.0%、「中央値の２分の１以上中央値未満」の世帯では 12.0%、「中央値の２分の１未満」の世帯では 19.6%となっています。

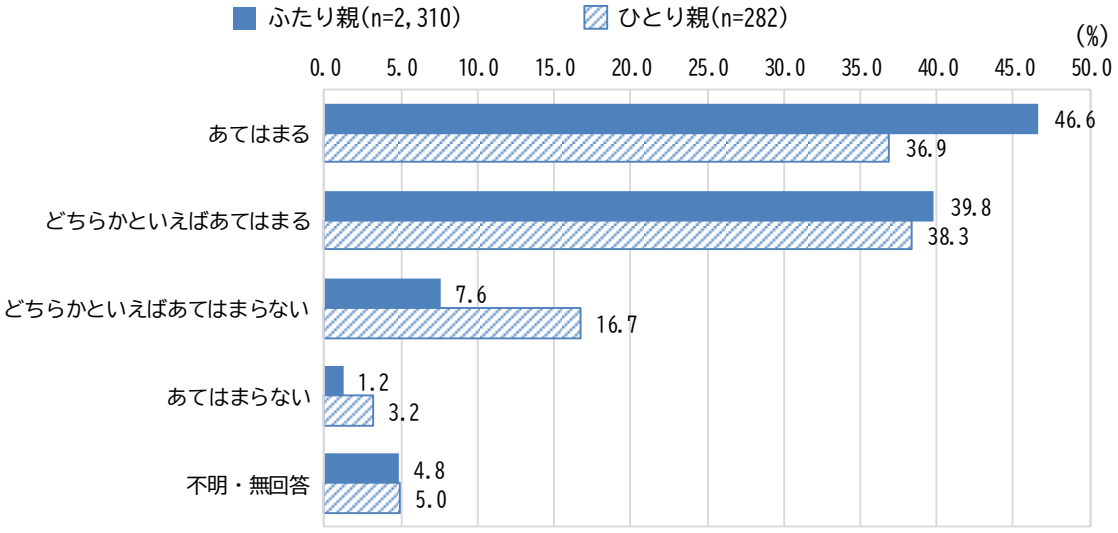
【子どもとの関わり方（勉強や成績のことについて話をする）：収入の水準別】



世帯の状況別にみると、「あてはまる」と「どちらかといえばあてはまる」を合わせた割合は、「ふたり親」の世帯では 86.4%、「ひとり親」の世帯では 75.2%となっています。

「あてはまらない」と「どちらかといえばあてはまらない」を合わせた割合は、「ふたり親」の世帯では 8.8%、「ひとり親」の世帯では 19.9%となっています。

【子どもとの関わり方（勉強や成績のことについて話をする）：世帯の状況別】

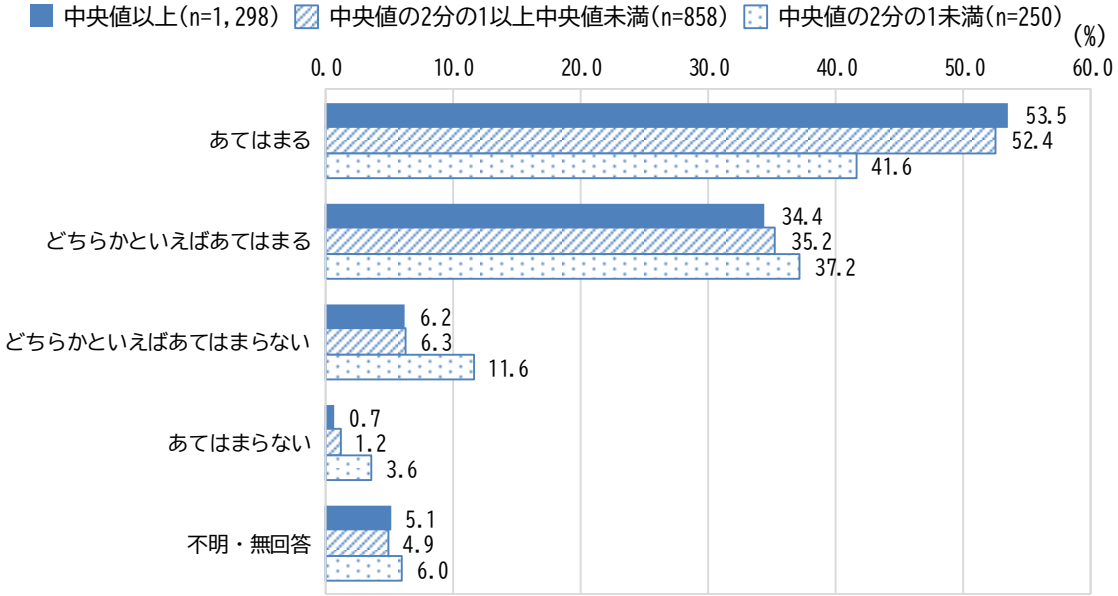


⑤　子どもと学校での出来事について話をする

収入の水準別にみると、「あてはまる」と「どちらかといえばあてはまる」を合わせた割合は、「中央値以上」の世帯では 87.9%、「中央値の２分の１以上中央値未満」の世帯では 87.6%、「中央値の２分の１未満」の世帯では 78.8%となっています。

「あてはまらない」と「どちらかといえばあてはまらない」を合わせた割合は、「中央値以上」の世帯では 6.9%、「中央値の２分の１以上中央値未満」の世帯では 7.5%、「中央値の２分の１未満」の世帯では 15.2%となっています。

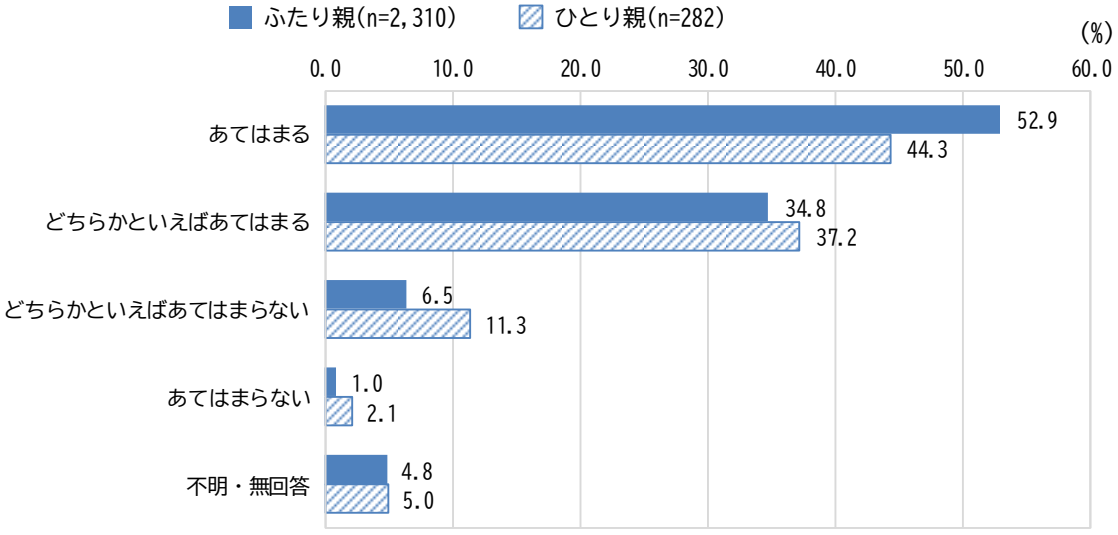
【子どもとの関わり方（学校での出来事について話をする）：収入の水準別】



世帯の状況別にみると、「あてはまる」と「どちらかといえばあてはまる」を合わせた割合は、「ふたり親」の世帯では 87.7%、「ひとり親」の世帯では 81.5%となっています。

「あてはまらない」と「どちらかといえばあてはまらない」を合わせた割合は、「ふたり親」の世帯では 7.5%、「ひとり親」の世帯では 13.4%となっています。

【子どもとの関わり方（学校での出来事について話をする）：世帯の状況別】

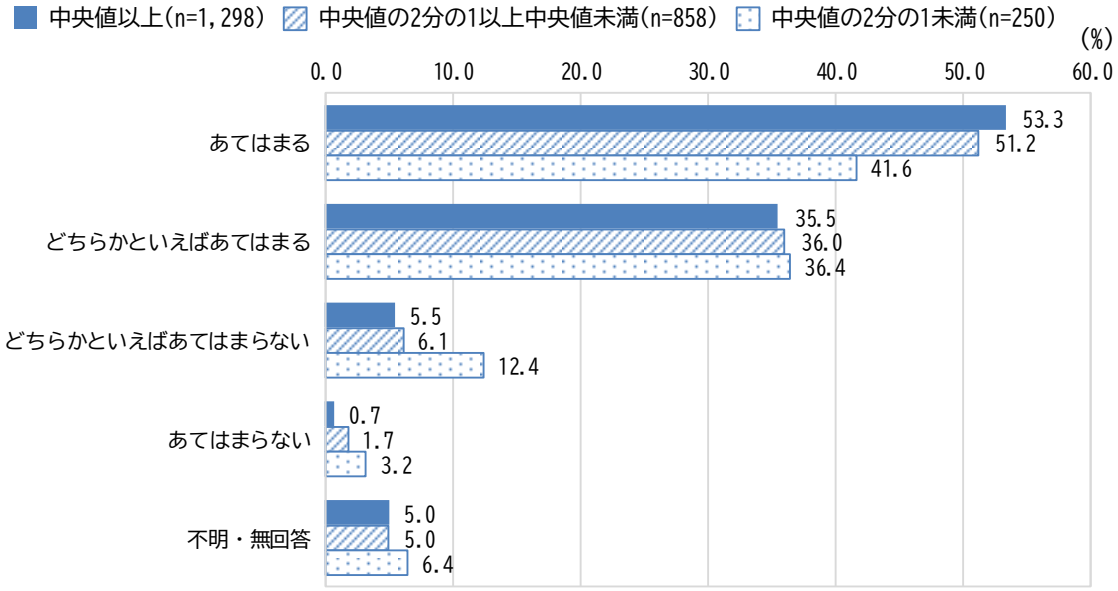


⑥　子どもと友だちのことについて話をする

収入の水準別にみると、「あてはまる」と「どちらかといえばあてはまる」を合わせた割合は、「中央値以上」の世帯では 88.8%、「中央値の２分の１以上中央値未満」の世帯では 87.2%、「中央値の２分の１未満」の世帯では 78.0%となっています。

「あてはまらない」と「どちらかといえばあてはまらない」を合わせた割合は、「中央値以上」の世帯では 6.2%、「中央値の２分の１以上中央値未満」の世帯では 7.8%、「中央値の２分の１未満」の世帯では 15.6%となっています。

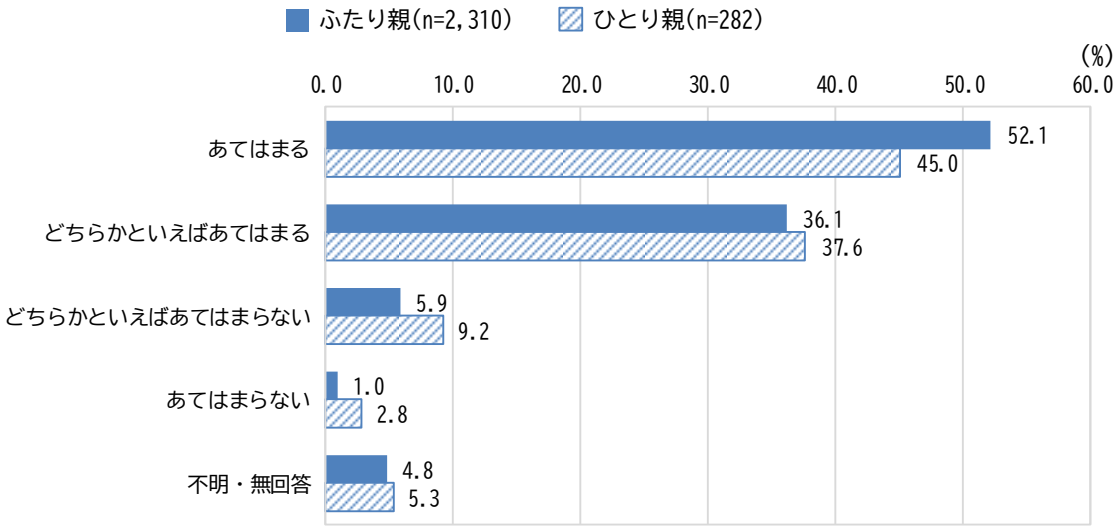
【子どもとの関わり方（友だちのことについて話をする）：収入の水準別】



世帯の状況別にみると、「あてはまる」と「どちらかといえばあてはまる」を合わせた割合は、「ふたり親」の世帯では 88.2%、「ひとり親」の世帯では 82.6%となっています。

「あてはまらない」と「どちらかといえばあてはまらない」を合わせた割合は、「ふたり親」の世帯では 6.9%、「ひとり親」の世帯では 12.0%となっています。

【子どもとの関わり方（友だちのことについて話をする）：世帯の状況別】

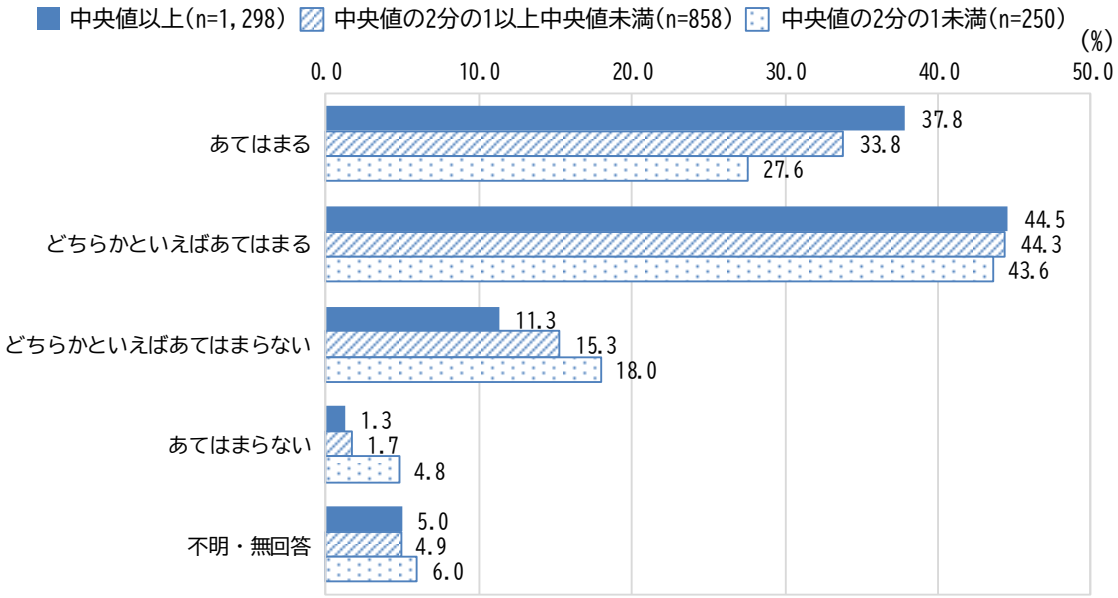


⑦　子どもと将来や進路のことについて話をする

収入の水準別にみると、「あてはまる」と「どちらかといえばあてはまる」を合わせた割合は、「中央値以上」の世帯では 82.3%、「中央値の２分の１以上中央値未満」の世帯では 78.1%、「中央値の２分の１未満」の世帯では 71.2%となっています。

「あてはまらない」と「どちらかといえばあてはまらない」を合わせた割合は、「中央値以上」の世帯では 12.6%、「中央値の２分の１以上中央値未満」の世帯では 17.0%、「中央値の２分の１未満」の世帯では 22.8%となっています。

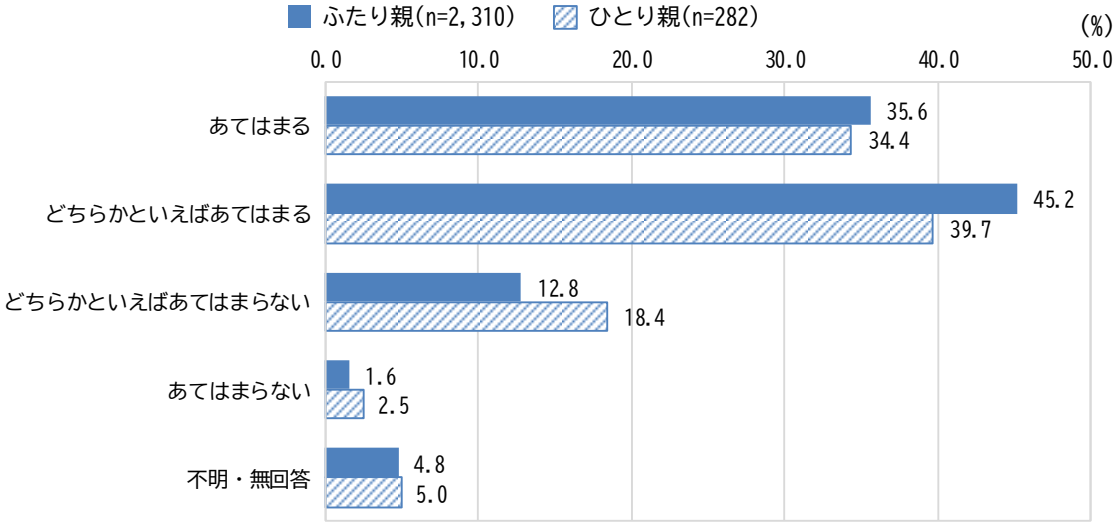
【子どもとの関わり方（将来や進路のことについて話をする）：収入の水準別】



世帯の状況別にみると、「あてはまる」と「どちらかといえばあてはまる」を合わせた割合は、「ふたり親」の世帯では 80.8%、「ひとり親」の世帯では 74.1%となっています。

「あてはまらない」と「どちらかといえばあてはまらない」を合わせた割合は、「ふたり親」の世帯では 14.4%、「ひとり親」の世帯では 20.9%となっています。

【子どもとの関わり方（友だちのことについて話をする）：世帯の状況別】

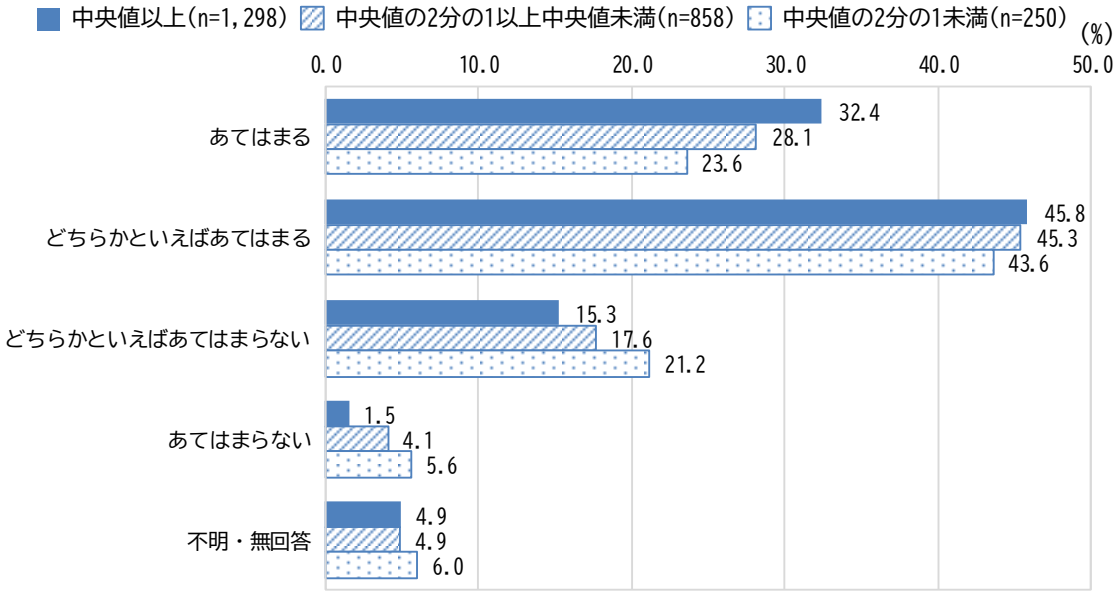


⑧　子どもと社会の出来事やニュースについて話をする

収入の水準別にみると、「あてはまる」と「どちらかといえばあてはまる」を合わせた割合は、「中央値以上」の世帯では 78.2%、「中央値の２分の１以上中央値未満」の世帯では 73.4%、「中央値の２分の１未満」の世帯では 67.2%となっています。

「あてはまらない」と「どちらかといえばあてはまらない」を合わせた割合は、「中央値以上」の世帯では 16.8%、「中央値の２分の１以上中央値未満」の世帯では 21.7%、「中央値の２分の１未満」の世帯では 26.8%となっています。

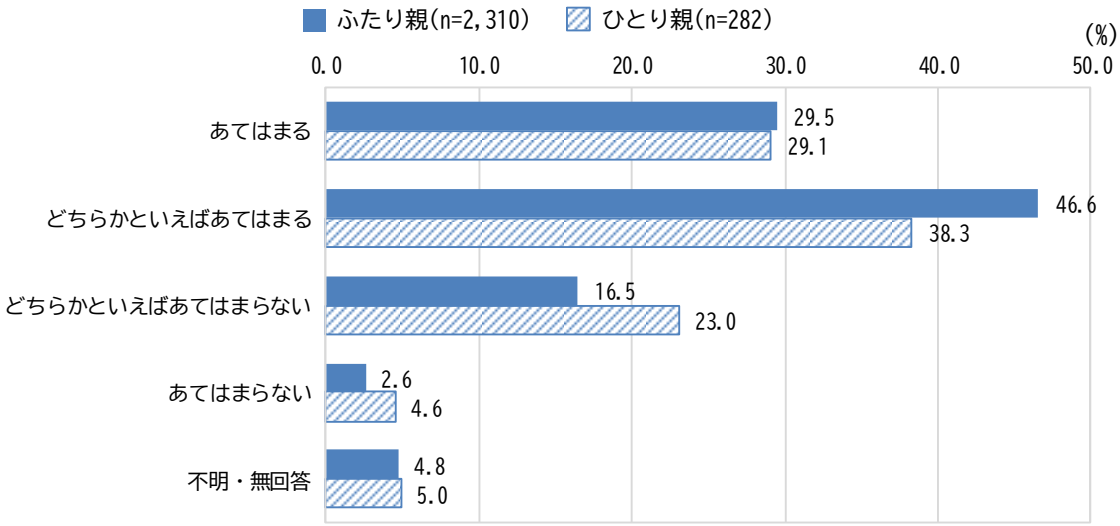
【子どもとの関わり方（社会の出来事やニュースについて話をする）：収入の水準別】



世帯の状況別にみると、「あてはまる」と「どちらかといえばあてはまる」を合わせた割合は、「ふたり親」の世帯では 76.1%、「ひとり親」の世帯では 67.4%となっています。

「あてはまらない」と「どちらかといえばあてはまらない」を合わせた割合は、「ふたり親」の世帯では 19.1%、「ひとり親」の世帯では 27.6%となっています。

【子どもとの関わり方（社会の出来事やニュースについて話をする）：世帯の状況別】



⑵　学校行事や地域行事への参加

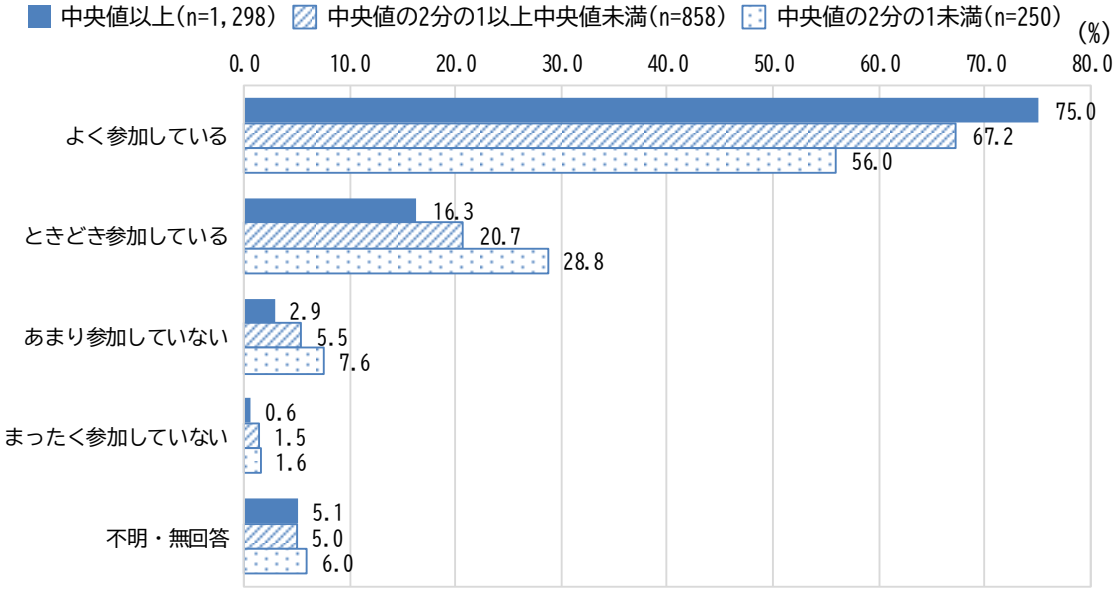
問 21　あなたは、次のようなことをどの程度していますか。（１つに○）

①　授業参観や運動会などの学校行事

収入の水準別にみると、「よく参加している」と「ときどき参加している」を合わせた割合は、「中央値以上」の世帯では 91.3%、「中央値の２分の１以上中央値未満」の世帯では 87.9%、「中央値の２分の１未満」の世帯では 84.8%となっています。

「まったく参加していない」と「あまり参加していない」を合わせた割合は、「中央値以上」の世帯では 3.5%、「中央値の２分の１以上中央値未満」の世帯では 7.0%、「中央値の２分の１未満」の世帯では 9.2%となっています。

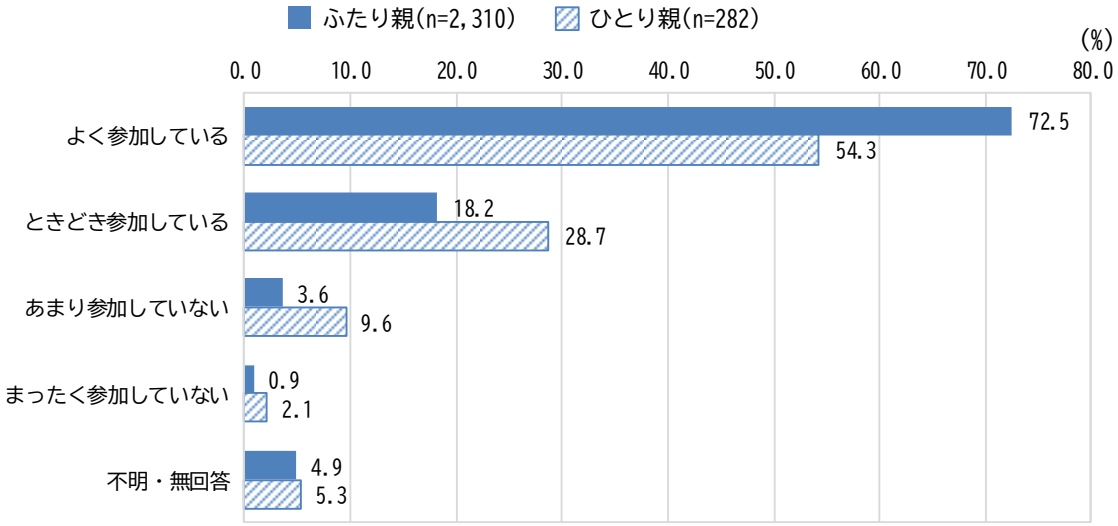
【授業参観や運動会などの学校行事への参加：収入の水準別】



世帯の状況別にみると、「よく参加している」と「ときどき参加している」を合わせた割合は、「ふたり親」の世帯では 90.7%、「ひとり親」の世帯では 83.0%となっています。

「まったく参加していない」と「あまり参加していない」を合わせた割合は、「ふたり親」の世帯では 4.5%、「ひとり親」の世帯では 11.7%となっています。

【授業参観や運動会などの学校行事への参加：世帯の状況別】

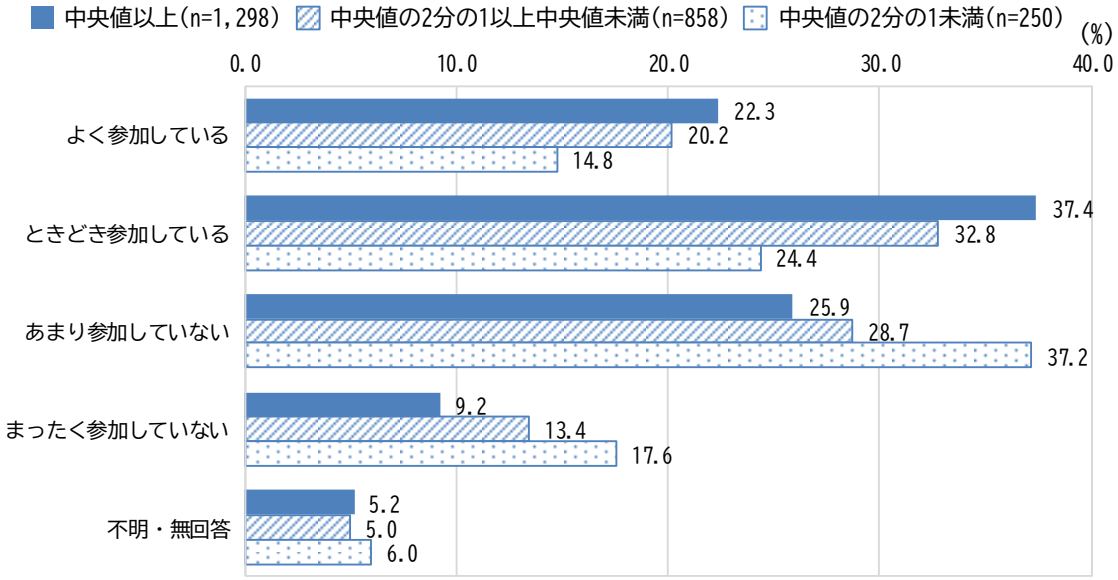


② PTA 活動や保護者会、放課後学習支援等のボランティアなど

収入の水準別にみると、「よく参加している」と「ときどき参加している」を合わせた割合は、「中央値以上」の世帯では 59.7%、「中央値の２分の１以上中央値未満」の世帯では 53.0%、「中央値の２分の１未満」の世帯では 39.2%で、「中央値の２分の１未満」の世帯が他の世帯に比べて低くなっています。

「まったく参加していない」と「あまり参加していない」を合わせた割合は、「中央値以上」の世帯では 35.1%、「中央値の２分の１以上中央値未満」の世帯では 42.1%、「中央値の２分の１未満」の世帯では 54.8%となっています。

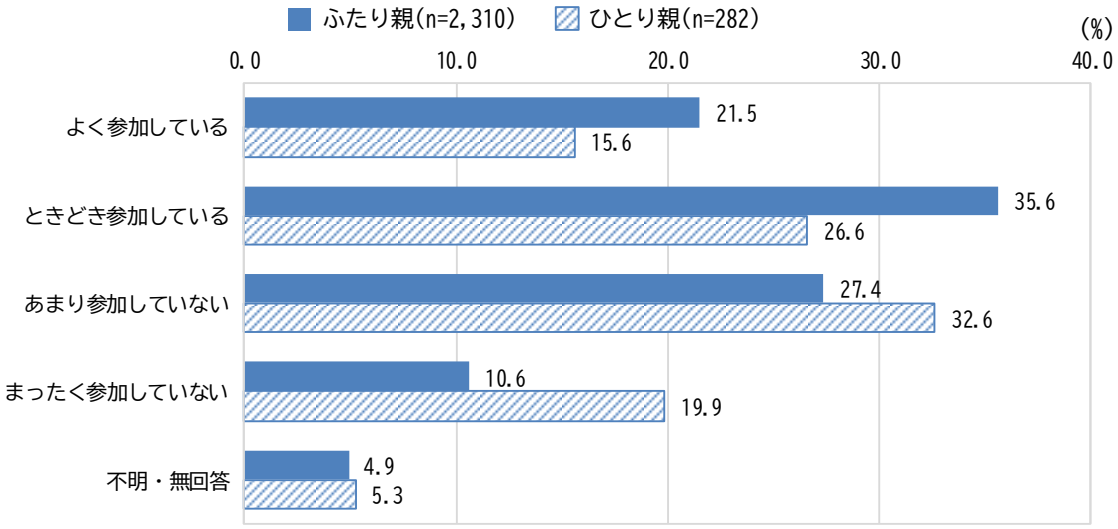
【PTA 活動や保護者会、放課後学習支援等のボランティアへの参加：収入の水準別】



世帯の状況別にみると、「よく参加している」と「ときどき参加している」を合わせた割合は、「ふたり親」の世帯では 57.1%、「ひとり親」の世帯では 42.2%となっています。

「まったく参加していない」と「あまり参加していない」を合わせた割合は、「ひとり親」の世帯では 52.5%と、「ふたり親」の世帯（38.0%）に比べて高くなっています。

【PTA 活動や保護者会、放課後学習支援等のボランティアへの参加：世帯の状況別】

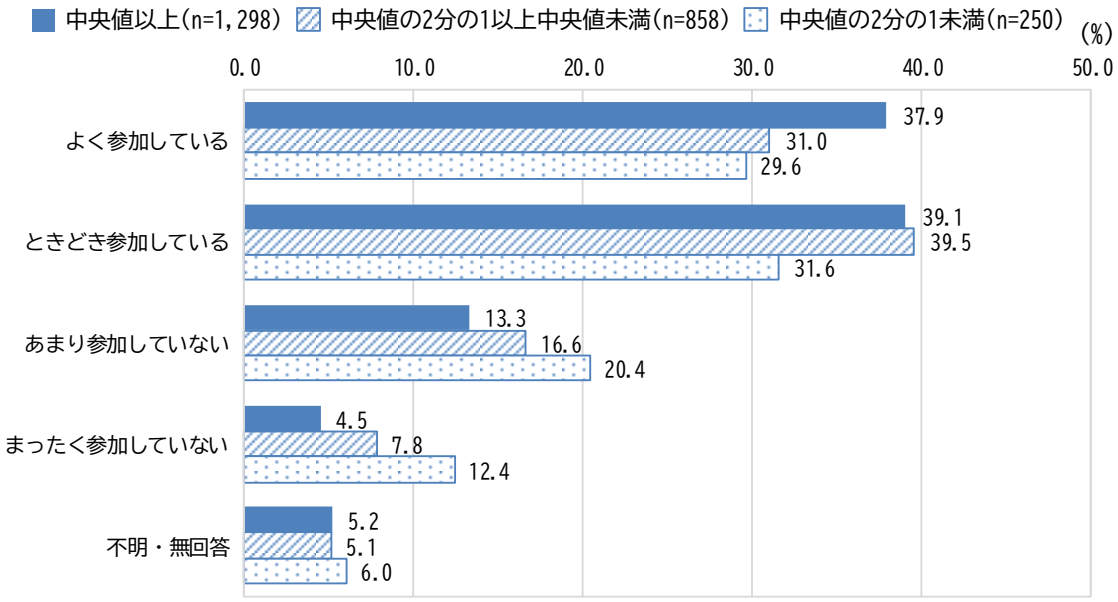


③　祭りやイベント、清掃活動などの地域の行事

収入の水準別にみると、「よく参加している」と「ときどき参加している」を合わせた割合は、「中央値以上」の世帯では 77.0%、「中央値の２分の１以上中央値未満」の世帯では 70.5%、「中央値の２分の１未満」の世帯では 61.2%となっています。

「まったく参加していない」と「あまり参加していない」を合わせた割合は、「中央値以上」の世帯では 17.8%、「中央値の２分の１以上中央値未満」の世帯では 24.4%、「中央値の２分の１未満」の世帯では 32.8%となっています。

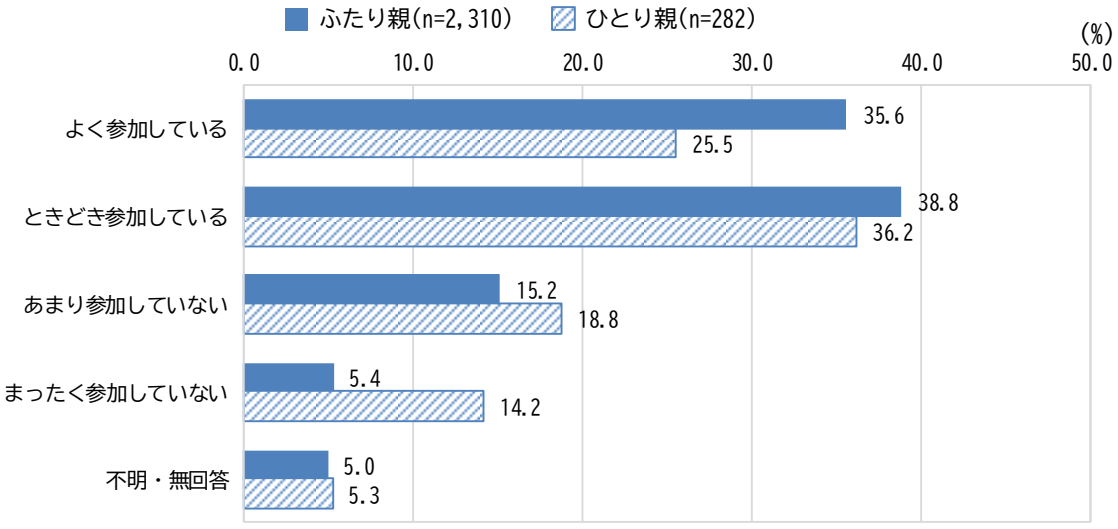
【祭りやイベント、清掃活動などの地域の行事への参加：収入の水準別】



世帯の状況別にみると、「よく参加している」と「ときどき参加している」を合わせた割合は、「ふたり親」の世帯では 74.4%、「ひとり親」の世帯では 61.7%となっています。

「まったく参加していない」と「あまり参加していない」を合わせた割合は、「ふたり親」の世帯では 20.6%、「ひとり親」の世帯では 33.0%となっています。

【祭りやイベント、清掃活動などの地域の行事への参加：世帯の状況別】



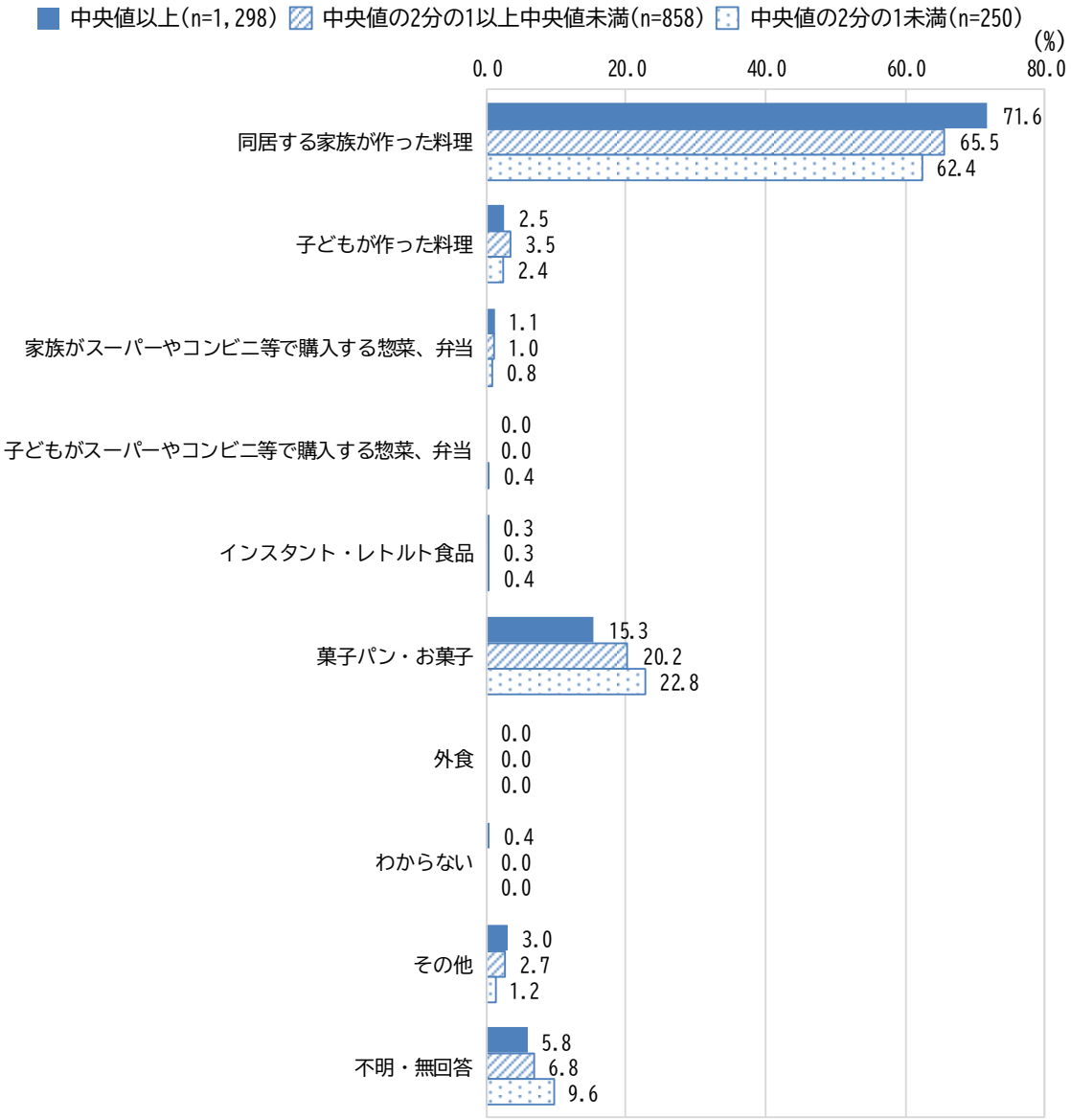
⑶　子どもの食事の内容

問 22　お子さんの食事で、最も多いものをお答えください。（１つに○）

①　朝食

収入の水準別にみると、いずれの世帯でも「同居する家族が作った料理」が最も高く、次いで「菓子パン・お菓子」となっています。

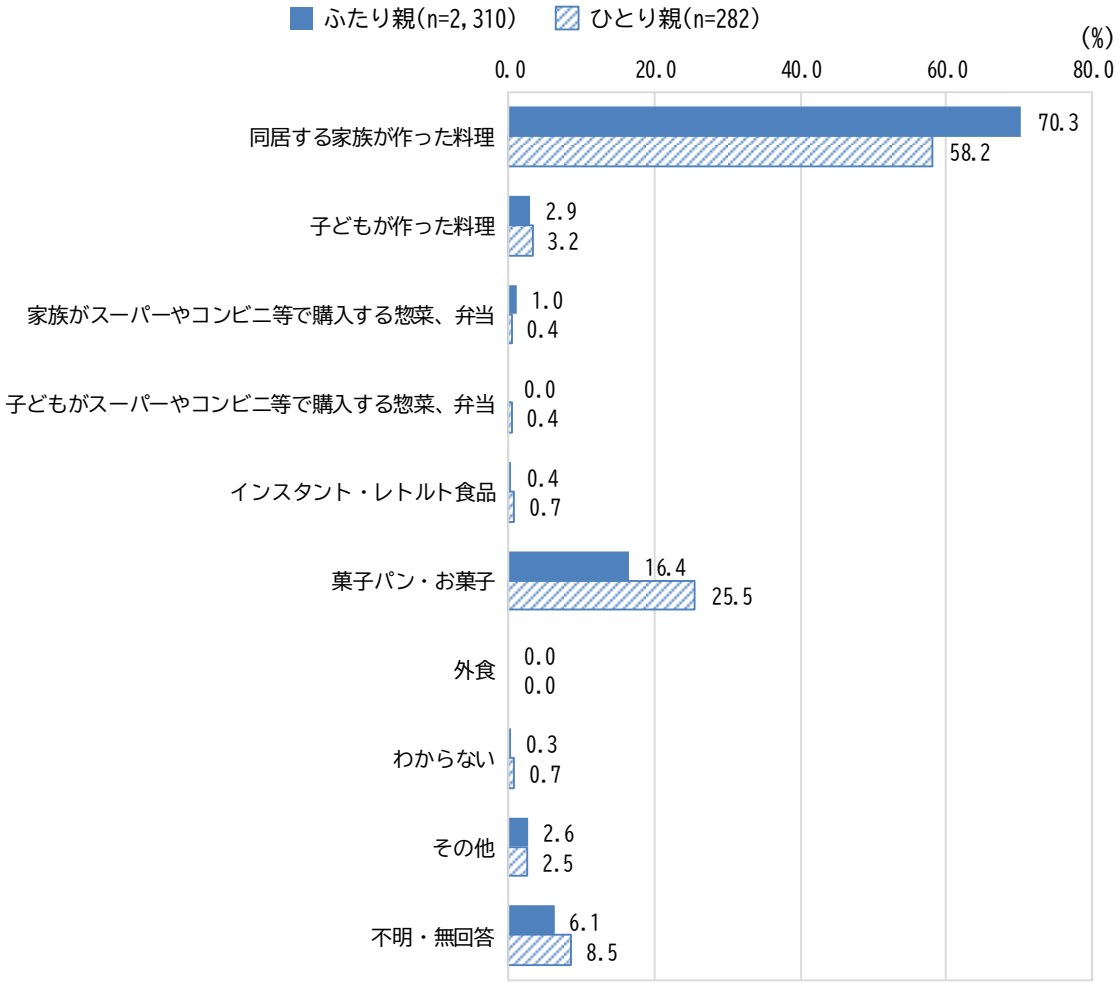
【子どもの食事の内容（朝食）：収入の水準別】



世帯の状況別にみると、いずれの世帯でも「同居する家族が作った料理」が最も高くなっており、次いで、「菓子パン・お菓子」となっています。また、「ひとり親」の世帯では、「同居する家族が作った料理」が「ふたり親」の世帯に比べて低くなっています。

なお、「その他」には、「食パンやシリアル（合わせて）牛乳やヨーグルト」、「飲み物だけ」、「朝食は食べない」等がありました。

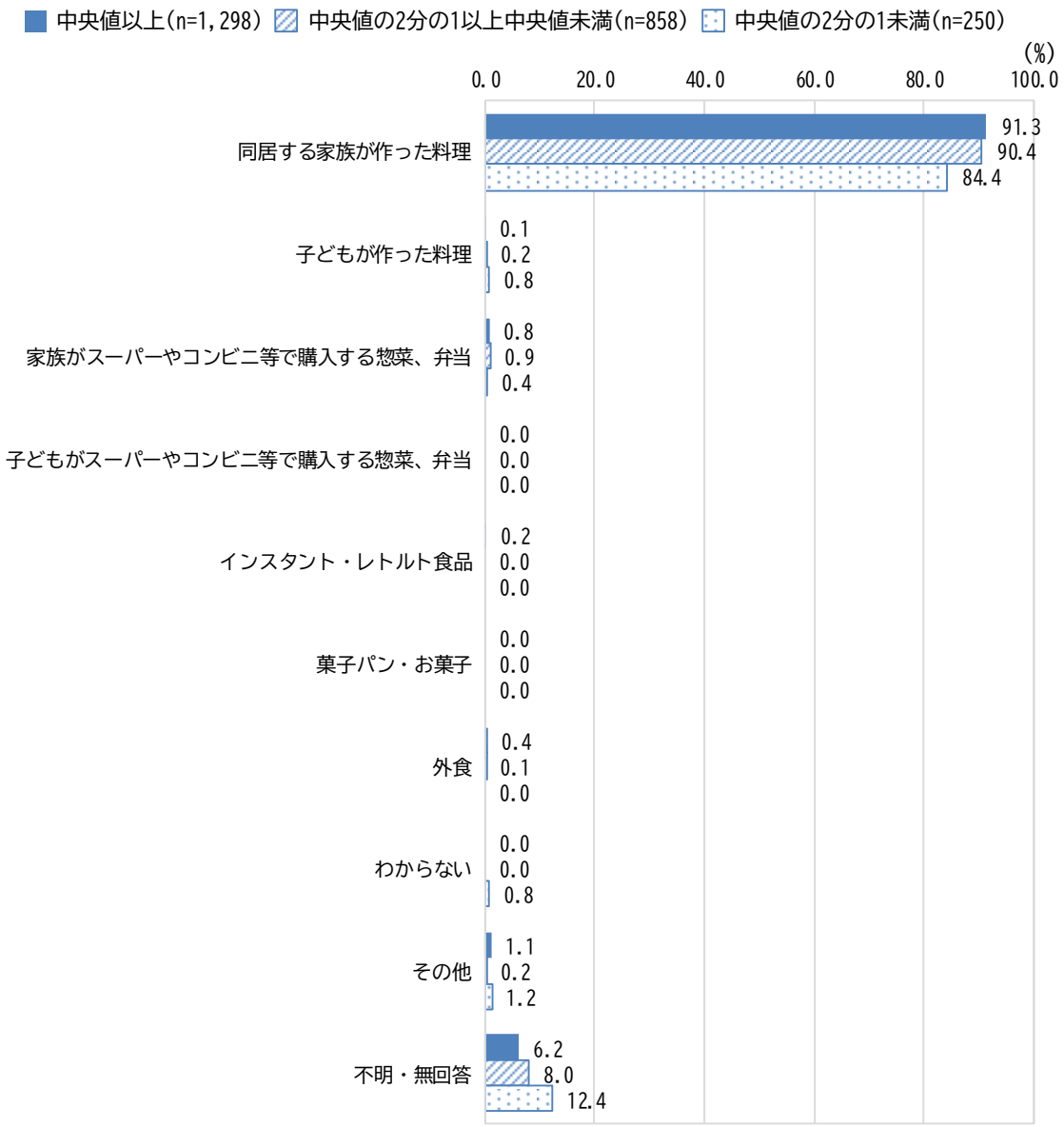
【子どもの食事の内容（朝食）：世帯の状況別】



② 夕食

収入の水準別にみると、いずれの世帯でも「同居する家族が作った料理」が最も高くなっており、いずれも８割以上を占めています。

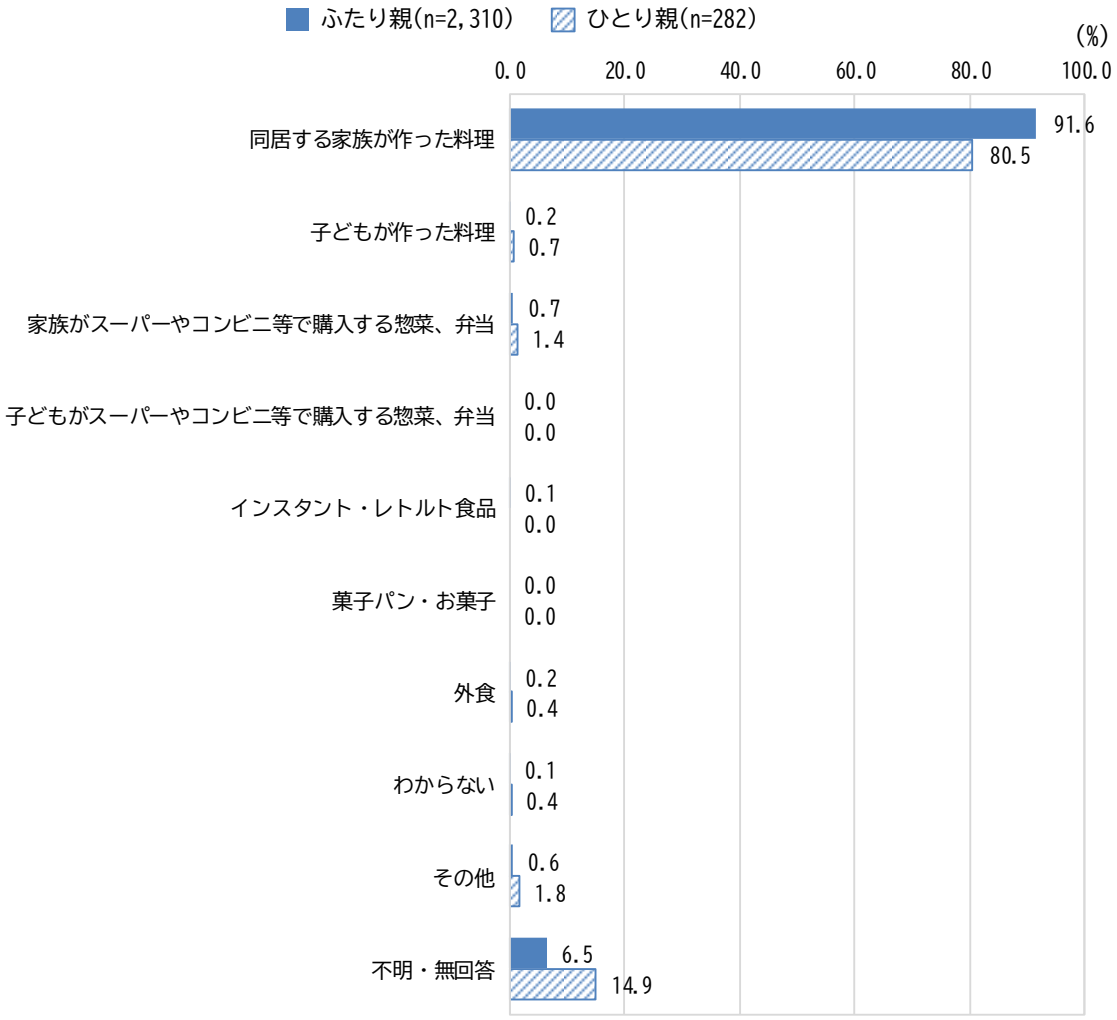
【子どもの食事の内容（夕食）：収入の水準別】



世帯の状況別にみると、いずれの世帯でも「同居する家族が作った料理」が最も高くなっており、「ふたり親」の世帯では９割程度、「ひとり親」の世帯では８割程度となっています。

なお、「その他」には、「別居している祖母が作った料理」等がありました。

【子どもの食事の内容（夕食）：世帯の状況別】



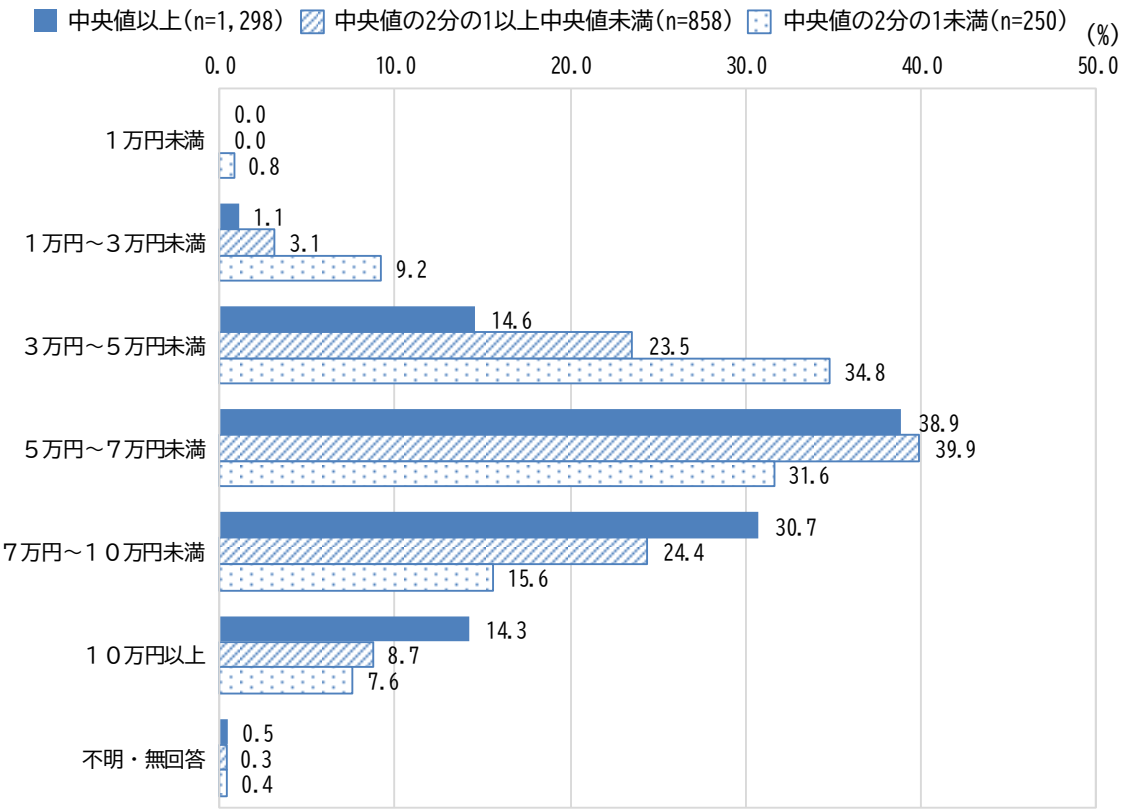
⑷　１か月の食費

問 23　あなたの世帯の、１か月のおおよその食費はいくらですか。ここ半年程度の平均的な額をお答えください。（１つに○）

収入の水準別にみると、「中央値以上」の世帯及び「中央値の２分の１以上中央値未満」の世帯では「５万円～７万円未満」、「中央値の２分の１未満」の世帯では「３万円～５万円未満」が最も高くなっています。

また、「中央値の２分の１未満」の世帯では他の世帯に比べて５万円未満の項目の割合が高くなっており、５万円以上の項目の割合が低くなっています。

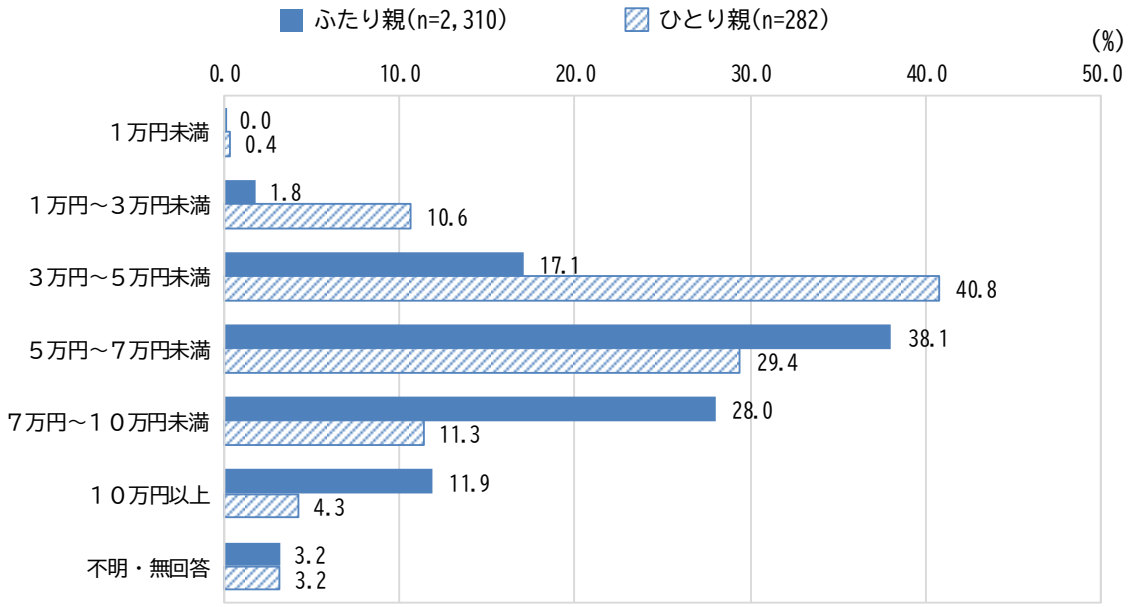
【世帯の１か月の食費：収入の水準別】



世帯の状況別にみると、「ふたり親」の世帯では「５万円～７万円未満」、「ひとり親」の世帯では「３万円～５万円未満」が最も高くなっています。

「ひとり親」の世帯では「ふたり親」の世帯に比べて５万円未満の項目の割合が高くなっており、５万円以上の項目の割合が低くなっています。

【世帯の１か月の食費：世帯の状況別】

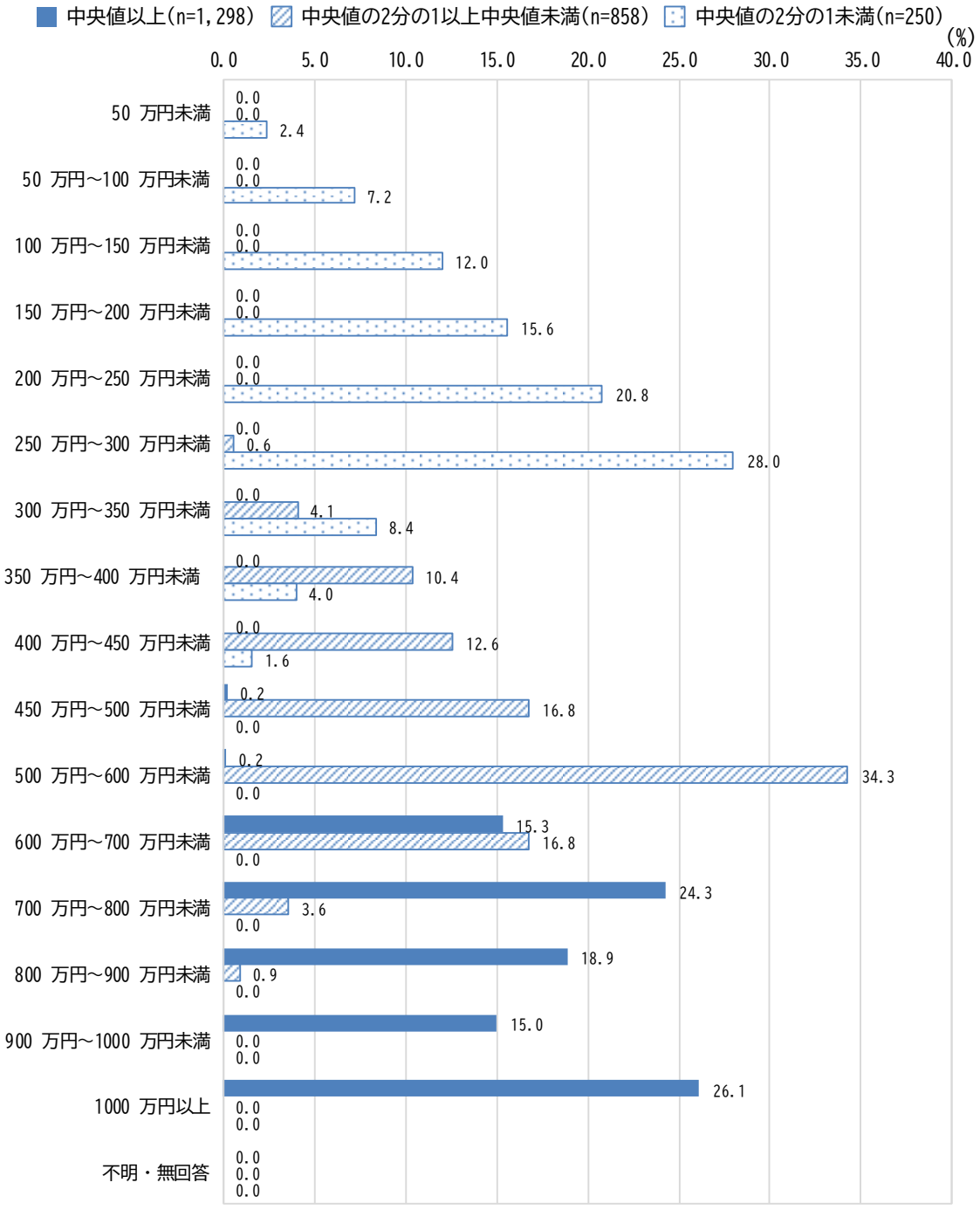


⑸　世帯の収入

問 24　世帯全体のおおよその年間収入（税込み）はいくらですか。（１つに○）

収入の水準別にみると、「中央値以上」の世帯では「1000 万円以上」、「中央値の２分の１以上中央値未満」の世帯では「500 万円～600 万円」、「中央値の２分の１未満」の世帯では「250 万円～300 万円未満」が最も高くなっています。

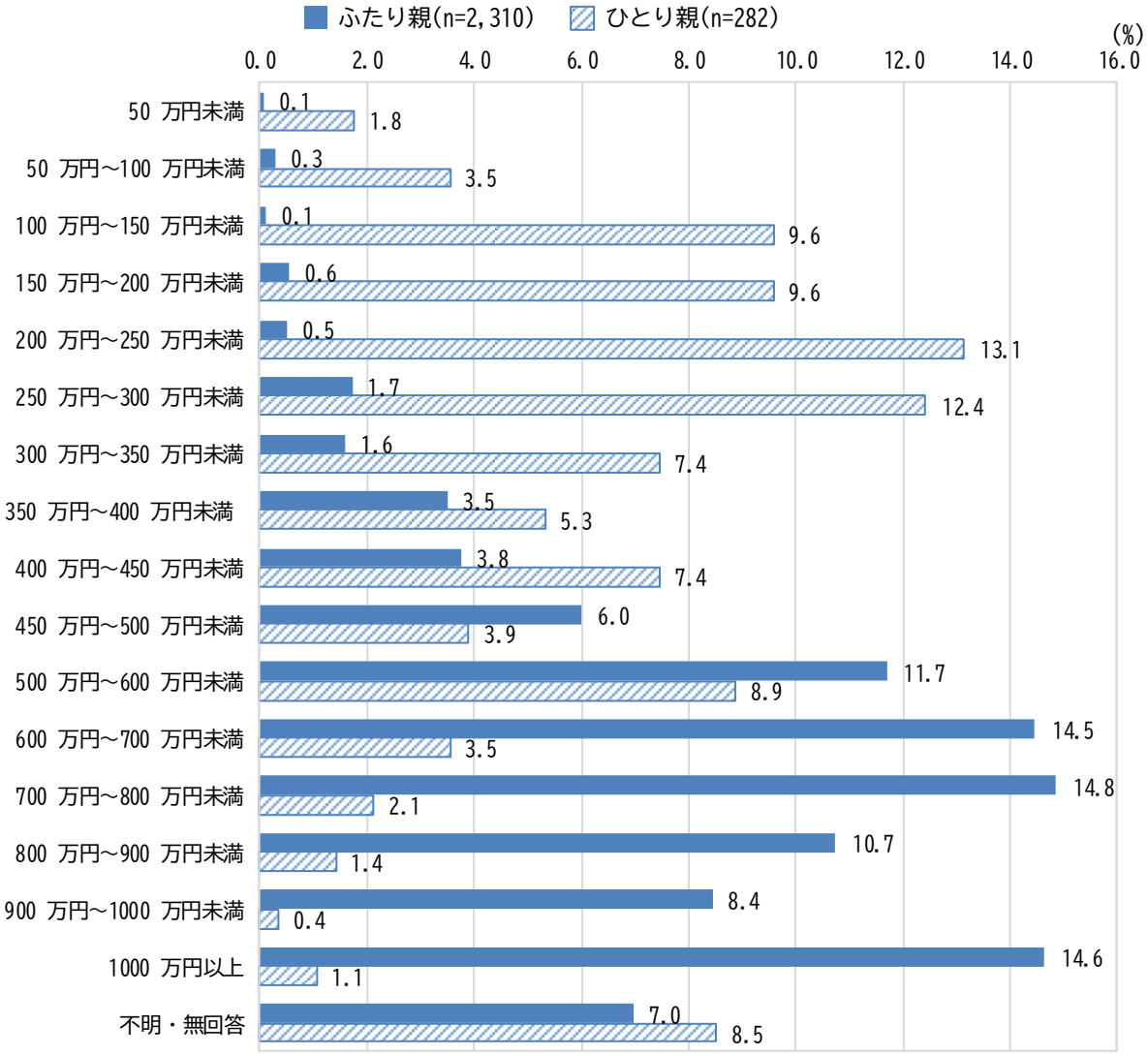
【世帯全体の年間収入：世帯の水準別】



世帯の状況別にみると、「ふたり親」の世帯では「700 万円～800 万円未満」、「ひとり親」の世帯では「200 万円～250 万円未満」が、最も高くなっています。

また、「ひとり親」の世帯では「ふたり親」の世帯に比べて、450 万円未満の全ての項目で割合が高く、450 万円以上の全ての項目で割合が低くなっています。

【世帯全体の年間収入：世帯の状況別】



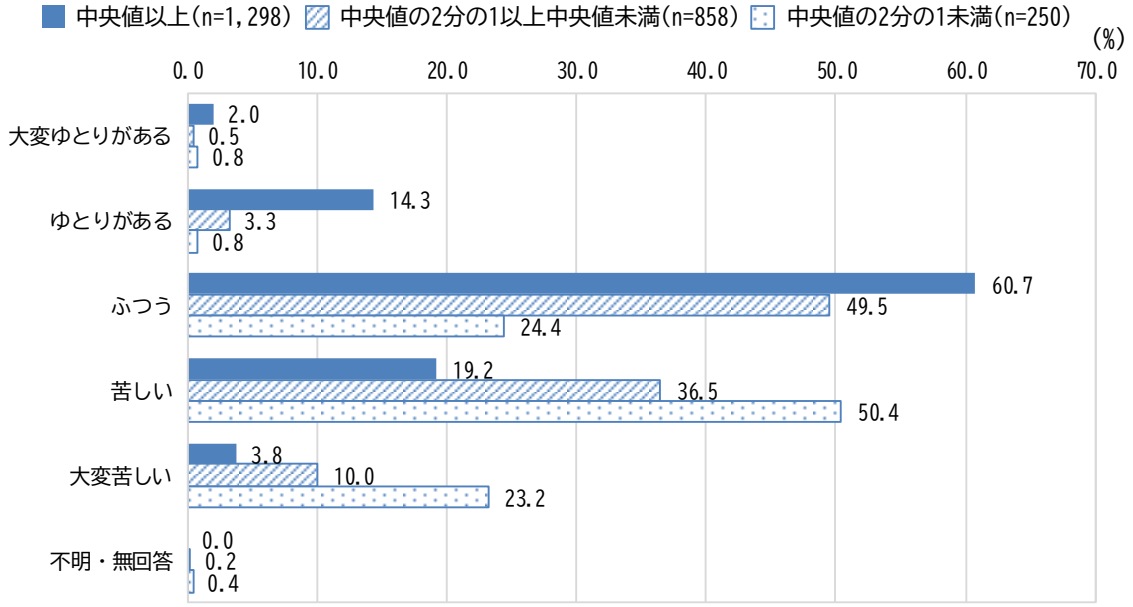
⑹　暮らしの状況についての認識

問 25　あなたは、現在の暮らしの状況をどのように感じていますか。（１つに○）

収入の水準別にみると、「中央値以上」の世帯及び「中央値の２分の１以上中央値未満」の世帯では「ふつう」、「中央値の２分の１未満」の世帯では「苦しい」が、最も高くなっています。

「苦しい」と「大変苦しい」を合わせた割合は、「中央値以上」の世帯では 23.0%、「中央値の２分の１以上中央値未満」の世帯では 46.5%、「中央値の２分の１未満」の世帯では 73.6%となっています。

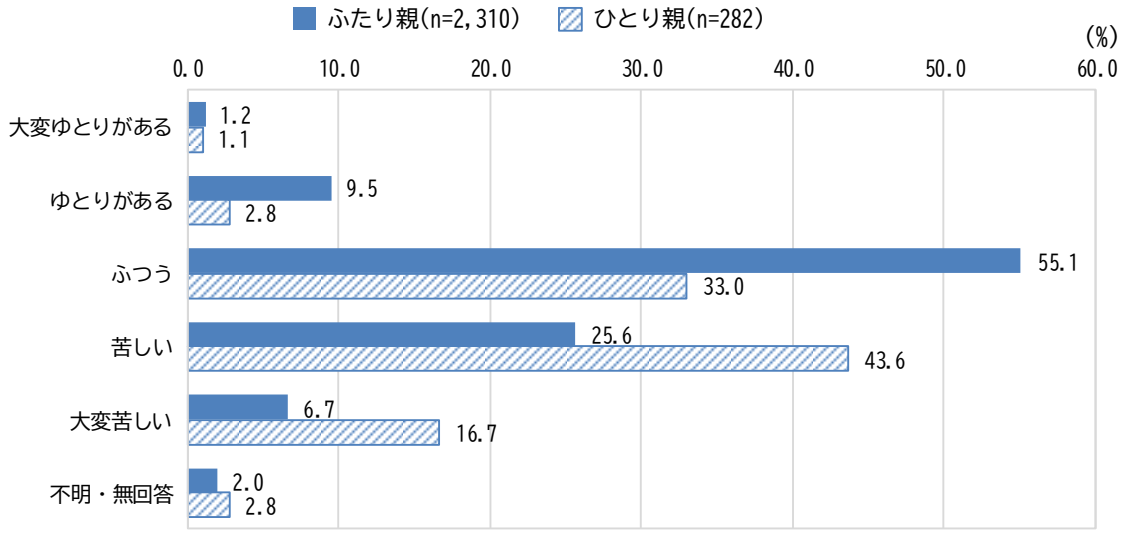
【現在の暮らしの状況：収入の水準別】



世帯の状況別にみると、「ふたり親」の世帯では「ふつう」、「ひとり親」の世帯では「苦しい」が、最も高くなっています。

「苦しい」と「大変苦しい」を合わせた割合は、「ふたり親」の世帯では 32.3%、「ひとり親」の世帯では 60.3%となっています。

【現在の暮らしの状況：世帯の状況別】



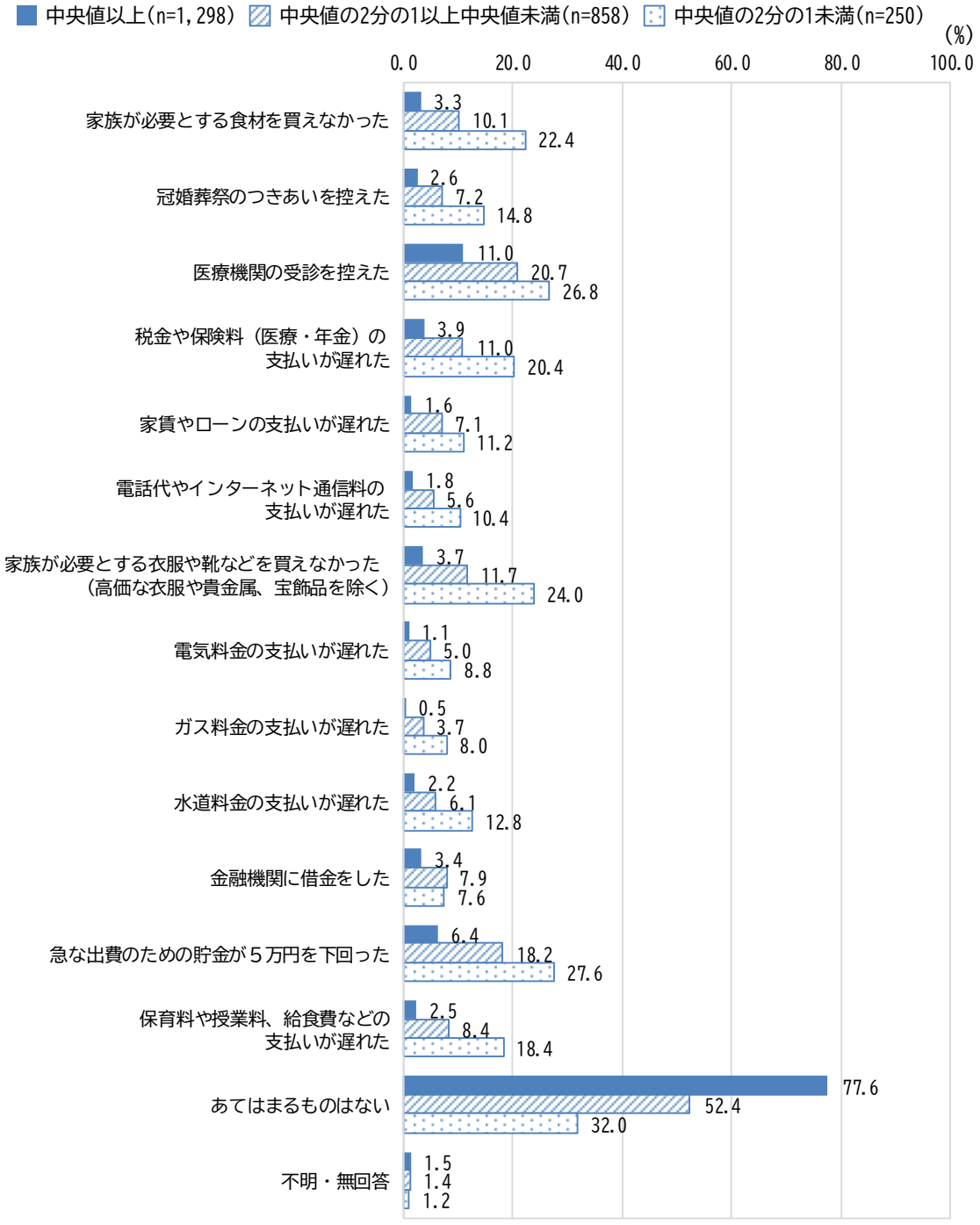
⑺　経済的な理由による困難な経験

問 26　あなたの世帯では、経済的な理由で、次のような経験をされたことがありますか。
おおむね直近１年の間でお答えください。（すべてに○）

収入の水準別にみると、いずれの世帯でも「あてはまるものはない」が最も高くなっています。

「中央値の２分の１未満」の世帯では、他の世帯に比べて「あてはまるものはない」が低くなっている一方で、「家族が必要とする食材を買えなかった」、「家族が必要とする衣服や靴などを買えなかった」、「保育料や授業料、給食費などの支払いが遅れた」等ほとんどの項目の割合が高くなっています。

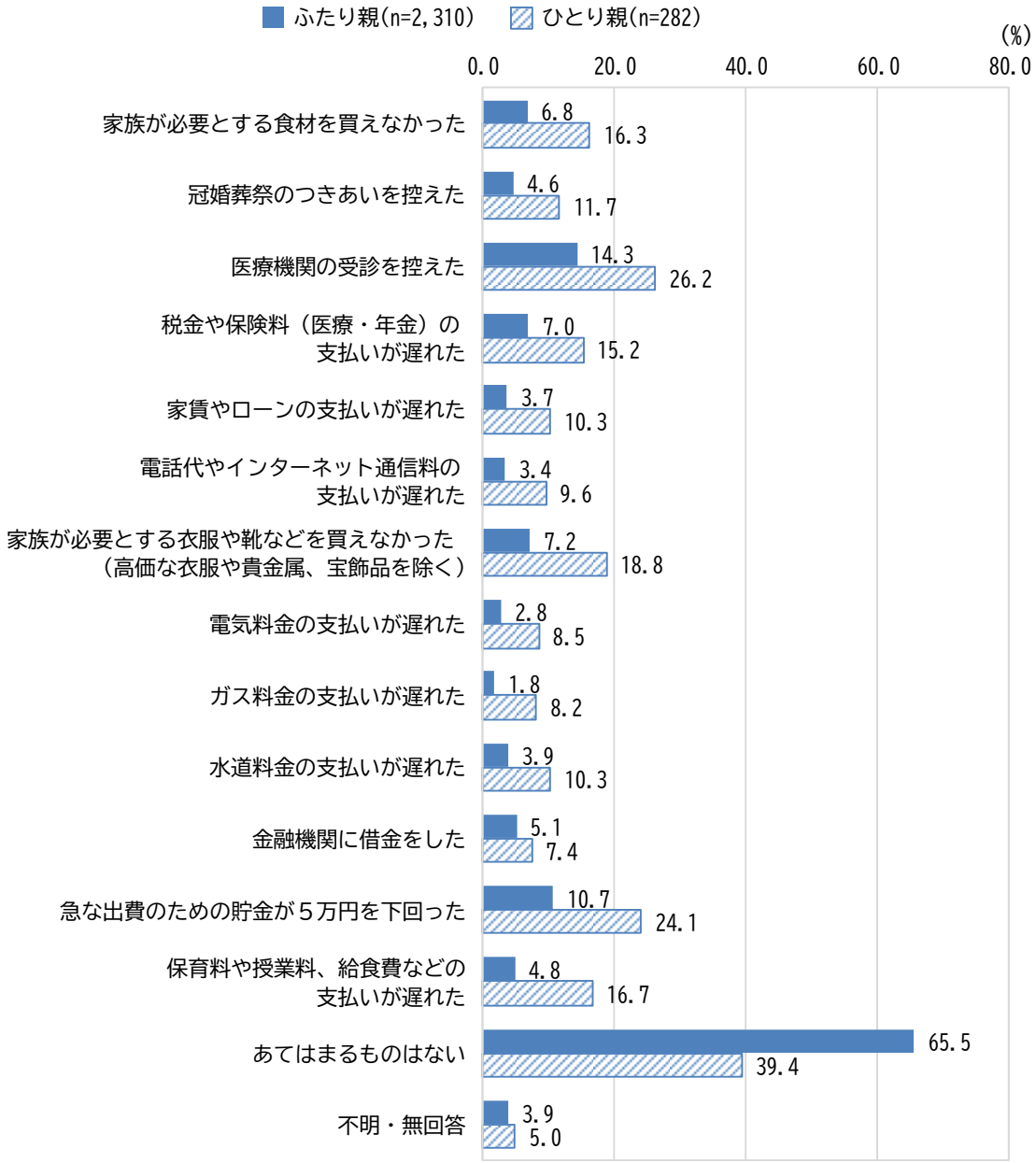
【経済的な理由による困難な経験：収入の水準別】



世帯の状況別にみると、いずれの世帯でも「あてはまるものはない」が最も高くなっています。

「ひとり親」の世帯では、「ふたり親」の世帯に比べて「あてはまるものはない」が低くなっている一方で、その他全ての項目の割合が高くなっています。

【経済的な理由による困難な経験：世帯の状況別】



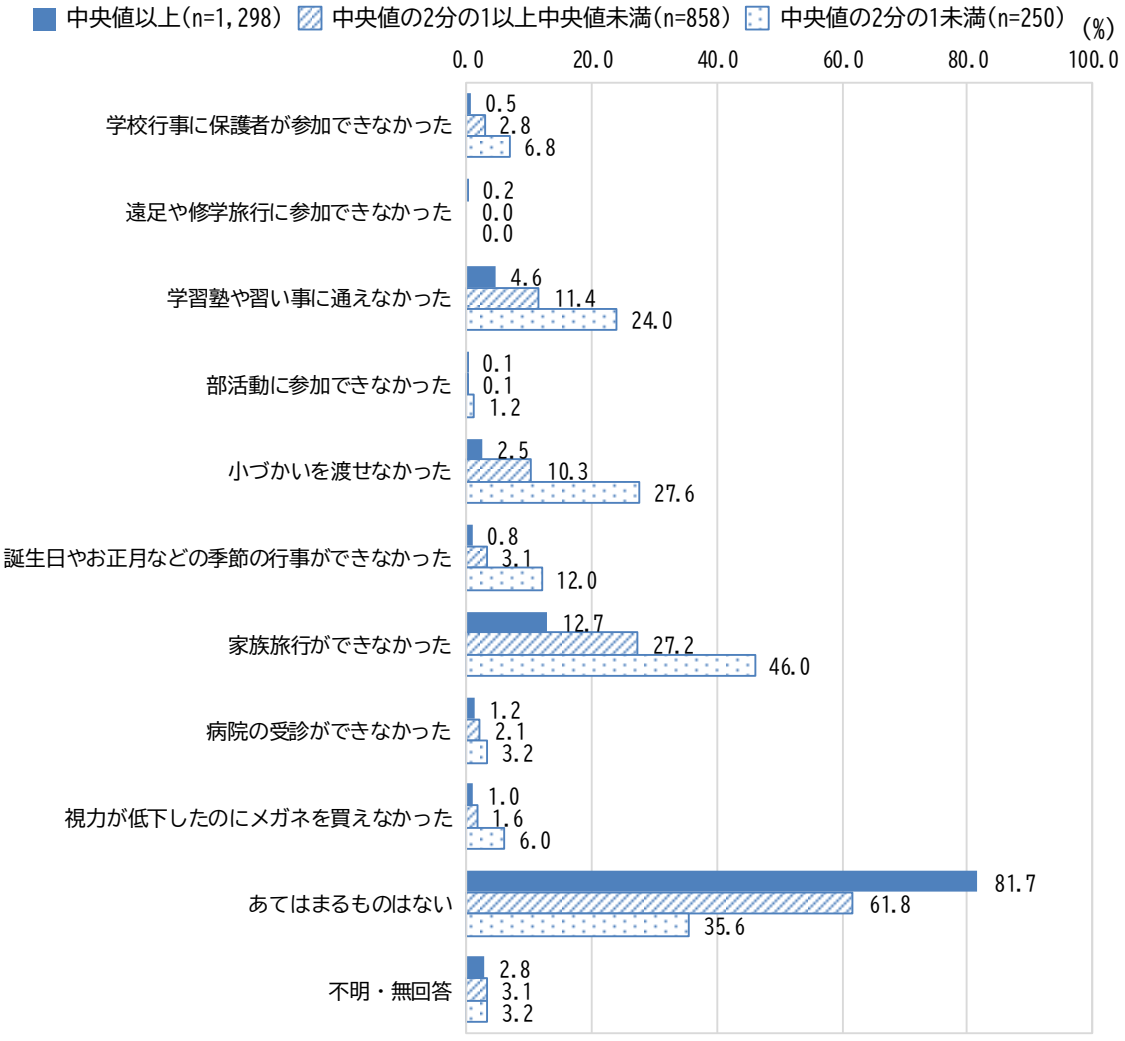
⑻　経済的な理由で子どもの希望どおりにできなかった経験

問 27　あなたの世帯では、お子さんが希望したにもかかわらず、経済的な理由で次のような経験をされたことがありますか。おおむね直近１年の間でお答えください。（すべてに○）

収入の水準別にみると、「中央値以上」の世帯及び「中央値の２分の１以上中央値未満」の世帯では「あてはまるものはない」、「中央値の２分の１未満」の世帯では「家族旅行ができなかった」が、最も多くなっています。

「中央値の２分の１未満」の世帯では、他の世帯に比べて、「あてはまるものはない」が低くなっている一方で、その他ほとんどの項目の割合は高くなっています。

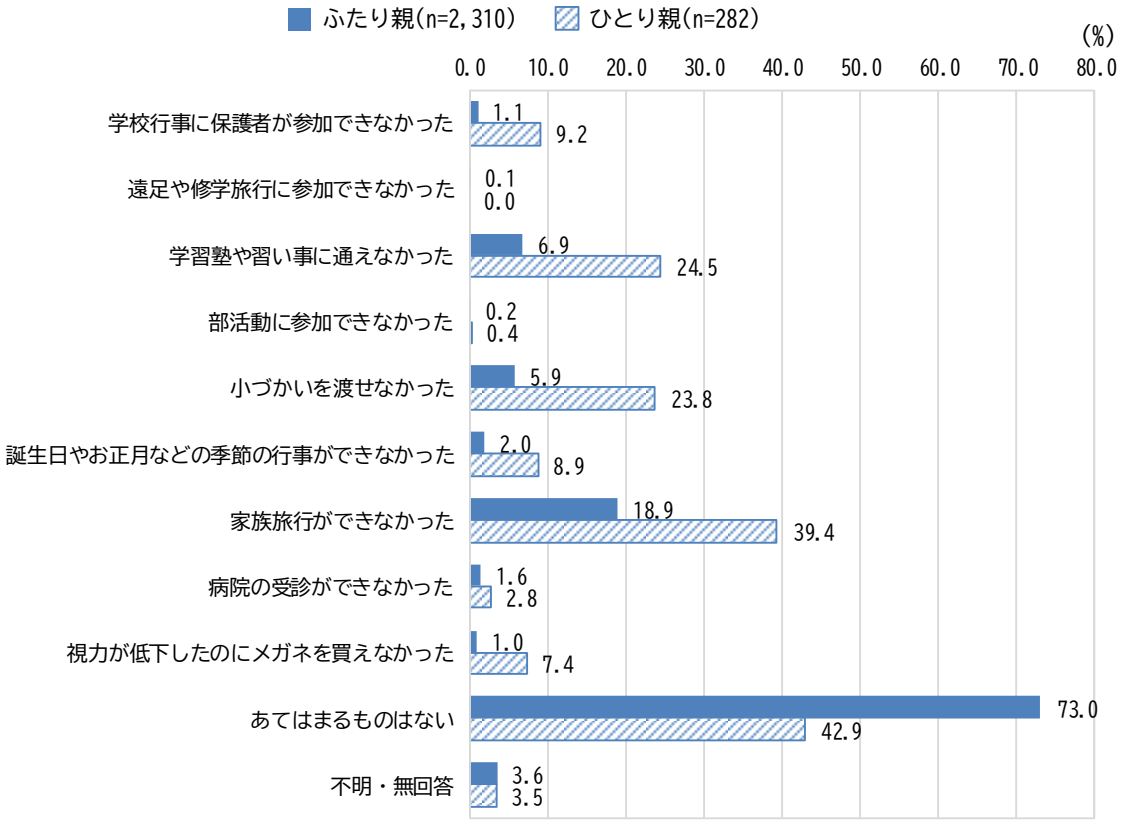
【経済的な理由で子どもの希望どおりにできなかった経験：収入の水準別】



世帯の状況別にみると、いずれの世帯でも「あてはまるものはない」が最も多くなっています。

「ひとり親」の世帯では、「ふたり親」の世帯に比べて「あてはまるものはない」が低くなっている一方で、その他ほとんどの項目の割合は高くなっています。

【経済的な理由で子どもの希望どおりにできなかった経験：世帯の状況別】

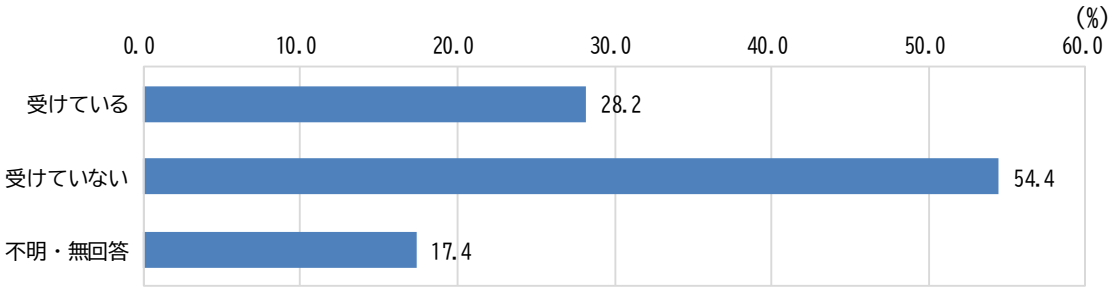


⑼　養育費の受給状況

問 28　あなたは、お子さんの養育費をお子さんの父（または母）から受けていますか。
（１つに○）
【問２で「結婚していない（離婚、または離婚に近い状態の別居）」「結婚していない（結婚したことがない）」と回答した方への設問】

「受けていない」が 54.4%と、「受けている」の 28.2%に比べて高くなっています。

【養育費の受給状況(n=259)】

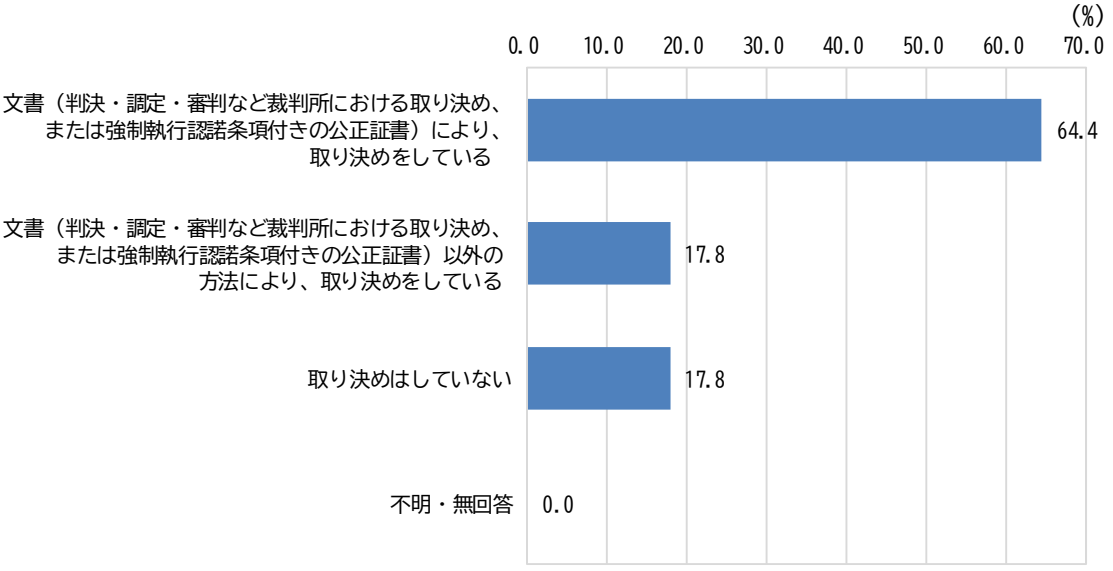


⑽　養育費の取り決め状況

問 29　お子さんの養育費の取り決め状況をお答えください。（１つに○）
【問 28 で「受けている」と回答した方への設問】

「文書（判決・調定・審判など裁判所における取り決め、または強制執行認諾条項付きの公正証書）により、取り決めをしている」が最も高く、「文書以外の方法により、取り決めをしている」と合わせると 82.2%となっています。

【養育費の取り決め状況(n=73)】



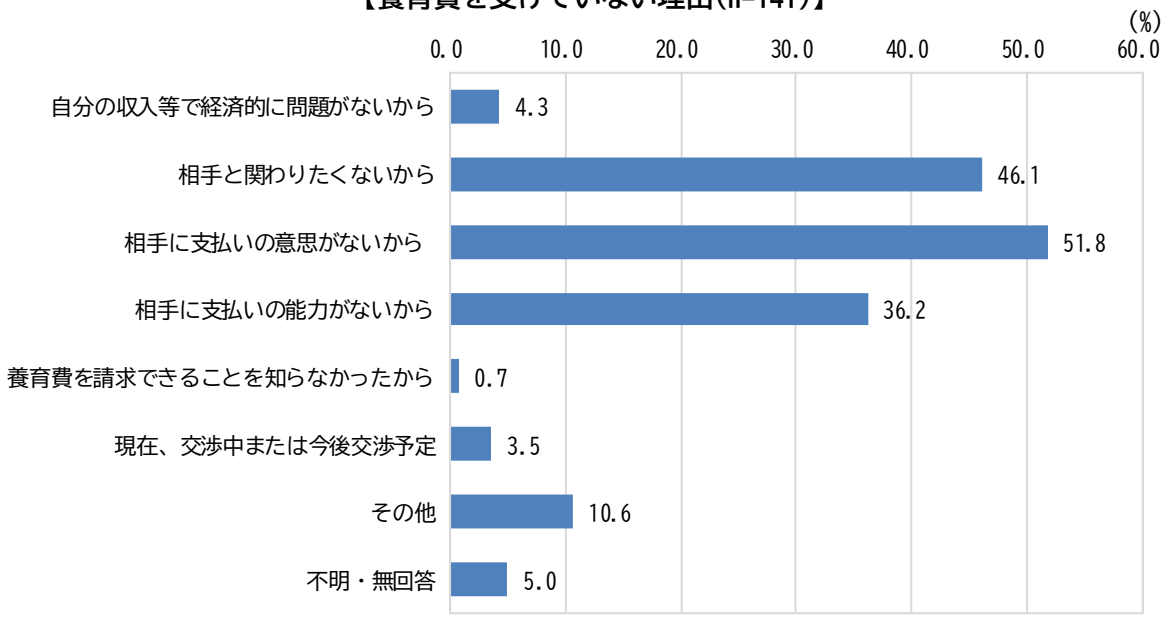
⑾　養育費を受けていない理由

問 30　あなたがお子さんの養育費を受けていない理由をお答えください。（すべてに○）
【問 28 で「受けていない」と回答した方への設問】

「相手に支払いの意思がないから」が最も高く、次いで「相手と関わりたくないから」、「相手に支払いの能力がないから」となっています。

なお、「その他」には、「相手が怖くて言えなかった」、「連絡先を知らない・連絡がつかない・相手が失踪した」、「相手が亡くなった」等がありました。

【養育費を受けていない理由(n=141)】



4　あなたやご家族の健康、あなたの気持ちについて

⑴　生活満足度

問 31　あなたは、全体として、最近の生活にどのくらい満足していますか。（１つに○）

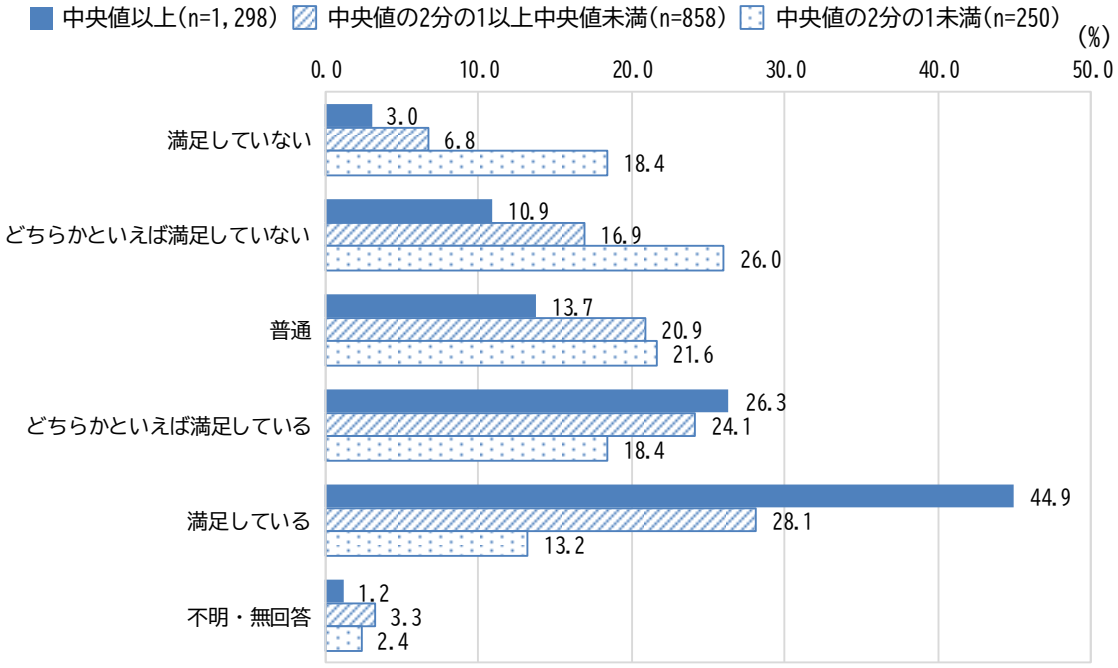
生活満足度について、「０」（まったく満足していない）から「10」（十分に満足している）の数字のうち１つを選択する方法で聞いた結果を、０～２：「満足していない」、３～４：「どちらかといえば満足していない」、５：「普通」、６～７：「どちらかといえば満足している」、８～10：「満足している」として整理しました。

結果について収入の水準別にみると、「中央値以上」の世帯及び「中央値の２分の１以上中央値未満」の世帯では「満足している」が最も高く、次いで「どちらかといえば満足している」となっているのに対して、「中央値の２分の１未満」の世帯では「どちらかといえば満足していない」が最も高く、次いで「普通」となっています。

「満足している」と「どちらかといえば満足している」と合わせた割合は、「中央値以上」の世帯では 71.2%、「中央値の２分の１以上中央値未満」の世帯では 52.2%、「中央値の２分の１未満」の世帯では 31.6%となっています。

「満足していない」と「どちらかといえば満足していない」を合わせた割合は、「中央値以上」の世帯では 13.9%、「中央値の２分の１以上中央値未満」の世帯では 23.7%、「中央値の２分の１未満」の世帯では 44.4%となっており、「中央値の２分の１未満」の世帯では「満足している」と「どちらかといえば満足している」を合わせた割合より高くなっています。

【生活満足度：収入の水準別】

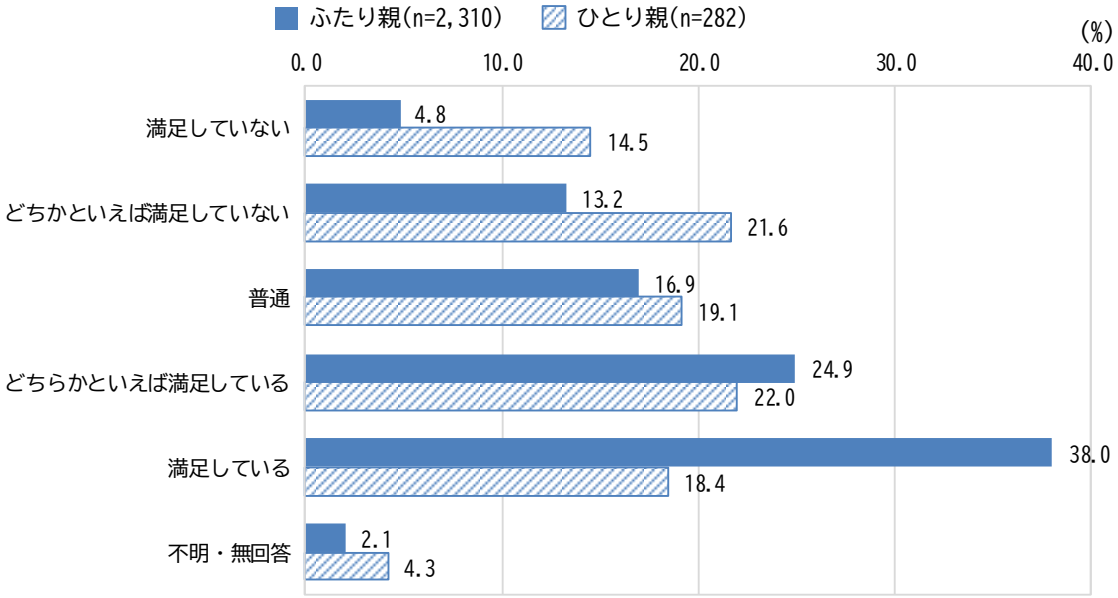


世帯の状況別にみると、「ふたり親」の世帯では「満足している」が最も高く、次いで「どちらかといえば満足している」となっているのに対して、「ひとり親」の世帯では「どちらかといえば満足している」が最も高く、次いで「どちらかといえば満足していない」となっています。

「満足している」と「どちらかといえば満足している」と合わせた割合は、「ふたり親」の世帯では62.9%、「ひとり親」の世帯では40.4%となっています。

「満足していない」と「どちらかといえば満足していない」を合わせた割合は、「ふたり親」の世帯では18.0%、「ひとり親」の世帯では36.1%となっています。

【生活満足度：世帯の状況別】



⑵　健康状態

問 32　あなた、あなたの配偶者（パートナー）、あなたのお子さんの健康状態についてお答えください。（１つに○）

回答者、配偶者（パートナー）及び子どもの健康状態を聞いた結果について、回答者の続柄により「父」、「母」、「子ども」の状況に整理しました。

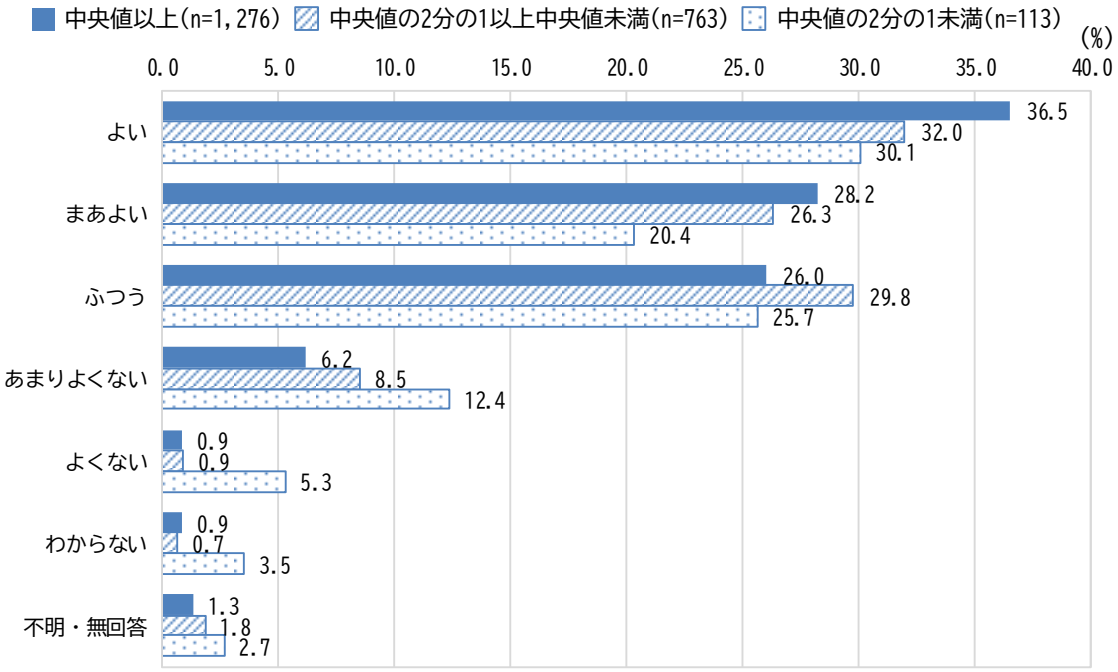
①　父

収入の水準別にみると、いずれの世帯でも「よい」が最も高くなっています。

「よい」と「まあよい」を合わせた割合は、「中央値以上」の世帯では 64.7%、「中央値の２分の１以上中央値未満」の世帯では 58.3%、「中央値の２分の１未満」の世帯では 50.5%となっています。

「よくない」と「あまりよくない」を合わせた割合は、「中央値以上」の世帯では 7.1%、「中央値の２分の１以上中央値未満」の世帯では 9.4%、「中央値の２分の１未満」の世帯では 17.7%となっています。

【健康状態（父）：収入の水準別】

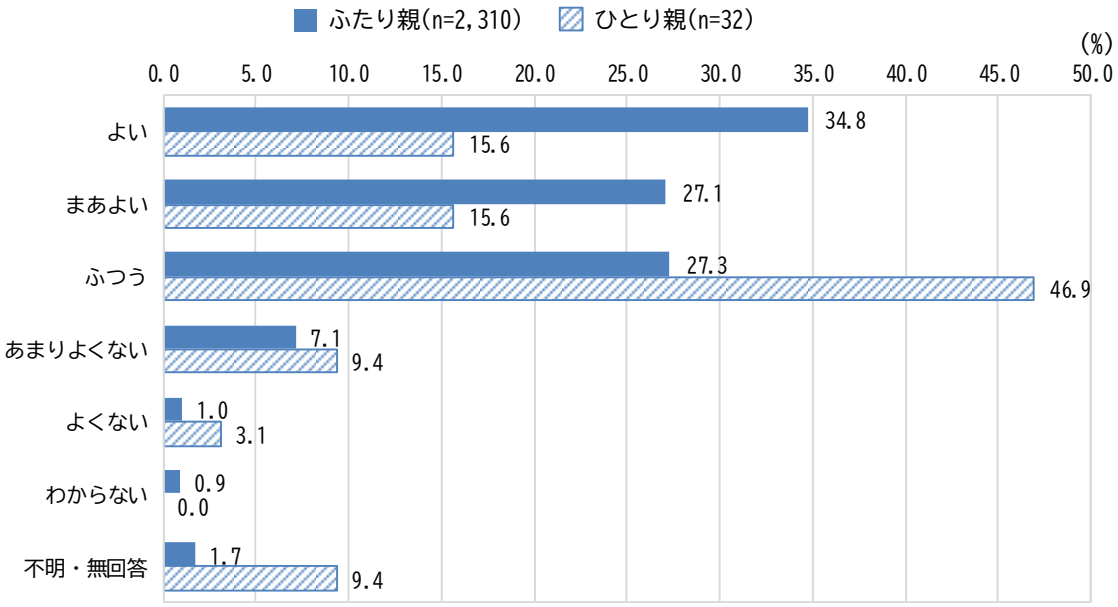


世帯の状況別にみると、「ふたり親」の世帯では「よい」、「ひとり親」の世帯では「ふつう」が最も高くなっています。

「よい」と「まあよい」を合わせた割合は、「ふたり親」の世帯では 61.9%、「ひとり親」の世帯では 31.2%となっています。

「よくない」と「あまりよくない」を合わせた割合は、「ふたり親」の世帯では 8.1%、「ひとり親」の世帯では 12.5%となっています。

【健康状態（父）：世帯の状況別】



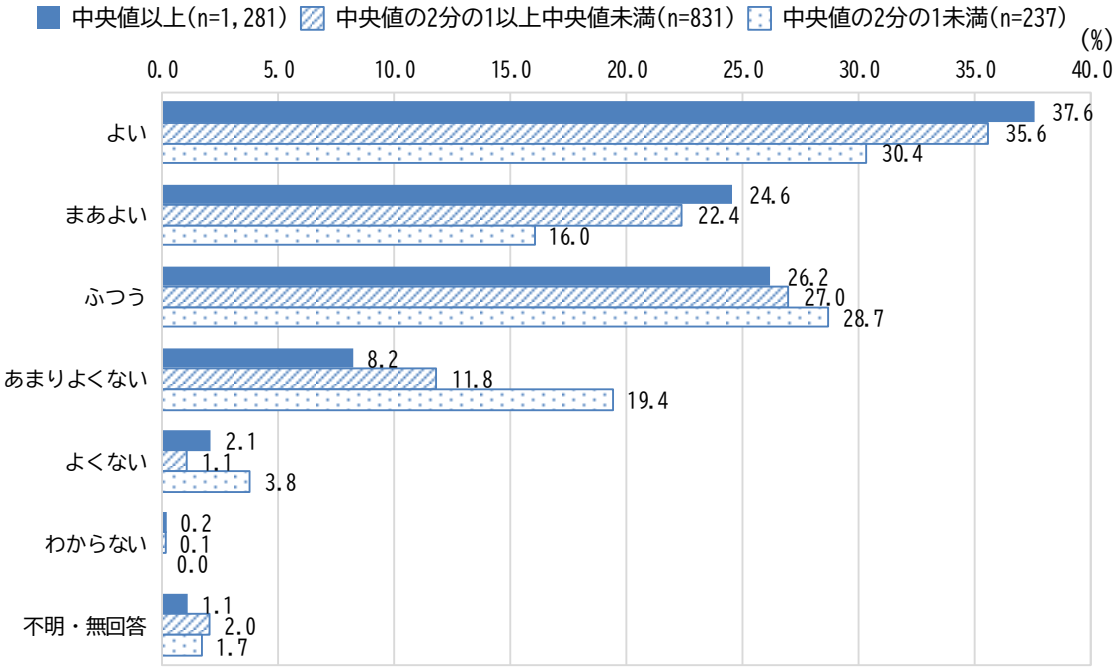
② 母

収入の水準別にみると、いずれの世帯でも「よい」が最も高くなっています。

「よい」と「まあよい」を合わせた割合は、「中央値以上」の世帯では 62.2%、「中央値の２分の１以上中央値未満」の世帯では 58.0%、「中央値の２分の１未満」の世帯では 46.4%となっています。

「よくない」と「あまりよくない」を合わせた割合は、「中央値以上」の世帯では 10.3%、「中央値の２分の１以上中央値未満」の世帯では 12.9%、「中央値の２分の１未満」の世帯では 23.2%となっています。

【健康状態（母）：収入の水準別】

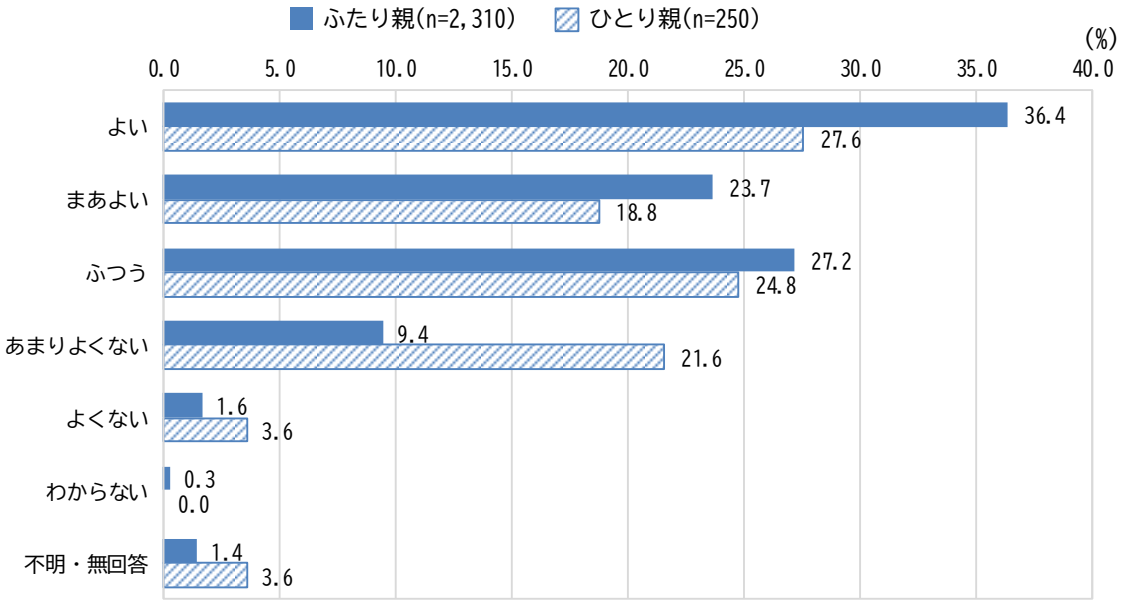


世帯の状況別にみると、いずれの世帯でも「よい」が最も高くなっています。

「よい」と「まあよい」を合わせた割合は、「ふたり親」の世帯では 60.1%、「ひとり親」の世帯では 46.4%となっています。

「よくない」と「あまりよくない」を合わせた割合は、「ふたり親」の世帯では 11.0%、「ひとり親」の世帯では 25.2%となっています。

【健康状態（母）：世帯の状況別】



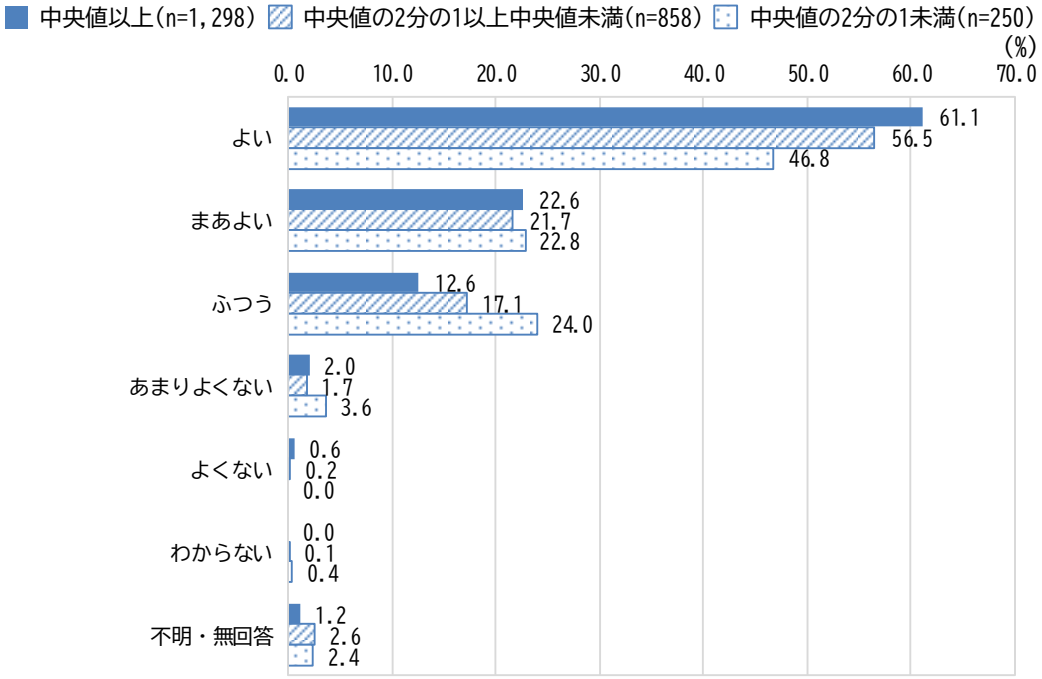
③　子ども

収入の水準別にみると、いずれの世帯でも「よい」が最も高くなっています。

「よい」と「まあよい」を合わせた割合は、「中央値以上」の世帯では 83.7%、「中央値の２分の１以上中央値未満」の世帯では 78.2%、「中央値の２分の１未満」の世帯では 69.6%となっています。

「よくない」と「あまりよくない」を合わせた割合は、「中央値以上」の世帯では 2.6%、「中央値の２分の１以上中央値未満」の世帯では 1.9%、「中央値の２分の１未満」の世帯では 3.6%となっています。

【健康状態（子ども）：収入の水準別】

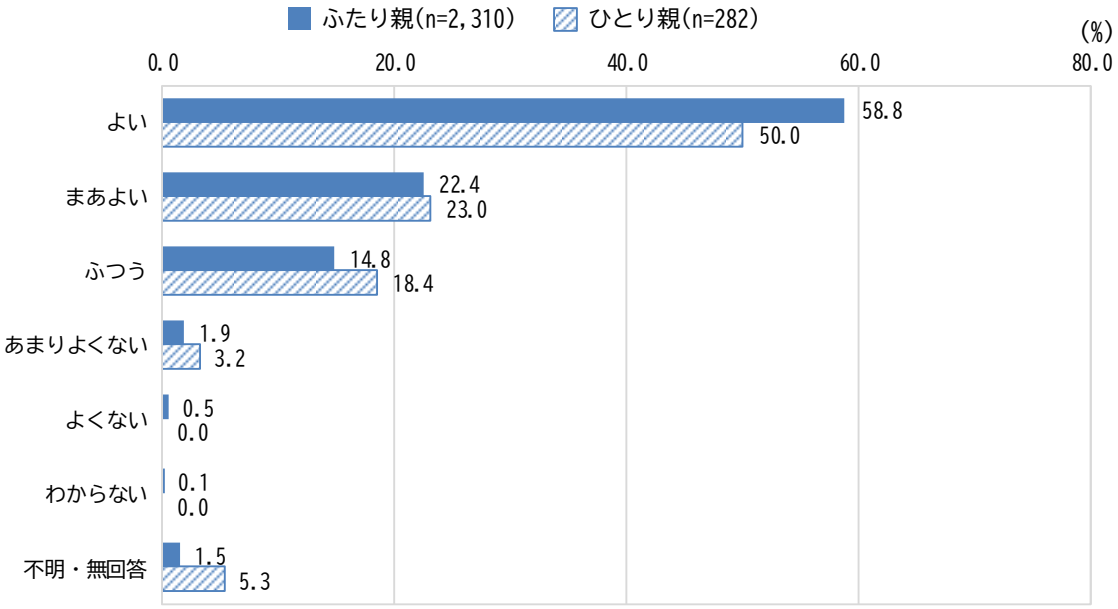


世帯の状況別にみると、いずれの世帯でも「よい」が最も高くなっています。

「よい」と「まあよい」を合わせた割合は、「ふたり親」の世帯では 81.2%、「ひとり親」の世帯では 73.0%となっています。

「よくない」と「あまりよくない」を合わせた割合は、「ふたり親」の世帯では 2.4%、「ひとり親」の世帯では 3.2%となっています。

【健康状態（子ども）：世帯の状況別】

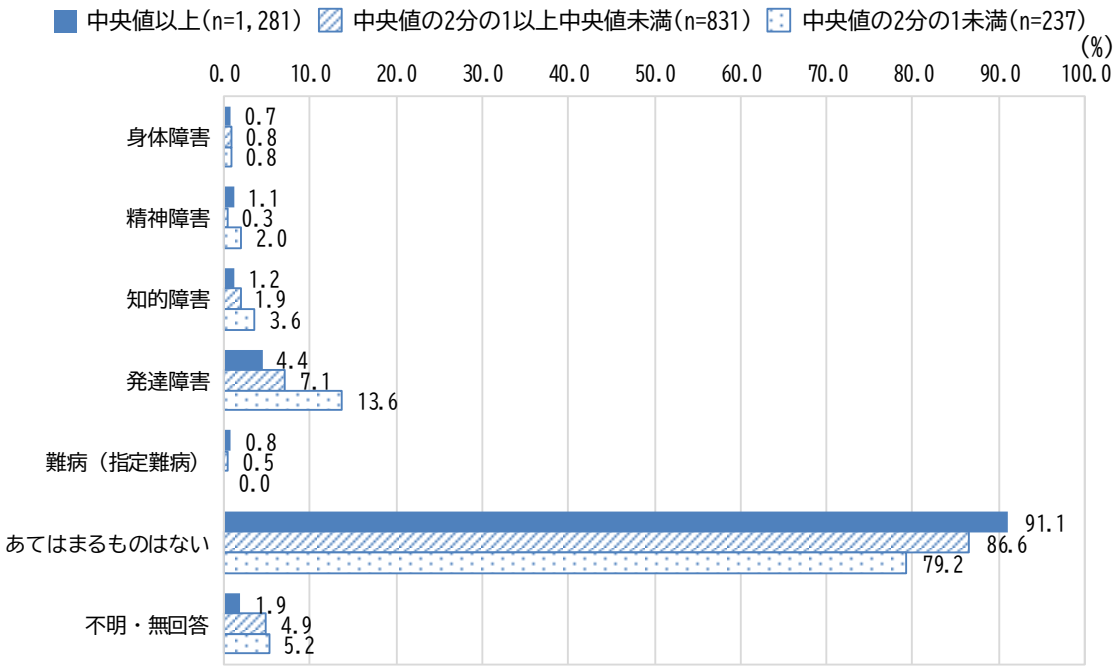


⑶　子どもの病気・障害

問 33　お子さんには、下に挙げている病気や障害がありますか。　※障害者手帳や療育手帳を所持していないが、障害の疑いがあると診断された場合も含みます。（すべてに○）

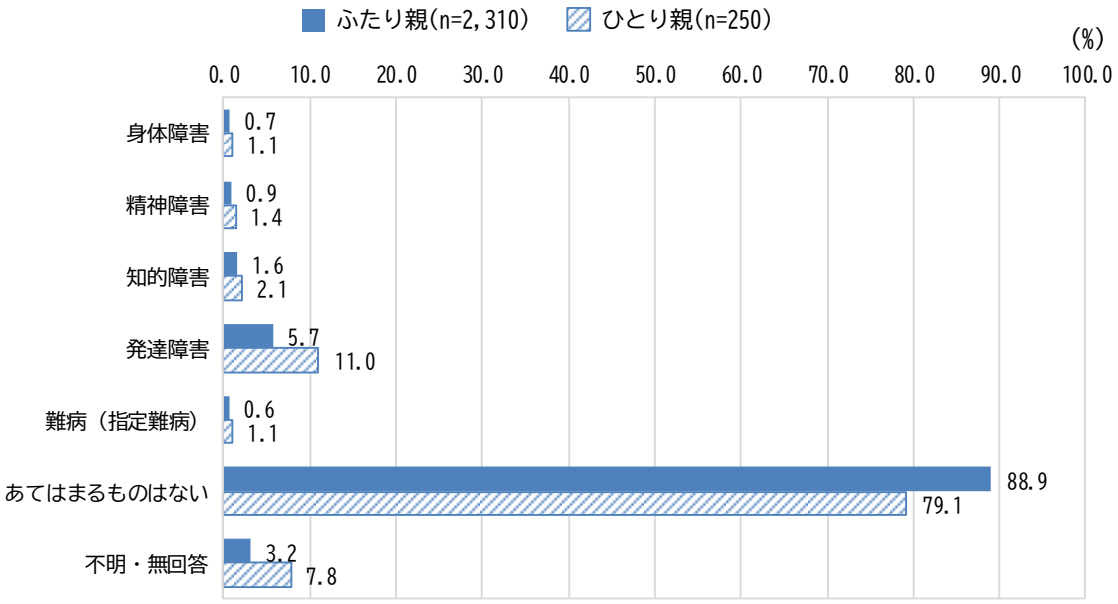
収入の水準別にみると、いずれの世帯でも「あてはまるものはない」が最も高くなっています。

【子どもの病気・障害：収入の水準別】



世帯の状況別にみると、いずれの世帯でも「あてはまるものはない」が最も高くなっています。

【子どもの病気・障害：世帯の状況別】



⑷　心理的な状態

問 34　この１か月間のあなたの気持ちはどのようでしたか。（１つに○）

保護者の心理的な状態に関して、内閣府の「令和３年子供の生活状況調査の分析報告書」にならい、「Ｋ６」と呼ばれる指標を把握するため、以下の６つの質問項目を設定しました。

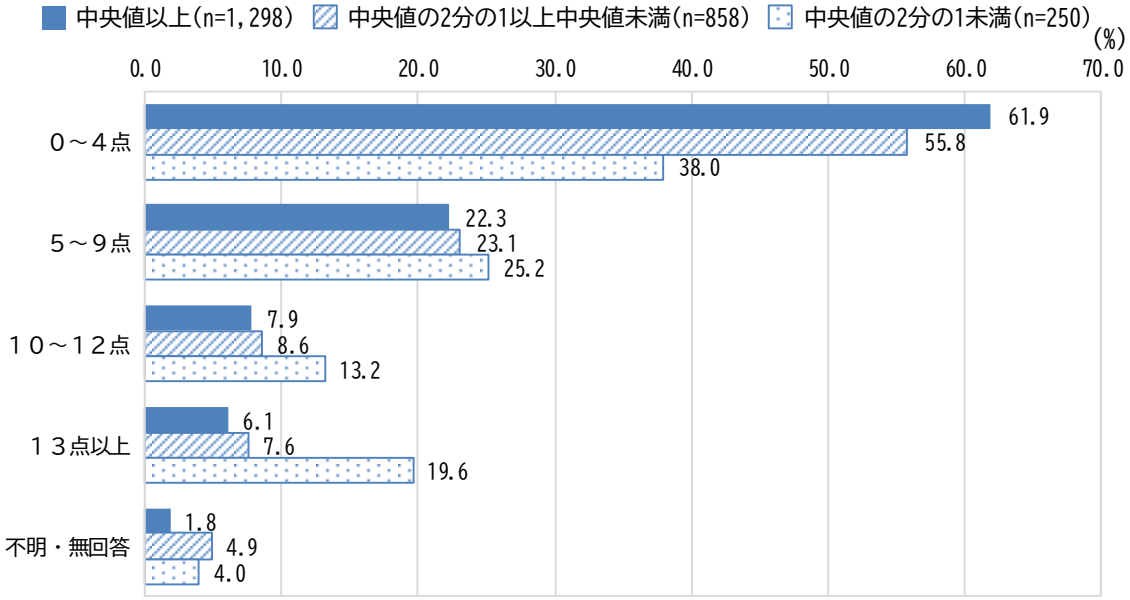
①神経過敏に感じた	②絶望的だと感じた
③そわそわ、落ち着かなく感じた	④気分が沈み込んで、何が起こっても気が晴れないように感じた
⑤何をするのも面倒だと感じた	⑥自分は価値のない人間だと感じた

上記の６つの質問項目の回答について、「いつも」：４点、「たいてい」：３点、「ときどき」：２点、「少しだけ」：１点、「まったくない」：０点として合計し、Ｋ６のスコアを０～24 点で算出しました（スコアが高いほど抑うつ状態が強いことを示しています）。

合計スコアの結果について収入の水準別にみると、いずれの世帯でも「０～４点」が最も高くなっていますが、「中央値の２分の１未満」の世帯では他の世帯に比べて割合が低くなっています。

また、「中央値の２分の１未満」の世帯では、他の世帯に比べて５点以上の割合が高くなっており、「13 点以上」は 19.6%となっています。

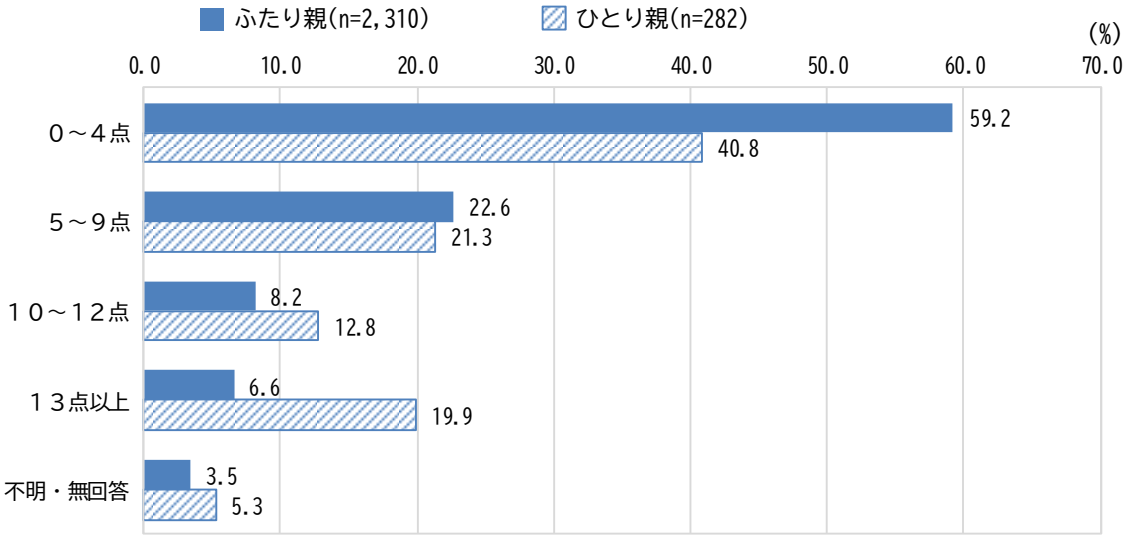
【心理的な状態：収入の水準別】



合計スコアの結果について世帯の状況別にみると、いずれの世帯でも「０～４点」が最も高くなっていますが、「ひとり親」の世帯では「ふたり親」の世帯に比べて割合が低くなっています。

また、「ひとり親」の世帯では、「ふたり親」の世帯に比べて 10 点以上の割合が高くなっており、「13 点以上」は 19.9%となっています。

【心理的な状態：世帯の状況別】



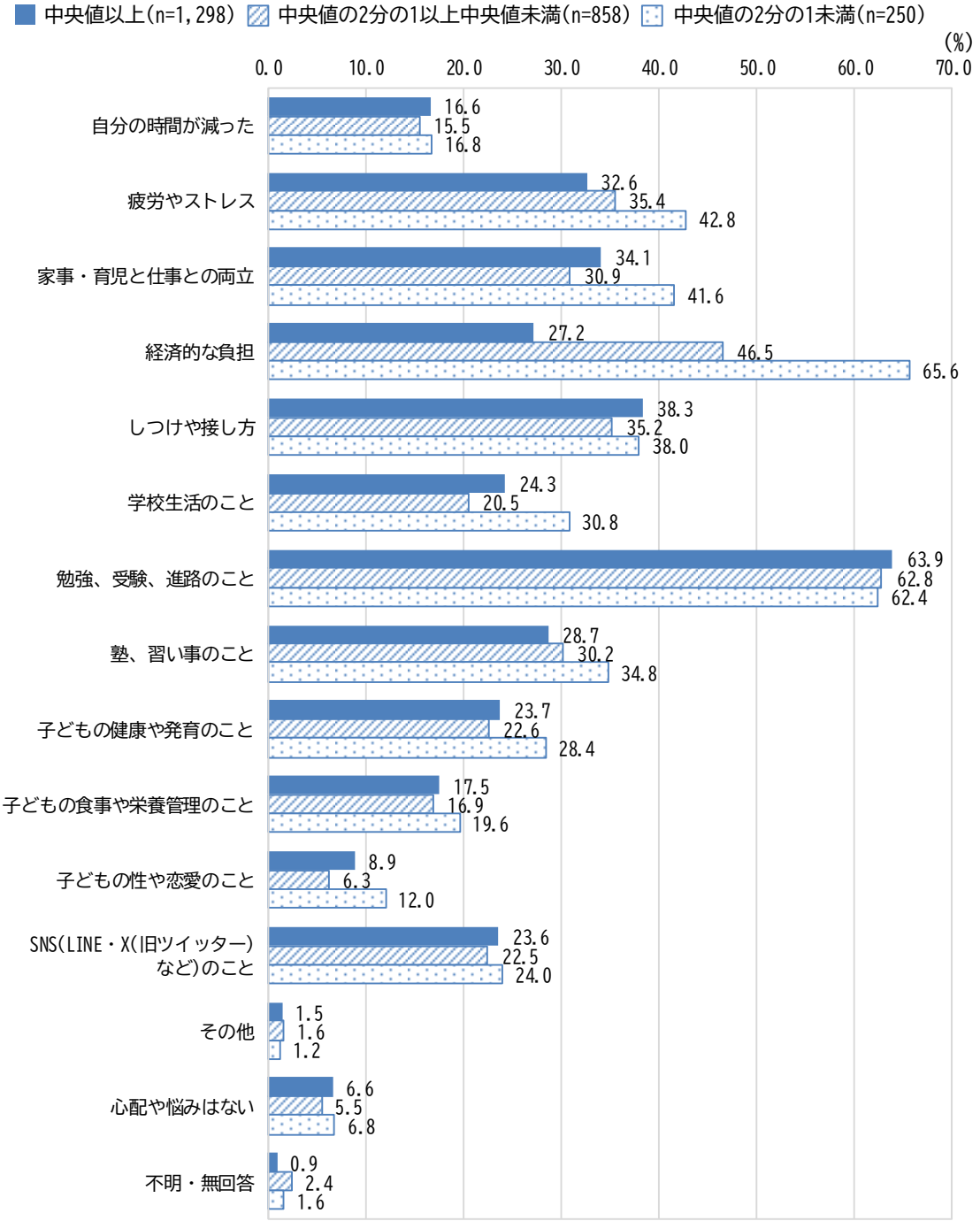
⑸　子育てについての心配や悩み

問 35　あなたには、子育てに関する心配や悩みはありますか。（すべてに○）

収入の水準別にみると、「中央値以上」の世帯及び「中央値の２分の１以上中央値未満」の世帯では「勉強、受験、進路のこと」、「中央値の２分の１未満」の世帯では「経済的な負担」が最も高くなっています。

また、「中央値の２分の１未満」の世帯では、「家事・育児と仕事との両立」、「学校生活のこと」等ほとんどの項目が、他の世帯に比べて高くなっています。

【子育てについての心配や悩み：収入の水準別】

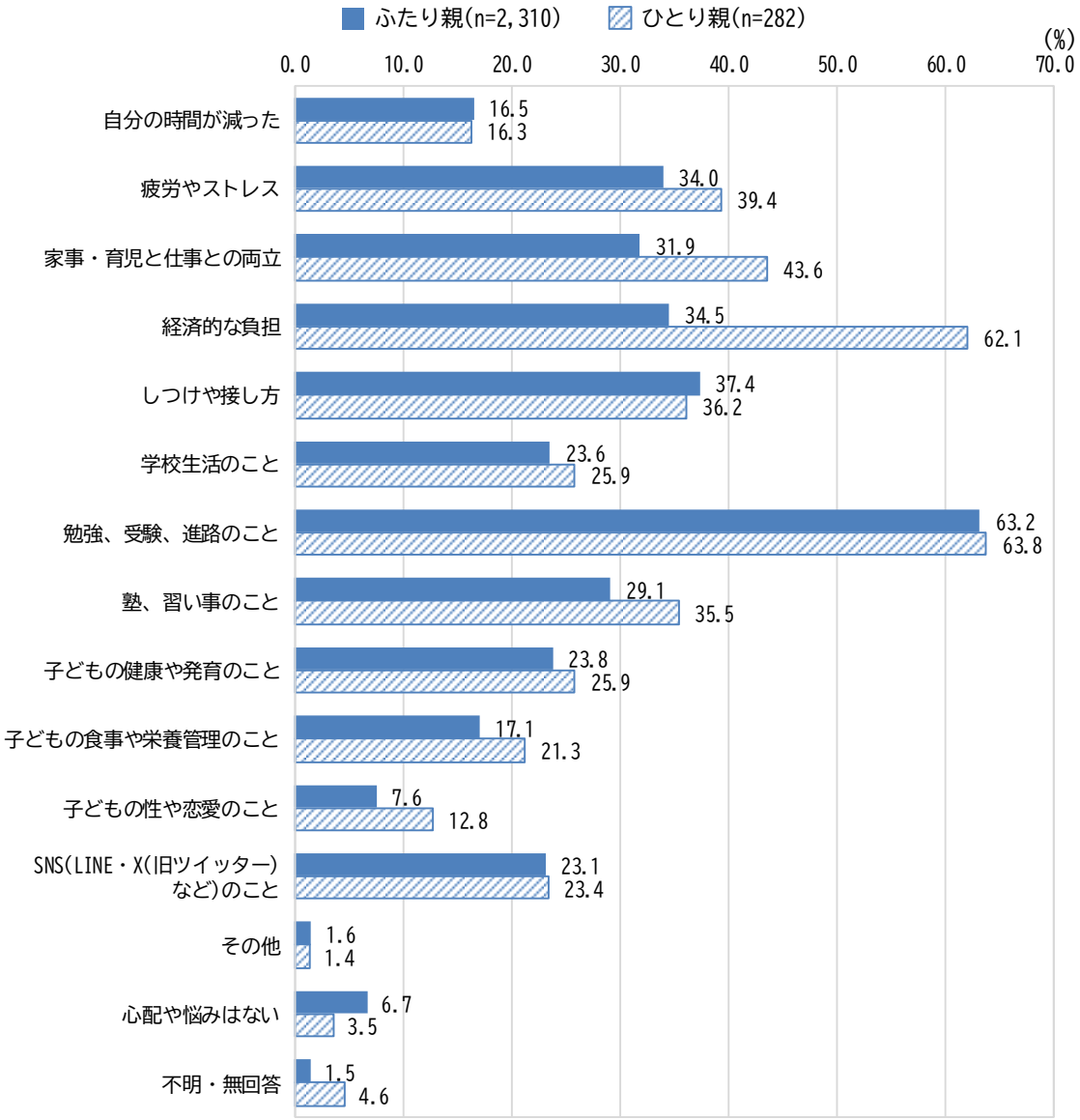


世帯の状況別にみると、いずれの世帯でも「勉強、受験、進路のこと」が最も高くなっています。

また、「ひとり親」の世帯では、「家事・育児と仕事との両立」、「経済的な負担」、「塾・習い事のこと」等多くの項目が、「ふたり親」の世帯に比べて高くなっています。

なお、「その他」には、「ゲームやインターネットの利用時間が長い」、「PTA や子ども会活動の負担」、「配偶者との考え方の違い」等がありました。

【子育てについての心配や悩み：世帯の状況別】



⑹　頼れる人の有無

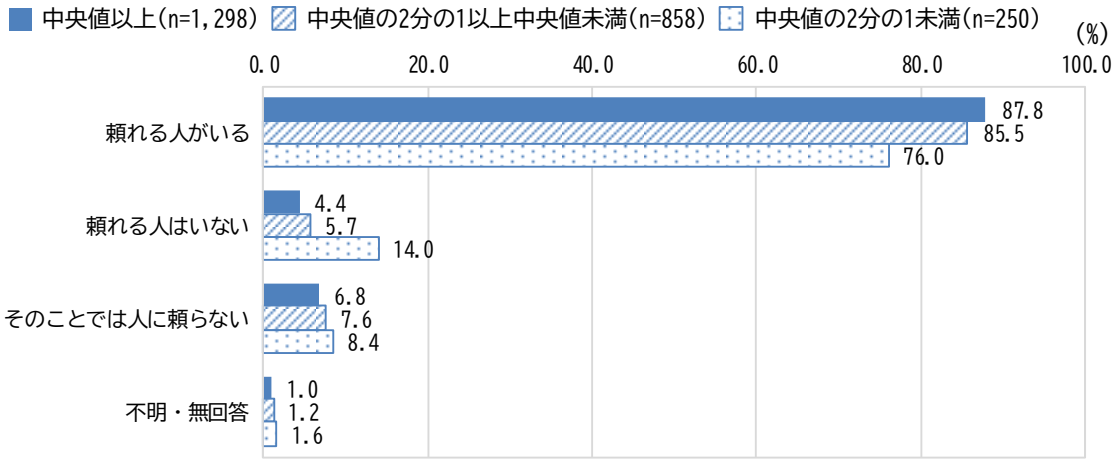
問 36　次の①～③の事柄について、あなたが頼れる人はいますか。（１つに○）

①　子育てに関する相談

収入の水準別にみると、いずれの世帯でも「頼れる人がいる」が最も高くなっています。

「中央値の２分の１未満」の世帯では、他の世帯に比べて「頼れる人がいる」がやや低くなっている一方で、「頼れる人はいない」がやや高くなっています。

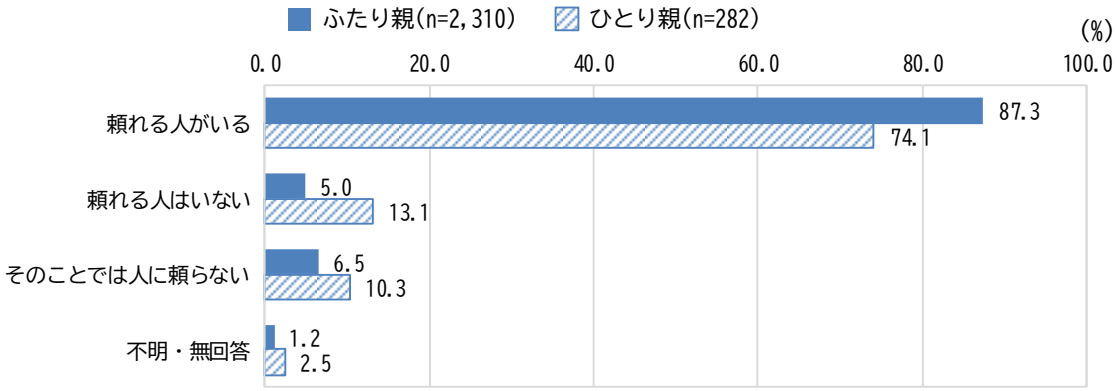
【頼れる人の有無（子育てに関する相談）：収入の水準別】



世帯の状況別にみると、いずれの世帯でも「頼れる人がいる」が最も高くなっています。

「ひとり親」の世帯では、「ふたり親」の世帯に比べて「頼れる人がいる」が低くなっている一方で、「頼れる人はいない」、「そのことでは人に頼らない」がやや高くなっています。

【頼れる人の有無（子育てに関する相談）：世帯の状況別】

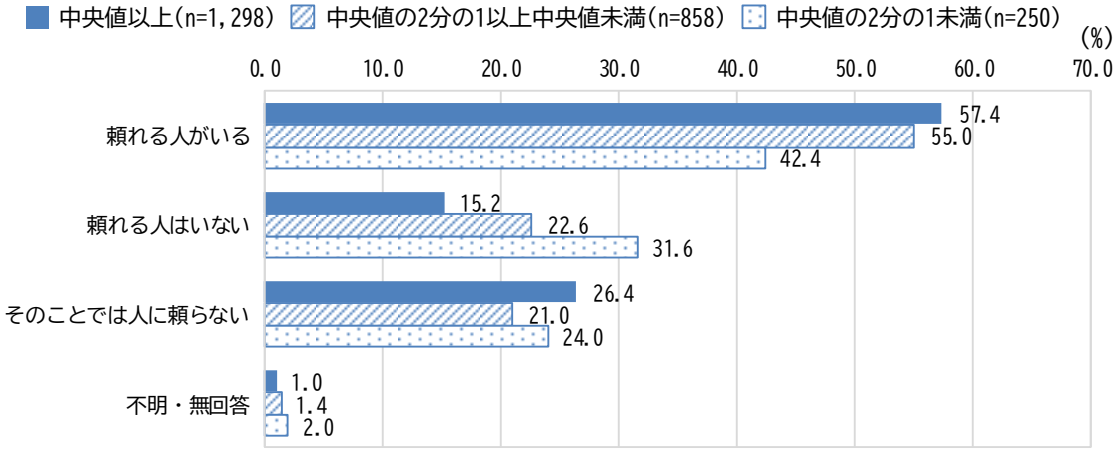


② いざという時のお金の援助

収入の水準別にみると、いずれの世帯でも「頼れる人がいる」が最も高くなっています。

「中央値の２分の１未満」の世帯では、他の世帯に比べて「頼れる人がいる」が低くなっている一方で、「頼れる人はいない」が高くなっています。

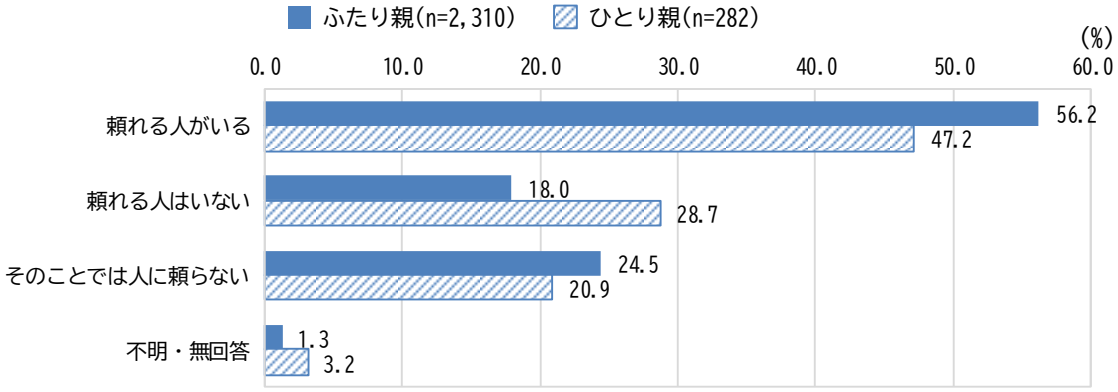
【頼れる人の有無（いざという時のお金の援助）：収入の水準別】



世帯の状況別にみると、いずれの世帯でも「頼れる人がいる」が最も高くなっています。

「ひとり親」の世帯では、「ふたり親」の世帯に比べて「頼れる人がいる」が低くなっている一方で、「頼れる人がいない」が高くなっています。

【頼れる人の有無（いざという時のお金の援助）：世帯の状況別】

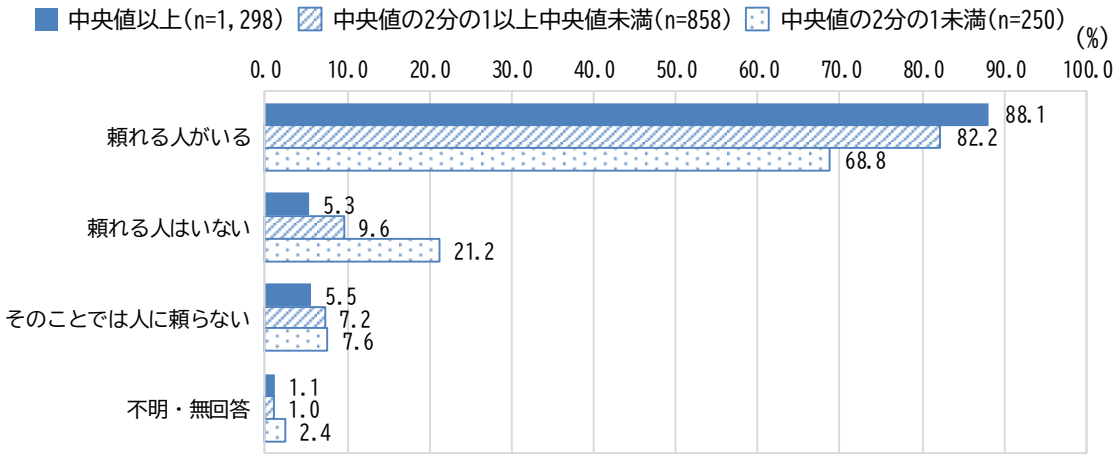


③　その他、重要な事柄の相談

収入の水準別にみると、いずれの世帯でも「頼れる人がいる」が最も高くなっています。

「中央値の２分の１未満」の世帯では、他の世帯に比べて「頼れる人がいる」が低くなっている一方で、「頼れる人がいない」が高くなっています。

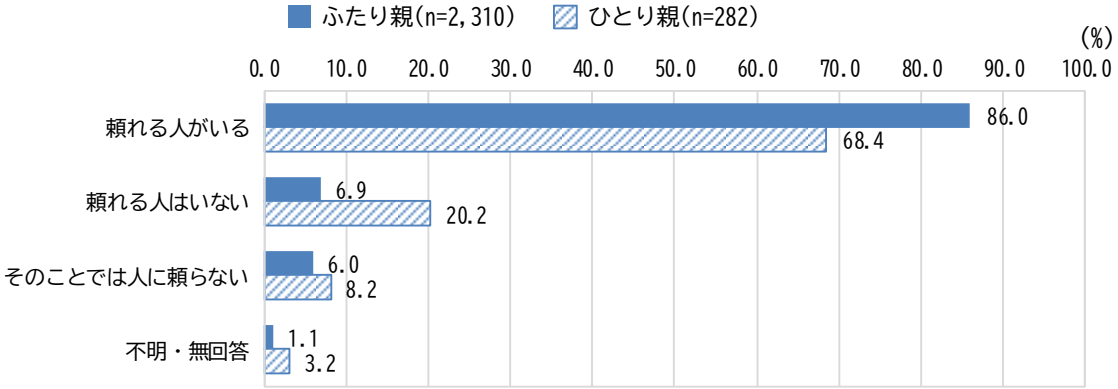
【頼れる人の有無（その他、重要な事柄の相談）：収入の水準別】



世帯の状況別にみると、いずれの世帯でも「頼れる人がいる」が最も高くなっています。

「ひとり親」の世帯では、「ふたり親」の世帯に比べて「頼れる人がいる」が低くなっている一方で、「頼れる人がいない」が高くなっています。

【頼れる人の有無（その他、重要な事柄の相談）：世帯の状況別】



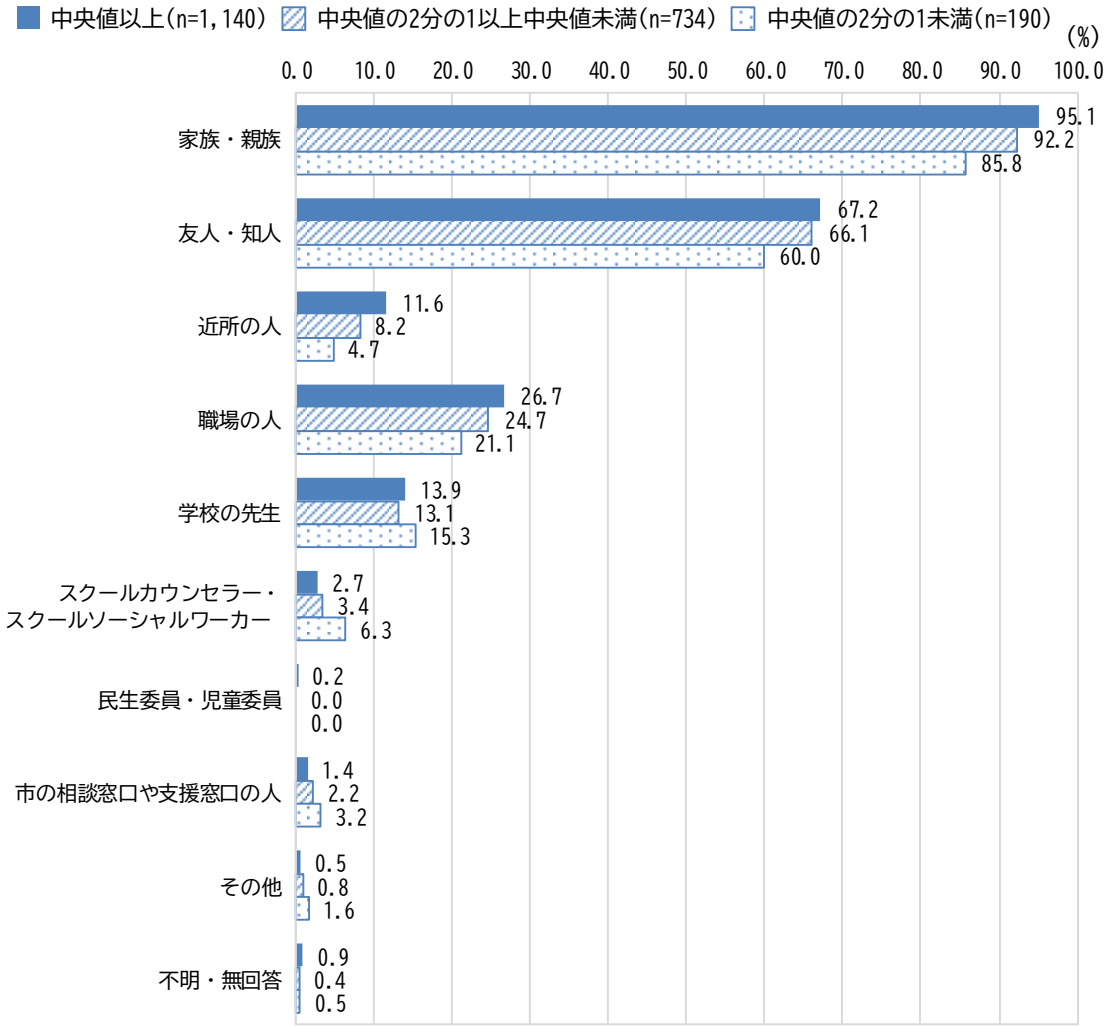
⑺　頼れる人

問 37　次の①～③の事柄について、あなたが頼れる人は誰ですか。（すべてに○）
　【問 36 で「頼れる人がいる」と回答した方への設問】

①　子育てに関する相談

収入の水準別にみると、いずれの世帯でも「家族・親族」が最も高く、次いで「友人・知人」となっています。

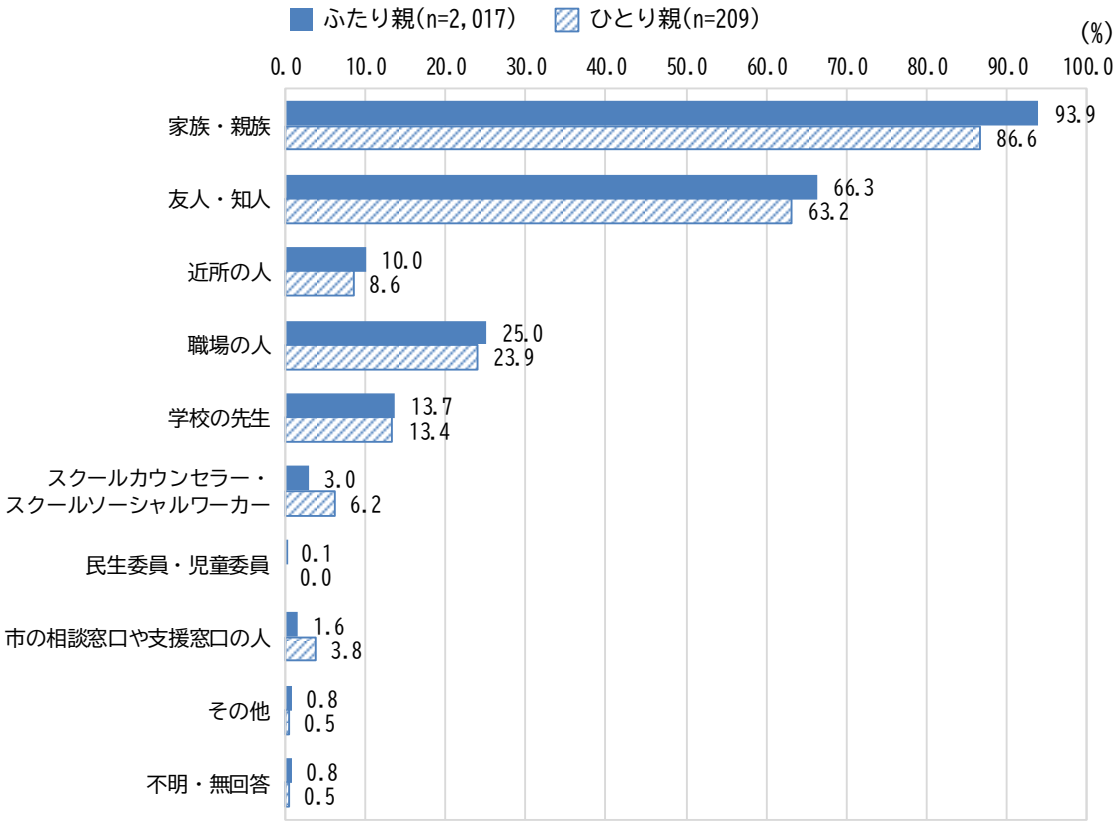
【頼れる人（子育てに関する相談）：収入の水準別】



世帯の状況別にみると、いずれの世帯でも「家族・親族」が最も高く、次いで「友人・知人」となっています。

なお、「その他」には、「放課後等デイサービスの人」、「病院、療育先の先生」、「教育センターの相談員」等がありました。

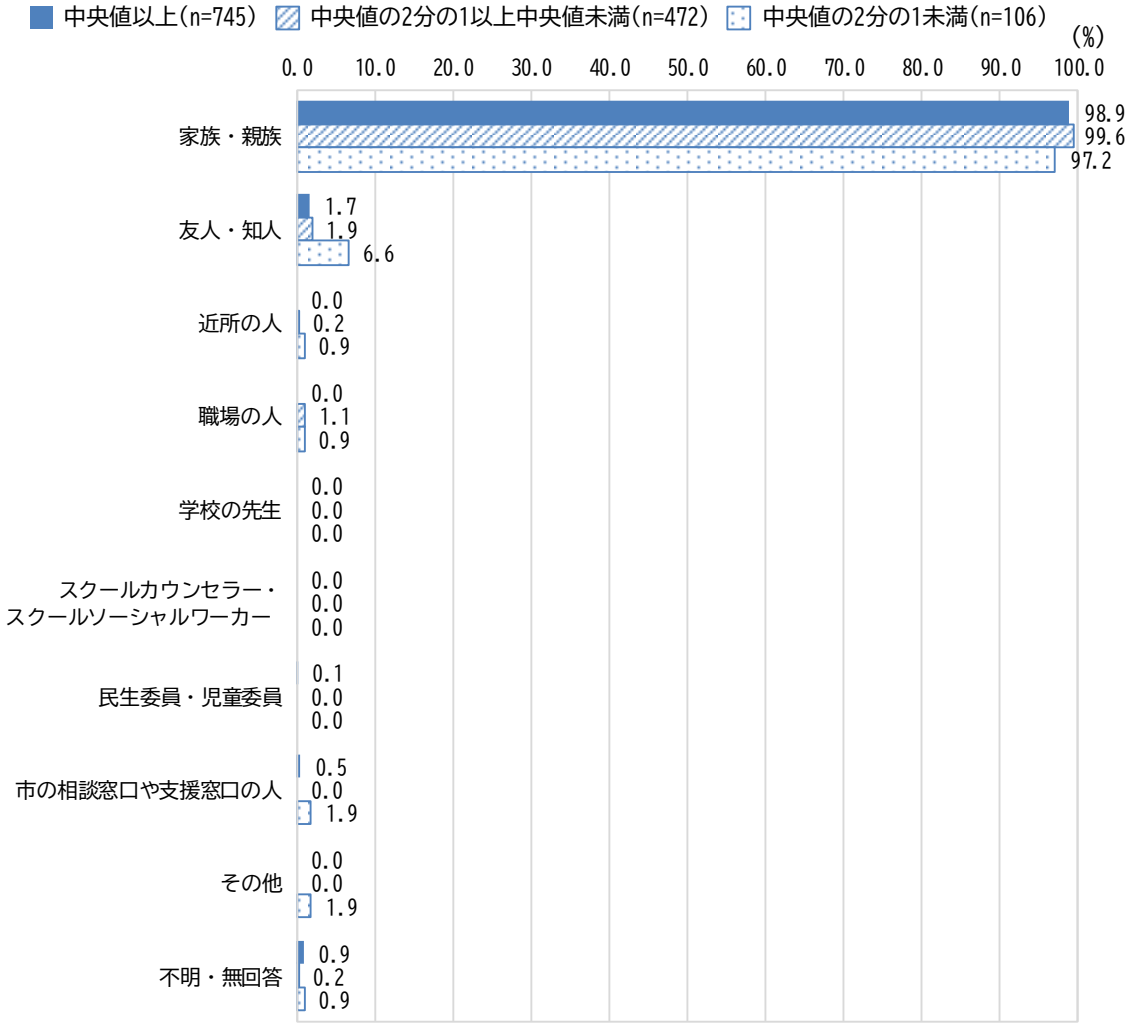
【頼れる人（子育てに関する相談）：世帯の状況別】



② いざという時のお金の援助

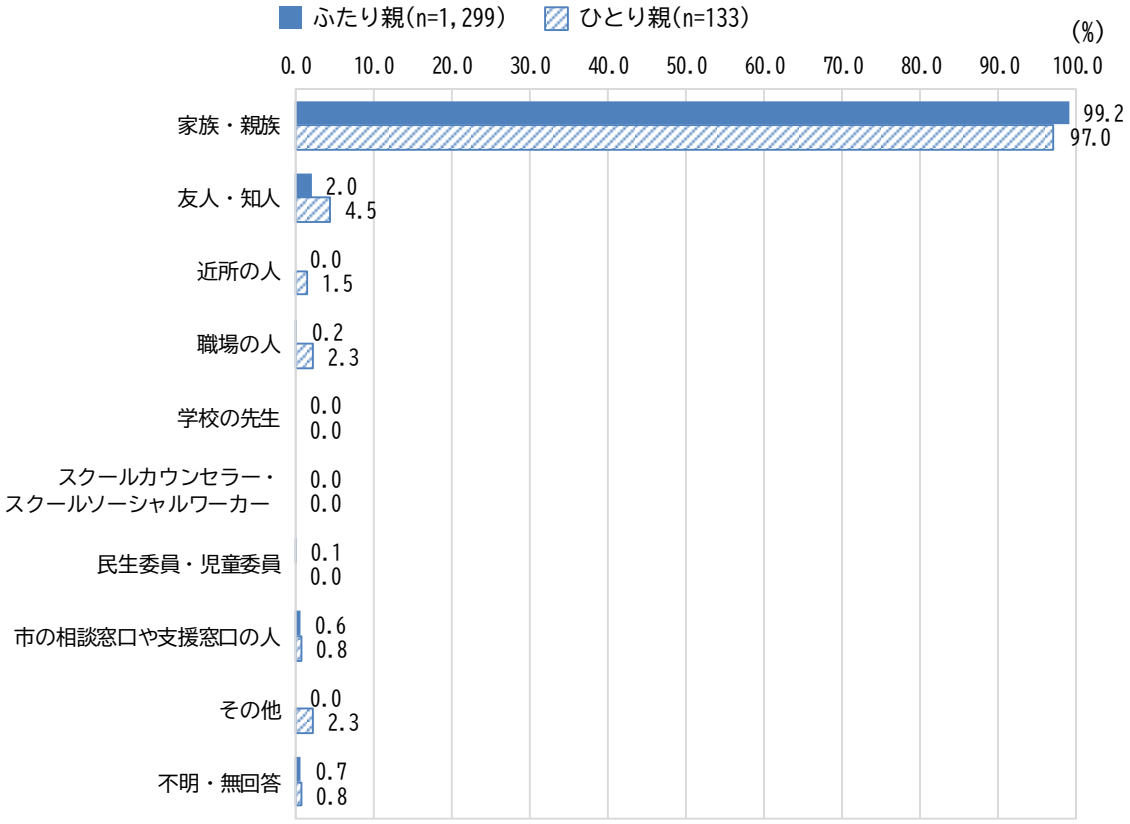
収入の水準別にみると、いずれの世帯でも「家族・親族」が最も高く、ほぼ全数となっています。

【頼れる人（いざという時のお金の援助）：収入の水準別】



世帯の状況別にみると、いずれの世帯でも「家族・親族」が最も高く、ほぼ全数となっています。なお、「その他」には、「離別した配偶者」等がありました。

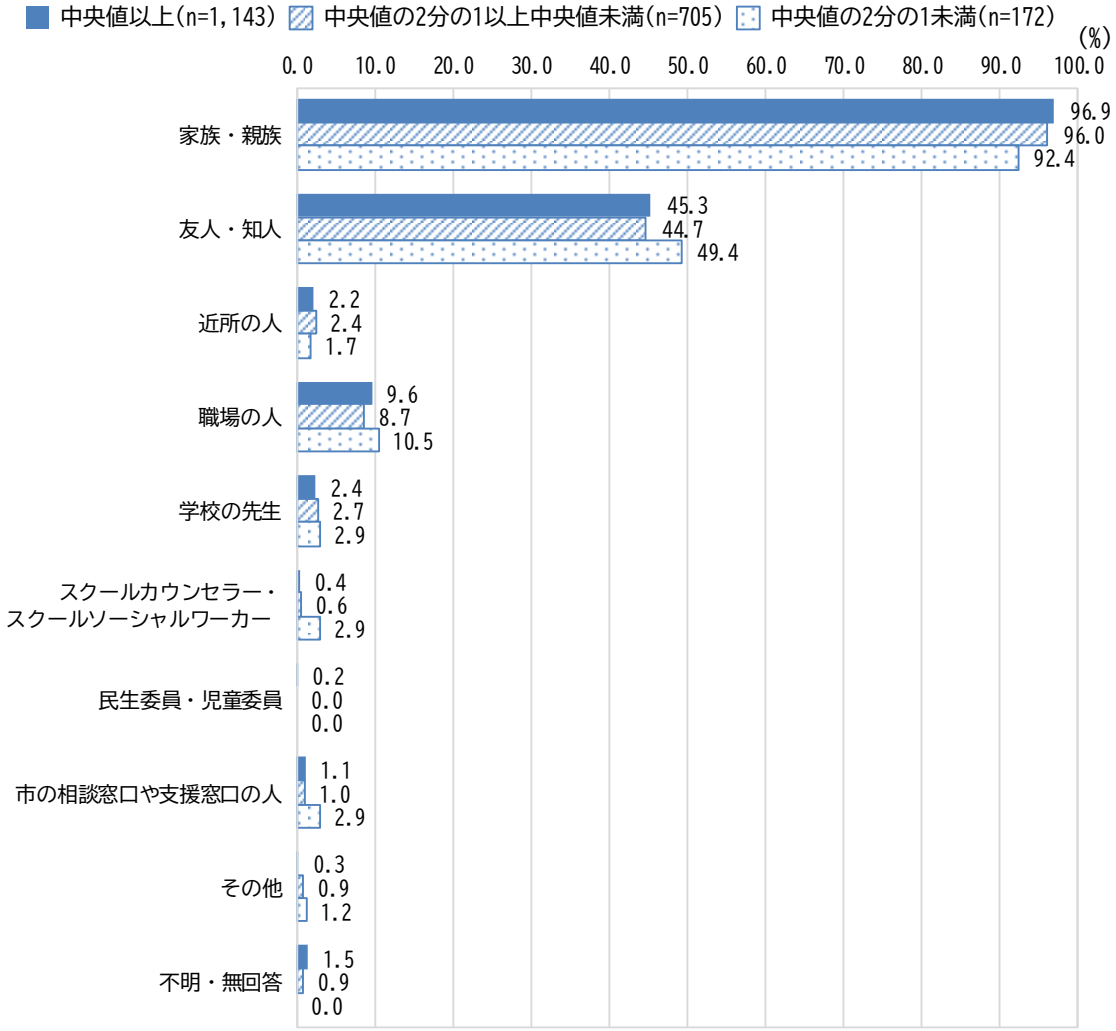
【頼れる人（いざという時のお金の援助）：世帯の状況別】



③　その他、重要な事柄の相談

収入の水準別にみると、いずれの世帯でも「家族・親族」が最も高く、次いで「友人・知人」となっています。

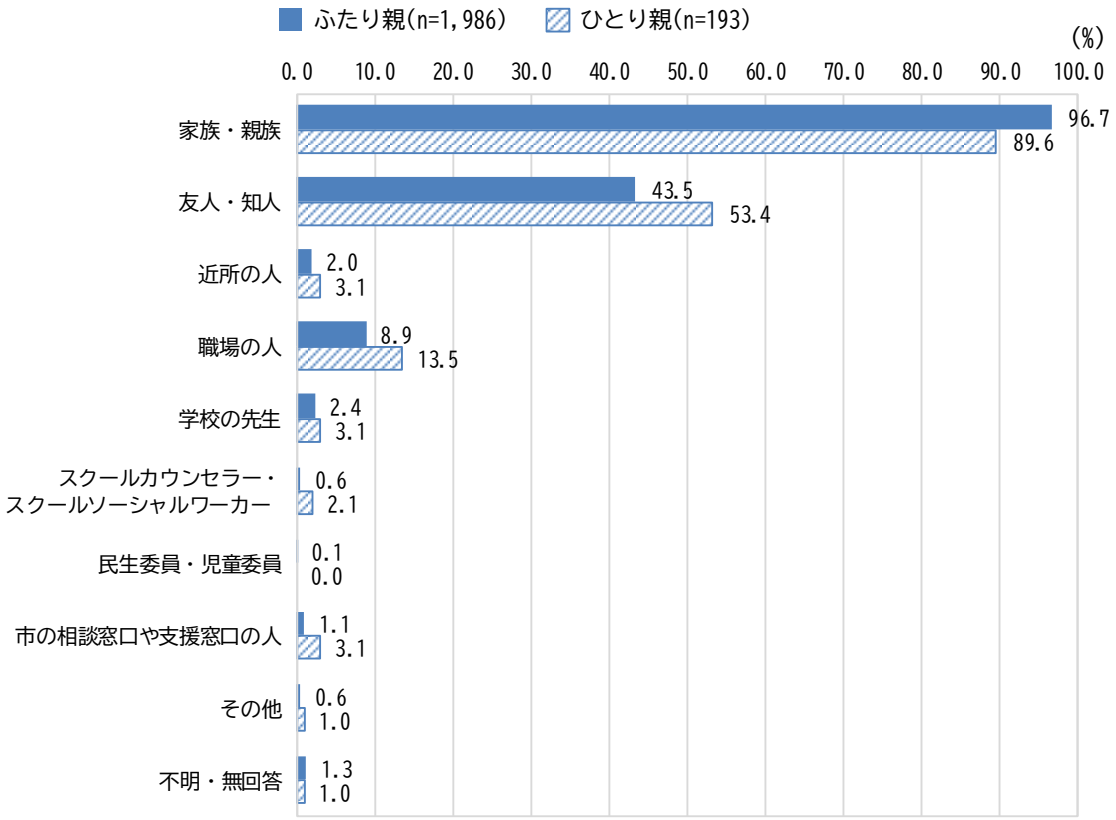
【頼れる人（その他、重要な事柄の相談）：収入の水準別】



世帯の状況別にみると、いずれの世帯でも「家族・親族」が最も高く、次いで「友人・知人」となっています。

なお、「その他」には、「弁護士」、「こども家庭センター」、「ケアマネジャー」等がありました。

【頼れる人（その他、重要な事柄の相談）：世帯の状況別】



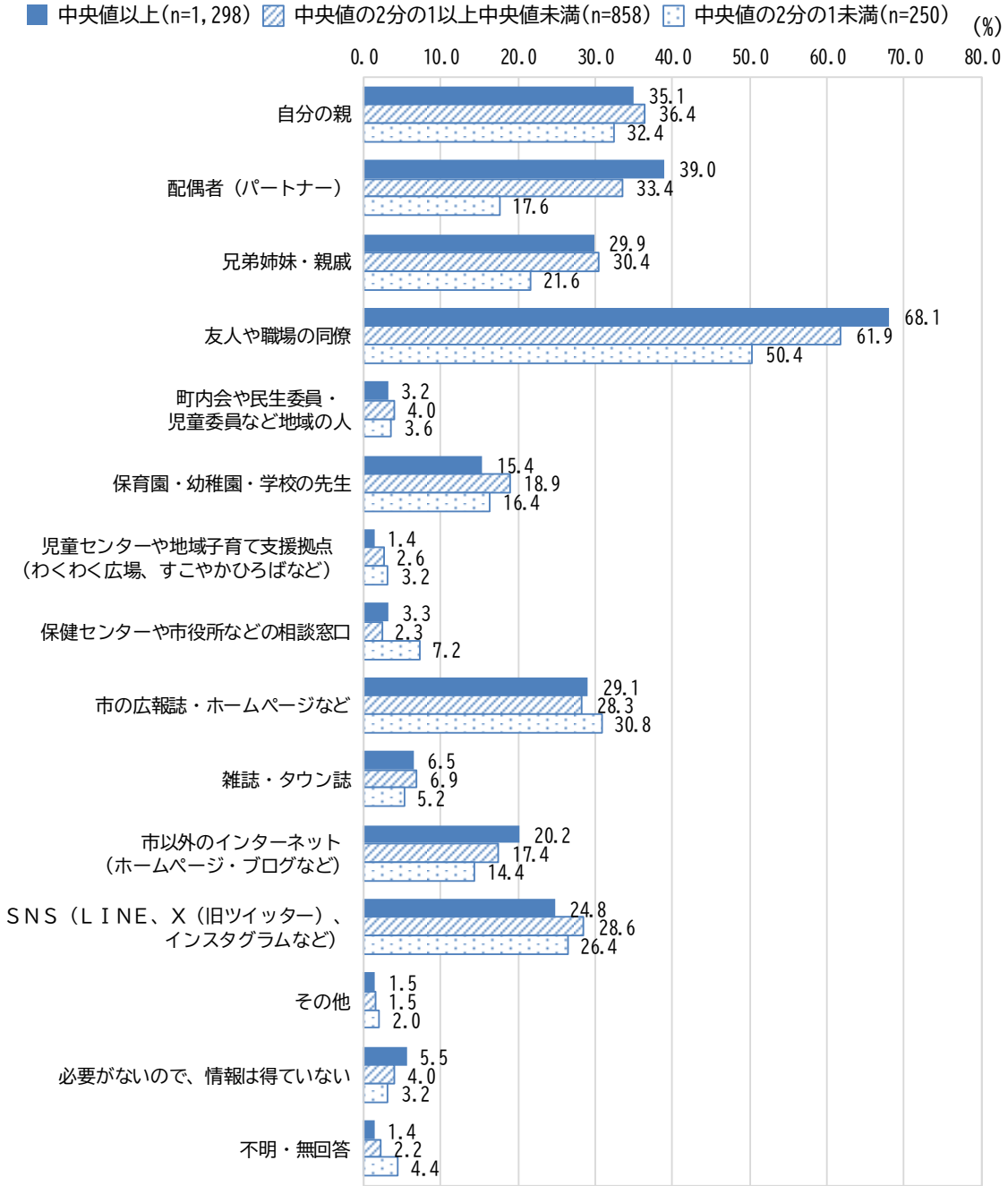
⑻　子育て情報の入手先

問 38　あなたは、生活や子育てに関する支援について、情報をどこから得ていますか。
（すべてに○）

収入の水準別にみると、いずれの世帯でも「友人や職場の同僚」が最も高くなっており、その他では「自分の親」、「兄弟姉妹・親戚」、「市の広報紙・ホームページなど」、「SNS（LINE、X（旧ツイッター）、インスタグラムなど）」が高くなっています。

また、「中央値の２分の１未満」の世帯では「配偶者（パートナー）」が他の世帯に比べて低くなっています。

【子育て情報の入手先：収入の水準別】

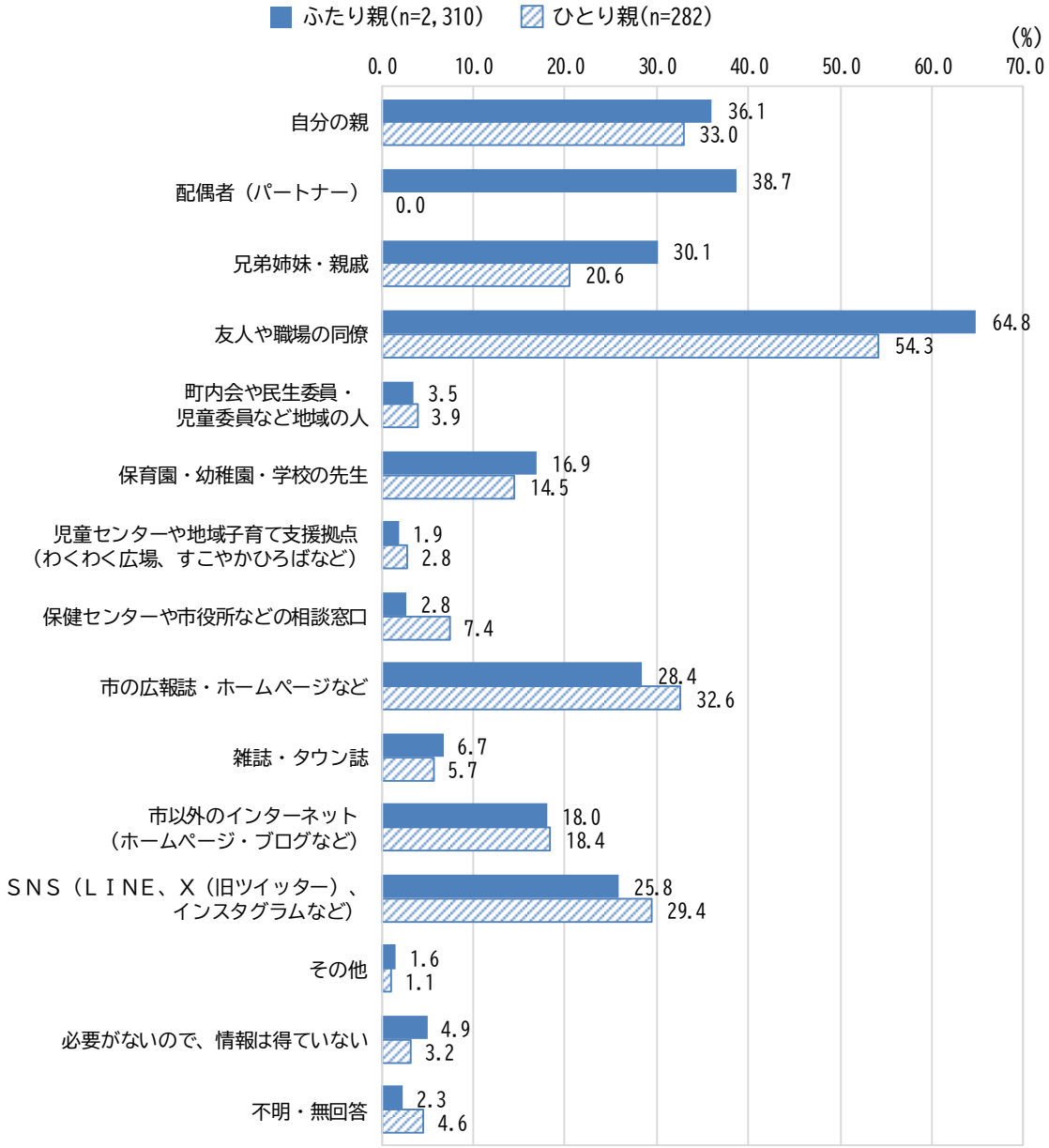


世帯の状況別にみると、いずれの世帯でも「友人や職場の同僚」が最も高くなっており、その他では「自分の親」、「兄弟姉妹・親戚」、「市の広報紙・ホームページなど」、「SNS（LINE、X（旧ツイッター）、インスタグラムなど）」が高くなっています。

また、「ひとり親」の世帯では「兄弟姉妹・親戚」が、「ふたり親」の世帯に比べてやや低くなっています。

なお、「その他」には、「近所の人」、「新聞、本」、「病院、診療所の先生」等がありました。

【子育て情報の入手先：世帯の状況別】



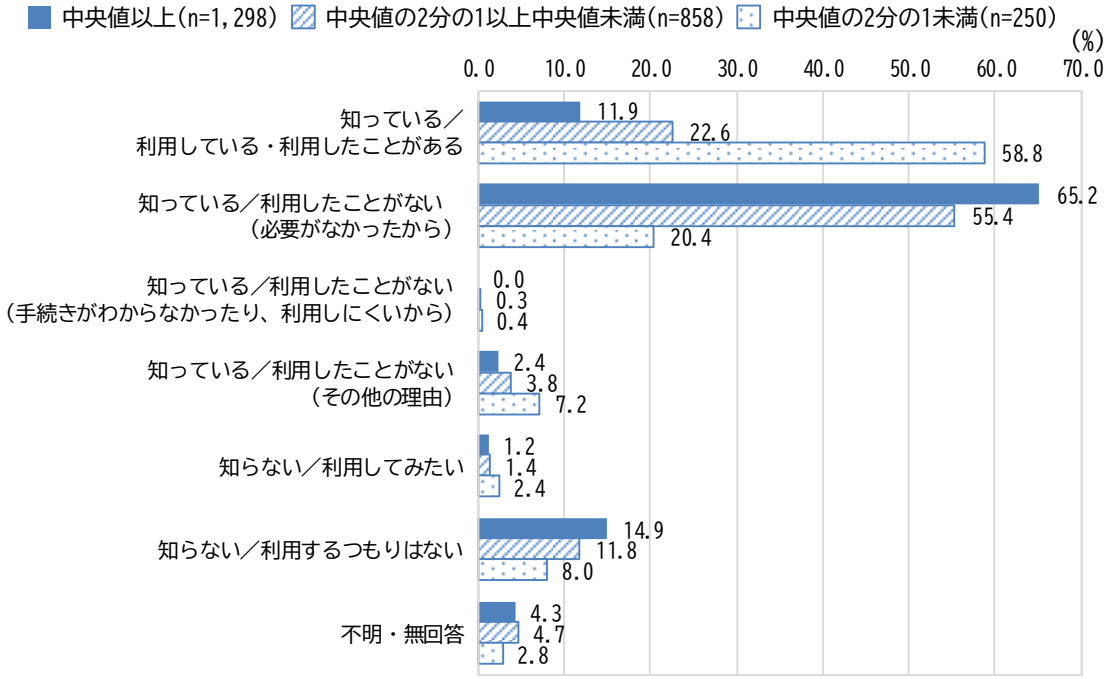
⑼　支援制度・事業の認知と利用

問 39　あなたは、次の事業・制度を知っていますか。また、これまでに利用したことがありますか。　（１つに○）

①　児童扶養手当

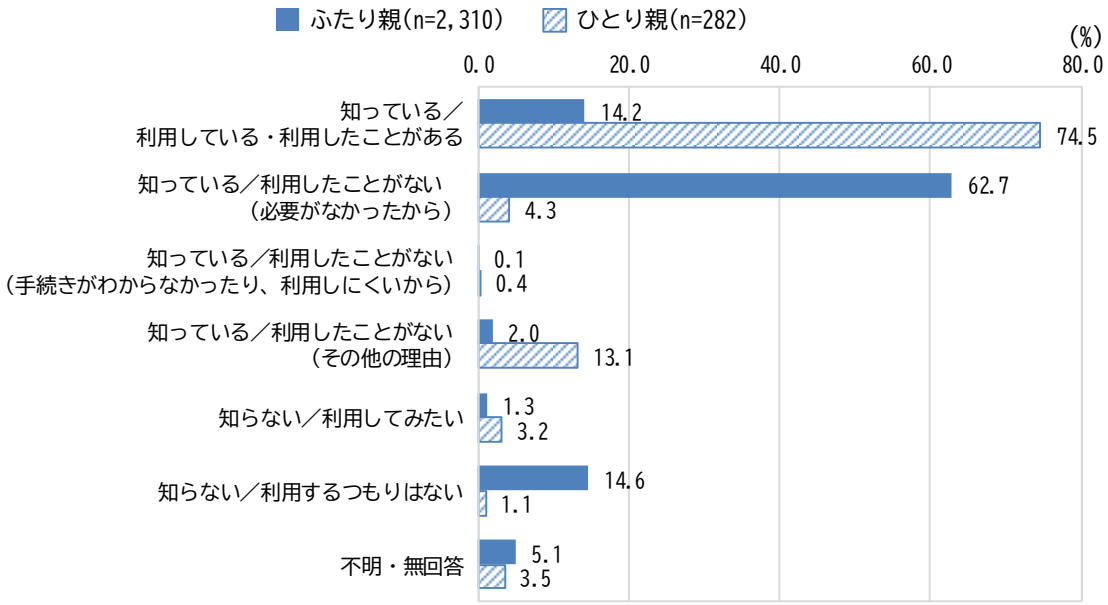
収入の水準別にみると、「中央値以上」の世帯及び「中央値の２分の１以上中央値未満」の世帯では「知っている／利用したことがない（必要がなかったから）」、「中央値の２分の１未満」の世帯では「知っている／利用している・利用したことがある」が、最も高くなっています。

【支援制度・事業の認知と利用（児童扶養手当）：収入の水準別】



世帯の状況別にみると、「ふたり親」の世帯では「知っている／利用したことがない（必要がなかったから）」、「ひとり親」の世帯では「知っている／利用している・利用したことがある」が、最も高くなっています。

【支援制度・事業の認知と利用（児童扶養手当）：世帯の状況別】

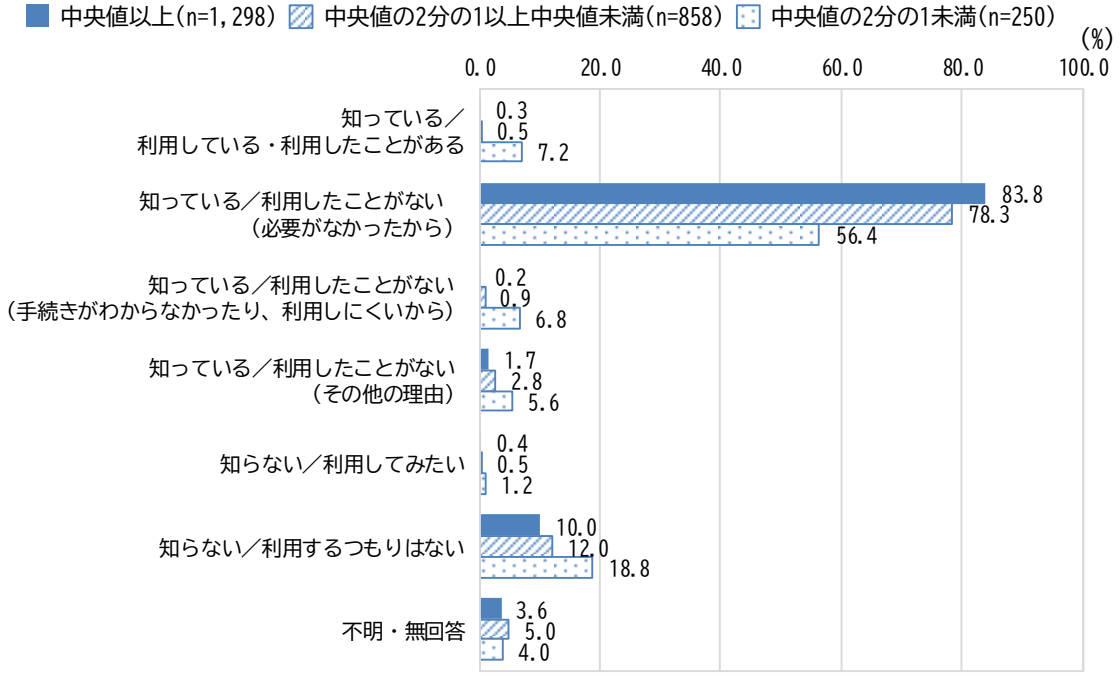


② 生活保護

収入の水準別にみると、いずれの世帯でも「知っている／利用したことがない（必要がなかったから）」が最も高くなっています。

また、「中央値の２分の１未満」の世帯では「知らない／利用するつもりはない」が他の世帯に比べてやや高くなっています。

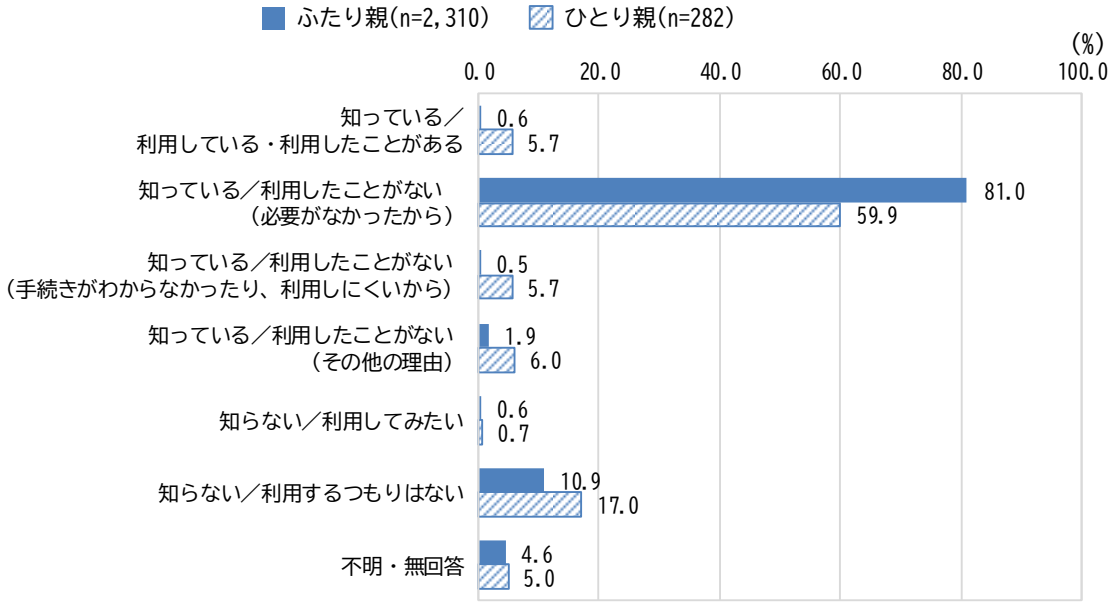
【支援制度・事業の認知と利用（生活保護）：収入の水準別】



世帯の状況別にみると、いずれの世帯でも「知っている／利用したことがない（必要がなかったから）」が最も高くなっています。

また、「ひとり親」の世帯では「知らない／利用するつもりはない」が「ふたり親」の世帯に比べてやや高くなっています。

【支援制度・事業の認知と利用（生活保護）：世帯の状況別】

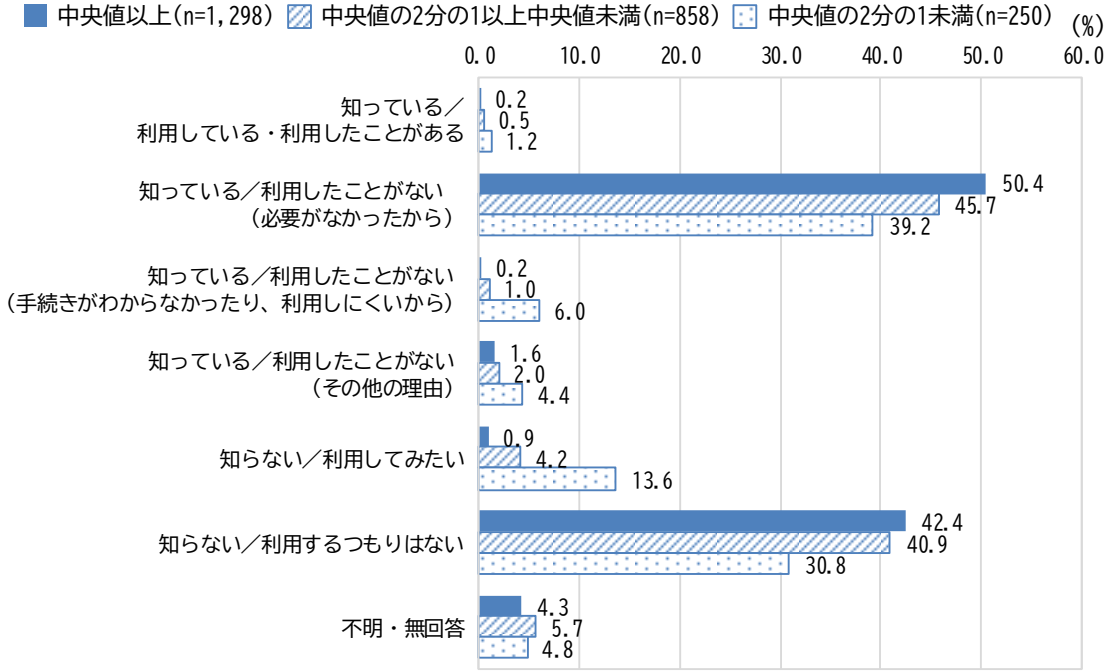


③　母子父子寡婦福祉資金の貸付

収入の水準別にみると、いずれの世帯でも「知っている／利用したことがない（必要がなかったから）」が最も高く、次いで「知らない／利用するつもりはない」となっています。

「中央値の２分の１未満」の世帯では「知らない／利用してみたい」が他の世帯に比べて高くなっています。

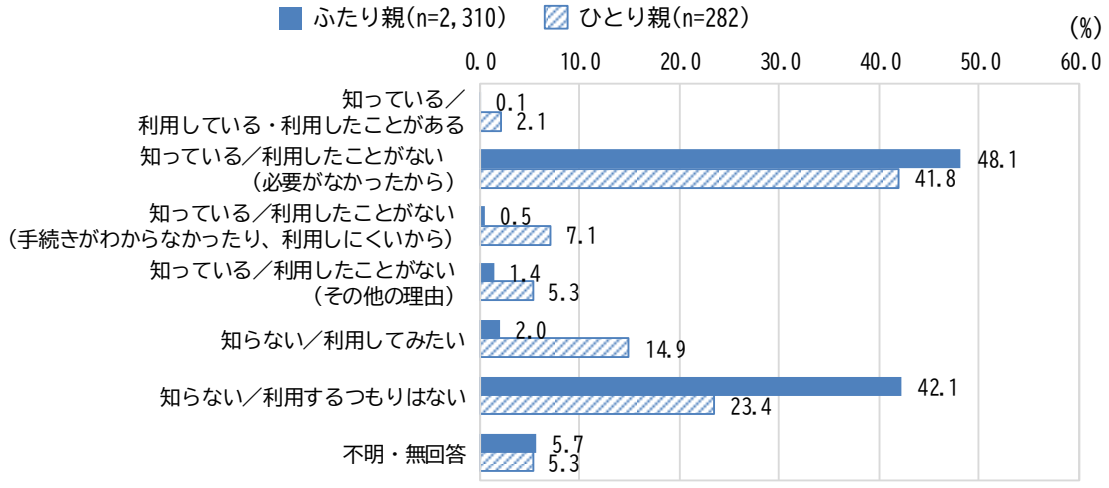
【支援制度・事業の認知と利用（母子父子寡婦福祉資金の貸付）：収入の水準別】



世帯の状況別にみると、いずれの世帯でも「知っている／利用したことがない（必要がなかったから）」が最も高く、次いで「知らない／利用するつもりはない」となっています。

「ひとり親」の世帯では「知らない／利用してみたい」が「ふたり親」の世帯に比べて高くなっています。

【支援制度・事業の認知と利用（母子父子寡婦福祉資金の貸付）：世帯の状況別】

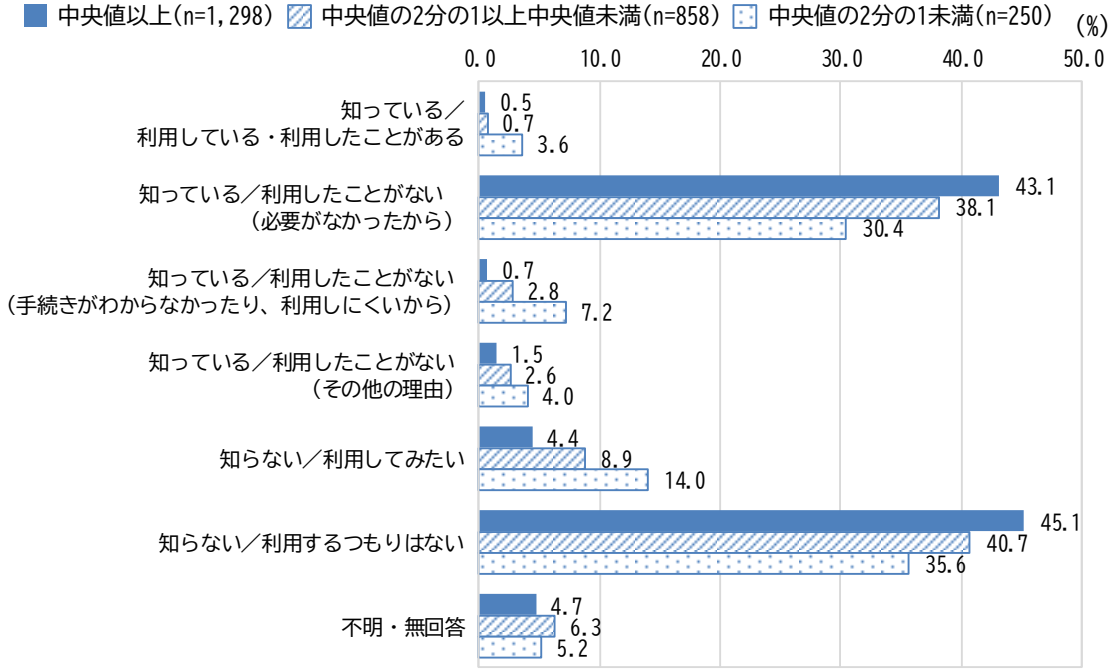


④　養育費に関する専門相談

収入の水準別にみると、いずれの世帯でも「知らない／利用するつもりはない」が最も高く、次いで「知っている／利用したことがない（必要がなかったから）」となっています。

また、「中央値の２分の１未満」の世帯では「知らない／利用してみたい」が他の世帯に比べてやや高くなっています。

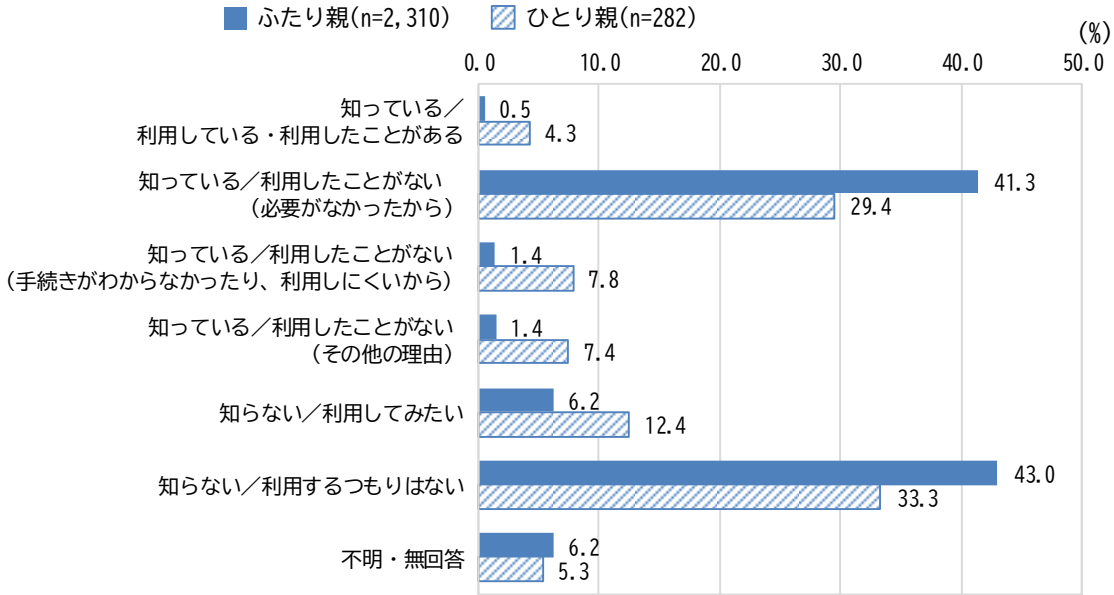
【支援制度・事業の認知と利用（養育費に関する専門相談）：収入の水準別】



世帯の状況別にみると、いずれの世帯でも「知らない／利用するつもりはない」が最も高く、次いで「知っている／利用したことがない（必要がなかったから）」となっています。

また、「ひとり親」の世帯では「知らない／利用してみたい」が「ふたり親」の世帯に比べてやや高くなっています。

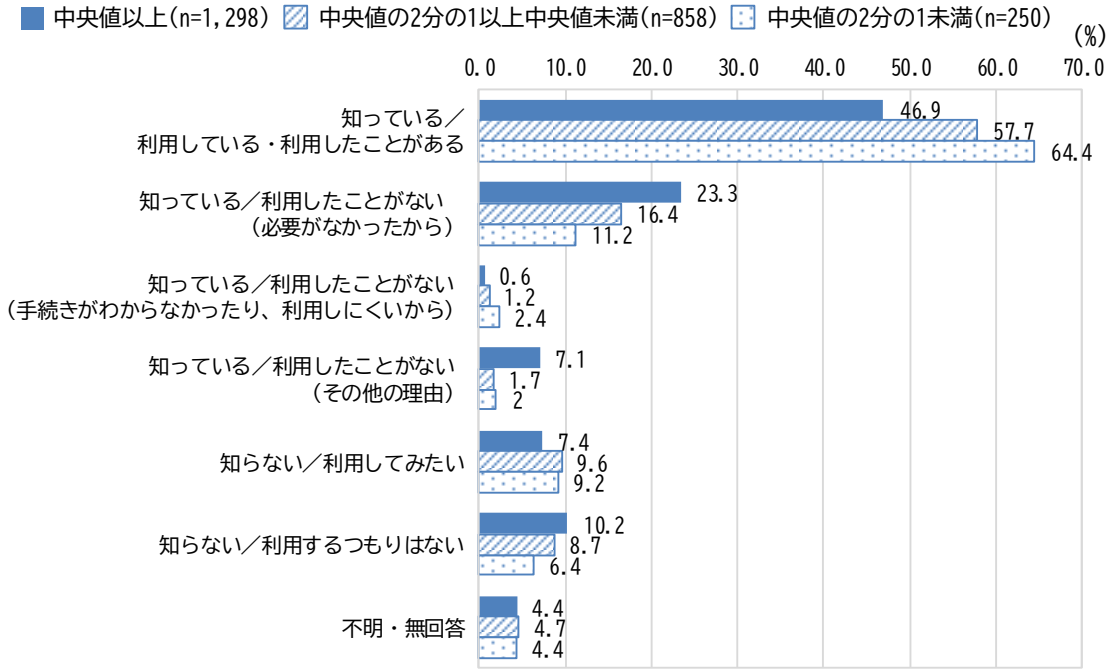
【支援制度・事業の認知と利用（養育費に関する専門相談）：世帯の状況別】



⑤　こども医療費助成

収入の水準別にみると、いずれの世帯でも「知っている／利用している・利用したことがある」が最も高く、次いで「知っている／利用したことがない（必要がなかったから）」となっています。

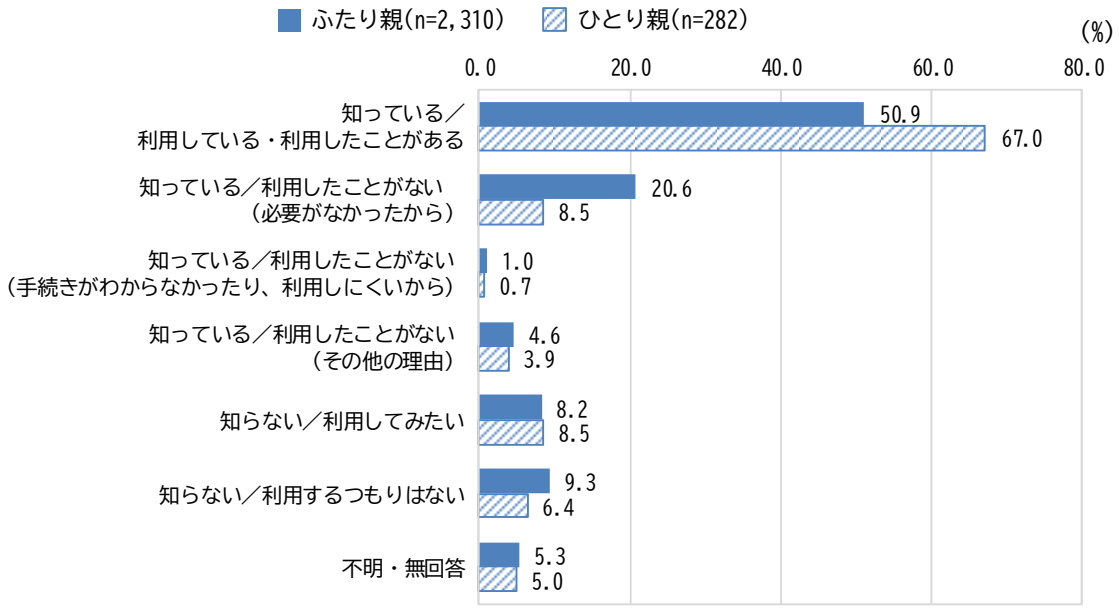
【支援制度・事業の認知と利用（こども医療費助成）：収入の水準別】



世帯の状況別にみると、いずれの世帯でも「知っている／利用している・利用したことがある」が最も高くなっています。

また、「ふたり親」の世帯では「知っている／利用したことがない（必要がなかったから）」が「ひとり親」の世帯に比べて高くなっています。

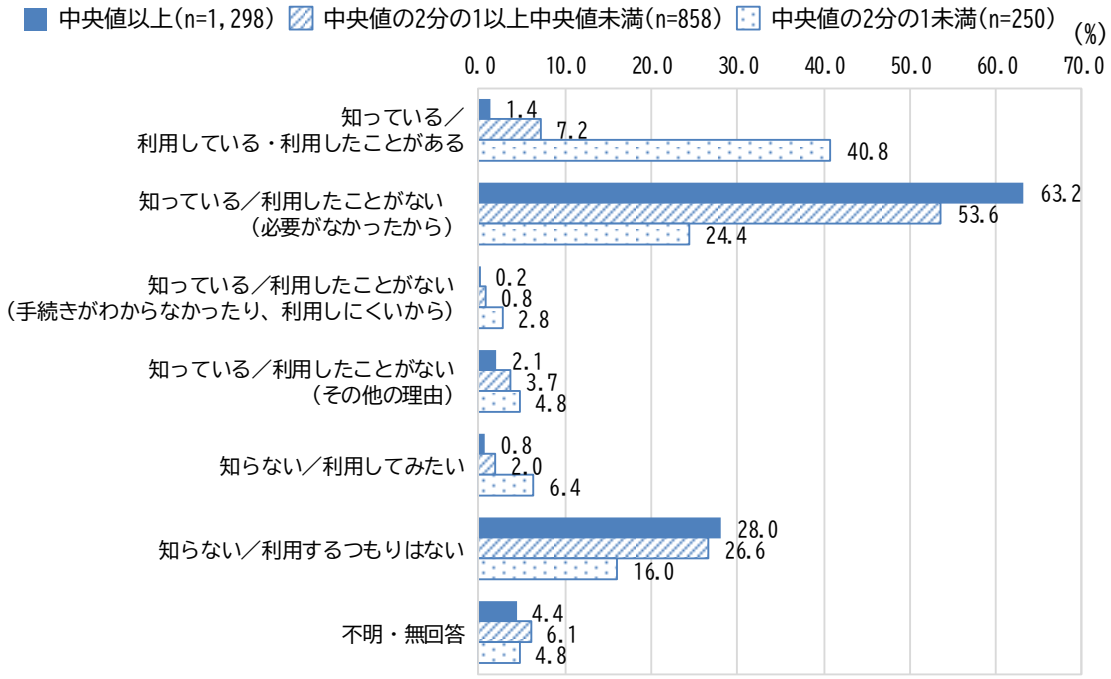
【支援制度・事業の認知と利用（こども医療費助成）：世帯の状況別】



⑥　母子家庭等医療費助成

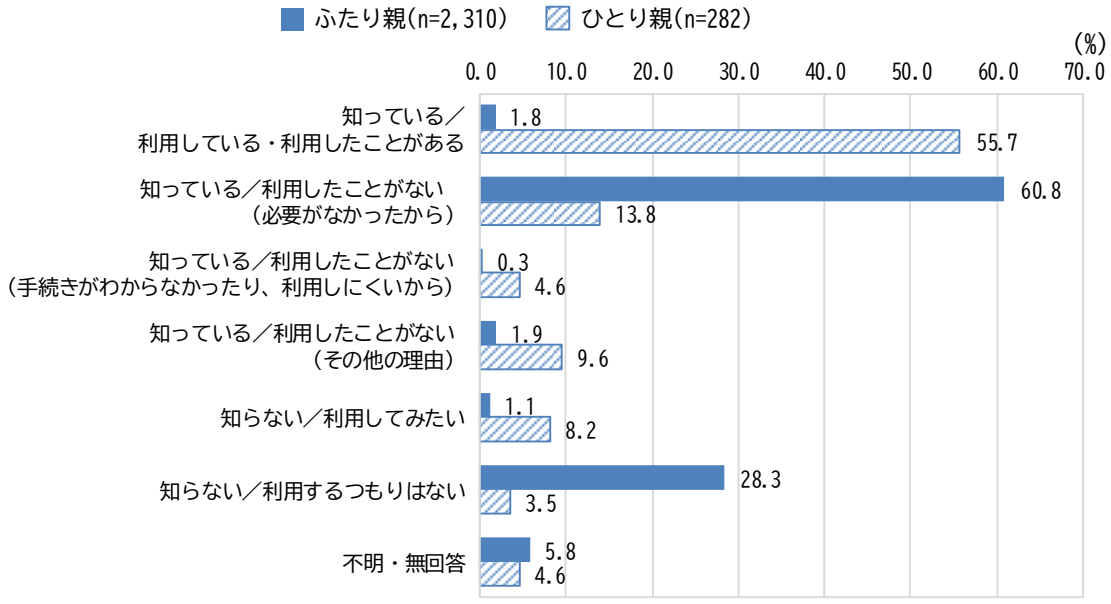
収入の水準別にみると、「中央値以上」の世帯及び「中央値の２分の１以上中央値未満」の世帯では「知っている／利用したことがない（必要がなかったから）」、「中央値の２分の１未満」の世帯では「知っている／利用している・利用したことがある」が、最も高くなっています。

【支援制度・事業の認知と利用（母子家庭等医療費助成）：収入の水準別】



世帯の状況別にみると、「ふたり親」では「知っている／利用したことがない（必要がなかったから）」、「ひとり親」の世帯では「知っている／利用している・利用したことがある」が、最も高くなっています。

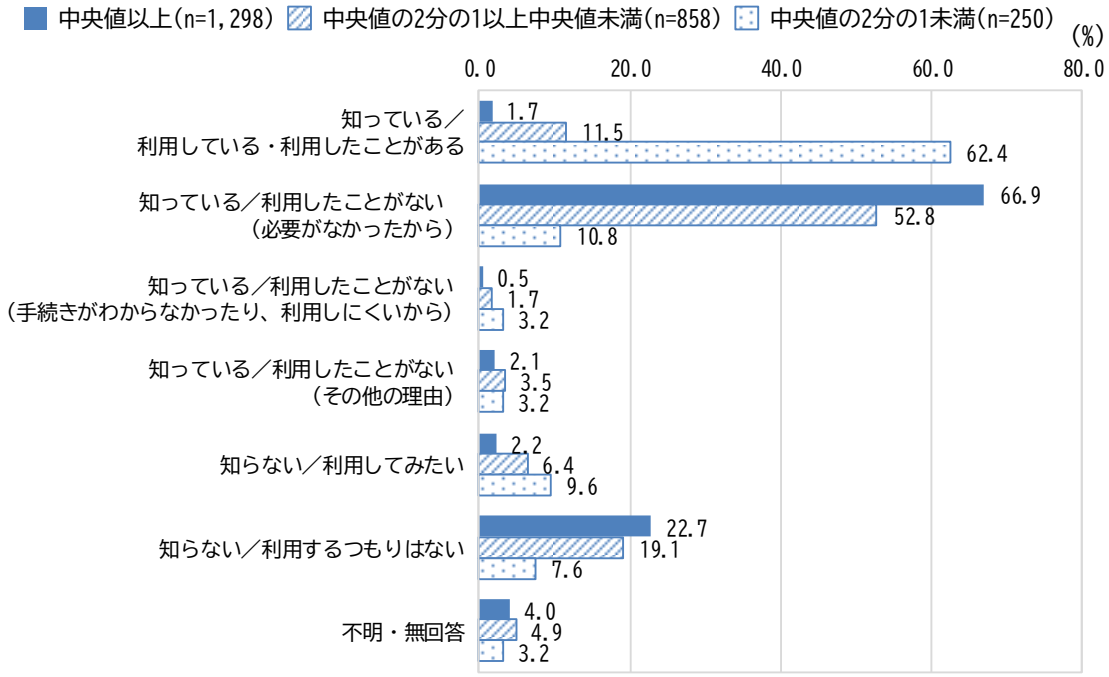
【支援制度・事業の認知と利用（母子家庭等医療費助成）：世帯の状況別】



⑦　就学援助制度

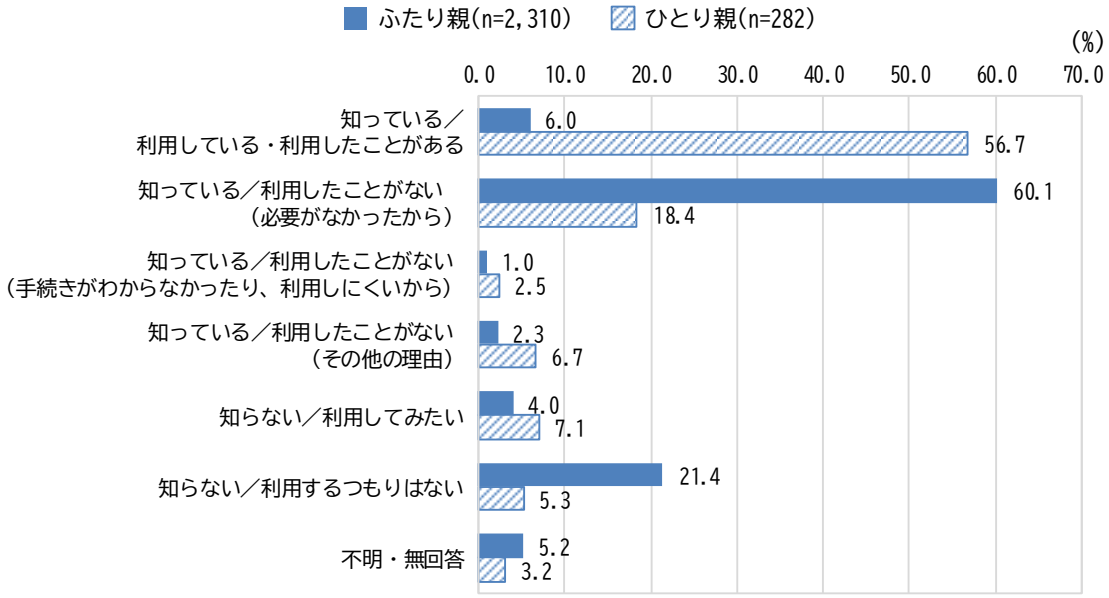
収入の水準別にみると、「中央値以上」の世帯及び「中央値の２分の１以上中央値未満」の世帯では「知っている／利用したことがない（必要がなかったから）」、「中央値の２分の１未満」の世帯では「知っている／利用している・利用したことがある」が、最も高くなっています。

【支援制度・事業の認知と利用（就学援助制度）：収入の水準別】



世帯の状況別にみると、「ふたり親」では「知っている／利用したことがない（必要がなかったから）」、「ひとり親」の世帯では「知っている／利用している・利用したことがある」が、最も高くなっています。

【支援制度・事業の認知と利用（就学援助制度）：世帯の状況別】

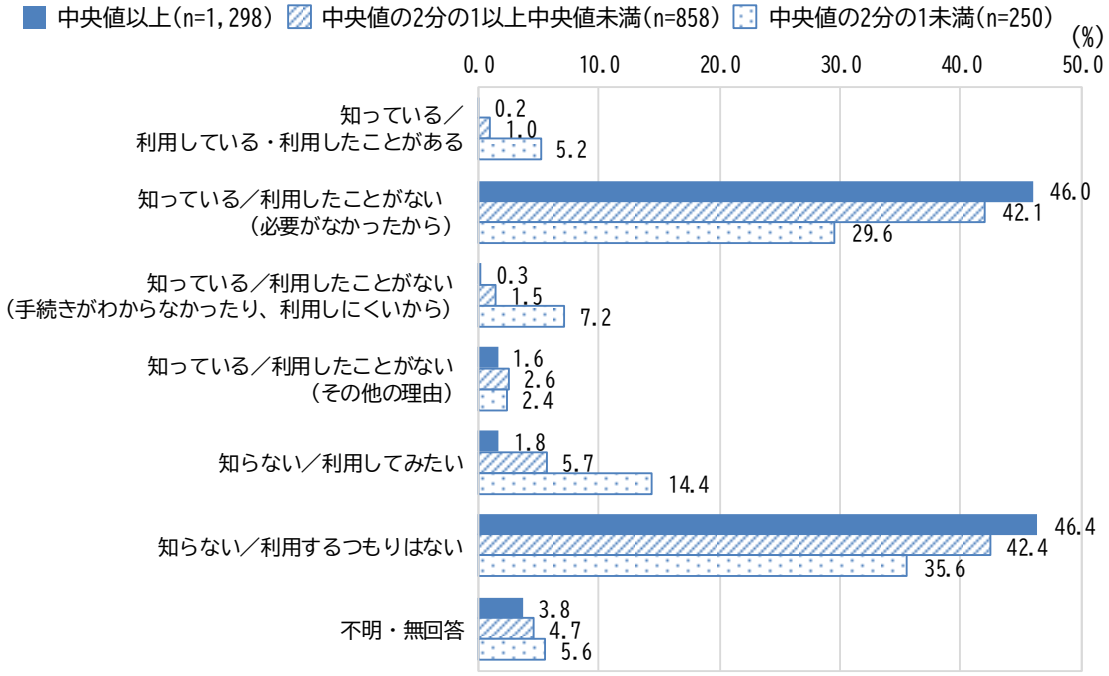


⑧　生活福祉資金貸付

収入の水準別にみると、いずれの世帯でも「知らない／利用するつもりはない」が最も高く、次いで「知っている／利用したことがない（必要がなかったから）」となっています。

また、「中央値の２分の１未満」の世帯では「知らない／利用してみたい」が他の世帯に比べて高くなっています。

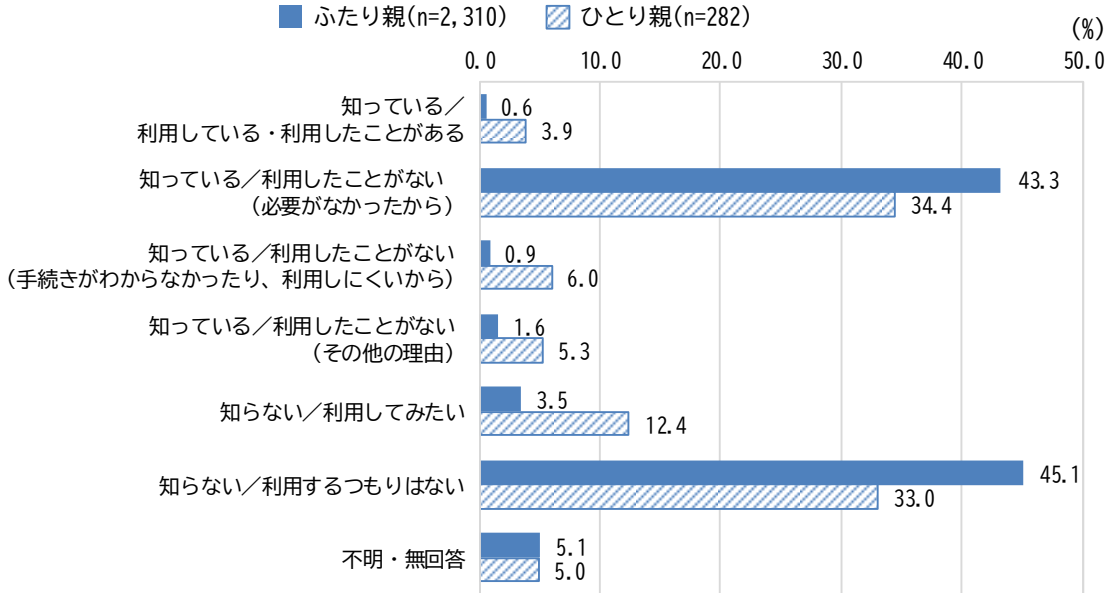
【支援制度・事業の認知と利用（生活福祉資金貸付）：収入の水準別】



世帯の状況別にみると、「ふたり親」では「知らない／利用するつもりはない」、「ひとり親」の世帯では「知っている／利用したことがない（必要がなかったから）」が、最も高くなっています。

また、「ひとり親」の世帯では「知らない／利用してみたい」が「ふたり親」の世帯に比べて高くなっています。

【支援制度・事業の認知と利用（生活福祉資金貸付）：世帯の状況別】

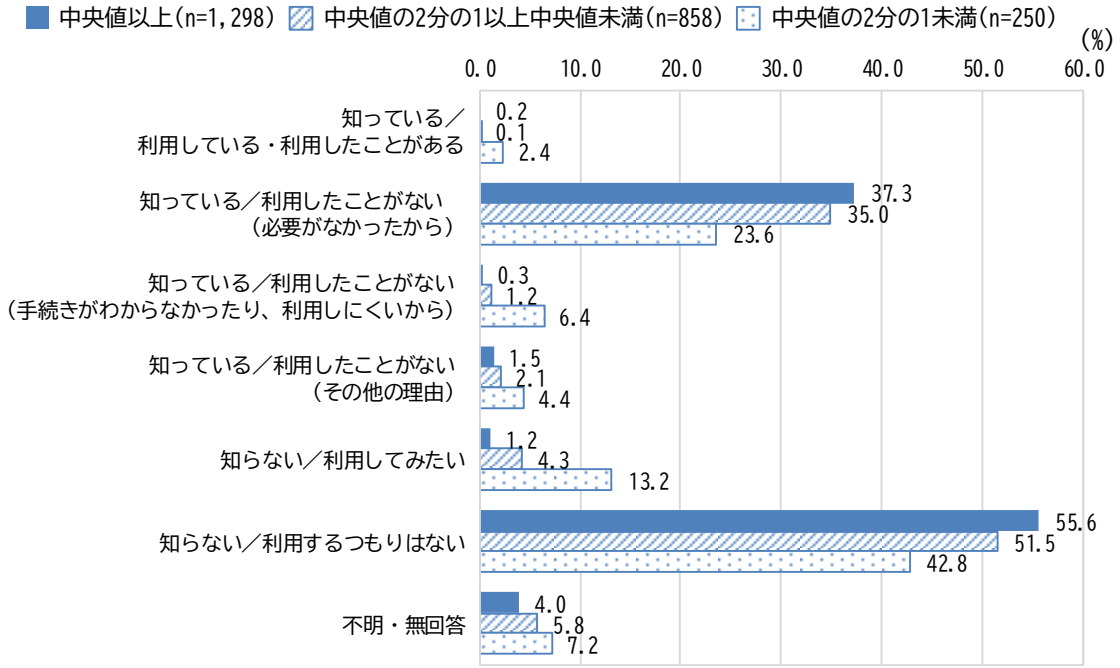


⑨　母子・父子福祉団体（婦人共励会）

収入の水準別にみると、いずれの世帯でも「知らない／利用するつもりはない」が最も高く、次いで「知っている／利用したことがない（必要がなかったから）」となっています。

また、「中央値の２分の１未満」の世帯では「知らない／利用してみたい」が他の世帯に比べて高くなっています。

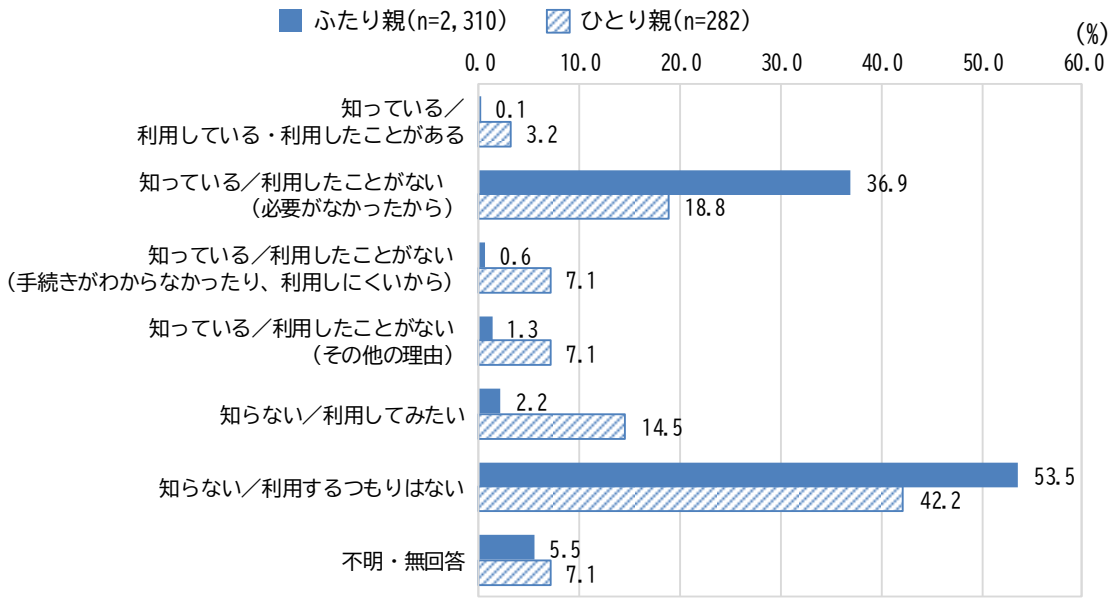
【支援制度・事業の認知と利用（母子・父子福祉団体（婦人共励会））：収入の水準別】



世帯の状況別にみると、いずれの世帯でも「知らない／利用するつもりはない」が最も高く、次いで「知っている／利用したことがない（必要がなかったから）」となっています。

また、「ひとり親」の世帯では、「知らない／利用してみたい」が「ふたり親」の世帯に比べて高くなっています。

【支援制度・事業の認知と利用（母子・父子福祉団体（婦人共励会））：世帯の状況別】

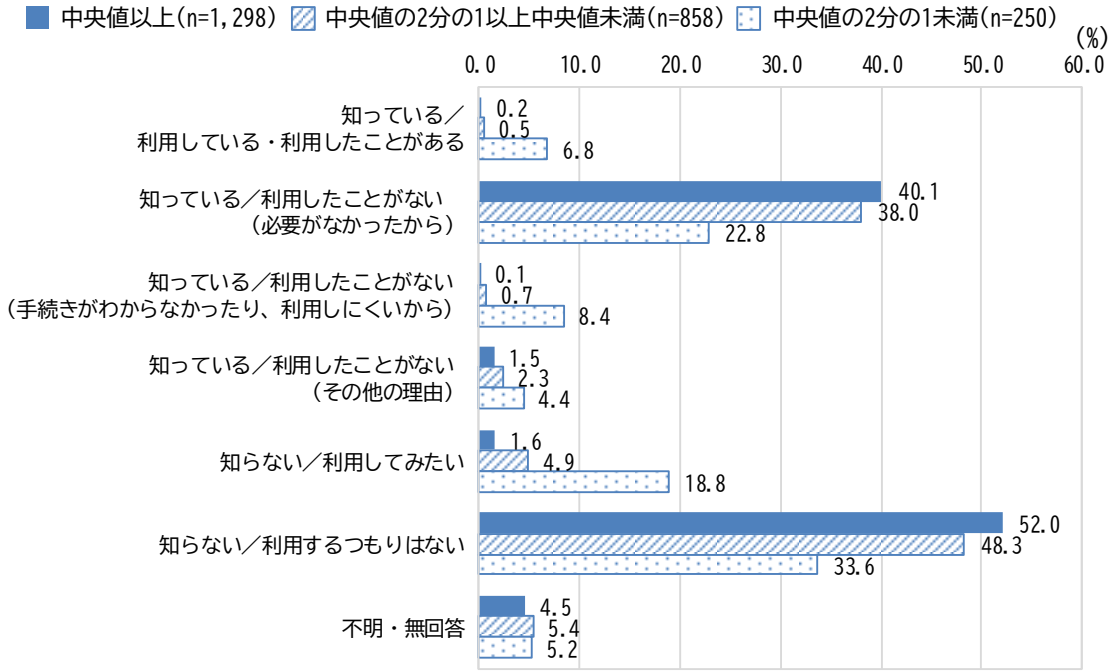


⑩　ひとり親家庭学習支援

収入の水準別にみると、いずれの世帯でも「知らない／利用するつもりはない」が最も高く、次いで「知っている／利用したことがない（必要がなかったから）」となっています。

また、「中央値の２分の１未満」の世帯では、「知らない／利用してみたい」が他の世帯に比べて高くなっています。

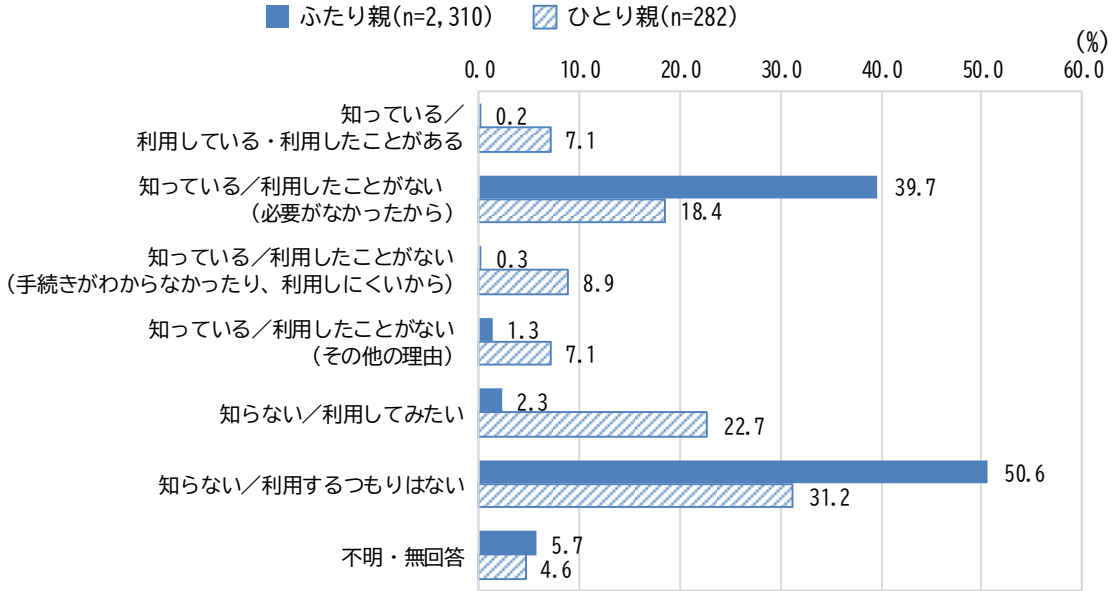
【支援制度・事業の認知と利用（ひとり親家庭学習支援）：収入の水準別】



世帯の状況別にみると、いずれの世帯でも「知らない／利用するつもりはない」が最も高くなっています。

また、「ひとり親」の世帯では、「知らない／利用してみたい」が「ふたり親」の世帯に比べて高くなっています。

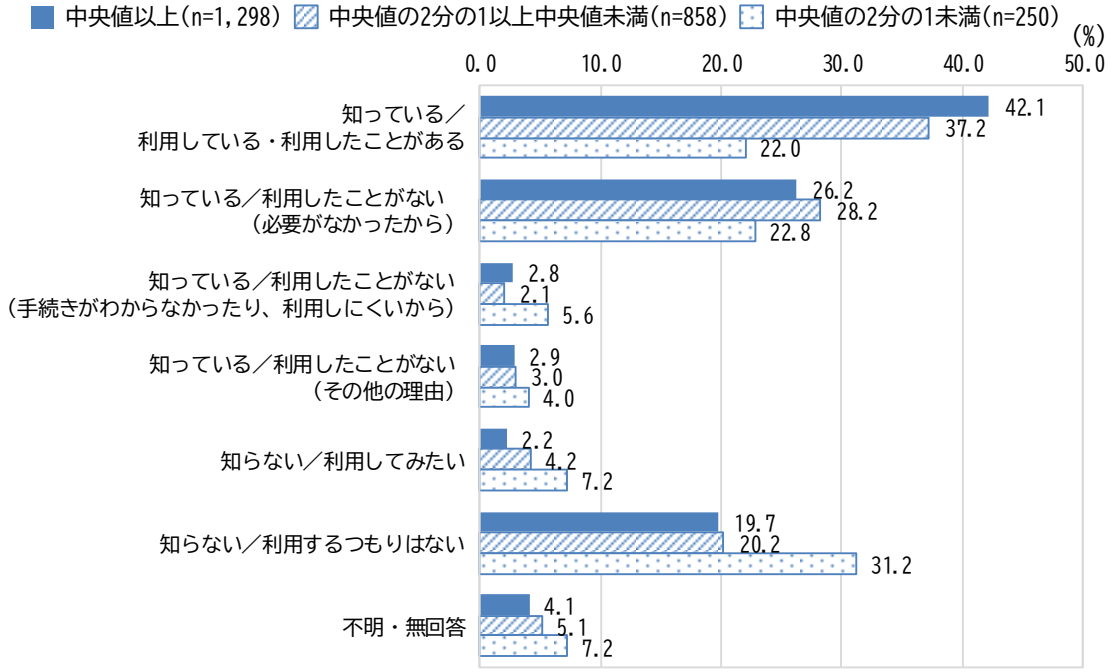
【支援制度・事業の認知と利用（ひとり親家庭学習支援）：世帯の状況別】



⑪　地域子育て支援拠点（わくわく広場・すこやかひろばなど）

収入の水準別にみると、「中央値以上」の世帯及び「中央値の２分の１以上中央値未満」の世帯では「知っている／利用している・利用したことがある」、「中央値の２分の１未満」の世帯では「知らない／利用するつもりはない」が、最も高くなっています。

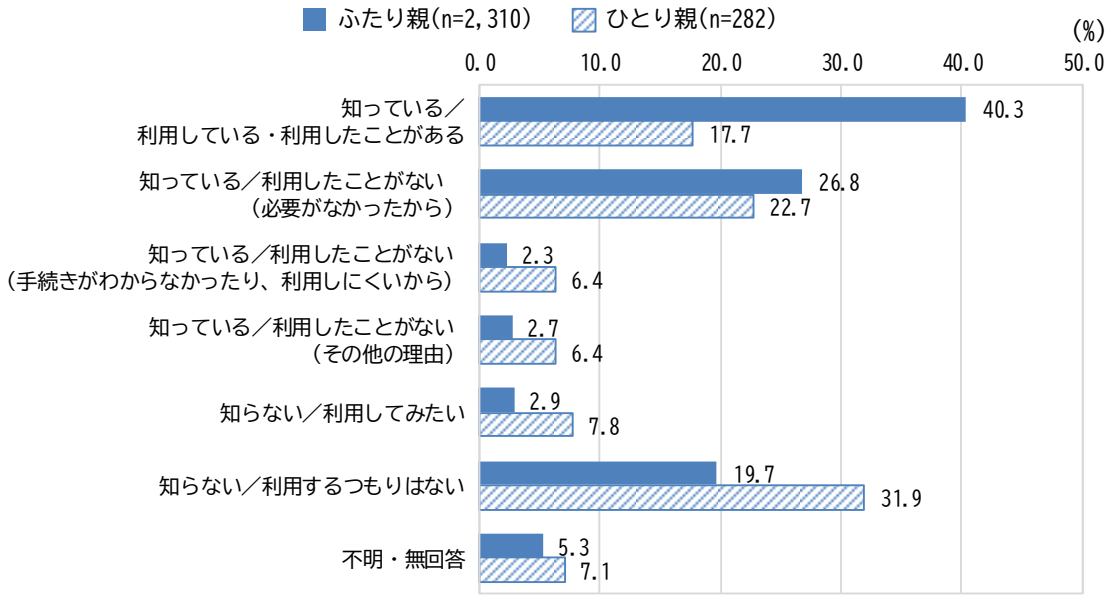
【支援制度・事業の認知と利用（地域子育て支援拠点）：収入の水準別】



世帯の状況別にみると、「ふたり親」の世帯では「知っている／利用している・利用したことがある」、「ひとり親」の世帯では「知らない／利用するつもりはない」が、最も高くなっています。

また、「ひとり親」の世帯では「知らない／利用してみたい」が「ふたり親」の世帯に比べてやや高くなっています。

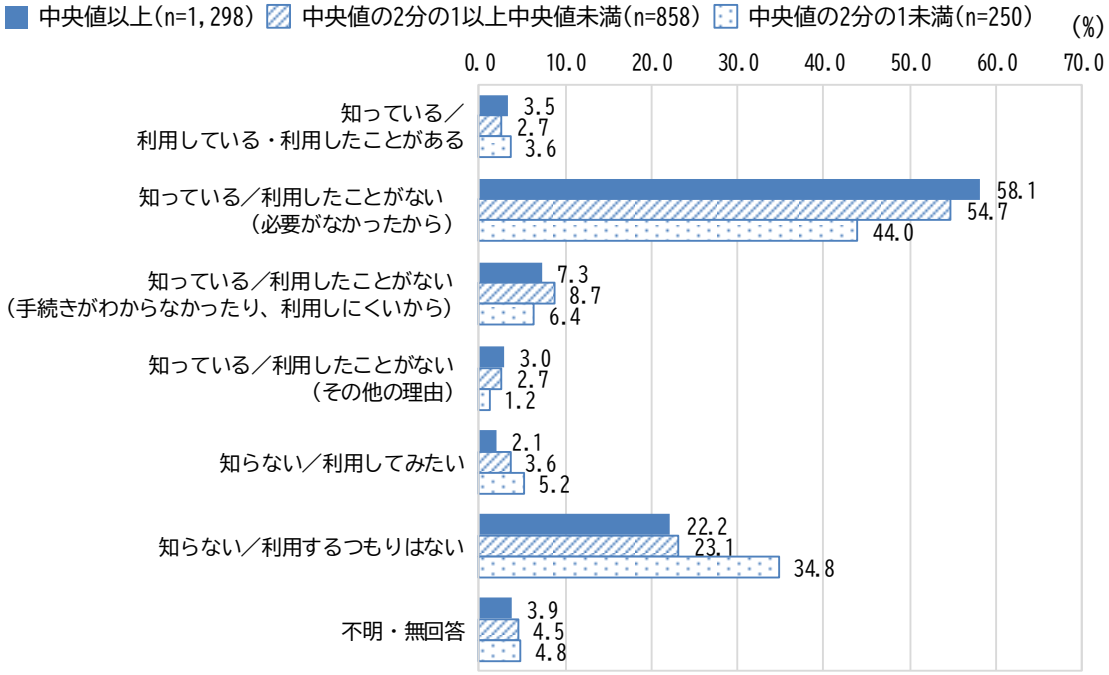
【支援制度・事業の認知と利用（地域子育て支援拠点）：世帯の状況別】



⑫　病児・病後児保育

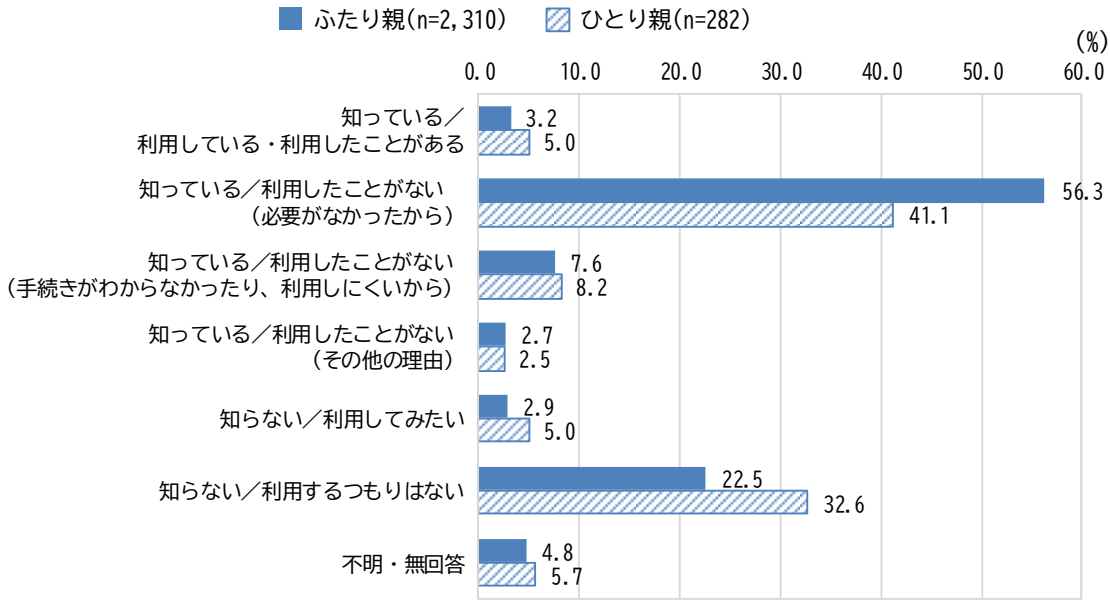
収入の水準別にみると、いずれの世帯でも「知っている／利用したことがない（必要がなかったから）」が最も高く、次いで「知らない／利用するつもりはない」となっています。

【支援制度・事業の認知と利用（病児・病後児保育）：収入の水準別】



世帯の状況別にみると、いずれの世帯でも「知っている／利用したことがない（必要がなかったから）」が最も高く、次いで「知らない／利用するつもりはない」となっています。

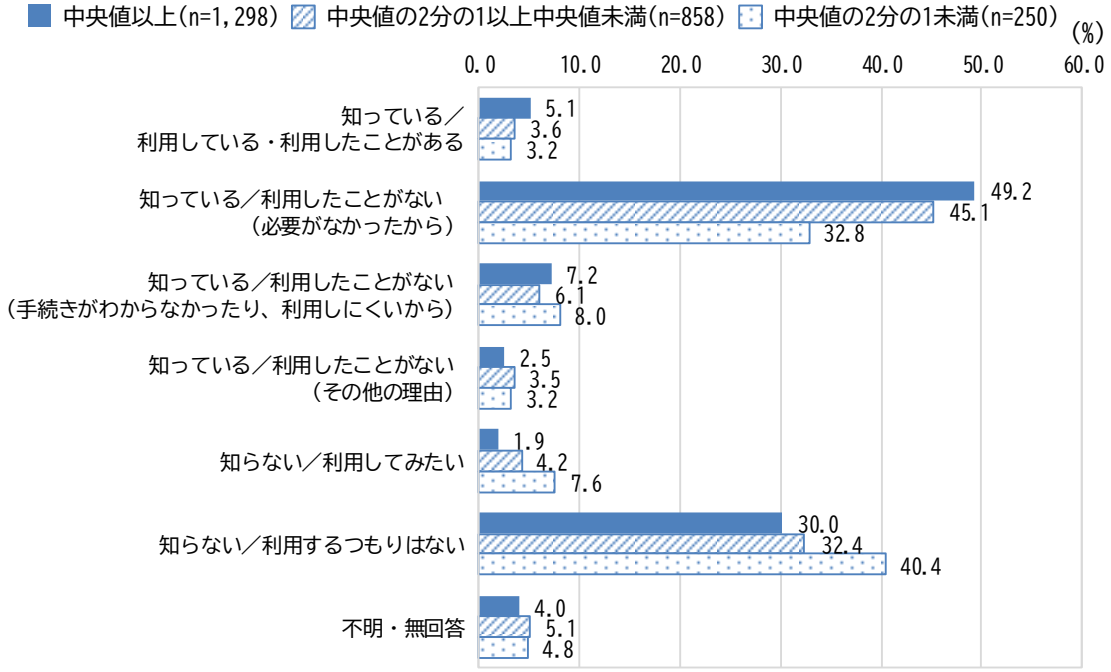
【支援制度・事業の認知と利用（病児・病後児保育）：世帯の状況別】



⑬　ファミリーサポートセンター

収入の水準別にみると、「中央値以上」の世帯及び「中央値の２分の１以上中央値未満」の世帯では「知っている／利用したことがない（必要がなかったから）」、「中央値の２分の１未満」の世帯では「知らない／利用するつもりはない」が、最も高くなっています。

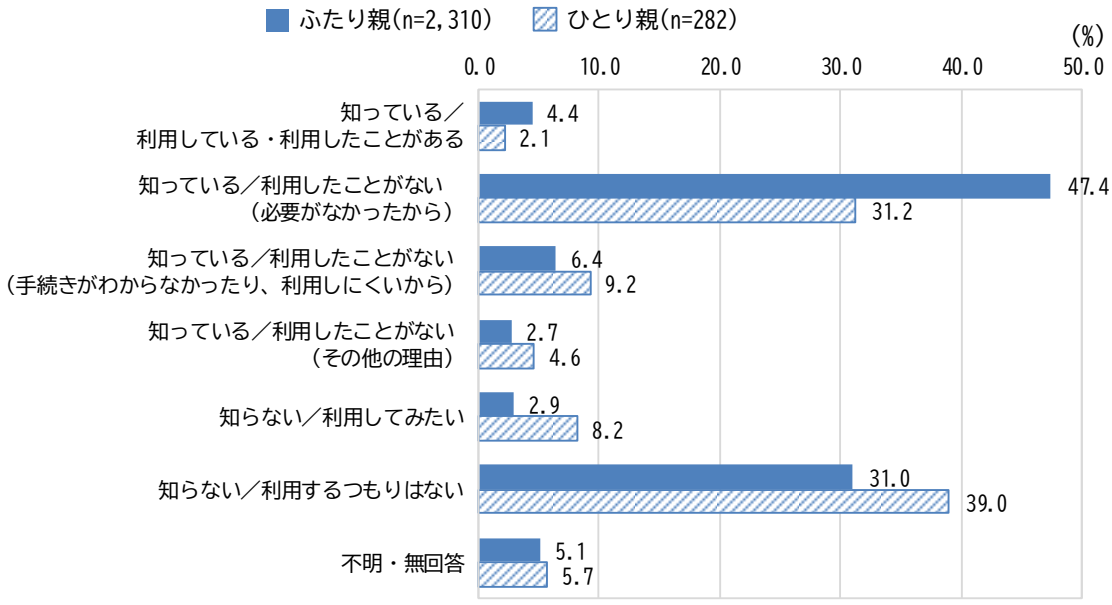
【支援制度・事業の認知と利用（ファミリーサポートセンター）：収入の水準別】



世帯の状況別にみると、「ふたり親」の世帯では「知っている／利用したことがない（必要がなかったから）」、「ひとり親」の世帯では「知らない／利用するつもりはない」が、最も高くなっています。

また、「ひとり親」の世帯では、「知らない／利用してみたい」が「ふたり親」の世帯に比べてやや高くなっています。

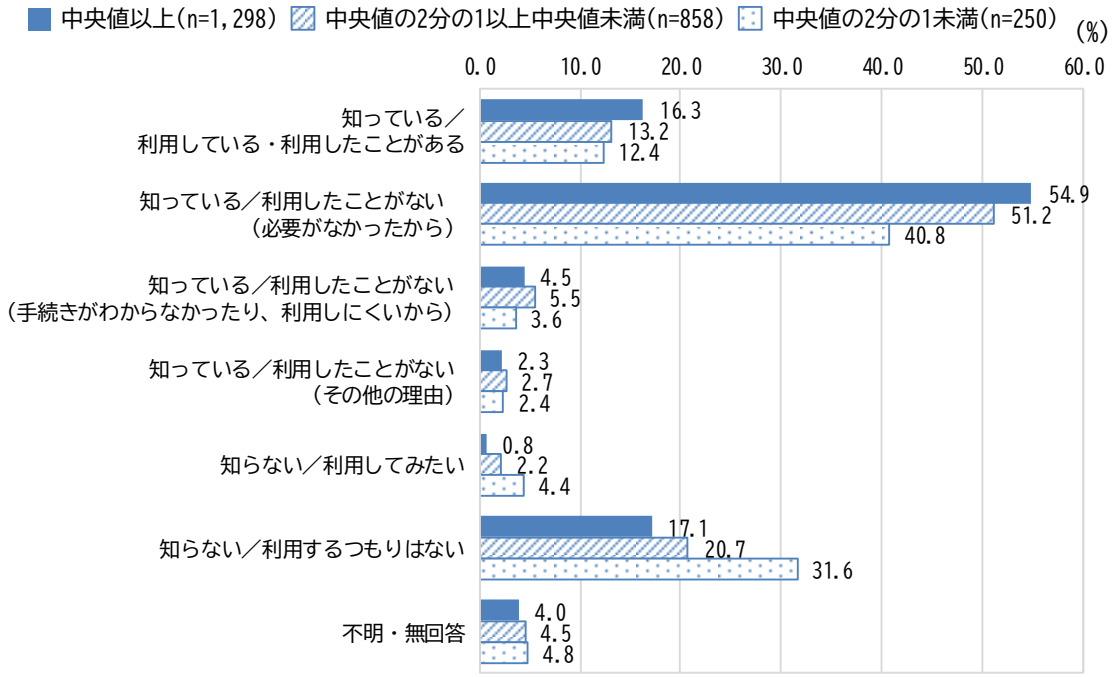
【支援制度・事業の認知と利用（ファミリーサポートセンター）：世帯の状況別】



⑭　一時保育

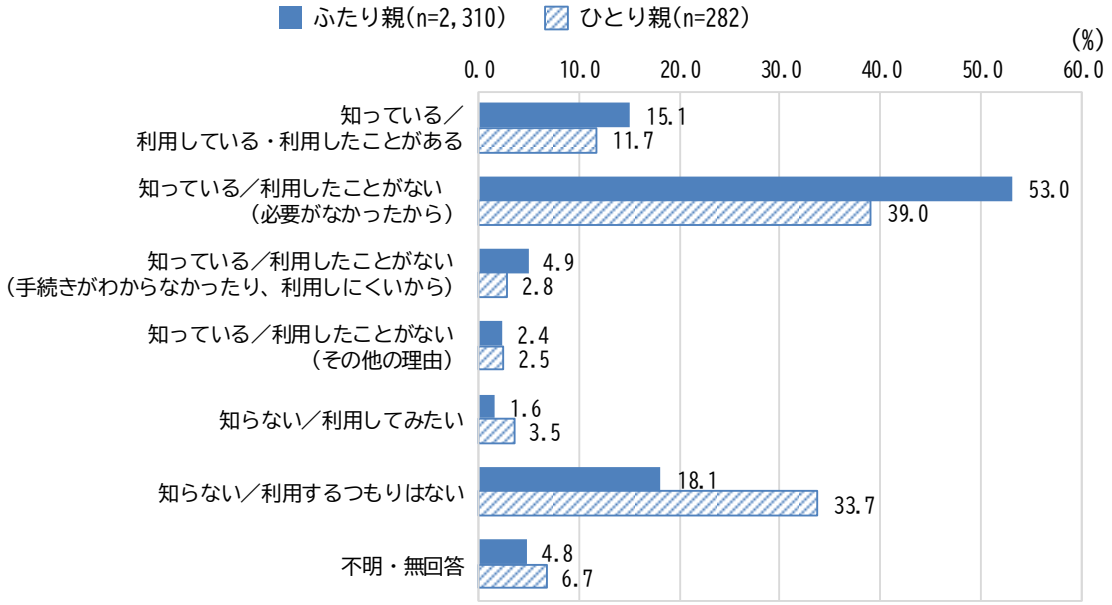
収入の水準別にみると、いずれの世帯でも「知っている／利用したことがない（必要がなかったから）」が最も高く、次いで「知らない／利用するつもりはない」となっています。

【支援制度・事業の認知と利用（一時保育）：収入の水準別】



世帯の状況別にみると、いずれの世帯でも「知っている／利用したことがない（必要がなかったから）」が最も高く、次いで「知らない／利用するつもりはない」となっています。

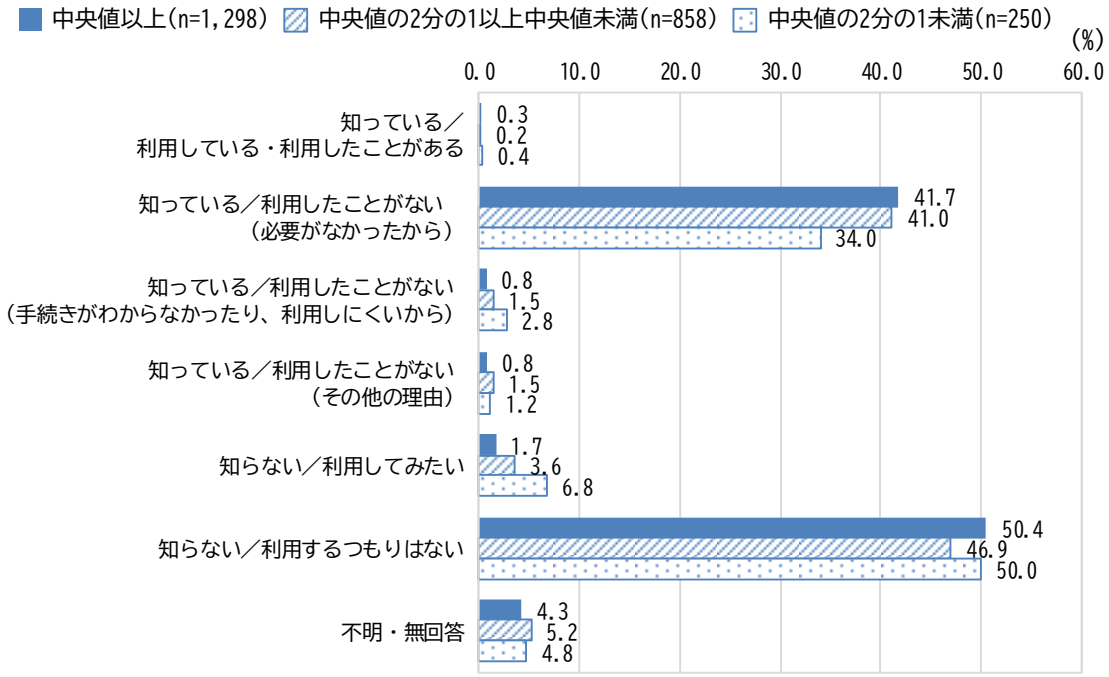
【支援制度・事業の認知と利用（一時保育）：世帯の状況別】



⑮　子育て短期支援事業

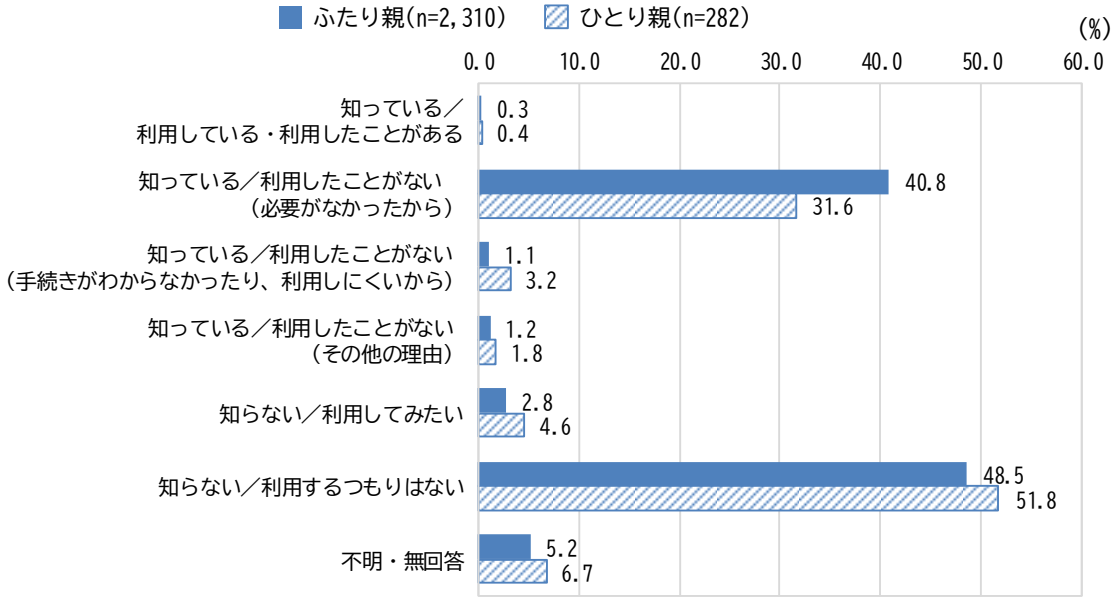
収入の水準別にみると、いずれの世帯でも「知らない／利用するつもりはない」が最も高く、次いで「知っている／利用したことがない（必要がなかったから）」となっています。

【支援制度・事業の認知と利用（子育て短期支援事業）：収入の水準別】



世帯の状況別にみると、いずれの世帯でも「知らない／利用するつもりはない」が最も高く、次いで「知っている／利用したことがない（必要がなかったから）」となっています。

【支援制度・事業の認知と利用（子育て短期支援事業）：世帯の状況別】

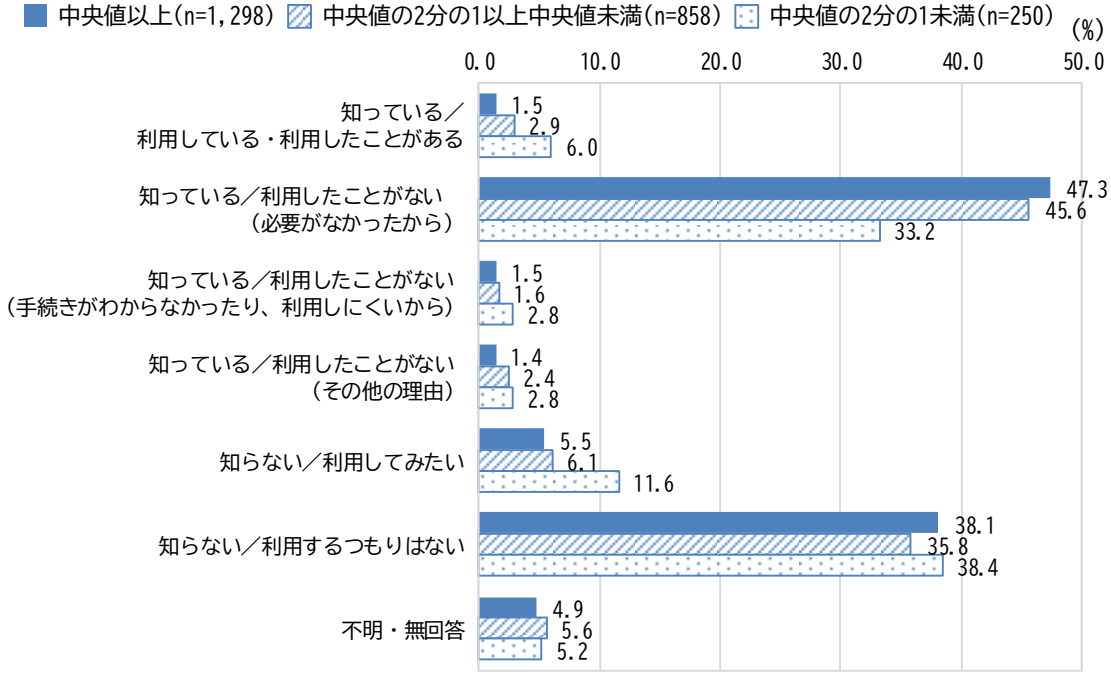


⑯　家庭児童相談

収入の水準別にみると、「中央値以上」の世帯及び「中央値の２分の１以上中央値未満」の世帯では「知っている／利用したことがない（必要がなかったから）」、「中央値の２分の１未満」の世帯では「知らない／利用するつもりはない」が、最も高くなっています。

また、「中央値の２分の１未満」の世帯では、「知らない／利用してみたい」が他の世帯に比べてやや高くなっています。

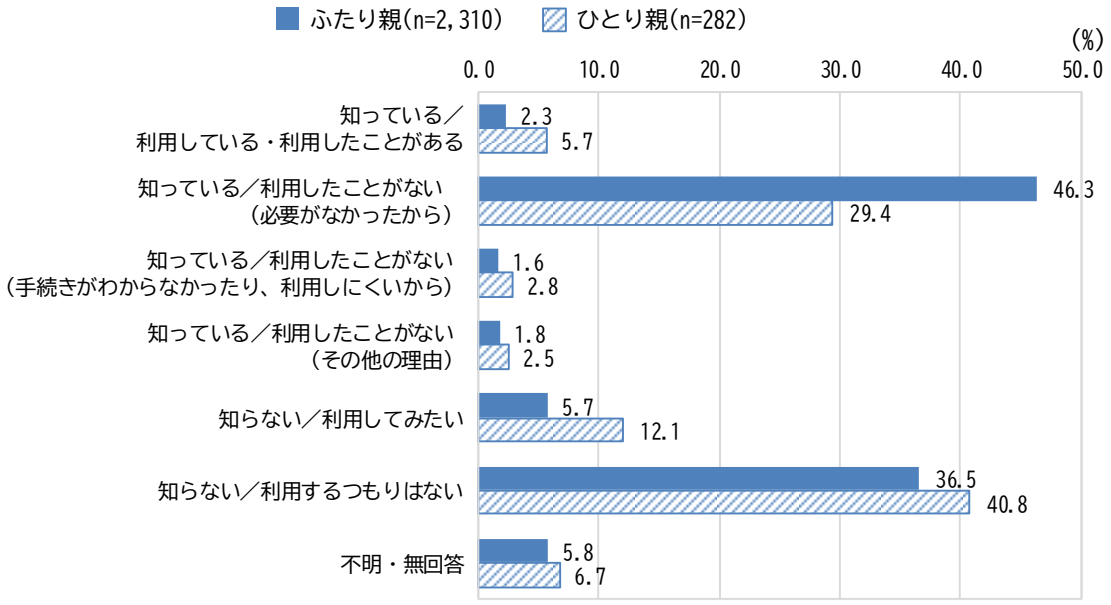
【支援制度・事業の認知と利用（家庭児童相談）：収入の水準別】



世帯の状況別にみると、「ふたり親」の世帯では「知っている／利用したことがない（必要がなかったから）」、「ひとり親」の世帯では「知らない／利用するつもりはない」が最も高くなっています。

また、「ひとり親」の世帯では「知らない／利用してみたい」が「ふたり親」の世帯に比べてやや高くなっています。

【支援制度・事業の認知と利用（家庭児童相談）：世帯の状況別】

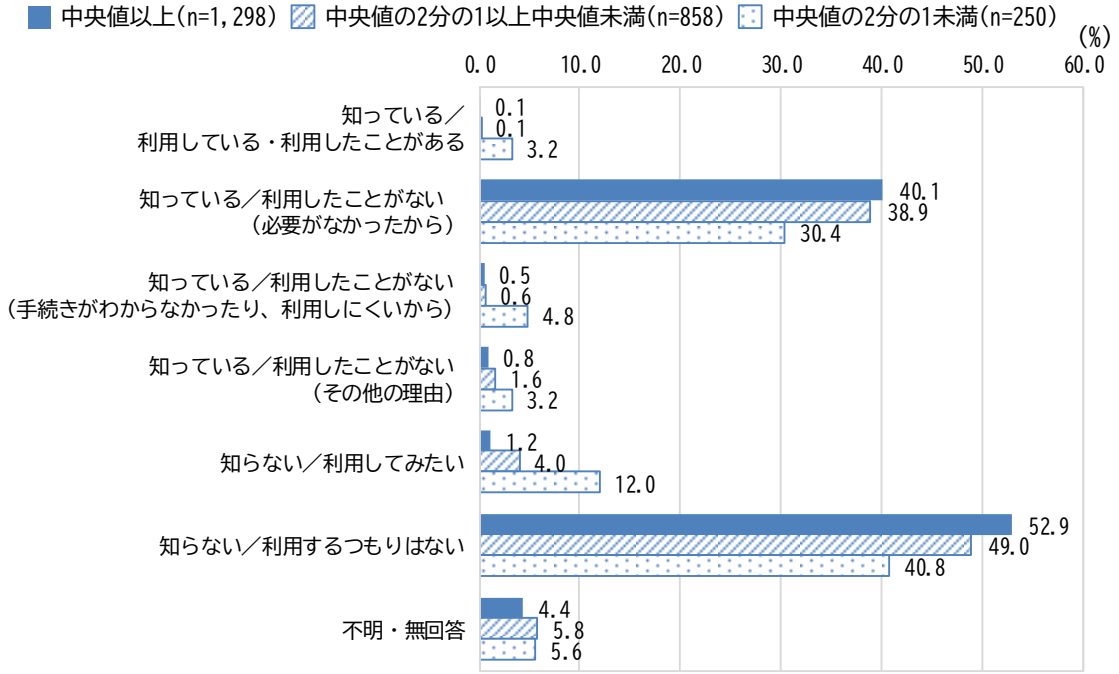


⑰　母子・父子自立支援員によるひとり親家庭相談・自立支援

収入の水準別にみると、いずれの世帯でも「知らない／利用するつもりはない」が最も高く、次いで「知っている／利用したことがない（必要がなかったから）」となっています。

また、「中央値の２分の１未満」の世帯では「知らない／利用してみたい」が他の世帯に比べて高くなっています。

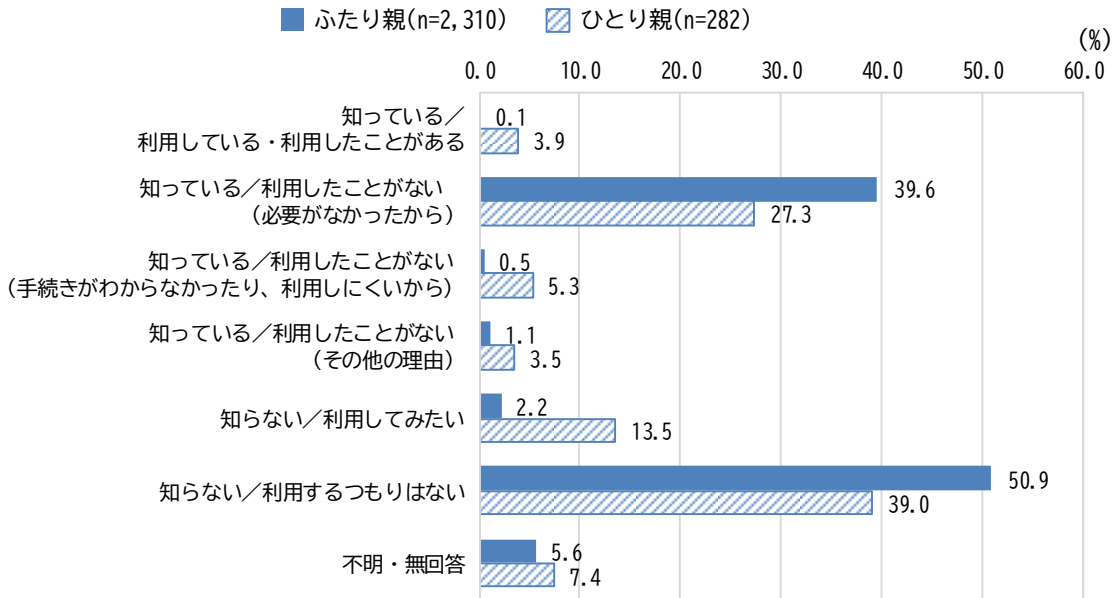
【支援制度・事業の認知と利用（ひとり親家庭相談・自立支援）：収入の水準別】



世帯の状況別にみると、いずれの世帯でも「知らない／利用するつもりはない」が最も高くなっています。

また、「ひとり親」の世帯では「知らない／利用してみたい」が「ふたり親」の世帯に比べて高くなっています。

【支援制度・事業の認知と利用（ひとり親家庭相談・自立支援）：世帯の状況別】

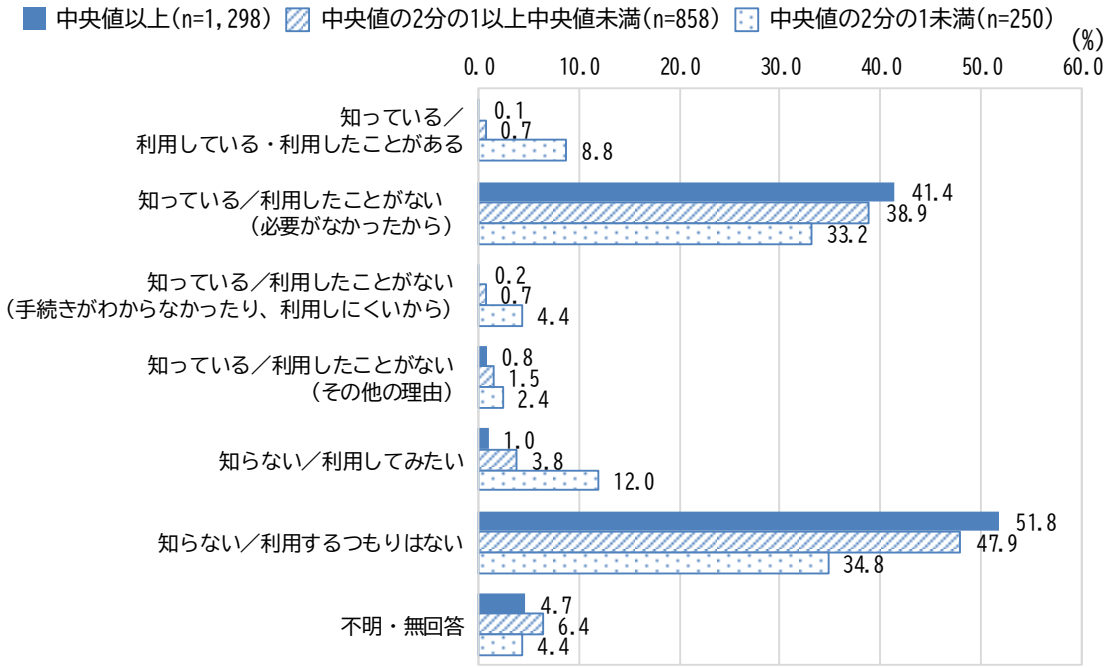


⑱　ひとり親家庭に対する就労相談・就労支援

収入の水準別にみると、いずれの世帯でも「知らない／利用するつもりはない」が最も高く、次いで「知っている／利用したことがない（必要がなかったから）」となっています。

また、「中央値の２分の１未満」の世帯では、「知らない／利用してみたい」が他の世帯に比べて高くなっています。

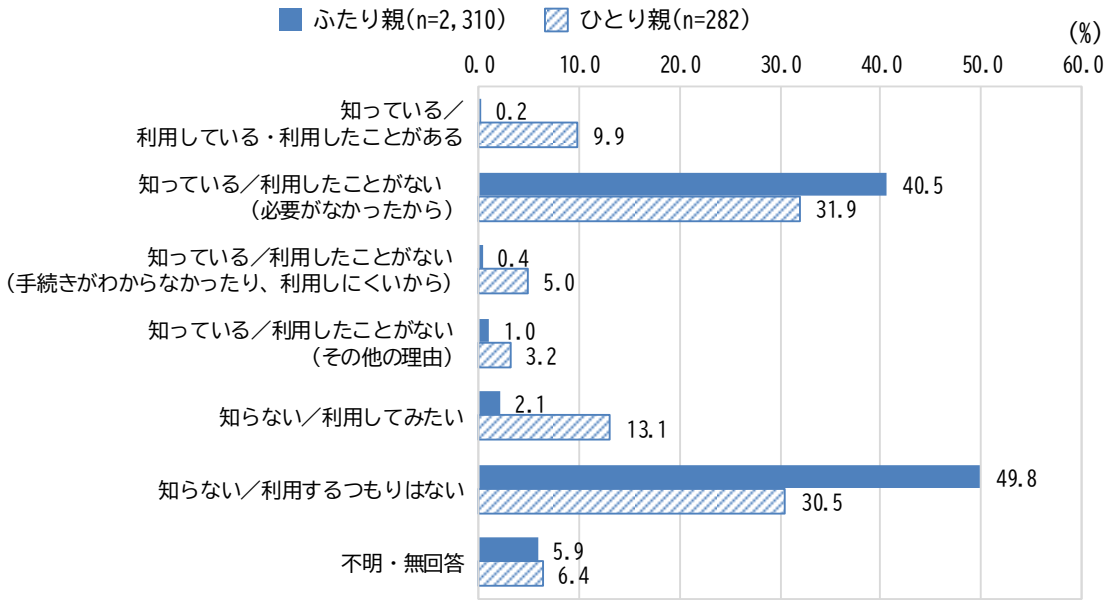
【支援制度・事業の認知と利用（ひとり親家庭に対する就労相談・就労支援）：収入の水準別】



世帯の状況別にみると、「ふたり親」の世帯では「知らない／利用するつもりはない」、「ひとり親」の世帯では「知っている／利用したことがない（必要がなかったから）」が、最も高くなっています。

また、「ひとり親」の世帯では、「知らない／利用してみたい」が「ふたり親」の世帯に比べて高くなっています。

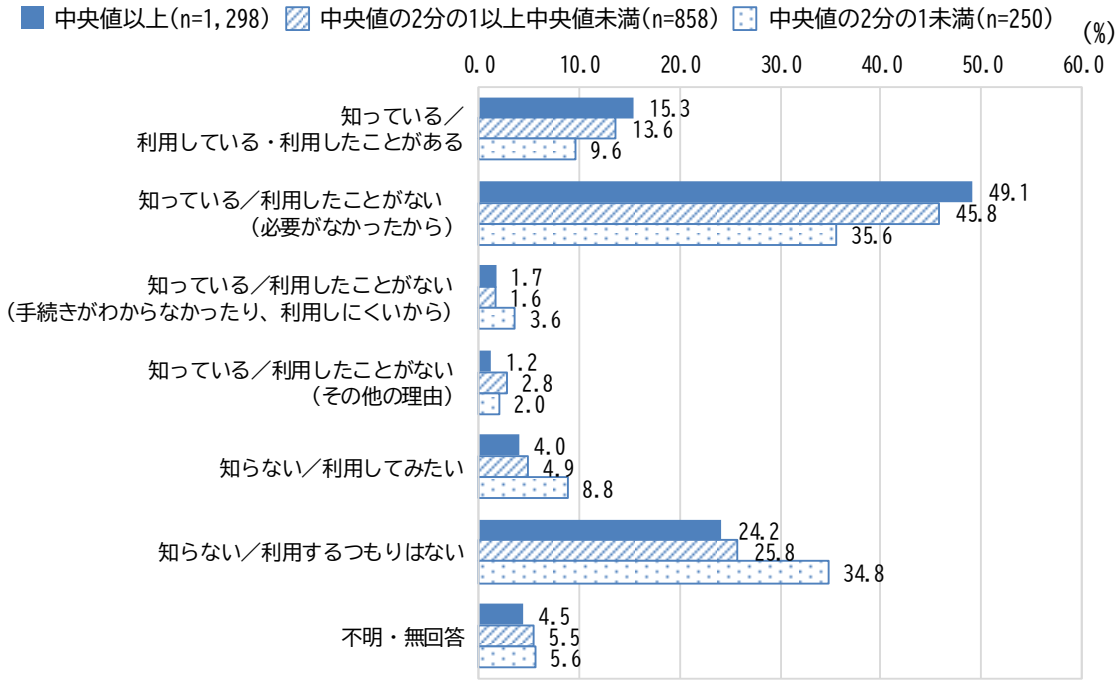
【支援制度・事業の認知と利用（ひとり親家庭に対する就労相談・就労支援）：世帯の状況別】



⑲　保健センター等の健康相談

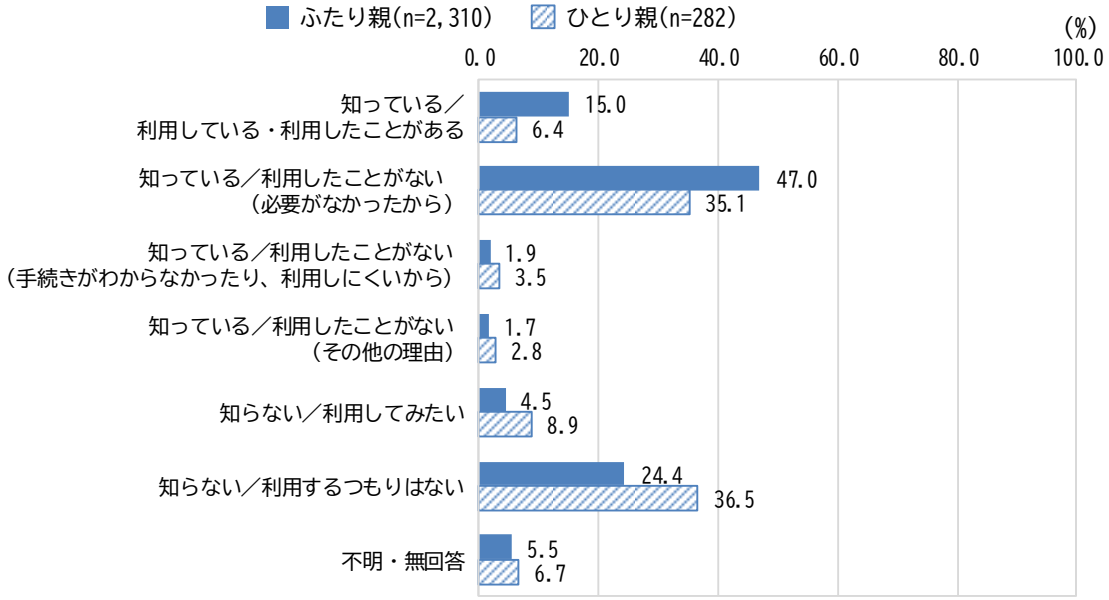
収入の水準別にみると、いずれの世帯でも「知っている／利用したことがない（必要がなかったから）」が最も高く、次いで「知らない／利用するつもりはない」となっています。

【支援制度・事業の認知と利用（保健センター等の健康相談）：収入の水準別】



世帯の状況別にみると、「ふたり親」の世帯では「知っている／利用したことがない（必要がなかったから）」、「ひとり親」の世帯では「知らない／利用するつもりはない」が最も高くなっています。

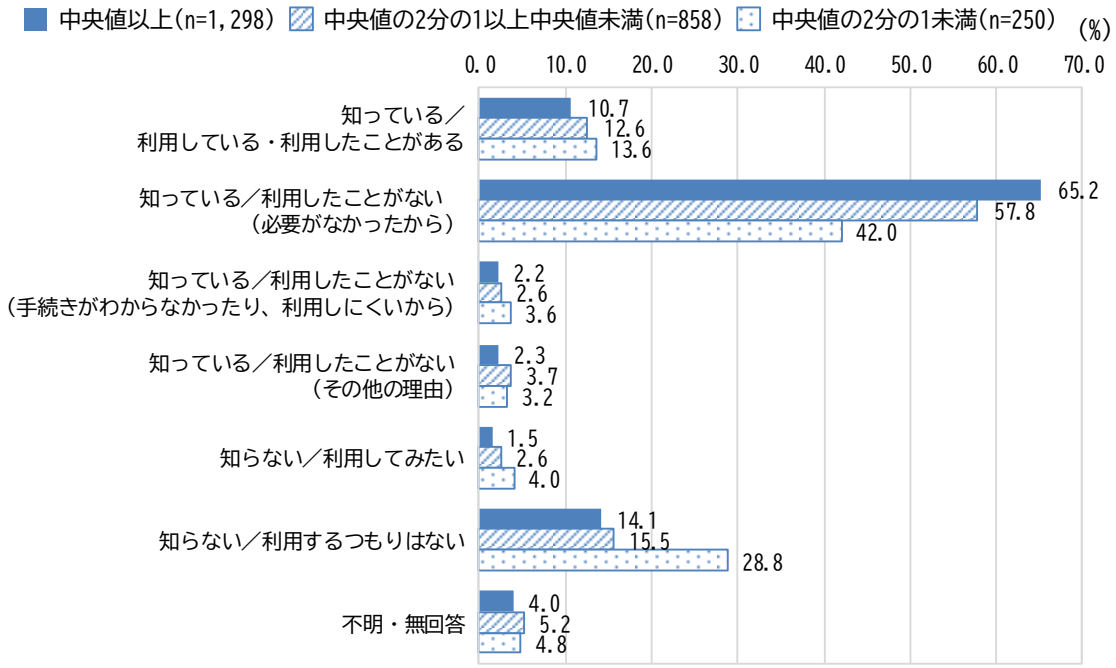
【支援制度・事業の認知と利用（保健センター等の健康相談）：世帯の状況別】



⑳　スクールカウンセラー・スクールソーシャルワーカー

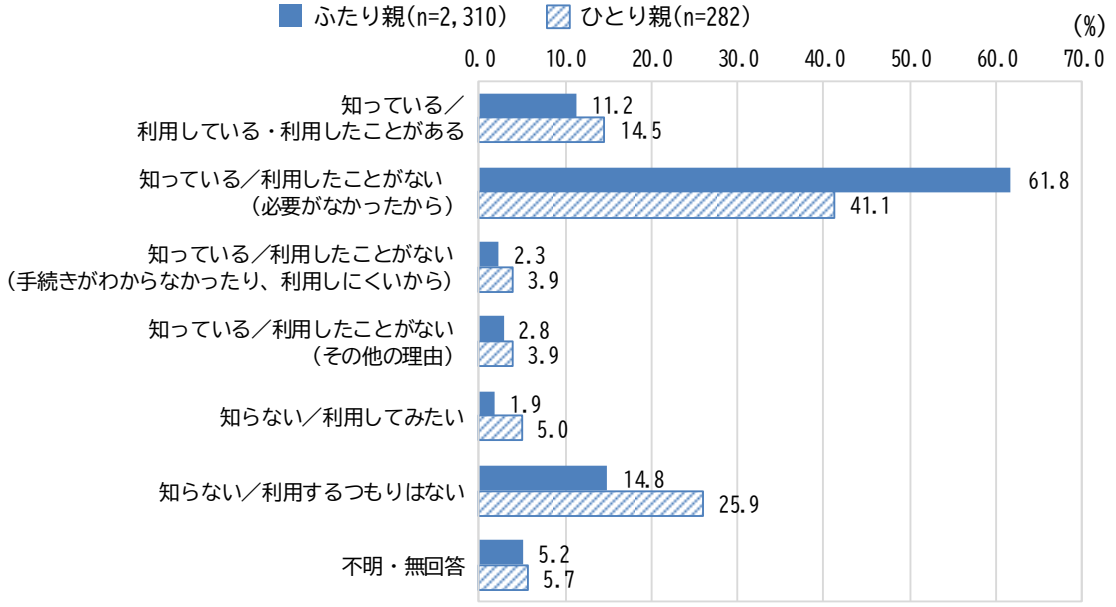
収入の水準別にみると、いずれの世帯でも「知っている／利用したことがない（必要がなかったから）」が最も高く、次いで「知らない／利用するつもりはない」となっています。

【支援制度・事業の認知と利用（ｽｸｰﾙｶｳﾝｾﾗｰ・ｽｸｰﾙｿｰｼｬﾙﾜｰｶｰ）：収入の水準別】



世帯の状況別にみると、いずれの世帯でも「知っている／利用したことがない（必要がなかったから）」が最も高く、次いで「知らない／利用するつもりはない」となっています。

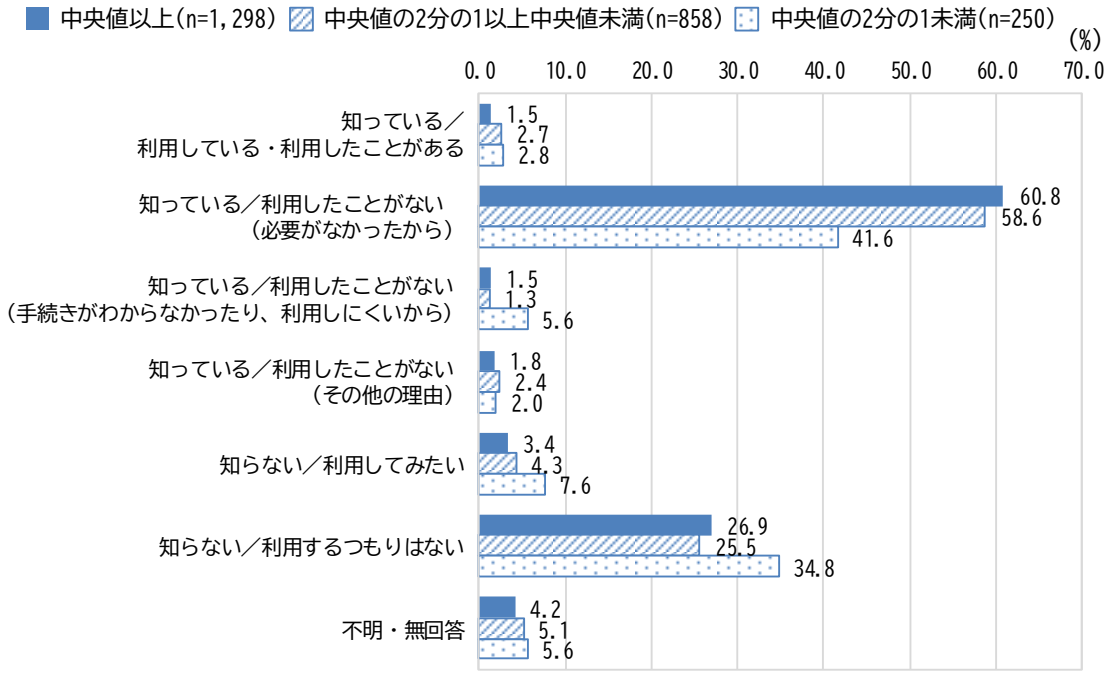
【支援制度・事業の認知と利用（ｽｸｰﾙｶｳﾝｾﾗｰ・ｽｸｰﾙｿｰｼｬﾙﾜｰｶｰ）：世帯の状況別】



㉑　姫路っ子悩み相談

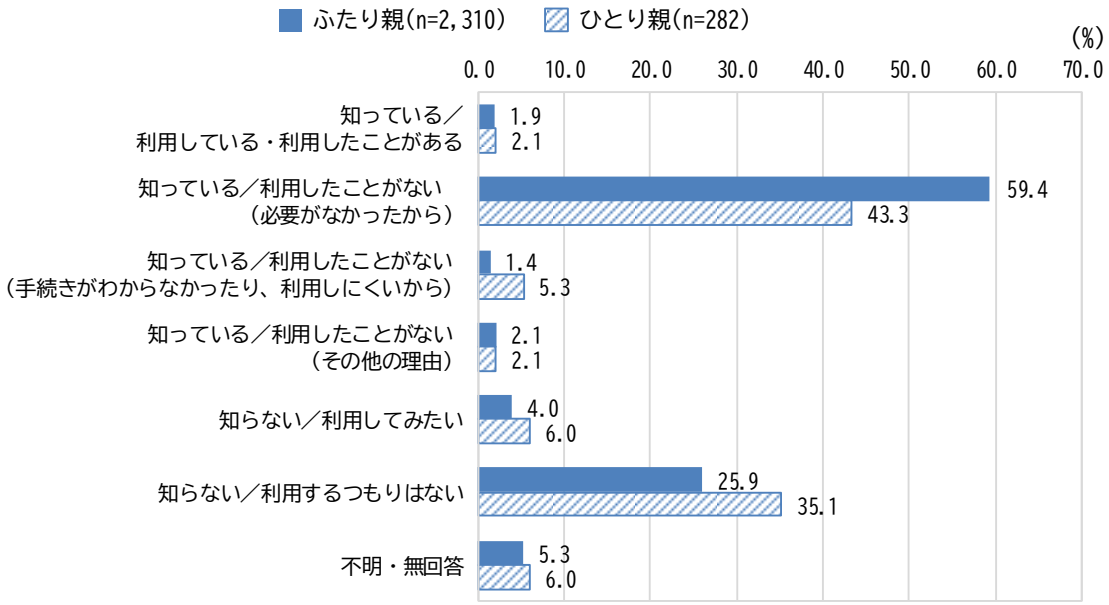
収入の水準別にみると、いずれの世帯でも「知っている／利用したことがない（必要がなかったから）」が最も高く、次いで「知らない／利用するつもりはない」となっています。

【支援制度・事業の認知と利用（姫路っ子悩み相談）：収入の水準別】



世帯の状況別にみると、いずれの世帯でも「知っている／利用したことがない（必要がなかったから）」が最も高く、次いで「知らない／利用するつもりはない」となっています。

【支援制度・事業の認知と利用（姫路っ子悩み相談）：世帯の状況別】

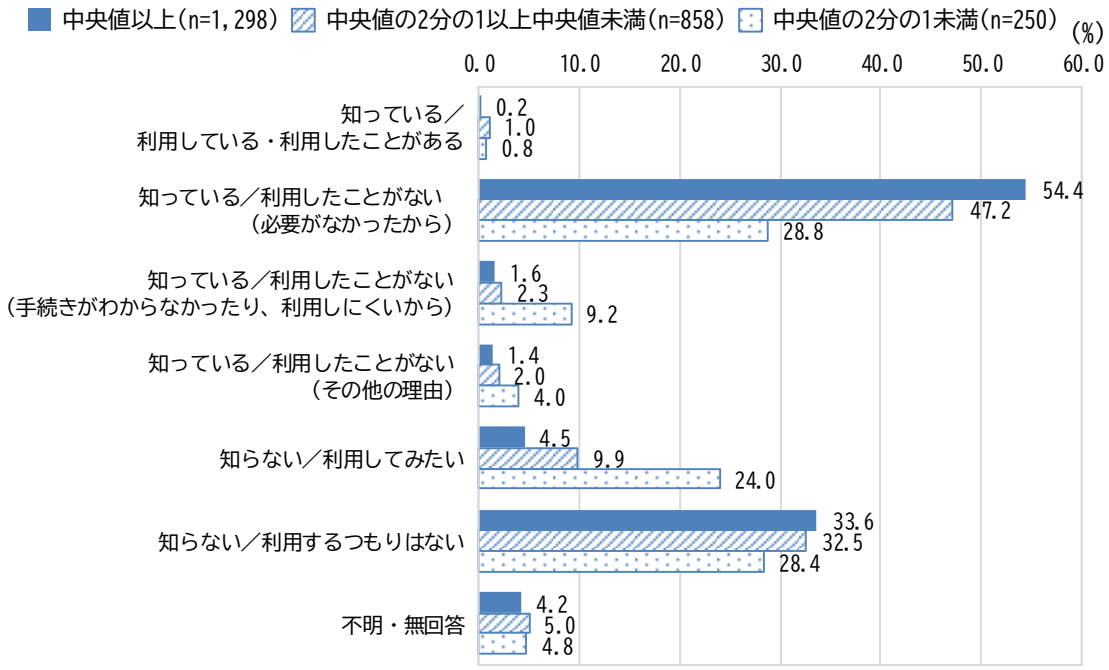


㉒　フードバンク　※食料品を受け取る側での利用

収入の水準別にみると、いずれの世帯でも「知っている／利用したことがない（必要がなかったから）」が最も高くなっています。

また、「中央値の２分の１未満」の世帯では「知らない／利用してみたい」が他の世帯に比べて高くなっています。

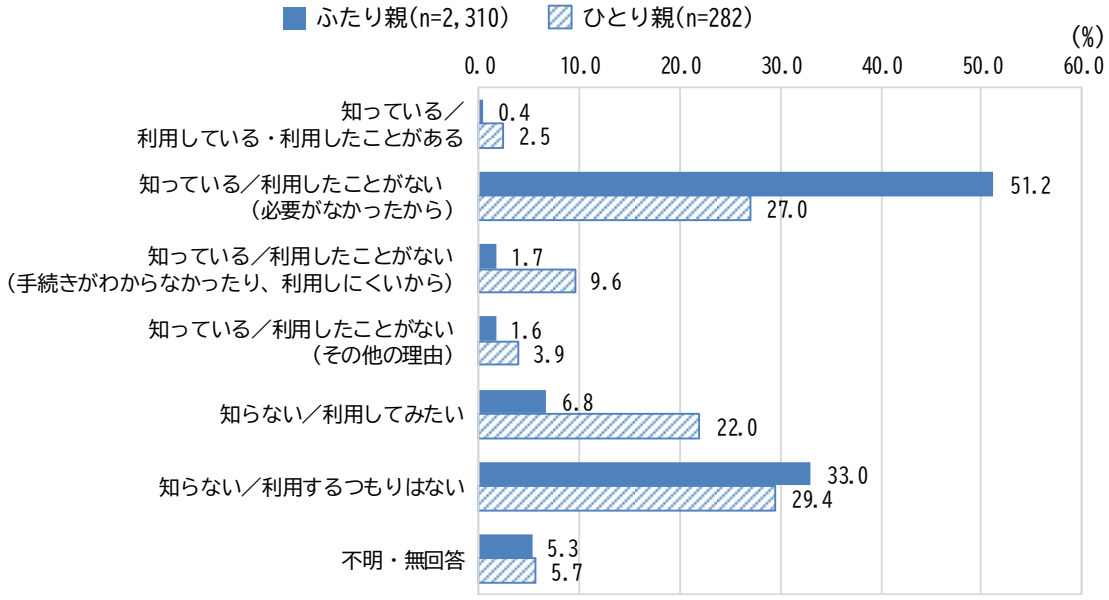
【支援制度・事業の認知と利用（フードバンク）：収入の水準別】



世帯の状況別にみると、「ふたり親」の世帯では「知っている／利用したことがない（必要がなかったから）」、「ひとり親」の世帯では「知らない／利用するつもりはない」が最も高くなっています。

また、「ひとり親」の世帯では「知らない／利用するつもりはない」が「ふたり親」の世帯に比べて高くなっています。

【支援制度・事業の認知と利用（フードバンク）：世帯の状況別】



5　自由意見

問 40　最後に、子どもの養育・教育環境の充実など、子育て家庭への支援に関してご意見・ご要望がありましたら、自由にご記入ください。

調査票に自由意見欄を設けたところ、646 人（全体の 24.5%）から意見が寄せられました。
主な意見は、以下のとおりです（表現は一部変更している場合があります）。

＜教育費について＞

- 私立高等学校の授業料をもっと安くしてほしい。子どもが私立の通信科に通っているが、毎年 50 万円の授業料が必要。母子家庭なので収入も少なく、借金をして授業料を払っている。
- 私立高校の授業料無償化を要望します。姫路市でも県立高校の統廃合を控え、受験に関して全く先が読めない状況だと感じます。志望した公立高校に行けず私立高校へ進学した場合、金銭的な面から大学進学はあきらめるなど、子どもの将来に差が出ることがあっては本当に残念です。
- これからのライフプランをたてた時、大学の資金や親の介護などにかかる費用が足りるのか心配で、教育(学校外)にかける資金や旅行などをセーブしてしまう。義務教育～高校までの費用無料などになると助かる。
- 将来のことを考えると、子ども３人を大学へ進学させてやりたいが、学費等の負担が大きい。また、奨学金は返済が就職後に子供の負担になるので、負担減になる制度を作って欲しい。
- 大学支援がほしい。低所得や大家族はクローズアップされ支援されるが、ギリギリでやりくりしている家庭も多い。学びたいけど学びたい大学に行けない、家から通えて、浪人できずレベルを落とすなどの制限がかかることに対して、支援があれば助かる。
- 子どもの人数が多いと､教育するのにお金がかかることを実感しています｡義務教育の間は色々と支援を受けられる環境にあるのは、ありがたいことなのですが、やはり年齢が上がるにつれて莫大なお金がかかるので、正直、子どもがたくさんいても幸せとは限らない…と思ってしまう自分が悲しいです。
- すべての子どもたちが家庭の中で元気にすごす事ができて、自由に進路を選べる、あきらめる事なく進めるようにしてほしい。生活に困らなくても子供にかかるお金の負担は大きいです。金銭面で進路をあきらめることがないようにしてほしい。
- 小・中まではタブレットの貸し出しがあるのに、高校なぜ購入が絶対なのでしょうか？入学金や体操服や学校にまとまってかかるので、きょうだいで卒業と入学が重なると出費がすごくて大変です。
- 学校で必要な習字道具、裁縫道具、制服等必要なのに高額です。一時的に短時間しか使わないのに出費の負担が大きいように思います。
- 他市で実施されている、習い事・塾代助成事業を姫路市でも行っていただけると、子どもに色んな経験をさせてあげられるきっかけになるのではと考えます。
- 中学校の部活動を子どもが頑張っているので、応援し、必要な物品は購入するが、各家庭での負担が多い。物品の購入が出来ないのでと、部活動をしたくてもさせない家庭もある。子ども達が、希望する事が出来る様に補助をしていただきたい。

＜給食費について＞

・　給食費について、子どもの数に関係なく無償になると、非常にありがたいです。
・　給食費を免除にしてほしい。今は何でも値上がりして厳しいです。子どもの数に関係なく、平等にしてほしい。

＜子どもの医療費について＞

・　中学校、高校からがお金がかかるので、医療費は１８歳まではかからないようにしてほしい。
・　同じ世帯年収でも子どもの人数で医療費がかかる世帯とかからない世帯があるというのはどうしてか分からない。所得制限があるため軽い症状では病院には行くことができないため困ることもある。姫路市に住むすべての子供が平等になることを希望します。

＜教育環境や教育現場について＞

・　学校教育が塾ありきの教育になりつつように思います。長期間塾へとなると金銭的に負担が大きくなります。学校や地域で学習サポートをしてもらえたら、塾なしで充実した学習ができるかなと思います。
・　中学が崩壊しすぎて、学校の行事がなくなったり、授業の邪魔をする生徒が多くて授業にならなかったりで、その分塾で補うしかない。来年受験生ですが、不安しかないです。不真面目な生徒をなんとかしてほしい。中学は託児所じゃありません。
・　中学の風紀が悪い為、子どもがまともに授業を受けられないと、登校拒否している状態です。改善を求めていますがほとんど変化がみられず、残りの中学生活が心配です。
・　自宅から中学校までの距離が遠く、徒歩 40 分。重い荷物を持ち、通学している。帰宅は季節により暗い中一人で帰る事になる。教科書など重い物はタブレット内へとり込むなど、荷物を減らす又は自転車の使用許可を頂きたい。
・　市立中学校の制服もセーラー服が多いが、気候の異常がある中で上着やセーター・カーディガン等、調節の出来ない時代遅れのままなのはいかがなものか考えてほしい。
・　子供の SNS トラブルで疲弊している教員の方々も目にします。本来の職務に支障をきたしていると思うので、一人担任制に限界があるように思います。パート教員さんを増員する等、よりよい教育現場にしていただきたいです。

＜子育て支援について＞

・　保育園に入りたくても、主婦なので中々入れない。働きたくても預け先が先に見つからないと働きに出られないので、そのような人へも公平に入れるようになればいいと思います。
・　夜、仕事が残業になって帰りが遅くなったときに、子どもがごはんを食べられたり、様子を見に行ってもらえたり、頼れる場所・人が欲しい。夫は単身赴任で頼れず、義理の両親や友人には頼みにくく、いつも子どもを待たせてしまいます。
・　子どもの体調不良で急に仕事を休まなければならない時、会社の人員不足により非常に休みにくい。子育て中の人でも働きやすい職場環境になるような制度があれば休みやすいと毎回感じている。
・　よく３人目に対する支援はあるが、「扶養が３人中」であるなど、子どもが１人抜けると３人目への援助が無くなる制度が多く、３人目の負担が全く軽減されていない。３人目の支援は条件なく教育期間が終わるまで支援する制度として欲しい。

・　オムツやミルクの無償チケット等、子育て支援を手厚くして下さい。食料の買い物の配達無料が出産後３年くらいあるといいと思います。
・　子ども４人育てているが、物価も高く生活が苦しい。世帯収入があるとみなされ、特に手当てもつかない。下の子は保育園に入れず仕事をやめることになってしまった。子育てが心身共に辛い。子どもの発育に不安があるが相談するまで待機が長い。引っ越しを考えている。
・　知らない援助・制度がたくさんある。利用できるかどうかではなく、制度の存在すら知らないことも多い。積極的に情報が提供されていると認知されやすい。

＜遊び場所・居場所について＞
・　子どもが安心してボール遊びなどができる公園が少ないです。フェンスの高い公園の設備を増やしてほしいです。どこで遊んでも注意されては子どもがかわいそうです。学校や園庭も使用してもいい日があってもいいのではないでしょうか。
・　中高生が放課後や休日などに利用できる自習施設の様な場所があると良いなと思います。図書館などありますが、午後６時までだったり、場所が遠かったりするので、もっと身近に遅くまで開いていると助かります。塾での自習時間にも料金が発生するので、余裕のない家庭への一助に、また、子どもたちの拠り所になればいいなと思います。

＜不登校の子どもへの支援について＞
・　学校（教室）に通うことが難しい子どもに開かれる教室、部屋があればいいと思うことがある。気軽に立ち寄れる居場所が多くあることで、心の安定や年齢にそぐわない場所への立ち入りを抑制する効果があると思います。
・　子どもは授業を受けて勉強したいと言っているが、過去のいじめが原因で学校に行くことが出来ない。しかし、月々の学校の諸費用を支払い、その上、フリースクールに通うには別に月謝がいるので学校とフリースクールの２重払いになる。
・　子どもが中学生で不登校です。市の窓口に相談したら相談予約は ３ ヶ月後でした。支援が行き届いているとは言えないと思います。不登校の子供・親への支援を充実させてください。

＜障害のある子どもへの支援について＞
・　子どもが発達障害とは思いませんが、グレーゾーンだと思っています。発達障害には支援があるのに対しグレーゾーンは難しいと思いますが、ご支援願います。不登校につながるような「からかい」などが出てこないか心配です。
・　自閉症の子どもの親です。小学校では手厚くしていただき助かりましたが、中学校ではなかなか具体的な事が出来ていない。学校全体で動けるようにしてほしいです。
・　IQ85 の子どもについて回答しました。市内の私立高校への進学は難しく、特別支援の高等部の適応でもない様です。遠方の私学を進められましたが、通学となると難しい様です。どこでどんな療育が受けられるか、進路の事など相談先が身近に見つけにくいです。
・　起立性調節障害の子どもがいます。体調不安により不登校が続き、母である私が家で共に、学業・体調改善をしてきました。その間、仕事を休む事になり、収入が大きく変わり、生活の不安が積もってきました。医師の診断があれば、少しでも補助金制度があればと思いました。

Ⅳ　参考資料（調査票）

【子ども用調査票】

姫路市　子どもの生活実態調査

【ご協力のお願い】

このアンケートは、姫路市の小学５年生・中学２年生のみなさんの、学校や家での生活の様子や悩みごと、困りごとについて質問します。

回答にかかる時間は、１５分～２０分くらいです。みなさんのまわりにある問題を解決し、みなさんの将来をよくするために行うアンケートです。ぜひ協力してください。

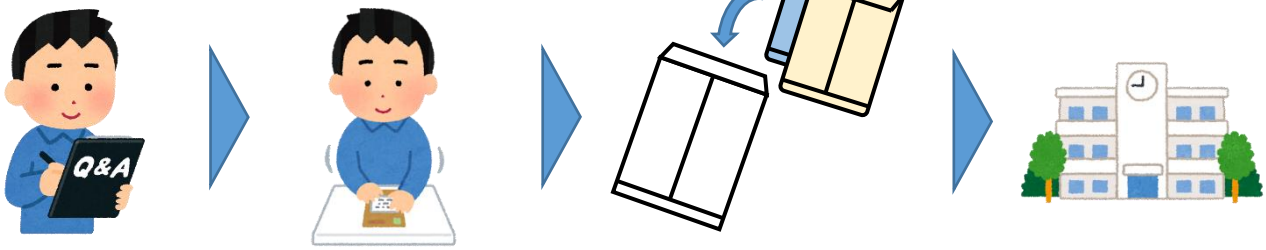
令和５年１２月

姫路市長　清元　秀泰

記入に当たってのお願い

1. この用紙には、名前を書かないでください。
2. 回答は、自分自身が思うことを答えてください。保護者の人に見せる必要はありません。
3. このアンケートは、学校の成績には関係ありません。また、学校の先生があなたや保護者の人の回答を見ることは、ぜったいにありません。

調査票の提出について



①アンケート用紙に答えを書き込む

②水色の封筒に入れてテープで封をする

③封をした水色の封筒とピンク色の封筒(保護者用)を、白色の「配付・回収用封筒」に入れて、封をする

④学校で担任の先生に提出する

1月16日まで

アンケートの内容や答え方でわからないことがある場合の問い合わせ先

姫路市こども未来局こども育成部　こども総務課

電話：０７９－２２１－１５６０（調査期間だけ利用できます）

※学校には問い合わせないでください。

整理番号【　　】

※整理番号は、集計結果を整理するためのもので、**回答者がだれかを特定するものではありません。**

【答え方】

1. 答えは、質問の後のあてはまる番号に○をつけてください。
2. 質問には、１つの番号だけを選ぶ場合と、あてはまるすべての番号を選ぶ場合と、（　　）の中に数字を記入する場合があります。
3. 「その他」に○をした場合は、（　　）の中に自分が思う答えを書いてください。
4. 質問が分かりにくかったり、答えにくかったり、答えたくないと思った場合は、答えなくてかまいません。

あなた自身について

問１　あなたの性別を教えてください。

（あてはまる番号<u>１つ</u>に○をつけてください。）

1	男
2	女
3	その他（どちらともいえない・わからない・答えたくない）

問２へ進んでください

問２　あなたの学年を教えてください。

（あてはまる番号<u>１つ</u>に○をつけてください。）

1	小学５年生
2	中学２年生

問３へ進んでください

学校生活について

問３　あなたは、学校の授業以外に、ふだん一日あたり大体どのくらいの時間、勉強しますか。（学校の宿題をする時間や、塾などでの勉強時間も含みます。）

（それぞれ、あてはまる番号<u>１つ</u>に○をつけてください。）

⑴ 学校がある日（月～金曜日）	⑵ 学校がない日（土・日・祝日）
１　まったくしない	１　まったくしない
２　３０分より少ない	２　３０分より少ない
３　３０分以上、１時間より少ない	３　３０分以上、１時間より少ない
４　１時間以上、２時間より少ない	４　１時間以上、２時間より少ない
５　２時間以上、３時間より少ない	５　２時間以上、３時間より少ない
６　３時間以上	６　３時間以上

問４へ進んでください

問４　あなたは、学校の勉強がわからないことがありますか。

（あてはまる番号<u>１つ</u>に○をつけてください。）

１　いつもわかる	４　わからないことが多い
２　だいたいわかる	５　ほとんどわからない
３　教科によってはわからないことがある	

「１」「２」と回答した人は、問６へ進んでください

「３」「４」「５」と回答した人は、問５へ進んでください

問５　問４で「３」「４」「５」と回答した人だけお答えください。

あなたは、いつごろから、学校の勉強がわからないようになりましたか。

⑴ 小学５年生の人は、以下の中からあてはまる番号**１つ**に○をつけてください。	⑵ 中学２年生の人は、以下の中からあてはまる番号**１つ**に○をつけてください。
１　小学１・２年生のころ ２　小学３・４年生のころ ３　小学５年生になってから ４　わからない・答えたくない	１　小学１・２年生のころ ２　小学３・４年生のころ ３　小学５・６年生のころ ４　中学１年生のころ ５　中学２年生になってから ６　わからない・答えたくない

問６へ進んでください

問６　あなたは、学校を欠席したり、ちこくや早たいをすることがありますか。

（それぞれ、あてはまる番号**１つ**に○をつけてください。）

⑴ 欠席について	⑵ ちこく・早たいについて
１　ほとんど欠席しない ２　たまに欠席する ３　よく欠席する ４　わからない・答えたくない	１　ほとんどしない ２　たまにする ３　よくする ４　わからない・答えたくない

問７へ進んでください

問７　あなたの学校生活などにおいて、以下の中であてはまるものはありますか。

（あてはまる番号**すべて**に○をつけてください。）

1　授業中に寝てしまうことが多い	6　学校では一人で過ごすことが多い
2　宿題ができていないことが多い	7　友だちと遊んだり、おしゃべりしたりする時間が少ない
3　持ち物の忘れ物が多い	8　修学旅行などの宿泊行事を休む
4　提出物を遅れて出すことが多い	9　習いごとを休むことが多い
5　保健室で過ごすことが多い	10　特にない

問８へ進んでください

問８　あなたは、将来、どの段階まで進学したいですか。

（あてはまる番号**１つ**に○をつけてください。）

1　中学校まで	4　大学・大学院まで
2　高校まで	5　まだわからない・答えたくない
3　短期大学・高等専門学校・専門学校まで	

「1」「2」「3」「4」と回答した人は、問９へ進んでください
「5」と回答した人は、問 10 へ進んでください

問９　問８で「１」「２」「３」「４」と回答した人だけお答えください。

あなたがそう思う理由を教えてください。

（あてはまる番号**すべて**に○をつけてください。）

1　希望する学校や職業があるから	5　家にお金がないと思うから
2　自分の成績から考えて	6　早く働く必要があるから
3　親がそう言っているから	7　その他 （　　）
4　きょうだいや親せきがそうしているから	8　特に理由はない

問 10 へ進んでください

学校外の勉強方法や習いごとなどについて

問 10　あなたは、勉強をするにあたり、学校の授業や宿題以外に、塾や家庭教師、通信教材を利用することがありますか。(習字やそろばんなどの習いごとは含みません。)

(あてはまる番号**1つ**に○をつけてください。)

1　利用することがある

2　利用することはない

「1」と回答した人は、問 12 へ進んでください
「2」と回答した人は、問 11 へ進んでください

問 11　問 10 で「2」と回答した人だけお答えください。

あなたが塾や家庭教師、通信教材を利用しない理由を教えてください。

(あてはまる番号**すべて**に○をつけてください。)

1　勉強ができているので必要ないから

2　学校の部活動(クラブ活動)をがんばっているから

3　習いごとをがんばっているから

4　家族と一緒に過ごす時間を大事にしたいから

5　遊んだり、自分の好きなことをする時間を大事にしたいから

6　一緒にやる友だちがいないから

7　お金がかかるから

8　家事や家族のお世話を優先したいから

9　その他(　　)

10　わからない・答えたくない

問 12 へ進んでください

問 12　あなたは、習字やそろばん、ピアノ、スポーツなどの習いごとをしていますか。
（あてはまる番号**1つ**に○をつけてください。）

1　している
2　していない

「1」と回答した人は、問 14 へ進んでください
「2」と回答した人は、問 13 へ進んでください

問 13　問 12 で「2」と回答した人だけお答えください。
あなたが習いごとをしていない理由を教えてください。
（あてはまる番号**すべて**に○をつけてください。）

1　学校の勉強をがんばっているから
2　学校の部活動（クラブ活動）をがんばっているから
3　塾や家庭教師、通信教材をがんばっているから
4　家族と一緒に過ごす時間を大事にしたいから
5　遊んだり、自分の好きなことをする時間を大事にしたいから
6　一緒にやる友だちがいないから
7　お金がかかるから
8　家事や家族のお世話を優先したいから
9　その他（　　）
10　わからない・答えたくない

中学 2 年生の人は、問 14 へ進んでください
小学 5 年生の人は、問 16 へ進んでください

問 14　中学２年生の人だけお答えください。小学５年生の人は問 16 へ進んでください。

あなたは、学校の部活動に参加していますか。

（あてはまる番号**１つ**に○をつけてください。）

1	参加している
2	参加していない

「１」と回答した人は、問 16 へ進んでください
「２」と回答した人は、問 15 へ進んでください

問 15　問 14 で「２」と回答した人だけお答えください。

あなたが部活動に参加していない理由を教えてください。

（あてはまる番号**すべて**に○をつけてください。）

1	学校の勉強をがんばっているから
2	塾や家庭教師、通信教材をがんばっているから
3	習いごとをがんばっているから
4	家族と一緒に過ごす時間を大事にしたいから
5	遊んだり、自分の好きなことをする時間を大事にしたいから
6	一緒にやる友だちがいないから
7	お金がかかるから
8	家事や家族のお世話を優先したいから
9	その他（　　）
10	わからない・答えたくない

問 16 へ進んでください

ふだんの生活について

問 16　あなたは、家族（おとなの人）と一緒に、次のことをどのくらいしますか。
（それぞれ、あてはまる番号**1つ**に○をつけてください。）

	ほとんど毎日	週に5～6日	週に3～4日	週に1～2日	ほとんどしない
(1) 一緒に朝食を食べる	1	2	3	4	5
(2) 一緒に夕食を食べる	1	2	3	4	5
(3) 一緒に遊ぶ	1	2	3	4	5
(4) 一緒に家事（食事の準備、そうじ、洗たくなど）をする	1	2	3	4	5
(5) 一緒に勉強や宿題をする	1	2	3	4	5
(6) 学校や友だちの話をする	1	2	3	4	5
(7) 一緒に出かける	1	2	3	4	5

問 17 へ進んでください

問 17　あなたは、週にどのくらい、食事をしていますか。
（それぞれ、あてはまる番号**1つ**に○をつけてください。）

	毎日	週5～6日	週3～4日	週1～2日・ほとんど食べない
(1) 朝食	1	2	3	4
(2) 夕食	1	2	3	4
(3) 夏休みや冬休みなど、学校が休みの時の昼食	1	2	3	4

すべて「1」「2」と回答した人は、問 19 へ進んでください
ひとつでも「3」「4」と回答した人は、問 18 へ進んでください

問 18　問 17 でひとつでも「３」「４」と回答した人だけお答えください。

あなたが食事をあまり食べない、ほとんど食べない理由を教えてください。

（それぞれ、あてはまる番号**１つ**に○をつけてください。）

	時間がないから	おなかがすいていないから	用意されていないから	わからない
⑴ 朝食	1	2	3	4
⑵ 夕食	1	2	3	4
⑶ 夏休みや冬休みなど、学校が休みの時の昼食	1	2	3	4

問 19 へ進んでください

問 19　あなたは、学校がある日の夜は、だいたい何時間くらいねむっていますか。

（あてはまる番号**１つ**に○をつけてください。）

1　８時間以上
2　７時間以上、８時間より短い
3　６時間以上、７時間より短い
4　５時間以上、６時間より短い
5　４時間以上、５時間より短い
6　４時間より短い

問 20 へ進んでください

問 20　あなたが中心となって、お世話をしている家族の人はいますか。

※「お世話」とは、本来おとながするような家事や家族のお世話のことです。

（あてはまる番号**１つ**に○をつけてください。）

1　いる
2　いない

「１」と回答した人は、問 21 へ進んでください
「２」と回答した人は、問 30 へ進んでください

家族のお世話について

※問 21～問 29 は、問 20 で「１　いる」と回答した人だけお答えください。

問 20 で「２　いない」と回答した人は、問 30 に進んでください。

問 21　問 20 で「１」と回答した人だけお答えください。

あなたがお世話をしている人は、だれですか。

（あてはまる番号**すべて**に○をつけてください。）

1　お母さん	4　おじいさん
2　お父さん	5　きょうだい
3　おばあさん	6　その他（　　）

問 22 へ進んでください

問 22　問 20 で「１」と回答した人だけお答えください。

あなたがお世話をしている理由を教えてください。

（あてはまる番号**すべて**に○をつけてください。）

1　高れい（65 歳以上）	6　心や体の病気
2　幼い	7　日本語が苦手
3　介護（食事や身の回りのお世話）が必要	8　親が仕事でいそがしいため
4　認知症	9　その他 （　　）
5　心や体に障害がある	10　わからない・答えたくない

問 23 へ進んでください

問 23　問 20 で「1」と回答した人だけお答えください。

あなたはどのようなお世話をしていますか。

（あてはまる番号**すべて**に○をつけてください。）

1　家事（食事の準備、そうじ、洗たくなど）	7　見守り
2　きょうだいのお世話や送り迎え	8　通訳（日本語や手話など）
3　入浴やトイレのお世話	9　お金の管理
4　買い物や散歩に一緒に行く	10　薬の管理
5　病院に一緒に行く	11　その他 （　　）
6　話を聞く	

問 24 へ進んでください

問 24　問 20 で「1」と回答した人だけお答えください。

あなたは、お世話をだれと一緒にしていますか。

（あてはまる番号**すべて**に○をつけてください。）

1　お母さん	6　親せきの人
2　お父さん	7　福祉サービス（ヘルパーなど）を利用している
3　おばあさん	8　その他（　　）
4　おじいさん	9　自分ひとりでしている
5　きょうだい	

問 25 へ進んでください

問 25　問 20 で「１」と回答した人だけお答えください。

あなたは何歳からお世話をしていますか。

※ はっきりとわからない場合は、だいたいの年でかまいません。

（　　）歳から

問 26 へ進んでください

問 26　問 20 で「１」と回答した人だけお答えください。

あなたは、どのくらいお世話をしていますか。

（あてはまる番号**１つ**に○をつけてください。）

1　ほぼ毎日

2　週に３～５日

3　週に１～２日

4　１か月に数日

5　その他（　　）

問 27 へ進んでください

問 27　問 20 で「１」と回答した人だけお答えください。

あなたは平日、だいたい何時間くらいお世話をしていますか。

１日（　　）時間くらい

問 28 へ進んでください

問 28　問 20 で「1」と回答した人だけお答えください。

あなたがお世話をしている中で感じたことについて、あてはまる番号**すべて**に○をつけてください。

1　家族の役に立ててうれしい	6　もっと勉強する時間がほしい
2　周りの人にほめられてうれしい	7　もっとねむる時間がほしい
3　家事が一人でできるようになってよかった	8　その他（　　）
4　将来は人のお世話をする仕事につきたいと思う	9　特にない
5　もっと友だちと遊ぶ時間がほしい	

問 29 へ進んでください

問 29　問 20 で「1」と回答した人だけお答えください。

あなたが学校や周りの人にしてもらいたいことはありますか。

（あてはまる番号**すべて**に○をつけてください。）

1　自分のことについて話を聞いてほしい

2　家族のお世話について相談にのってほしい

3　家族の病気や障害、お世話のことなどについてわかりやすく説明してほしい

4　自分がしているお世話のすべてをだれかに代わってほしい

5　自分がしているお世話の一部をだれかに代わってほしい

※ 具体的にどんなお世話、どんなときですか → 〔　　〕

6　自由に使える時間がほしい

7　勉強を教えてほしい

8　お金の面で支援してほしい

9　その他（　　）

10　特にない

11　わからない・答えたくない

問 30 へ進んでください

あなたの健康や気持ちについて

問 30　あなたは、全体として、最近の生活にどのくらい満足していますか。
「0」（まったく満足していない）から「10」（十分に満足している）の数字で、
あてはまるもの**1つ**に○をつけてください。

0：まったく満足していない										10：十分に満足している
0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10

問 31 へ進んでください

問 31　あなたの健康状態を教えてください。
（あてはまる番号**1つ**に○をつけてください。）

1　よい
2　まあよい
3　ふつう
4　あまりよくない
5　よくない

問 32 へ進んでください

問 32　あなたは、以下の(1)～(15)のことについて、自分にあてはまると思いますか。
（それぞれ、あてはまる番号**1つ**に○をつけてください。）

※ あなたのここ半年くらいのことを考えて答えてください。
※ 答えに自信がなくても、あるいは質問がばからしいと思えたとしても、全部の質問に答えてください。

	あてはまる	どちらかといえばあてはまる	どちらかといえばあてはまらない	あてはまらない
(1) 私は、他人に対して親切にするようにしている。 私は、他人の気持ちをよく考える。	1	2	3	4
(2) 私は、よく頭やお腹がいたくなったり、気持ちが悪くなったりする。	1	2	3	4
(3) 私は、例えば鉛筆や消しゴムがなくて困っている子がいたら、自分のものを貸してあげる。	1	2	3	4
(4) 私は、たいてい一人でいる。だいたいいつも一人で遊ぶか、人とつき合うことをさける。	1	2	3	4
(5) 私は、心配ごとが多く、いつも不安だ。	1	2	3	4
(6) 私は、だれかが心を痛めていたり、落ち込んでいたり、いやな思いをしている時、すすんで助ける。	1	2	3	4
(7) 私は、仲のよい友だちが一人以上いる。	1	2	3	4
(8) 私は、落ち込んでしずんでいたり、涙ぐんだりすることがよくある。	1	2	3	4
(9) 私は、同じくらいの年れいの子どもからは、だいたい好かれている。	1	2	3	4
(10) 私は、新しい場面に直面すると不安になり、自信をなくしやすい。	1	2	3	4
(11) 私は、年下の子どもたちに対してやさしくしている。	1	2	3	4
(12) 私は、他の子どもから、いじめられたり、からかわれたりする。	1	2	3	4
(13) 私は、自分からすすんで、親・先生・他の子どもたちなどのお手伝いをよくする。	1	2	3	4
(14) 私は、他の子どもたちより、おとなの人といる方がうまくいく。	1	2	3	4
(15) 私は、こわがりで、すぐにおびえたりする。	1	2	3	4

問 33 へ進んでください

問 33　あなたは今、悩んだり、困ったりしていることがありますか。

（あてはまる番号**すべて**に○をつけてください。）

1　家族のこと	7　自分の体や気持ちのこと
2　学校のこと	8　自分の将来や進路のこと
3　友だちのこと	9　自分のために使える時間が少ないこと
4　勉強・成績のこと	10　その他（　　）
5　クラブ（部）活動、習いごとのこと	11　今、悩んでいることはない
6　生活や勉強に必要なお金のこと	

問 34 へ進んでください

問 34　あなたが悩んだり困ったりしたときに相談できると思う人はだれですか。

（あてはまる番号**すべて**に○をつけてください。）

1　親（保護者）	8　スクールカウンセラー・スクールソーシャルワーカー
2　きょうだい	9　病院・医療・福祉サービスの人
3　祖父母や親せき（おじ、おば、いとこなど）	10　その他のおとな（近所の人、塾や習いごとの先生など）
4　学校の友だち	11　インターネット上（ＬＩＮＥ、Ｘ（旧ツイッター）など）の知り合い
5　学校以外の友だち	12　その他 （　　）
6　学校の先生（保健室の先生以外）	13　相談できると思う人はいない
7　保健室の先生	

問 35 へ進んでください

問 35　あなたが悩んだり、困ったりしていることについて、問 34 で回答した人などに相談したことはありますか。　（あてはまる番号**1つ**に○をつけてください。）

1　ある
2　ない

「1」と回答した人は、問 37 へ進んでください
「2」と回答した人は、問 36 へ進んでください

問 36　問 35 で「2」と回答した人だけお答えください。
あなたが相談していない理由を教えてください。
（あてはまる番号**すべて**に○をつけてください。）

1　相談するほどの悩みではないから
2　だれに相談したらいいかわからないから
3　相談しにくいから
4　家族のことを話したくないから
5　相談しても何も変わらないと思うから
6　その他（　　）

問 37 へ進んでください

問 37　あなたが悩んだり困っていることを周りのおとなに相談するとしたら、あなたは、どんな方法で話を聞いたり相談にのったりしてほしいですか。
（あてはまる番号**すべて**に○をつけてください。）

1　直接会って	4　メール
2　電話	5　その他 （　　）
3　ＳＮＳ（Ｘ（旧ツイッター）、ＬＩＮＥなど）	

問 38 へ進んでください

問 38　あなたは、次の⑴～⑷の場所を利用したことがありますか。また、利用したことがない場合、今後利用したいと思いますか。

（それぞれ、あてはまる番号**1つ**に○をつけてください。）

	利用したことがある	利用したことはない		
		あれば利用したいと思う	今後も利用したいと思わない	今後利用したいかどうかわからない
⑴（自分や友だちの家、お店以外で、）放課後や休日を無料で過ごすことができる場所（児童センター、図書館、公民館など）	1	2	3	4
⑵（自分や友だちの家以外で）ご飯を無料で、または安く食べることができる場所（こども食堂など）	1	2	3	4
⑶ 勉強を無料で見てくれる場所	1	2	3	4
⑷（家や学校以外で）悩みや困ったことを相談できる場所（電話やネットの相談も含む）	1	2	3	4

ひとつでも「1」と回答した人は、問 39 へ進んでください
すべて「2」「3」「4」と回答した人は、問 40 へ進んでください

問 39　問 38 で、ひとつでも「1」と回答した人だけお答えください。

その場所を利用したことで、あなたにどのような変化がありましたか。

（あてはまる番号**すべて**に○をつけてください。）

1	友だちが増えた
2	気軽に話せるおとなが増えた
3	生活の中で楽しみなことが増えた
4	ほっとできる時間が増えた
5	栄養のある食事をとれることが増えた
6	勉強がわかるようになった
7	勉強する時間が増えた
8	いやな思いをしたので利用しなくなった
9	その他（　　）
10	特に変化はなかった

問 40 へ進んでください

問 40　最後に、あなたがまわりのおとなの人に対して言いたいことがあれば、自由に書いてください。(困っていること、家族にしてほしいこと、学校の先生に言いたいこと、姫路市(市役所)にしてほしいことなど)

質問はこれで終わりです。
最後まで答えていただき、ありがとうございました。

【保護者用調査票】

姫路市　子どもの生活実態調査

【ご協力のお願い】

皆様には、日頃から市政に関するご理解とご協力をいただき、誠にありがとうございます。

本市ではこのたび、子ども・子育てに関する施策を総合的に推進するため、こども基本法に基づき、「（仮称）姫路市こども計画」を新たに策定することとなりました。

そこで、子どもや子育て家庭の生活実態、支援ニーズを把握し、計画策定の基礎資料とさせていただくため、「子どもの生活実態調査」を実施いたします。

調査の性質上、ご家庭のプライベートな内容をお聞きする質問もありますが、回答いただいた内容について、個々の調査票を公表したり、調査の目的以外に使用することは一切ございません。

回答にかかる時間は、１５分～２０分程度です。ご多用のところ誠に恐縮ですが、調査の趣旨をご理解いただき、ご協力くださいますよう、よろしくお願いいたします。

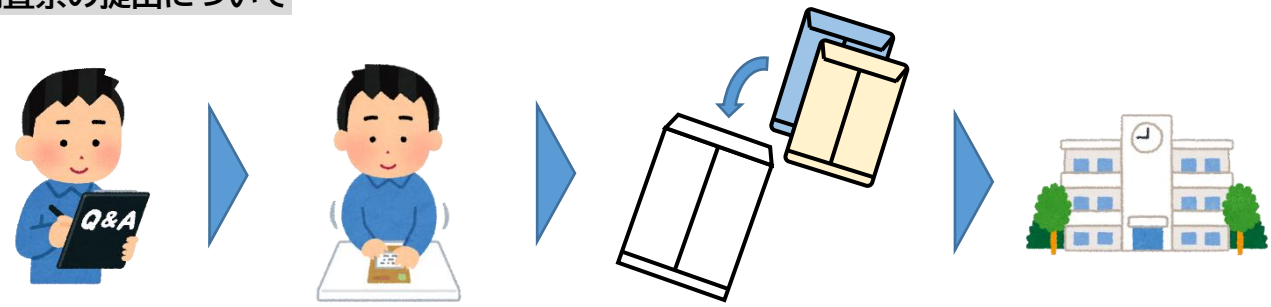
令和5年12月

姫路市長　清元　秀泰

記入にあたってのお願い

1. この調査票は無記名です。
2. 回答は、ご自身が思うことを、お答えいただける範囲でお答えください。
3. このアンケートの提出の有無や内容は、学校の成績には全く関係ありません。また、学校がお子さんやあなたの回答を確認することは、絶対にありません。

調査票の提出について



①アンケート用紙に回答を記入

②ピンク色の封筒に入れてテープで封をする

③封をしたピンク色の封筒と水色の封筒（子ども用）を、白色の「配付・回収用封筒」に入れて、封をする

④お子さんが学校に持参する

1月16日まで

お問い合わせ先　　※学校には問い合わせないでください。

姫路市こども未来局こども育成部　こども総務課

電話：０７９－２２１－１５６０（直通・調査期間のみ利用できます）

整理番号【　　】

※整理番号は、集計結果を整理するためのもので、**回答者個人を特定することはできません。**

ご回答

よろしくお願いします

【回答方法について】

1. **この調査で「お子さん」とは、この調査票を持ち帰った児童・生徒のことをいいます。**
2. 回答は、質問の後のあてはまる番号に○をつけてください。
3. 質問には、１つの番号だけを選ぶ場合と、あてはまるすべての番号を選ぶ場合と、（　　）内に数字を記入する場合があります。
4. 「その他」を選んだ場合は、（　　）内に具体的な内容をご記入ください。
5. 質問が分かりにくかったり、答えにくかったり、答えたくないと思った場合は、お答えいただかなくても差支えありません。

あなた自身について

問１　あなたは、お子さんに対してどのような立場（続柄）ですか。

（あてはまる番号**１つ**に○をつけてください。）

１　父（継父を含む）	４　親戚（おじ、おば、いとこ）
２　母（継母を含む）	５　施設職員・里親
３　祖父母	６　その他（　　）

問２へ進んでください

問２　あなたは現在、結婚していますか。

（あてはまる番号**１つ**に○をつけてください。）

１　結婚している（再婚や事実婚を含む）	４　結婚していない（死別）
２　結婚していないが、同居しているパートナーがいる	５　結婚していない（結婚したことがない）
３　結婚していない（離婚、または離婚に近い状態の別居）	６　わからない・答えたくない

問３へ進んでください

問３　あなたの現在の年齢（令和 5 年 11 月 1 日現在）をお答えください。あなたに配偶者や同居しているパートナーがいる場合は、その方の年齢（令和 5 年 11 月 1 日現在）もお答えください。　　（それぞれ、あてはまる番号**<u>１つ</u>**に○をつけてください。）

⑴ あなた	⑵ 配偶者（パートナー）
１　20 歳未満	１　20 歳未満
２　20 歳～29 歳	２　20 歳～29 歳
３　30 歳～39 歳	３　30 歳～39 歳
４　40 歳～49 歳	４　40 歳～49 歳
５　50 歳以上	５　50 歳以上
６　わからない・答えたくない	６　わからない・答えたくない

問４へ進んでください

問４　お子さんと同居し、生計を同じくしているご家族は何人ですか。
※ 単身赴任中の方や、学業のために世帯を離れている方も含めてお答えください。

（　　）人　　※あなたとお子さんも含めてください。

問５へ進んでください

問５　問４で回答いただいた人数のうち、単身赴任中の方や、学業のために世帯を離れているお子さんなど、同居していないけれども生計が同一の方がいる場合は、その人数をお答えください。

（　　）人

問６へ進んでください

問６　問４で回答いただいた「ご家族」には、お子さんから見てどの関係の方が含まれますか。　　（あてはまる番号**<u>すべて</u>**に○をつけてください。）

１　母親	４　兄弟姉妹
２　父親	５　その他（　　）
３　祖父母	

問７へ進んでください

世帯の状況について

問７　あなたのご家庭では、日本語以外の言語を使用していますか。

（あてはまる番号**１つ**に○をつけてください。）

1	日本語のみを使用している
2	日本語以外の言語も使用しているが、日本語の方が多い
3	日本語以外の言語を使うことが多い

問８へ進んでください

問８　あなたの住んでいる住居の種類をお答えください。

（あてはまる番号**１つ**に○をつけてください。）

1	持ち家（家族名義を含む）	4	社宅・寮
2	民間賃貸住宅	5	その他（借間など）
3	市営・県営の公営住宅		

問９へ進んでください

問９　あなたの最終学歴（最後に卒業した学校）をお答えください。

あなたに配偶者や同居しているパートナーがいる場合は、その方についてもお答えください。　（それぞれ、あてはまる番号**１つ**に○をつけてください。）

	⑴ あなた	⑵ 配偶者（パートナー）
1	中学校まで	中学校まで
2	高校（高等学校）まで	高校（高等学校）まで
3	専門学校まで	専門学校まで
4	短大（短期大学）まで	短大（短期大学）まで
5	高専（５年制の高等専門学校）まで	高専（５年制の高等専門学校）まで
6	大学・大学院まで	大学・大学院まで
7	その他（　　）	その他（　　）
8	わからない・答えたくない	わからない・答えたくない

問 10 へ進んでください

問 10　あなたの就労状況をお答えください。

あなたに配偶者や同居しているパートナーがいる場合は、その方についてもお答えください。　（それぞれ、あてはまる番号**1つ**に○をつけてください。）

⑴ あなた	⑵ 配偶者（パートナー）
1　正社員・正規職員・会社役員	1　正社員・正規職員・会社役員
2　嘱託・契約社員・派遣職員	2　嘱託・契約社員・派遣職員
3　パート・アルバイト・日雇い・非常勤職員	3　パート・アルバイト・日雇い・非常勤職員
4　自営業（家族従業者・内職・自由業・フリーランスを含む）	4　自営業（家族従業者・内職・自由業・フリーランスを含む）
5　専業主婦／主夫	5　専業主婦／主夫
6　無職	6　無職
7　わからない・答えたくない	7　わからない・答えたくない

ひとつでも「5」「6」と回答した方は、問 11 へ進んでください
回答が「1」「2」「3」「4」「7」のみの方は、問 13 へ進んでください

問 11　問 10 で、ひとつでも「5」「6」と回答した方のみお答えください。

あなたは今後、外で就労したいと考えていますか。

あなたに配偶者や同居しているパートナーがいる場合は、その方についてもお答えください。　（それぞれ、あてはまる番号**1つ**に○をつけてください。）

⑴ あなた	⑵ 配偶者（パートナー）
1　考えている	1　考えている
2　考えていない	2　考えていない

ひとつでも「1」と回答した方は、問 12 へ進んでください
回答が「2」のみの方は、問 13 へ進んでください

問 12　問 11 で、ひとつでも「１」と回答した方のみお答えください。

あなたが現在、外で就労していない最も主な理由をお答えください。
あなたに配偶者や同居しているパートナーがいる場合は、その方についてもお答えください。　（それぞれ、あてはまる番号**１つ**に○をつけてください。）

⑴ あなた	⑵ 配偶者（パートナー）
1　働きたいが、希望する条件の仕事がないため	1　働きたいが、希望する条件の仕事がないため
2　就きたい職に必要な資格や技能を持っていないため	2　就きたい職に必要な資格や技能を持っていないため
3　子育てを優先したいため	3　子育てを優先したいため
4　家族の介護・介助のため	4　家族の介護・介助のため
5　自分の病気や障害のため	5　自分の病気や障害のため
6　通学しているため	6　通学しているため
7　その他（　　）	7　その他（　　）
8　わからない・答えたくない	8　わからない・答えたくない

問 13 へ進んでください

問 13　あなたやあなたの配偶者（パートナー）が、就業に活かすために今後取得したいと思っている資格や技術はありますか。

（あてはまる番号**すべて**に○をつけてください。）

1　看護師・准看護師	9　ホームヘルパー
2　介護福祉士	10　調理師・栄養士
3　保育士	11　医療事務
4　理学療法士・作業療法士	12　パソコン・ＯＡ関係資格
5　言語聴覚士	13　理容師・美容師
6　保健師・助産師	14　簿記
7　社会福祉士・精神保健福祉士	15　その他（　　）
8　ケアマネジャー	16　特にない

問 14 へ進んでください

お子さんの教育などについて

問 14　お子さんが０～２歳のときの育児は、どのようにされていましたか。
あてはまる番号が複数ある場合は、０～２歳の間で最も期間が長かったものをお答えください。　（あてはまる番号**１つ**に○をつけてください。）

1　もっぱら家庭で面倒を見ていた	3　認可保育所・認定こども園以外の通いの施設
2　認可保育所・認定こども園	4　親族が面倒を見ていた

問 15 へ進んでください

問 15　お子さんが３～５歳のときの育児は、どのようにされていましたか。
あてはまる番号が複数ある場合は、３～５歳の間で最も期間が長かったものをお答えください。　（あてはまる番号**１つ**に○をつけてください。）

1　もっぱら家庭で面倒を見ていた	3　幼稚園・認可保育所・認定こども園以外の通いの施設
2　幼稚園・認可保育所・認定こども園	4　親族が面倒を見ていた

問 16 へ進んでください

問 16　お子さんは将来、現実的に見て、どの段階まで進学すると思いますか。
（あてはまる番号**１つ**に○をつけてください。）

1　中学校まで	5　高専（５年制の高等専門学校）まで
2　高校（高等学校）まで	6　大学・大学院まで
3　専門学校まで	7　その他（　　）
4　短大（短期大学）まで	8　まだわからない

問 17 へ進んでください

問 17　問 16 の回答について、その理由をお答えください。

（あてはまる番号**すべて**に○をつけてください。）

1　子どもが希望しているから	4　家庭の経済的な状況から考えて
2　一般的な進路だと思うから	5　その他 （　　）
3　子どもの学力から考えて	6　特に理由はない・わからない

問 18 へ進んでください

問 18　お子さんの教育にかかる費用で、負担が大きいと感じているものはありますか。

（あてはまる番号**すべて**に○をつけてください。）

1　授業料	6　習い事にかかる費用
2　学用品費	7　学校外の教育費（塾代、家庭教師や通信教育にかかる費用）
3　学校給食費	8　その他 （　　）
4　修学旅行費	9　負担が大きいと感じているものはない
5　クラブ活動費	

問 19 へ進んでください

問 19　お子さんを将来希望する学校まで進学させるにあたって、最も心配なことをお答えください。（あてはまる番号**1つ**に○をつけてください。）

1　学力	4　その他（　　）
2　金銭的な負担	5　特にない・わからない
3　進学先の選択	

問 20 へ進んでください

生活状況・経済状況について

問 20　以下の⑴～⑻のそれぞれについて、あてはまる番号<u>１つ</u>に○をつけてください。

	あてはまる	どちらかといえばあてはまる	どちらかといえばあてはまらない	あてはまらない
⑴ 子どものテレビ・ゲーム・インターネットの利用について、利用時間などのルールを決めている	1	2	3	4
⑵ 子どもに本や新聞を読むようにすすめている	1	2	3	4
⑶ 子どもが小さい頃、絵本の読み聞かせをしていた	1	2	3	4
⑷ 子どもと勉強や成績のことについて話をする	1	2	3	4
⑸ 子どもと学校での出来事について話をする	1	2	3	4
⑹ 子どもと友だちのことについて話をする	1	2	3	4
⑺ 子どもと将来や進路のことについて話をする	1	2	3	4
⑻ 子どもと社会の出来事やニュースについて話をする	1	2	3	4

問 21 へ進んでください

問 21　あなたは、次のようなことをどの程度していますか。

（それぞれ、あてはまる番号**1つ**に○をつけてください。）

	よく参加している	ときどき参加している	あまり参加していない	まったく参加していない
⑴ 授業参観や運動会などの学校行事	1	2	3	4
⑵ ＰＴＡ活動や保護者会、放課後学習支援等のボランティアなど	1	2	3	4
⑶ 祭りやイベント、清掃活動などの地域の行事	1	2	3	4

問 22 へ進んでください

問 22　お子さんの食事で、最も多いものをお答えください。

（それぞれ、あてはまる番号**1つ**に○をつけてください。）

⑴ 朝食	⑵ 夕食
1　同居する家族が作った料理	1　同居する家族が作った料理
2　子どもが作った料理	2　子どもが作った料理
3　家族がスーパーやコンビニ等で購入する惣菜、弁当	3　家族がスーパーやコンビニ等で購入する惣菜、弁当
4　子どもがスーパーやコンビニ等で購入する惣菜、弁当	4　子どもがスーパーやコンビニ等で購入する惣菜、弁当
5　インスタント・レトルト食品	5　インスタント・レトルト食品
6　菓子パン・お菓子	6　菓子パン・お菓子
7　外食	7　外食
8　わからない	8　わからない
9　その他（　　）	9　その他（　　）

問 23 へ進んでください

問 23　あなたの世帯の、１か月のおおよその食費はいくらですか。ここ半年程度の平均的な額をお答えください。　（あてはまる番号**１つ**に○をつけてください。）

1　１万円未満	4　５万円～７万円未満
2　１万円～３万円未満	5　７万円～10 万円未満
3　３万円～５万円未満	6　10 万円以上

問 24 へ進んでください

問 24　世帯全体のおおよその年間収入（税込み）はいくらですか。
（あてはまる番号**１つ**に○をつけてください。）

※ 令和４年（2022 年）の年間収入についてお答えください。

※ 収入には、同居し、生計を同一にしている家族全員の以下の収入が含まれます。

- 勤め先収入（定期収入、賞与等）
- 事業所得（原材料費、人件費、営業上の諸経費等を除く）、内職収入（材料費等を除く）
- 公的年金・恩給、その他の社会保障給付金（生活保護、児童手当、児童扶養手当等）
- 農林漁業収入（農機具等の材料費、営業上の諸経費等を除く）
- 資産収入（預貯金利子、家賃収入等。家・土地の売却代金や生命保険・損害保険からの受取金は除く。）
- その他の収入（仕送り、養育費、個人年金、各種祝い金等）

1　50 万円未満	9　400 万円～450 万円未満
2　50 万円～100 万円未満	10　450 万円～500 万円未満
3　100 万円～150 万円未満	11　500 万円～600 万円未満
4　150 万円～200 万円未満	12　600 万円～700 万円未満
5　200 万円～250 万円未満	13　700 万円～800 万円未満
6　250 万円～300 万円未満	14　800 万円～900 万円未満
7　300 万円～350 万円未満	15　900 万円～1000 万円未満
8　350 万円～400 万円未満	16　1000 万円以上

問 25 へ進んでください

問 25　あなたは、現在の暮らしの状況をどのように感じていますか。

（あてはまる番号**1つ**に○をつけてください。）

1　大変ゆとりがある	4　苦しい
2　ゆとりがある	5　大変苦しい
3　ふつう	

問 26 へ進んでください

問 26　あなたの世帯では、経済的な理由で、次のような経験をされたことがありますか。
おおむね直近１年の間でお答えください。

（あてはまる番号**すべて**に○をつけてください。）

1　家族が必要とする食材を買えなかった

2　冠婚葬祭のつきあいを控えた

3　医療機関の受診を控えた

4　税金や保険料（医療・年金）の支払いが遅れた

5　家賃やローンの支払いが遅れた

6　電話代やインターネット通信料の支払いが遅れた

7　家族が必要とする衣服や靴などを買えなかった（高価な衣服や貴金属、宝飾品を除く）

8　電気料金の支払いが遅れた

9　ガス料金の支払いが遅れた

10　水道料金の支払いが遅れた

11　金融機関に借金をした

12　急な出費のための貯金が５万円を下回った

13　保育料や授業料、給食費などの支払いが遅れた

14　あてはまるものはない

問 27 へ進んでください

問 27　あなたの世帯では、お子さんが希望したにもかかわらず、経済的な理由で次のような経験をされたことがありますか。おおむね直近１年の間でお答えください。

（あてはまる番号**すべて**に○をつけてください。）

1　学校行事に保護者が参加できなかった

2　遠足や修学旅行に参加できなかった

3　学習塾や習い事に通えなかった

4　部活動に参加できなかった

5　小づかいを渡せなかった

6　誕生日やお正月などの季節の行事ができなかった

7　家族旅行ができなかった

8　病院の受診ができなかった

9　視力が低下したのにメガネを買えなかった

10　あてはまるものはない

問２で「３」「５」と回答した方は、問 28 へ進んでください
それ以外の方は、問 31 へ進んでください

問 28　問２で「３　結婚していない（離婚、または離婚に近い状態の別居）」、または「５　結婚していない（結婚したことがない）」と回答した方のみお答えください。それ以外の方は、問 31 へ進んでください。

あなたは、お子さんの養育費をお子さんの父（または母）から受けていますか。

（あてはまる番号**１つ**に○をつけてください。）

1　受けている

2　受けていない

「１」と回答した方は、問 29 へ進んでください
「２」と回答した方は、問 30 へ進んでください

問 29　問 28 で「１」と回答した方のみお答えください。

お子さんの養育費の取り決め状況をお答えください。

（あてはまる番号**１つ**に○をつけてください。）

1　文書（判決・調定・審判など裁判所における取り決め、または強制執行認諾条項付きの公正証書）により、取り決めをしている
2　１の文書以外の方法により、取り決めをしている
3　取り決めはしていない

問 31 へ進んでください

問 30　問 28 で「２」と回答した方のみお答えください。

あなたがお子さんの養育費を受けていない理由をお答えください。

（あてはまる番号**すべて**に○をつけてください。）

1　自分の収入等で経済的に問題がないから
2　相手と関わりたくないから
3　相手に支払いの意思がないから
4　相手に支払いの能力がないから
5　養育費を請求できることを知らなかったから
6　現在、交渉中または今後交渉予定
7　その他（　　）

問 31 へ進んでください

あなたやご家族の健康、あなたの気持ちについて

問 31　あなたは、全体として、最近の生活にどのくらい満足していますか。
「０」（まったく満足していない）から「10」（十分に満足している）の数字のうち、あてはまるもの**１つ**に○をつけてください。

０：まったく満足していない										10：十分に満足している
0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10

問 32 へ進んでください

問 32　あなたとあなたのお子さんの健康状態についてお答えください。
あなたに配偶者や同居しているパートナーがいる場合は、その方についてもお答えください。　（それぞれ、あてはまる番号**１つ**に○をつけてください。）

⑴ あなた	⑵ お子さん	⑶ 配偶者（パートナー）
1　よい	1　よい	1　よい
2　まあよい	2　まあよい	2　まあよい
3　ふつう	3　ふつう	3　ふつう
4　あまりよくない	4　あまりよくない	4　あまりよくない
5　よくない	5　よくない	5　よくない
6　わからない	6　わからない	6　わからない

問 33 へ進んでください

問 33　お子さんには、下に挙げている病気や障害がありますか。
※障害者手帳や療育手帳を所持していないが、障害の疑いがあると診断された場合も含みます。　（あてはまる番号**すべて**に○をつけてください。）

1　身体障害	4　発達障害
2　精神障害	5　難病（指定難病）
3　知的障害	6　あてはまるものはない

問 34 へ進んでください

問 34　次の⑴～⑹の質問について、この１か月間のあなたの気持ちはどのようでしたか。
（それぞれ、あてはまる番号**１つ**に○をつけてください。）

	いつも	たいてい	ときどき	少しだけ	まったくない
⑴ 神経過敏に感じた	1	2	3	4	5
⑵ 絶望的だと感じた	1	2	3	4	5
⑶ そわそわ、落ち着かなく感じた	1	2	3	4	5
⑷ 気分が沈み込んで、何が起こっても気が晴れないように感じた	1	2	3	4	5
⑸ 何をするのも面倒だと感じた	1	2	3	4	5
⑹ 自分は価値のない人間だと感じた	1	2	3	4	5

問 35 へ進んでください

問 35　あなたには、子育てに関する心配や悩みはありますか。
（あてはまる番号**すべて**に○をつけてください。）

1　自分の時間が減った	8　塾、習い事のこと
2　疲労やストレス	9　子どもの健康や発育のこと
3　家事・育児と仕事との両立	10　子どもの食事や栄養管理のこと
4　経済的な負担	11　子どもの性や恋愛のこと
5　しつけや接し方	12　ＳＮＳ（ＬＩＮＥ・Ｘ（旧ツイッター）など）のこと
6　学校生活のこと	13　その他（　　）
7　勉強、受験、進路のこと	14　心配や悩みはない

問 36 へ進んでください

問 36　次の⑴～⑶の事柄について、あなたが頼れる人はいますか。

（それぞれ、あてはまる番号**1つ**に○をつけてください。）

⑴ 子育てに関する相談	⑵ いざという時のお金の援助	⑶ その他、重要な事柄の相談
1　頼れる人がいる	1　頼れる人がいる	1　頼れる人がいる
2　頼れる人はいない	2　頼れる人はいない	2　頼れる人はいない
3　そのことでは人に頼らない	3　そのことでは人に頼らない	3　そのことでは人に頼らない

ひとつでも「1」と回答した方は、問 37 へ進んでください
それ以外の回答の方は、問 38 へ進んでください

問 37　問 36 でひとつでも「1」と答えた方のみお答えください。

次の⑴～⑶の事柄について、あなたが頼れる人は誰ですか。

（それぞれ、あてはまる番号**すべて**に○をつけてください。）

⑴ 子育てに関する相談	⑵ いざという時のお金の援助	⑶ その他、重要な事柄の相談
1　家族・親族	1　家族・親族	1　家族・親族
2　友人・知人	2　友人・知人	2　友人・知人
3　近所の人	3　近所の人	3　近所の人
4　職場の人	4　職場の人	4　職場の人
5　学校の先生	5　学校の先生	5　学校の先生
6　スクールカウンセラー・スクールソーシャルワーカー	6　スクールカウンセラー・スクールソーシャルワーカー	6　スクールカウンセラー・スクールソーシャルワーカー
7　民生委員・児童委員	7　民生委員・児童委員	7　民生委員・児童委員
8　市の相談窓口や支援窓口の人	8　市の相談窓口や支援窓口の人	8　市の相談窓口や支援窓口の人
9　その他（　　）	9　その他（　　）	9　その他（　　）

問 38 へ進んでください

問 38　あなたは、生活や子育てに関する支援について、情報をどこから得ていますか。

（あてはまる番号**すべて**に○をつけてください。）

1　自分の親

2　配偶者（パートナー）

3　兄弟姉妹・親戚

4　友人や職場の同僚

5　町内会や民生委員・児童委員など地域の人

6　保育園・幼稚園・学校の先生

7　児童センターや地域子育て支援拠点（わくわく広場、すこやかひろばなど）

8　保健センターや市役所などの相談窓口

9　市の広報誌・ホームページなど

10　雑誌・タウン誌

11　市以外のインターネット（ホームページ・ブログなど）

12　ＳＮＳ（ＬＩＮＥ、Ｘ（旧ツイッター）、インスタグラムなど）

13　その他（　　）

14　必要がないので、情報は得ていない

問 39 へ進んでください

問 39　あなたは、次の事業・制度を知っていますか。また、これまでに利用したことがありますか。　（それぞれ、あてはまる番号**1つ**に○をつけてください。）

	知っている				知らない	
	利用している・利用したことがある	利用したことがない			利用してみたい	利用するつもりはない
		必要がなかったから	手続きがわからなかったり、利用しにくいから	その他の理由		
⑴　児童扶養手当(※1)	1	2	3	4	5	6
⑵　生活保護	1	2	3	4	5	6
⑶　母子父子寡婦福祉資金の貸付	1	2	3	4	5	6
⑷　養育費に関する専門相談	1	2	3	4	5	6
⑸　こども医療費助成(※2)	1	2	3	4	5	6
⑹　母子家庭等医療費助成	1	2	3	4	5	6
⑺　就学援助制度(※3)	1	2	3	4	5	6
⑻　生活福祉資金貸付(※4)	1	2	3	4	5	6
⑼　母子・父子福祉団体（婦人共励会）	1	2	3	4	5	6
⑽　ひとり親家庭学習支援(※5)	1	2	3	4	5	6
⑾　地域子育て支援拠点（わくわく広場・すこやかひろばなど）	1	2	3	4	5	6

(※1)児童扶養手当　…ひとり親家庭等の父、母または養育者に支給される手当。

(※2)こども医療費助成　…小学４年生から中学３年生修了までの子どもに対して、医療費の一部を助成するもの。

(※3)就学援助制度　…生活保護世帯に準じる程度に困窮している方に、学用品費、学校給食費等の就学援助費を支給する制度。

(※4)生活福祉資金貸付　…経済的な理由や障害等により生活課題を抱えている世帯に対し、一時的な費用の貸付を行う制度。社会福祉協議会で実施。

(※5)ひとり親家庭学習支援　…ひとり親家庭等（児童扶養手当全部支給世帯）の小学６年生の児童に対し、学習教室を実施する事業。

問 39 は、次のページに続きがあります

（問 39 の続き）　　※それぞれ、あてはまる番号<u>1つ</u>に○をつけてください。

	知っている				知らない	
	利用している・利用したことがある	利用したことがない			利用してみたい	利用するつもりはない
		必要がなかったから	手続きがわからなかったり、利用しにくいから	その他の理由		
(12) 病児・病後児保育	1	2	3	4	5	6
(13) ファミリーサポートセンター (※6)	1	2	3	4	5	6
(14) 一時保育	1	2	3	4	5	6
(15) 子育て短期支援事業(※7)	1	2	3	4	5	6
(16) 家庭児童相談(※8)	1	2	3	4	5	6
(17) 母子･父子自立支援員によるひとり親家庭相談・自立支援	1	2	3	4	5	6
(18) ひとり親家庭に対する就労相談・就労支援	1	2	3	4	5	6
(19) 保健センター等の健康相談	1	2	3	4	5	6
(20) スクールカウンセラー･スクールソーシャルワーカー	1	2	3	4	5	6
(21) 姫路っ子悩み相談(※9)	1	2	3	4	5	6
(22) フードバンク ※食料品を受け取る側での利用	1	2	3	4	5	6

(※6)ファミリーサポートセンター　…子育ての援助を受けたい方と子育ての援助をしたい方を登録し、会員相互間で育児等の援助を行う事業。

(※7)子育て短期支援事業　…家庭で子どもの養育が一時的に困難になったときに、子どもを児童福祉施設で預かる事業。

(※8)家庭児童相談　…18 歳未満の子どもとその家庭のさまざまな問題についてこども家庭総合支援室の保育士や保健師などが相談に応じるもの。

(※9)姫路っ子悩み相談　…いじめや不登校、発達の悩み等について、総合教育センターで、担当者が電話相談に応じるもの。

問 40 へ進んでください

問 40　最後に、子どもの養育・教育環境の充実など、子育て家庭への支援に関してご意見・ご要望がありましたら、自由にご記入ください。

質問はこれで終わりです。
最後まで答えていただき、ありがとうございました。